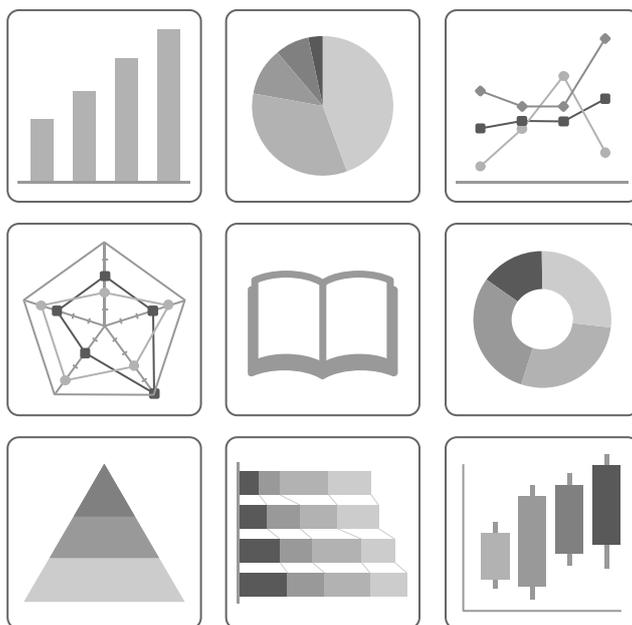


袋井市  
高齢者の生活と意識に関する調査  
調査結果報告書



令和2年3月

袋 井 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>2</b>
1	一般高齢者・事業対象者・要支援認定者	2
(1)	回答者属性	2
(2)	からだを動かすことについて	13
(3)	食べることについて	30
(4)	毎日の生活について	40
(5)	地域での活動について	61
(6)	あなたとまわりの人の「たすけあい」について	69
(7)	健康について	75
(8)	介護保険サービス・総合事業について	97
(9)	介護予防・日常生活支援総合事業について	119
(10)	地域包括支援センターについて	123
(11)	はーとふるプラザ袋井（総合健康センター）について	127
(12)	認知症にかかる相談窓口について	132
(13)	介護支援ボランティアについて	134
(14)	生きがいについて	135
(15)	交通手段について	159
(16)	その他について	165

2	生活機能評価等に関する分析	171
(1)	機能別リスク該当者割合の分析	171
(2)	日常生活	181
3	要介護認定者	183
(1)	本人について	183
(2)	介護保険サービスについて	201
(3)	地域包括支援センターについて	214
(4)	はーとふるプラザ袋井（総合健康センター）について	217
(5)	主な介護者の方について	220
(6)	その他について	226
<b>Ⅲ</b>	<b>今後に向けての課題</b>	<b>234</b>
1	家族構成とライフスタイルの課題	234
2	高齢者の生きがいづくりの課題	234
3	人との関わりあいの課題	235
4	ボランティアなどへの参加の課題	235
5	生活機能評価からみる課題	235
<b>Ⅳ</b>	<b>自由意見</b>	<b>236</b>
1	一般	236
2	要支援・総合事業認定者	251
3	要介護	258
<b>Ⅴ</b>	<b>調査票</b>	<b>269</b>
1	一般高齢者	269
2	事業対象者・要支援認定者	279
3	要介護認定者	289

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画」の策定にあたり、今後の保健福祉行政に役立てるために、市民の皆様の普段の生活や健康などに関して調査を実施するものです。

## 2 調査対象

一般高齢者：袋井市在住の事業対象者、要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者

事業対象者・要支援認定者：袋井市在住の要支援認定者及び事業対象者

要介護認定者：袋井市在住の要介護認定者

## 3 調査期間

令和2年2月7日から令和2年2月21日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	回答者数	有効回答率
一般高齢者	2,000通	1,348通	67.4%
事業対象者・ 要支援認定者	800通	479通	59.9%
要介護認定者	1,200通	700通	58.3%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## II 調査結果

### 1 一般高齢者・事業対象者・要支援認定者

#### (1) 回答者属性

問 調査票を記入されたのはどなたですか。(○はひとつ)

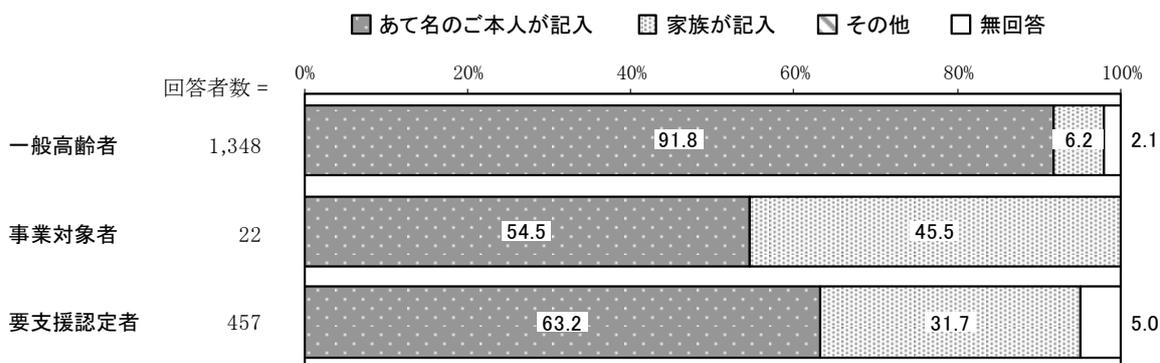
【一般高齢者：問1(1)、事業対象者・要支援認定者：問1(1)】

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」の割合が91.8%、「家族が記入」の割合が6.2%となっています。

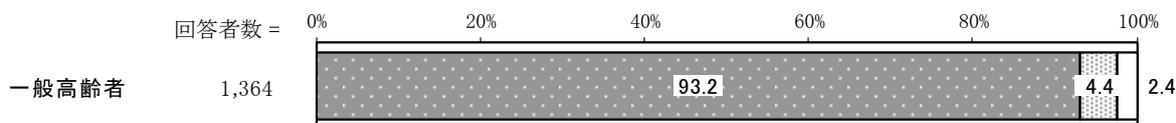
事業対象者では、「あて名のご本人が記入」の割合が54.5%、「ご家族が記入」の割合が45.5%となっています。

要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」の割合が63.2%、「ご家族が記入」の割合が31.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



#### 【平成28年度調査】



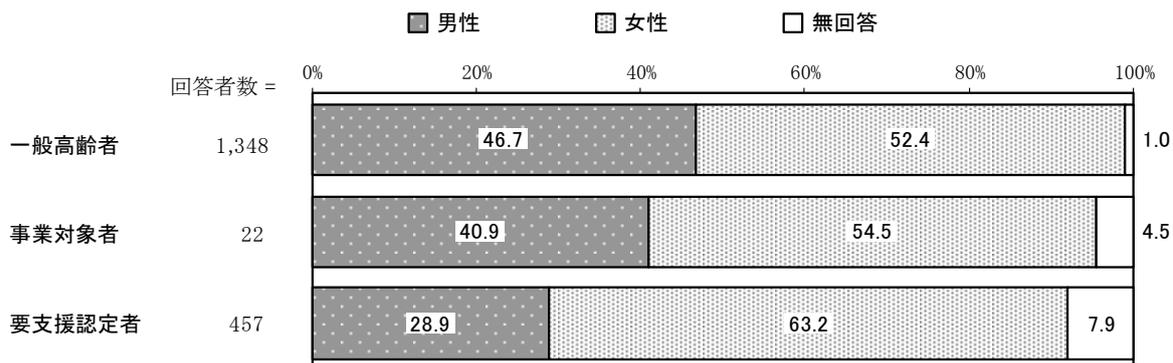
※事業対象者：日常生活、運動、栄養などから評価される基本チェックリストにより生活機能の低下がみられ、要支援状態となるおそれがある高齢者。介護予防・生活支援サービス事業の対象者。

※要介護認定者：入浴や排せつ、食事などの日常生活で、常時介護を必要とする状態、もしくは、支援を必要とする状態にある方。

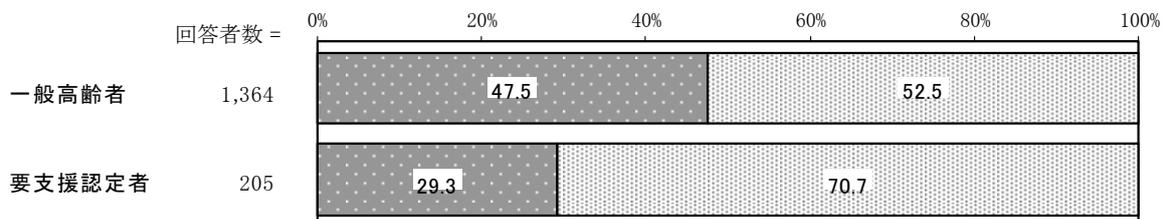
問 ご本人の性別について教えてください。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問1(2)、事業対象者・要支援認定者：問1(2)】

一般高齢者では、「男性」の割合が46.7%、「女性」の割合が52.4%となっています。  
 事業対象者では、「男性」の割合が40.9%、「女性」の割合が54.5%となっています。  
 要支援認定者では、「男性」の割合が28.9%、「女性」の割合が63.2%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。  
 要支援認定者では、「女性」の割合が減少しています。



【平成28年度調査】



問 ご本人の年齢についてお教えてください。(〇はひとつ)  
(令和元年12月1日現在の年齢をお答えください。)

【一般高齢者：問1(2)、事業対象者・要支援認定者：問1(2)】

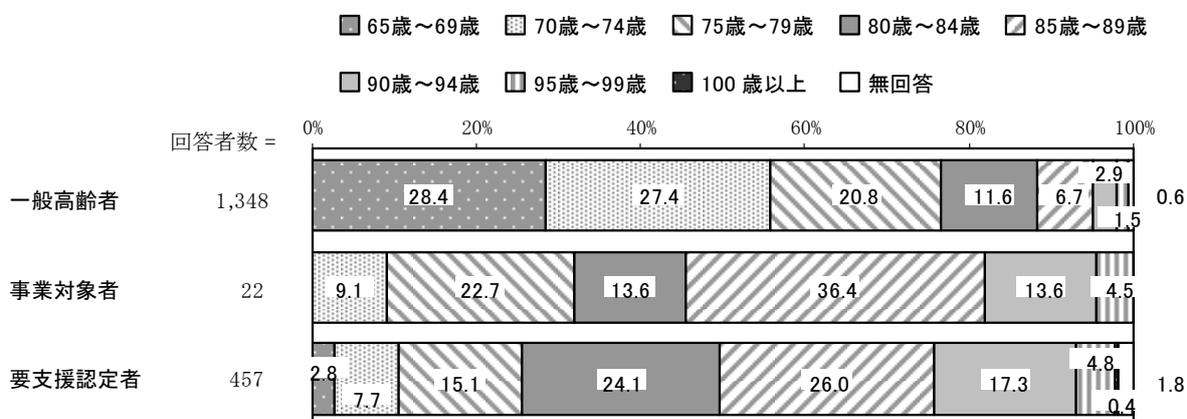
一般高齢者では、「65歳～69歳」の割合が28.4%と最も高く、次いで「70歳～74歳」の割合が27.4%、「75歳～79歳」の割合が20.8%となっています。

事業対象者では、「85歳～89歳」の割合が36.4%と最も高く、次いで「75歳～79歳」の割合が22.7%、「80歳～84歳」、「90歳～94歳」の割合が13.6%となっています。

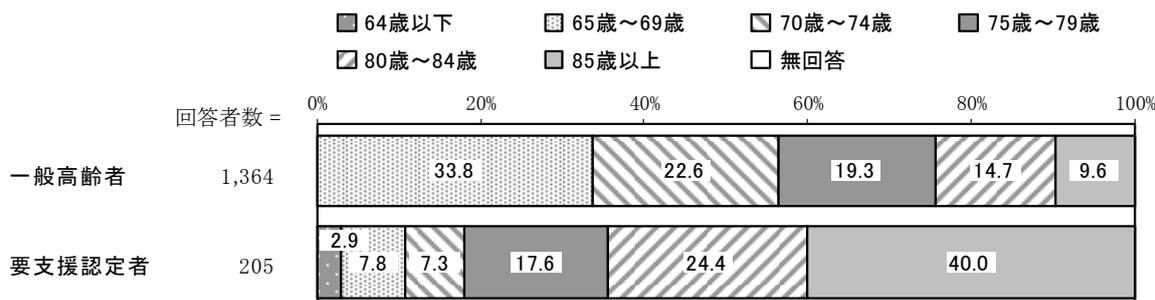
要支援認定者では、「85歳～89歳」の割合が26.0%と最も高く、次いで「80歳～84歳」の割合が24.1%、「90歳～94歳」の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「65歳～69歳」の割合が減少しています。

要支援認定者では、「85歳以上」の割合が増加しています。一方、「65歳～69歳」の割合が減少しています。



【平成28年度調査】



問 ご本人のお住まいの地区はどちらですか。(〇はひとつ)

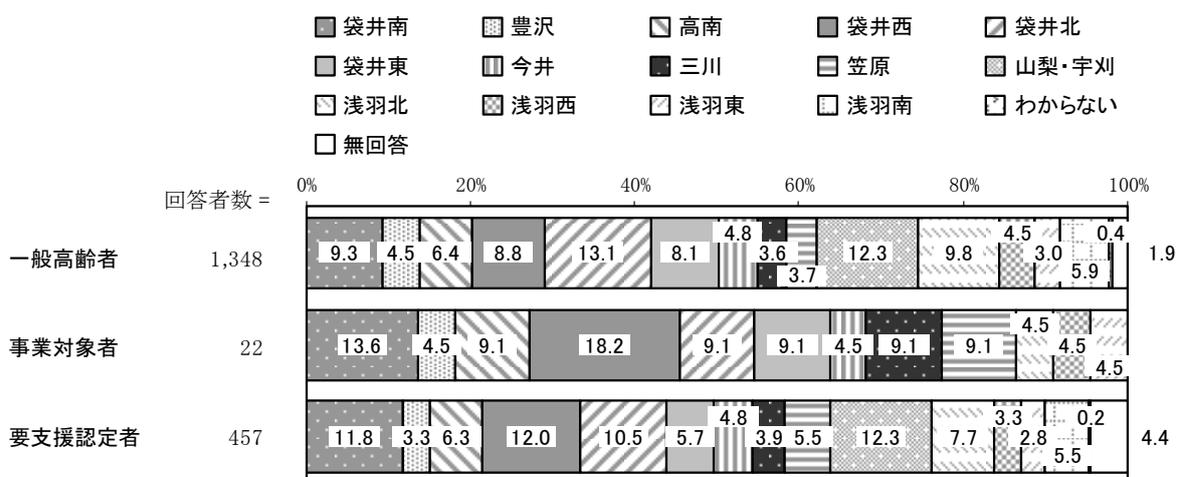
【一般高齢者：問1(3)、事業対象者・要支援認定者：問1(3)】

一般高齢者では、「袋井北」の割合が12.3%と最も高く、次いで「山梨・宇刈」の割合が12.2%となっています。

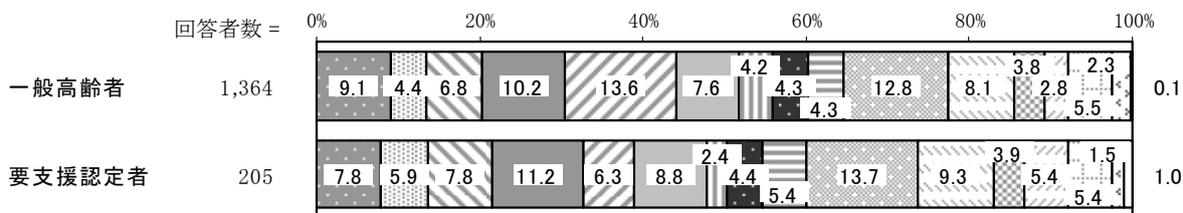
事業対象者では、「袋井西」の割合が18.2%と最も高く、次いで「袋井南」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「袋井西」の割合が11.8%と最も高く、次いで「山梨・宇刈」の割合が11.6%、「袋井南」の割合が10.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



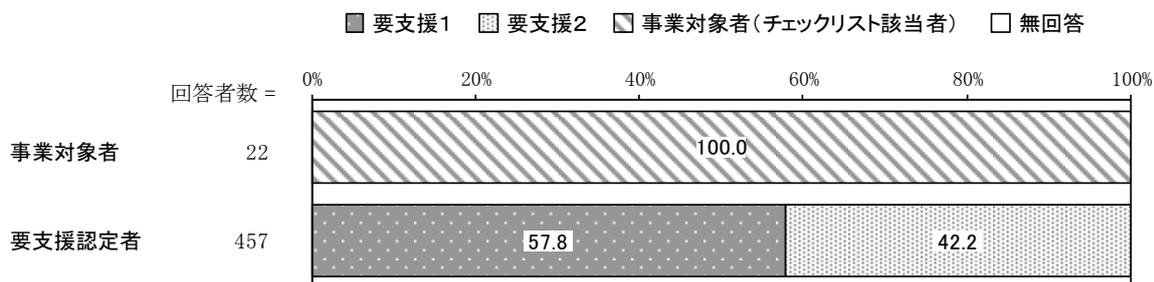
問 現在の要支援認定の状況(要支援度)について教えてください。(〇はひとつ)

要支援度は、介護保険被保険者証に記載してあります。

【事業対象者・要支援認定者：問1(4)】

事業対象者では、「事業対象者(チェックリスト該当者)」の割合が100.0%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「要支援1」の割合が57.8%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が42.2%となっています。



問 家族構成をお教えてください。(〇はひとつ)

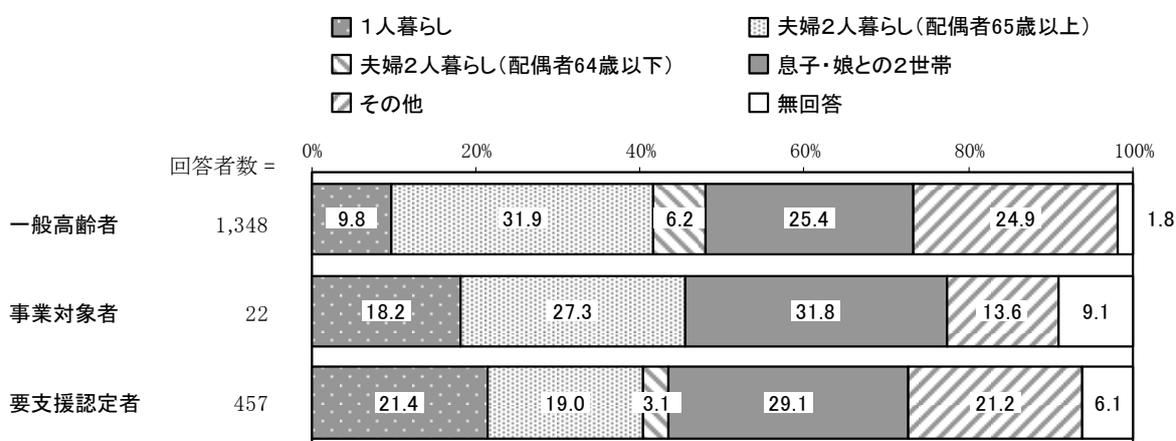
【一般高齢者：問1(4)、事業対象者・要支援認定者：問1(5)】

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が31.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が25.4%となっています。

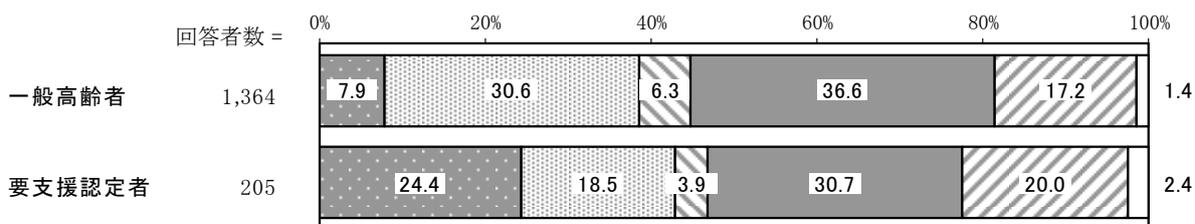
事業対象者では、「息子・娘との2世帯」の割合が31.8%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が27.3%、「1人暮らし」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「息子・娘との2世帯」の割合が29.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が21.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が19.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「息子・娘との2世帯」の割合が減少しています。要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



<一般高齢者>

【年齢別、居住地区別】

年齢別でみると、70歳以上で年齢が低くなるにつれ「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、85歳～89歳で「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、豊沢、高南、浅羽南で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が、浅羽東で「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分	回答者数 (件)	1人暮らし	65歳以上 夫婦2人暮らし (配偶者)	64歳以下 夫婦2人暮らし (配偶者)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答	
全体	1348 100.0	132 9.8	430 31.9	84 6.2	343 25.4	335 24.9	24 1.8	
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	42 11.0	103 26.9	40 10.4	93 24.3	102 26.6	3 0.8
	70歳～74歳	370 100.0	28 7.6	152 41.1	17 4.6	87 23.5	85 23.0	1 0.3
	75歳～79歳	281 100.0	27 9.6	101 35.9	12 4.3	70 24.9	66 23.5	5 1.8
	80歳～84歳	157 100.0	20 12.7	46 29.3	12 7.6	40 25.5	36 22.9	3 1.9
	85歳～89歳	90 100.0	11 12.2	16 17.8	3 3.3	37 41.1	20 22.2	3 3.3
	90歳～94歳	39 100.0	1 2.6	8 20.5	—	11 28.2	17 43.6	2 5.1
	95歳～99歳	20 100.0	3 15.0	2 10.0	—	5 25.0	9 45.0	1 5.0
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
居住地区別	袋井南	126 100.0	10 7.9	38 30.2	3 2.4	33 26.2	40 31.7	2 1.6
	豊沢	60 100.0	8 13.3	26 43.3	5 8.3	13 21.7	8 13.3	—
	高南	86 100.0	10 11.6	37 43.0	7 8.1	14 16.3	18 20.9	—
	袋井西	118 100.0	14 11.9	44 37.3	7 5.9	27 22.9	24 20.3	2 1.7
	袋井北	177 100.0	23 13.0	50 28.2	11 6.2	46 26.0	46 26.0	1 0.6
	袋井東	109 100.0	8 7.3	34 31.2	3 2.8	32 29.4	28 25.7	4 3.7
	今井	65 100.0	4 6.2	18 27.7	6 9.2	14 21.5	21 32.3	2 3.1
	三川	48 100.0	5 10.4	10 20.8	2 4.2	16 33.3	14 29.2	1 2.1
	笠原	50 100.0	2 4.0	13 26.0	3 6.0	16 32.0	16 32.0	—
	山梨・宇刈	166 100.0	19 11.4	48 28.9	9 5.4	41 24.7	47 28.3	2 1.2
	浅羽北	132 100.0	13 9.8	45 34.1	8 6.1	33 25.0	33 25.0	—
	浅羽西	60 100.0	5 8.3	19 31.7	3 5.0	18 30.0	14 23.3	1 1.7
	浅羽東	41 100.0	1 2.4	11 26.8	8 19.5	11 26.8	9 22.0	1 2.4
	浅羽南	80 100.0	7 8.8	32 40.0	7 8.8	24 30.0	10 12.5	—
	わからない	5 100.0	— —	1 20.0	— —	1 20.0	3 60.0	— —

問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇はひとつ)

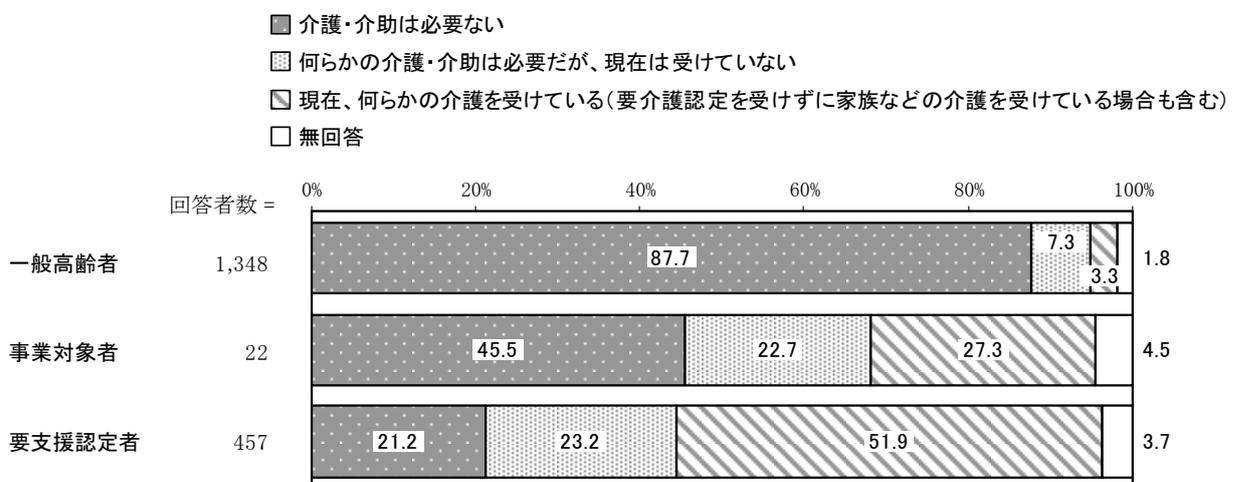
【一般高齢者：問1(5)、事業対象者・要支援認定者：問1(6)】

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が87.7%と最も高くなっています。

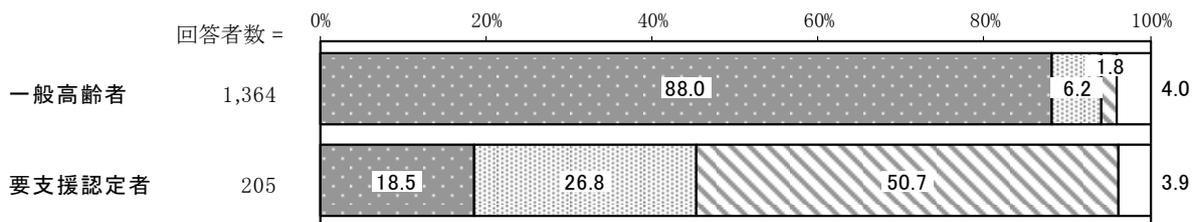
事業対象者では、「介護・介助は必要ない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が27.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が51.9%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が23.2%、「介護・介助は必要ない」の割合が21.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 事業対象者・要支援認定者の問1(6)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答された方にお伺いします。

介護、介助が必要になった主な原因について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

【事業対象者・要支援認定者：問1(7)】

事業対象者では、「高齢による衰弱」の割合が36.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が27.3%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「心臓病」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「高齢による衰弱」の割合が29.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が25.7%、「心臓病」の割合が15.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
事業対象者	11	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	—	9.1	—	27.3	18.2	36.4	9.1	—	—
要支援認定者	343	13.1	15.5	5.5	6.7	13.1	3.8	4.1	11.1	7.9	25.7	11.4	29.4	10.5	0.9	5.5

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援認定者	159	15.7	12.6	1.9	6.9	12.6	3.1	5.7	7.5	9.4	33.3	8.2	26.4	14.5	0.6	2.5

<事業対象者・要支援認定者>

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「呼吸器の病気(肺炎等)」「認知症(アルツハイマー病等)」「糖尿病」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
男性	124	19.4	17.7	4.8	9.7	9.7	9.7	4.8	21.0	8.1	14.5	11.3	29.0	10.5	—	6.5
女性	236	8.5	14.8	4.7	4.7	14.4	2.5	4.7	7.2	7.6	30.9	10.2	33.1	10.6	0.8	5.1

<事業対象者・要支援認定者>

【性別、年齢別、介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「呼吸器の病気(肺炎等)」「認知症(アルツハイマー病等)」「糖尿病」の割合が高くなっています。また、女性で「骨折・転倒」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。また、65歳～69歳で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の割合が高くなっています。

介護度別でみると、他に比べ、事業対象者で「認知症(アルツハイマー病等)」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数(件)、下段 構成比(%)

区分	回答者数(件)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	391 100.0	51 13.0	58 14.8	21 5.4	25 6.4	50 12.8	18 4.6	17 4.3	43 11.0	28 7.2	98 25.1	45 11.5	119 30.4	39 10.0	3 0.8	24 6.1	
性別	男性	124 100.0	24 19.4	22 17.7	6 4.8	12 9.7	12 9.7	6 4.8	26 21.0	10 8.1	18 14.5	14 11.3	36 29.0	13 10.5	—	8 6.5	
	女性	236 100.0	20 8.5	35 14.8	11 4.7	11 4.7	34 14.4	6 2.5	11 4.7	17 7.2	18 7.6	73 30.9	24 10.2	78 33.1	25 10.6	2 0.8	12 5.1
年齢別	65歳～69歳	10 100.0	5 50.0	—	—	—	—	1 10.0	3 30.0	—	1 10.0	—	1 10.0	3 30.0	—	—	
	70歳～74歳	30 100.0	7 23.3	3 10.0	1 3.3	1 3.3	3 10.0	4 13.3	5 16.7	2 6.7	3 10.0	3 10.0	—	7 23.3	—	3 10.0	
	75歳～79歳	65 100.0	8 12.3	7 10.8	4 6.2	5 7.7	13 20.0	3 4.6	4 6.2	7 10.8	5 7.7	16 24.6	11 16.9	9 13.8	9 13.8	—	3 4.6
	80歳～84歳	92 100.0	14 15.2	19 20.7	7 7.6	6 6.5	17 18.5	4 4.3	3 3.3	17 18.5	8 8.7	26 28.3	16 17.4	34 37.0	3 3.3	2 2.2	4 4.3
	85歳～89歳	103 100.0	8 7.8	17 16.5	6 5.8	8 7.8	11 10.7	7 6.8	2 1.9	7 6.8	8 7.8	25 24.3	10 9.7	31 30.1	11 10.7	1 1.0	9 8.7
	90歳～94歳	64 100.0	9 14.1	8 12.5	1 1.6	4 6.3	4 6.3	1 1.6	1 1.6	3 4.7	3 4.7	18 28.1	2 3.1	33 51.6	4 6.3	—	4 6.3
	95歳～99歳	21 100.0	—	4 19.0	1 4.8	—	4 19.0	—	—	—	2 9.5	7 33.3	2 9.5	9 42.9	2 9.5	—	—
	100歳以上	1 100.0	—	—	—	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—	1 100.0	—	—	—
介護度別	要支援1	182 100.0	25 13.7	30 16.5	8 4.4	14 7.7	25 13.7	9 4.9	7 3.8	21 11.5	12 6.6	44 24.2	17 9.3	53 29.1	20 11.0	—	12 6.6
	要支援2	161 100.0	20 12.4	23 14.3	11 6.8	9 5.6	20 12.4	4 2.5	7 4.3	17 10.6	15 9.3	44 27.3	22 13.7	48 29.8	16 9.9	3 1.9	7 4.3
	事業対象者	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	—	1 9.1	—	3 27.3	2 18.2	4 36.4	1 9.1	—	—

問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

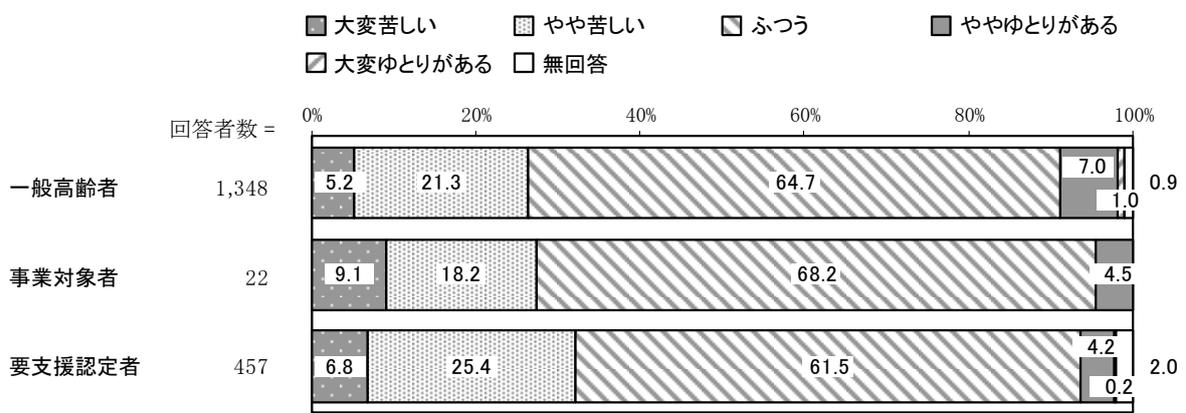
【一般高齢者：問1(6)、事業対象者・要支援認定者：問1(8)】

一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が26.5%、「ふつう」の割合が64.7%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が8.0%となっています。

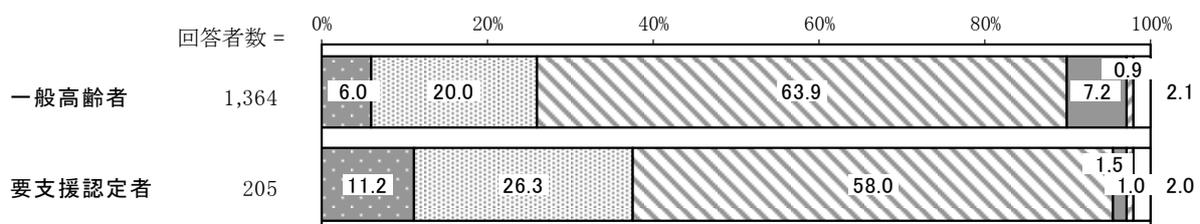
事業対象者では、“苦しい”の割合が27.3%、「ふつう」の割合が68.2%、“ゆとりがある”の割合が4.5%となっています。

要支援認定者では、“苦しい”の割合が32.2%、「ふつう」の割合が61.5%、“ゆとりがある”の割合が4.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



## (2) からだを動かすことについて

問 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

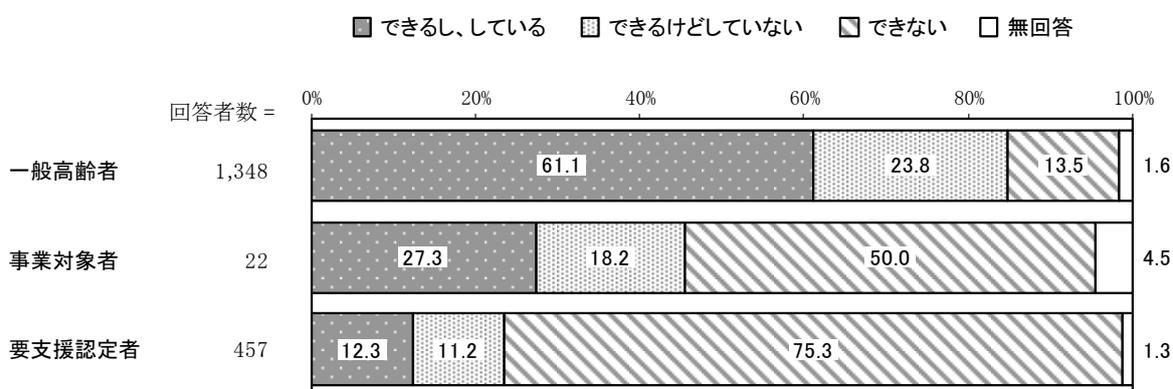
【一般高齢者：問2(1)、事業対象者・要支援認定者：問2(1)】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が61.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.8%、「できない」の割合が13.5%となっています。

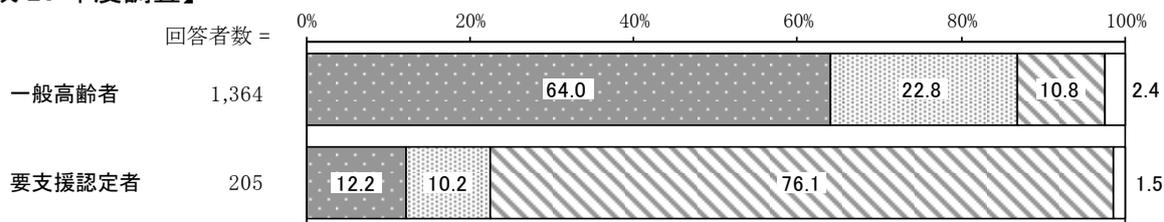
事業対象者では、「できない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が27.3%、「できるけどしていない」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が75.3%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が12.3%、「できるけどしていない」の割合が11.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



問 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

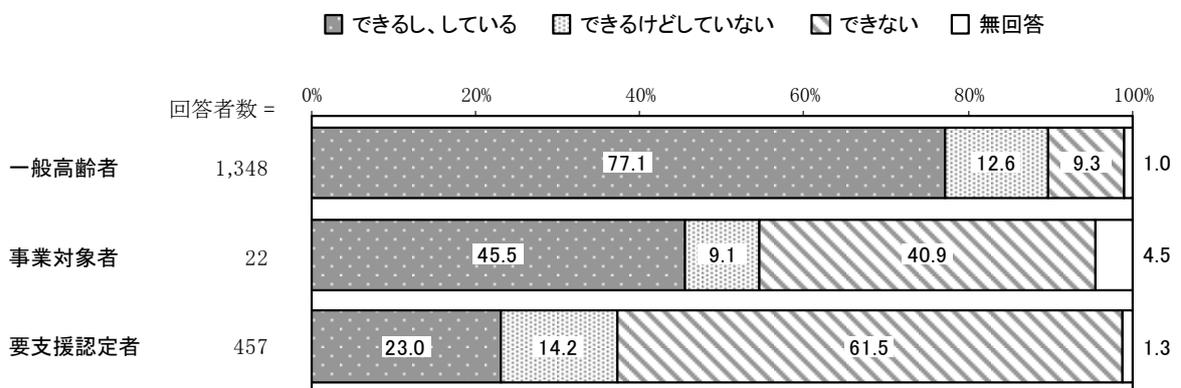
【一般高齢者：問2(2)、事業対象者・要支援認定者：問2(2)】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が77.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.6%となっています。

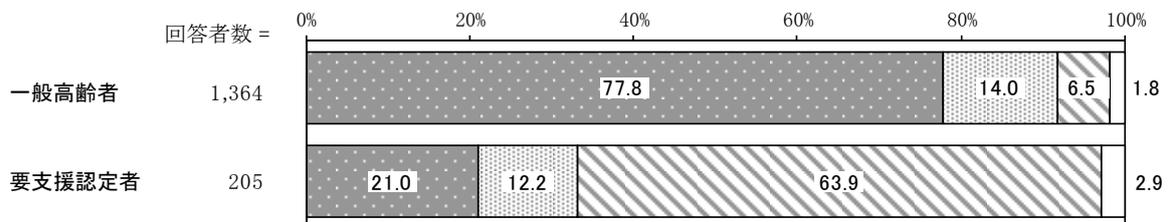
事業対象者では、「できるし、している」の割合が45.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が40.9%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が23.0%、「できるけどしていない」の割合が14.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 15 分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

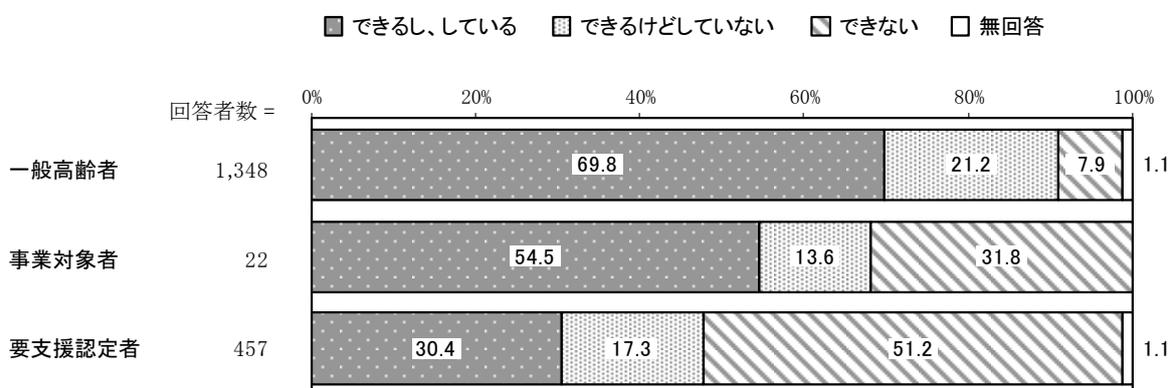
【一般高齢者：問2(3)、事業対象者・要支援認定者：問2(3)】

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が69.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が21.2%となっています。

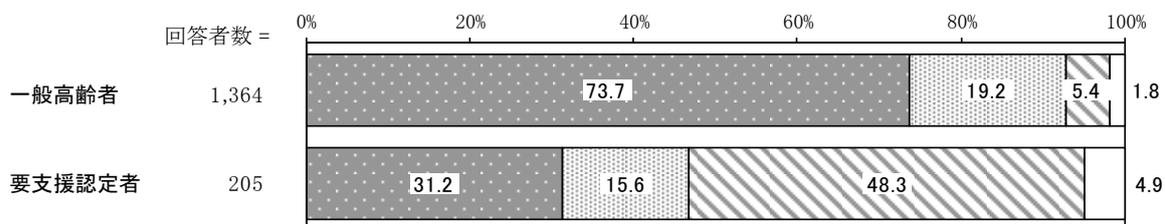
事業対象者では、「できるし、している」の割合が54.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が31.8%、「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が30.4%、「できるけどしていない」の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問2(4)、事業対象者・要支援認定者：問2(4)】

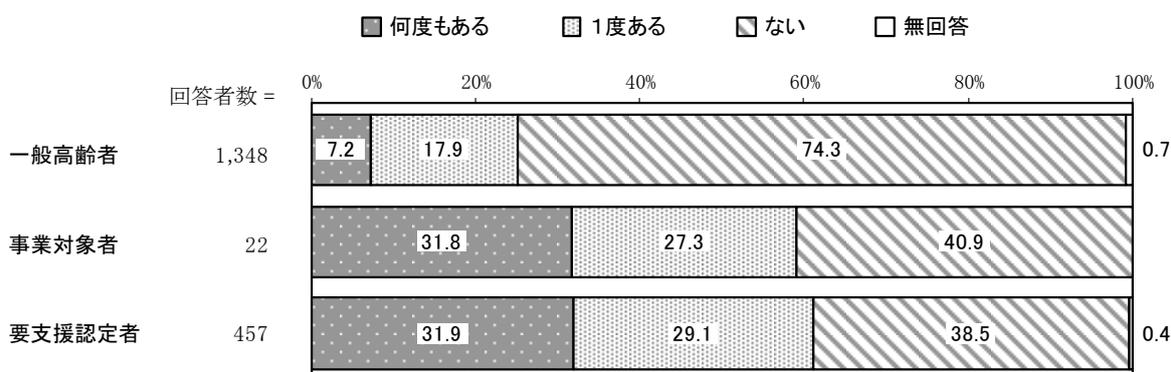
一般高齢者では、「ない」の割合が74.3%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が17.9%となっています。

事業対象者では、「ない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「何度もある」の割合が31.8%、「1度ある」の割合が27.3%となっています。

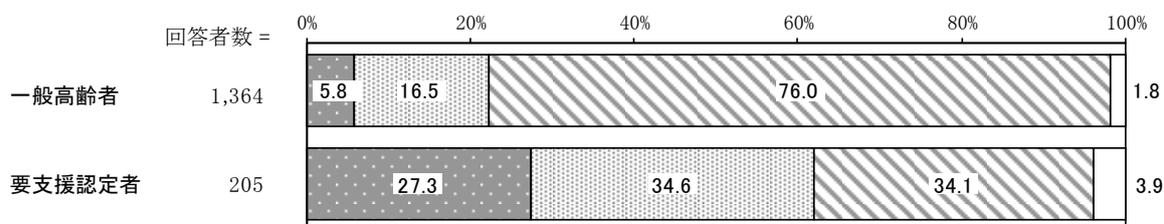
要支援認定者では、「ない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「何度もある」の割合が31.9%、「1度ある」の割合が29.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、「1度ある」の割合が減少しています。



【平成28年度調査】

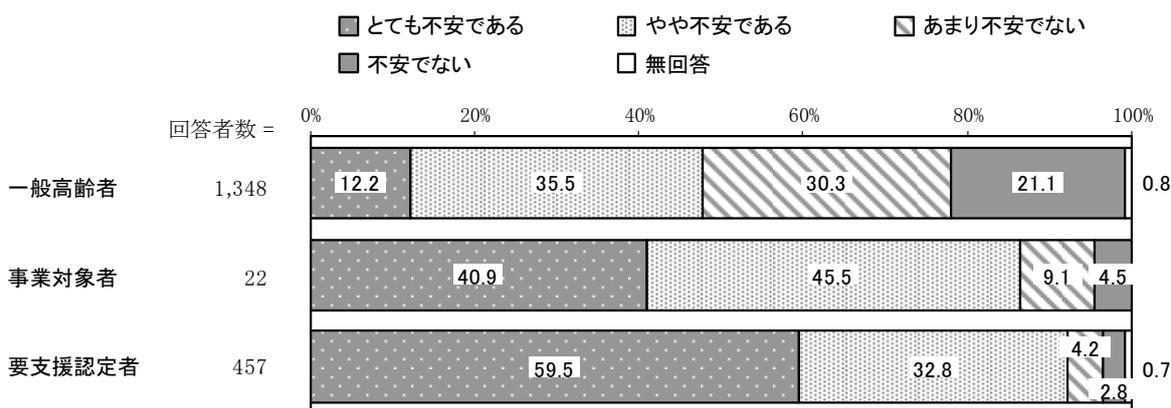


問 転倒に対する不安は大きいですか。(〇はひとつ)

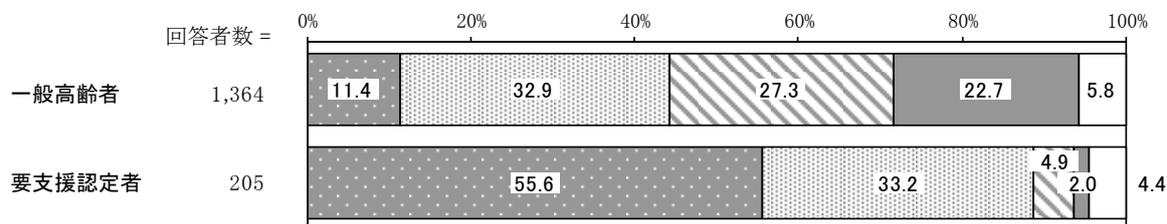
【一般高齢者：問2(5)、事業対象者・要支援認定者：問2(5)】

一般高齢者では、「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が47.7%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”の割合が51.4%となっています。

事業対象者では、“不安である”の割合が86.4%、“不安でない”の割合が13.6%となっています。要支援認定者では、“不安である”の割合が92.3%、“不安でない”の割合が7.0%となっています。平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

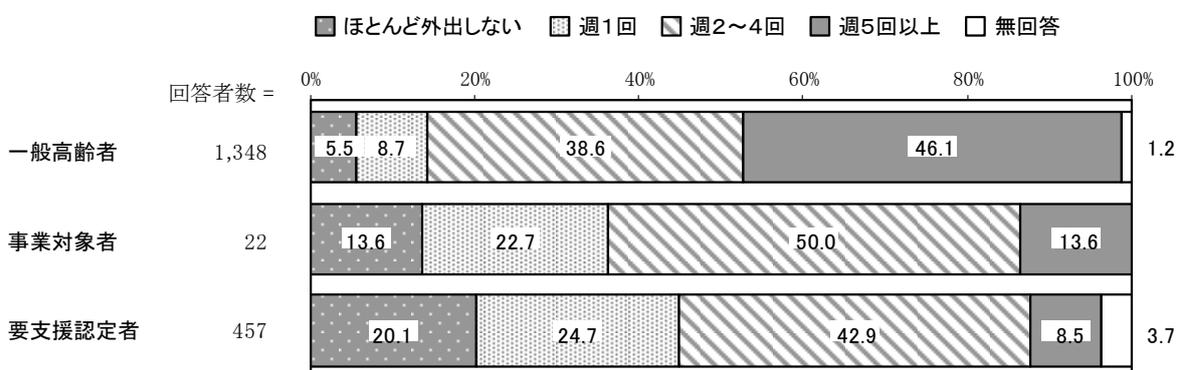
【一般高齢者：問2(6)、事業対象者・要支援認定者：問2(6)】

一般高齢者では、「週5回以上」の割合が46.1%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が38.6%となっています。

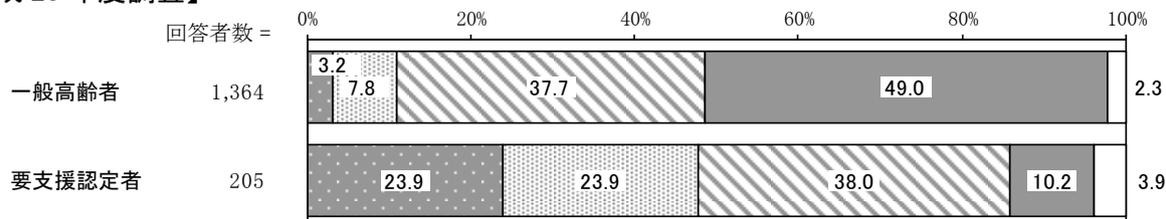
事業対象者では、「週2～4回」の割合が50.0%と最も高く、次いで「週1回」の割合が22.7%、「ほとんど外出しない」、「週5回以上」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「週2～4回」の割合が42.9%と最も高く、次いで「週1回」の割合が24.7%、「ほとんど外出しない」の割合が20.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



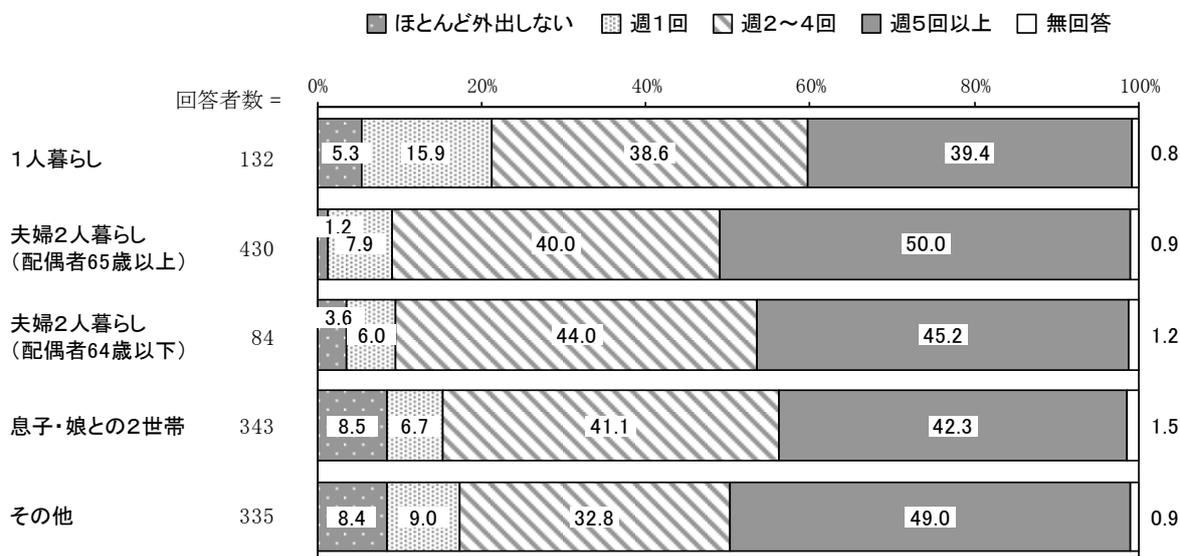
【平成28年度調査】



<一般高齢者>

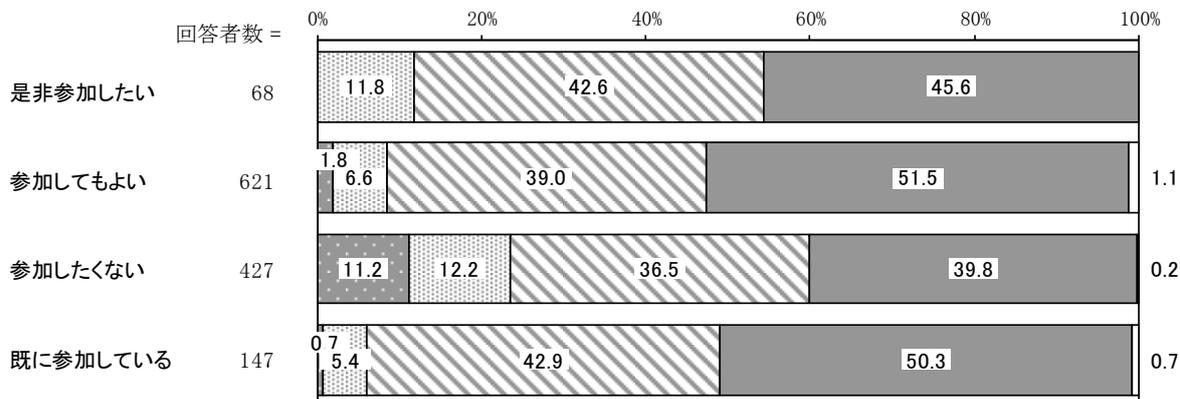
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「週5回以上」の割合が高くなっています。また、1人暮らしで「週1回」の割合が高くなっています。



【地域活動への参加意向別】

地域活動への参加意向別で見ると、他に比べ、参加したくないで「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週5回以上」の割合が高くなっています。また、女性で「週2～4回」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「週5回以上」の割合が高くなっています。また、他に比べ、90歳以上で「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分		回答者数 (件)	ほとんど 外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		1348 100.0	74 5.5	117 8.7	520 38.6	621 46.1	16 1.2
性別	男性	629 100.0	30 4.8	44 7.0	215 34.2	331 52.6	9 1.4
	女性	706 100.0	43 6.1	68 9.6	303 42.9	285 40.4	7 1.0
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	8 2.1	17 4.4	138 36.0	220 57.4	— —
	70歳～74歳	370 100.0	11 3.0	24 6.5	148 40.0	183 49.5	4 1.1
	75歳～79歳	281 100.0	12 4.3	21 7.5	113 40.2	130 46.3	5 1.8
	80歳～84歳	157 100.0	10 6.4	19 12.1	67 42.7	56 35.7	5 3.2
	85歳～89歳	90 100.0	9 10.0	21 23.3	39 43.3	21 23.3	— —
	90歳～94歳	39 100.0	16 41.0	8 20.5	8 20.5	5 12.8	2 5.1
	95歳～99歳	20 100.0	8 40.0	4 20.0	5 25.0	3 15.0	— —
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【居住地区別、家族構成別】

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽北で「週5回以上」の割合が、豊沢で「週1回」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「週5回以上」の割合が、1人暮らしで「週1回」の割合が高くなっています。

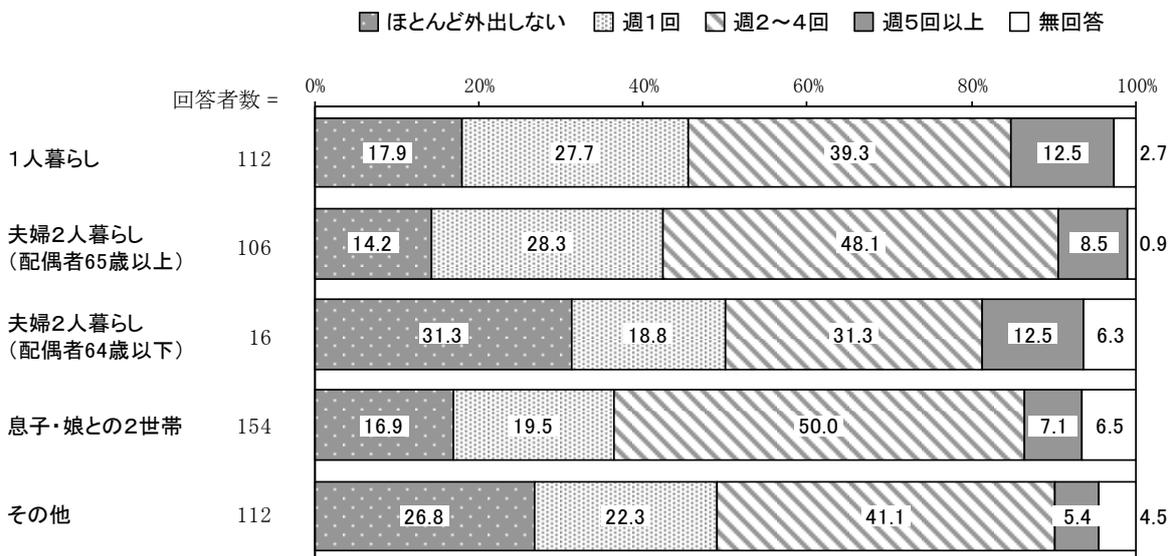
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分		回答者数 (件)	ほとんど 外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		1348 100.0	74 5.5	117 8.7	520 38.6	621 46.1	16 1.2
居住地区別	袋井南	126 100.0	9 7.1	9 7.1	45 35.7	62 49.2	1 0.8
	豊沢	60 100.0	3 5.0	10 16.7	17 28.3	29 48.3	1 1.7
	高南	86 100.0	2 2.3	5 5.8	37 43.0	42 48.8	— —
	袋井西	118 100.0	8 6.8	10 8.5	44 37.3	53 44.9	3 2.5
	袋井北	177 100.0	13 7.3	18 10.2	69 39.0	75 42.4	2 1.1
	袋井東	109 100.0	6 5.5	11 10.1	48 44.0	42 38.5	2 1.8
	今井	65 100.0	5 7.7	4 6.2	27 41.5	29 44.6	— —
	三川	48 100.0	2 4.2	3 6.3	21 43.8	21 43.8	1 2.1
	笠原	50 100.0	3 6.0	5 10.0	22 44.0	20 40.0	— —
	山梨・宇刈	166 100.0	10 6.0	11 6.6	67 40.4	77 46.4	1 0.6
	浅羽北	132 100.0	6 4.5	5 3.8	46 34.8	74 56.1	1 0.8
	浅羽西	60 100.0	— —	6 10.0	25 41.7	27 45.0	2 3.3
	浅羽東	41 100.0	2 4.9	3 7.3	13 31.7	22 53.7	1 2.4
	浅羽南	80 100.0	5 6.3	7 8.8	30 37.5	37 46.3	1 1.3
	わからない	5 100.0	— —	— —	3 60.0	2 40.0	— —
家族構成別	1人暮らし	132 100.0	7 5.3	21 15.9	51 38.6	52 39.4	1 0.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	430 100.0	5 1.2	34 7.9	172 40.0	215 50.0	4 0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	84 100.0	3 3.6	5 6.0	37 44.0	38 45.2	1 1.2
	息子・娘との2世帯	343 100.0	29 8.5	23 6.7	141 41.1	145 42.3	5 1.5
	その他	335 100.0	28 8.4	30 9.0	110 32.8	164 49.0	3 0.9

<事業対象者・要支援認定者>

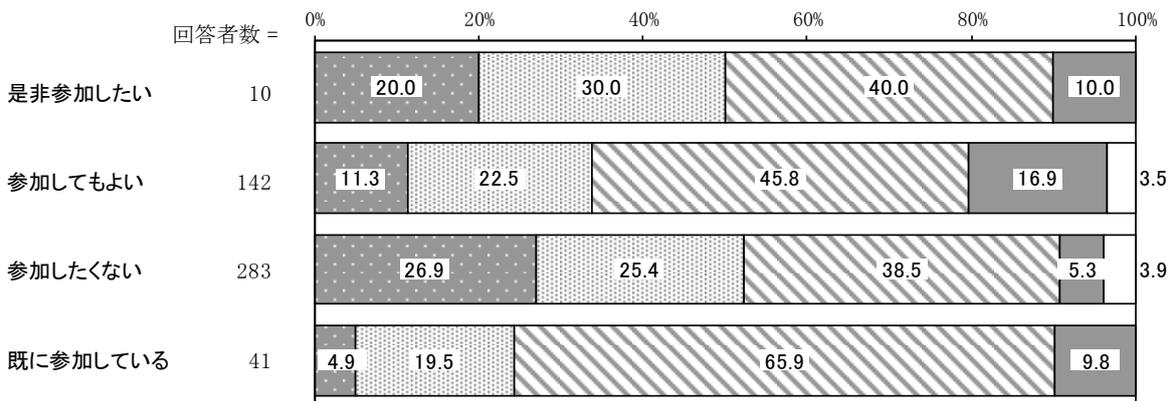
【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、息子・娘との2世帯で「週2～4回」の割合が高くなっています。また、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「週1回」の割合が、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



【地域活動への参加意向別】

地域活動への参加意向別で見ると、他に比べ、既に参加しているで「週2～4回」の割合が、是非参加したいで「週1回」の割合が高くなっています。また、参加したくないで「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。

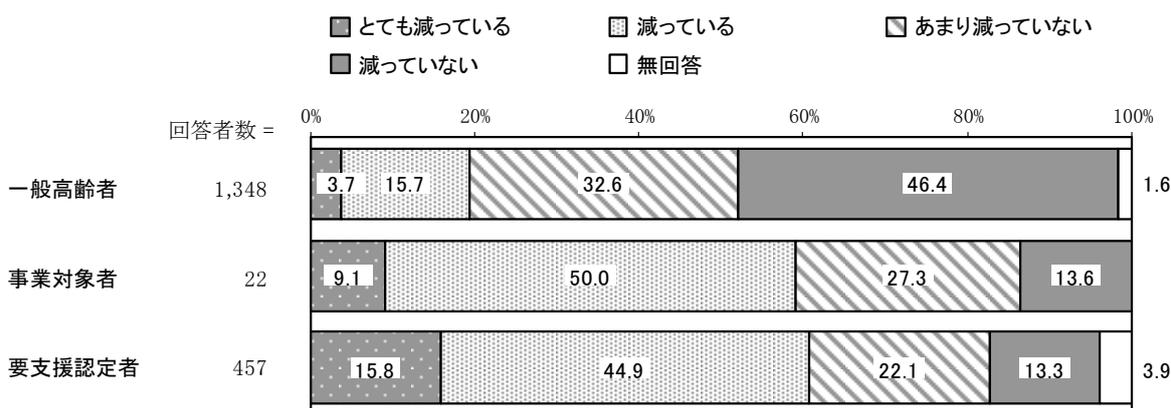


問 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)

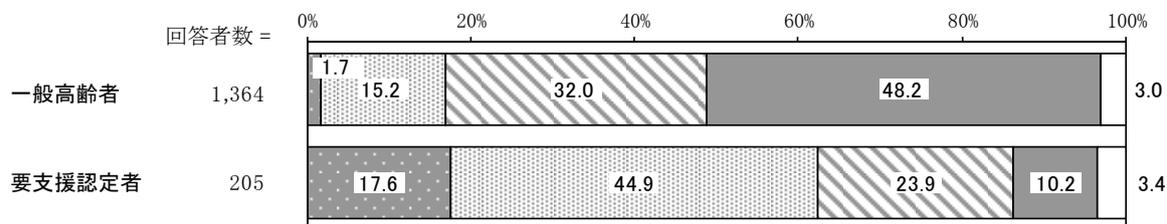
【一般高齢者：問2(7)、事業対象者・要支援認定者：問2(7)】

一般高齢者では、「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”の割合が19.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”の割合が79.0%となっています。

事業対象者では、“減っている”の割合が59.1%、“減っていない”の割合が40.9%となっています。要支援認定者では、“減っている”の割合が60.7%、“減っていない”の割合が35.4%となっています。平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 どのような用件で外出していますか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問2(8)、事業対象者・要支援認定者：問2(8)】

一般高齢者では、「買い物」の割合が81.7%と最も高く、次いで「医療機関への通院」の割合が61.8%、「散歩」の割合が42.6%となっています。

事業対象者では、「医療機関への通院」の割合が81.8%と最も高く、次いで「市が実施する介護予防教室等」の割合が50.0%、「買い物」の割合が45.5%となっています。

要支援認定者では、「医療機関への通院」の割合が81.6%と最も高く、次いで「買い物」の割合が54.0%、「市が実施する介護予防教室等」の割合が45.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「医療機関への通院」の割合が増加しています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、「医療機関への通院」の割合が増加しています。一方、「散歩」「外出はほとんどしない」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	買い物	仕事(農作業などを含む)	医療機関への通院	市が実施する介護予防教室等	外食	旅行	散歩	通いの場(サロン・居場所・しぞくかでん伝体操など)への参加	学習活動(コミュニティセンターやカルチャースクールなどでの教養・学習活動)	健康づくり・スポーツ活動	地域活動(自治会、ボランティア等)	友人や子どもの家などへの訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答
一般高齢者	1,348	81.7	42.1	61.8	2.4	31.1	23.3	42.6	13.6	12.5	20.9	17.7	21.9	7.2	0.8	1.1
事業対象者	22	45.5	9.1	81.8	50.0	9.1	9.1	4.5	36.4	31.8	13.6	13.6	18.2	18.2	—	4.5
要支援認定者	457	54.0	7.7	81.6	45.1	5.0	11.8	3.1	23.6	11.8	5.7	4.2	6.3	7.9	3.5	1.8

【平成 28 年度調査】

区分	回答者数(件)	買い物	仕事(農作業などを含む)	医療機関への通院	デイケア・デイサービスの利用	市が実施する介護予防教室等	外食	旅行	散歩	学習活動(コミュニティセンターやカルチャースクールなどでの教養・学習活動)	健康づくり・スポーツ活動	地域活動(自治会、ボランティア等)	友人や子どもの家などへの訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答
一般高齢者	1364	78.2	42.4	48.2	—	2.8	28.0	18.5	45.5	14.7	24.3	19.4	23.5	6.3	0.9	1.9
要支援認定者	205	51.7	6.8	70.7	42.9	3.9	13.7	2.4	33.2	2.9	2.9	7.3	9.8	4.4	10.2	2.9

<事業対象者・要支援認定者>

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「仕事（農作業などを含む）」の割合が高くなっています。  
また、女性で「通いの場への参加」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分		回答者数 (件)	買い物	仕事 (農作業などを含む)	医療機関への通院	デイケア・デイ サービスの利用	市が実施する 介護予防教室等	外食	旅行	散歩
全体		545 100.0	293 53.8	40 7.3	437 80.2	230 42.2	27 5.0	63 11.6	17 3.1	135 24.8
性別	男性	159 100.0	83 52.2	21 13.2	128 80.5	67 42.1	4 2.5	23 14.5	6 3.8	42 26.4
	女性	340 100.0	185 54.4	18 5.3	277 81.5	143 42.1	20 5.9	35 10.3	10 2.9	85 25.0

区分		通いの場への参加	学習活動	健康づくり・ スポーツ活動	地域活動	友人や子ども 家などへの訪問	その他	外出はほとんど しない	無回答
全体		71 13.0	33 6.1	33 6.1	35 6.4	47 8.6	16 2.9	13 2.4	10 1.8
性別	男性	12 7.5	14 8.8	15 9.4	16 10.1	10 6.3	5 3.1	3 1.9	5 3.1
	女性	54 15.9	17 5.0	18 5.3	18 5.3	35 10.3	9 2.6	4 1.2	6 1.8

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「散歩」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、65歳～69歳で「仕事（農作業などを含む）」「医療機関への通院」の割合が、75歳～79歳で「買い物」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	買い物	仕事 (農作業などを含む)	医療機関への通院	デイケア・デイ サービスの利用	市が実施する 介護予防教室等	外食	旅行	散歩
全体	545 100.0	293 53.8	40 7.3	437 80.2	230 42.2	27 5.0	63 11.6	17 3.1	135 24.8
年齢別	65歳～69歳	14 100.0	9 64.3	3 21.4	13 92.9	4 28.6	— —	— —	6 42.9
	70歳～74歳	43 100.0	28 65.1	2 4.7	36 83.7	14 32.6	1 2.3	7 16.3	2 4.7
	75歳～79歳	80 100.0	56 70.0	5 6.3	69 86.3	29 36.3	6 7.5	15 18.8	6 7.5
	80歳～84歳	133 100.0	79 59.4	7 5.3	109 82.0	61 45.9	6 4.5	13 9.8	4 3.0
	85歳～89歳	145 100.0	72 49.7	13 9.0	109 75.2	70 48.3	9 6.2	14 9.7	2 1.4
	90歳～94歳	90 100.0	35 38.9	5 5.6	70 77.8	39 43.3	4 4.4	9 10.0	2 2.2
	95歳～99歳	28 100.0	9 32.1	4 14.3	24 85.7	8 28.6	— —	3 10.7	— —
	100歳以上	2 100.0	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —	— —

区分	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・ スポーツ活動	地域活動	友人や子ども などへの訪問	その他	外出はほとんど しない	無回答
全体	71 13.0	33 6.1	33 6.1	35 6.4	47 8.6	16 2.9	13 2.4	10 1.8
年齢別	65歳～69歳	1 7.1	2 14.3	— —	1 7.1	1 7.1	— —	— —
	70歳～74歳	4 9.3	— —	4 9.3	1 2.3	2 4.7	3 7.0	— 4.7
	75歳～79歳	9 11.3	6 7.5	6 7.5	6 7.5	7 8.8	5 6.3	— 1.3
	80歳～84歳	16 12.0	9 6.8	10 7.5	10 7.5	15 11.3	2 1.5	2 1.5
	85歳～89歳	21 14.5	12 8.3	8 5.5	12 8.3	11 7.6	2 1.4	3 2.1
	90歳～94歳	17 18.9	4 4.4	5 5.6	4 4.4	8 8.9	3 3.3	2 2.2
	95歳～99歳	2 7.1	— —	— —	— —	3 10.7	1 3.6	1 3.6
	100歳以上	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —

### 【居住地区別、介護度別】

居住地区別で見ると、他に比べ、三川で「仕事（農作業などを含む）」「デイケア・デイサービスの利用」の割合が高くなっています。また、笠原で「通いの場への参加」の割合が高くなっています。

介護度別で見ると、他に比べ、要支援1で「買い物」の割合が高くなっています。また、事業対象者で「散歩」「通いの場への参加」「健康づくり・スポーツ活動」「地域活動」「友人や子どもの家などへの訪問」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	買い物	仕事 (農作業などを含む)	医療機関への通院	デイケア・デイサービスの利用	市が実施する 介護予防教室等	外食	旅行	散歩	
全体	545 100.0	293 53.8	40 7.3	437 80.2	230 42.2	27 5.0	63 11.6	17 3.1	135 24.8	
居住地区別	袋井南	62 100.0	38 61.3	3 4.8	54 87.1	27 43.5	5 8.1	11 17.7	2 3.2	16 25.8
	豊沢	17 100.0	6 35.3	— —	12 70.6	8 47.1	— —	1 5.9	— —	5 29.4
	高南	32 100.0	15 46.9	1 3.1	30 93.8	10 31.3	3 9.4	5 15.6	2 6.3	6 18.8
	袋井西	67 100.0	37 55.2	4 6.0	48 71.6	25 37.3	4 6.0	7 10.4	3 4.5	15 22.4
	袋井北	59 100.0	33 55.9	4 6.8	48 81.4	32 54.2	3 5.1	11 18.6	1 1.7	15 25.4
	袋井東	32 100.0	16 50.0	3 9.4	26 81.3	16 50.0	— —	— —	— —	8 25.0
	今井	24 100.0	11 45.8	3 12.5	18 75.0	11 45.8	— —	2 8.3	1 4.2	6 25.0
	三川	22 100.0	12 54.5	5 22.7	18 81.8	16 72.7	3 13.6	2 9.1	1 4.5	9 40.9
	笠原	33 100.0	19 57.6	4 12.1	24 72.7	7 21.2	— —	1 3.0	1 3.0	9 27.3
	山梨・宇刈	66 100.0	36 54.5	2 3.0	53 80.3	26 39.4	2 3.0	8 12.1	3 4.5	18 27.3
	浅羽北	40 100.0	20 50.0	1 2.5	33 82.5	15 37.5	3 7.5	6 15.0	1 2.5	12 30.0
	浅羽西	19 100.0	10 52.6	2 10.5	15 78.9	9 47.4	— —	2 10.5	— —	2 10.5
	浅羽東	17 100.0	10 58.8	— —	15 88.2	10 58.8	1 5.9	3 17.6	— —	3 17.6
	浅羽南	30 100.0	16 53.3	5 16.7	22 73.3	8 26.7	1 3.3	3 10.0	1 3.3	3 10.0
	わからない	1 100.0	— —	— —	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —
	介護度別	要支援1	264 100.0	157 59.5	25 9.5	212 80.3	112 42.4	12 4.5	30 11.4	10 3.8
要支援2		193 100.0	90 46.6	10 5.2	161 83.4	94 48.7	11 5.7	24 12.4	4 2.1	35 18.1
事業対象者		22 100.0	10 45.5	2 9.1	18 81.8	11 50.0	2 9.1	2 9.1	1 4.5	8 36.4

区分	通いの場への参加	学習活動	健康づくり・スポーツ活動	地域活動	友人や子どもなどへの訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答	
全体	71 13.0	33 6.1	33 6.1	35 6.4	47 8.6	16 2.9	13 2.4	10 1.8	
居住地区別	袋井南	13 21.0	5 8.1	4 6.5	6 9.7	7 11.3	4 6.5	2 3.2	— —
	豊沢	2 11.8	— —	1 5.9	— —	1 5.9	1 5.9	— —	2 11.8
	高南	6 18.8	2 6.3	3 9.4	4 12.5	1 3.1	— —	— —	— —
	袋井西	7 10.4	5 7.5	5 7.5	3 4.5	10 14.9	3 4.5	— —	3 4.5
	袋井北	6 10.2	3 5.1	2 3.4	4 6.8	6 10.2	— —	— —	1 1.7
	袋井東	— —	2 6.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	— —	— —	1 3.1
	今井	— —	1 4.2	1 4.2	1 4.2	3 12.5	2 8.3	2 8.3	— —
	三川	1 4.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1	3 13.6	— —	— —	— —
	笠原	10 30.3	4 12.1	1 3.0	2 6.1	4 12.1	1 3.0	1 3.0	— —
	山梨・宇刈	6 9.1	4 6.1	3 4.5	5 7.6	4 6.1	3 4.5	1 1.5	3 4.5
	浅羽北	7 17.5	1 2.5	4 10.0	4 10.0	2 5.0	1 2.5	2 5.0	— —
	浅羽西	— —	— —	— —	1 5.3	1 5.3	— —	— —	2 10.5
	浅羽東	4 23.5	1 5.9	3 17.6	1 5.9	2 11.8	— —	— —	— —
	浅羽南	5 16.7	1 3.3	1 3.3	— —	1 3.3	1 3.3	1 3.3	1 3.3
	わからない	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
介護度別	要支援1	35 13.3	15 5.7	12 4.5	20 7.6	21 8.0	11 4.2	7 2.7	5 1.9
	要支援2	19 9.8	11 5.7	7 3.6	9 4.7	15 7.8	5 2.6	2 1.0	3 1.6
	事業対象者	7 31.8	3 13.6	3 13.6	4 18.2	4 18.2	— —	— —	1 4.5

### (3) 食べることについて

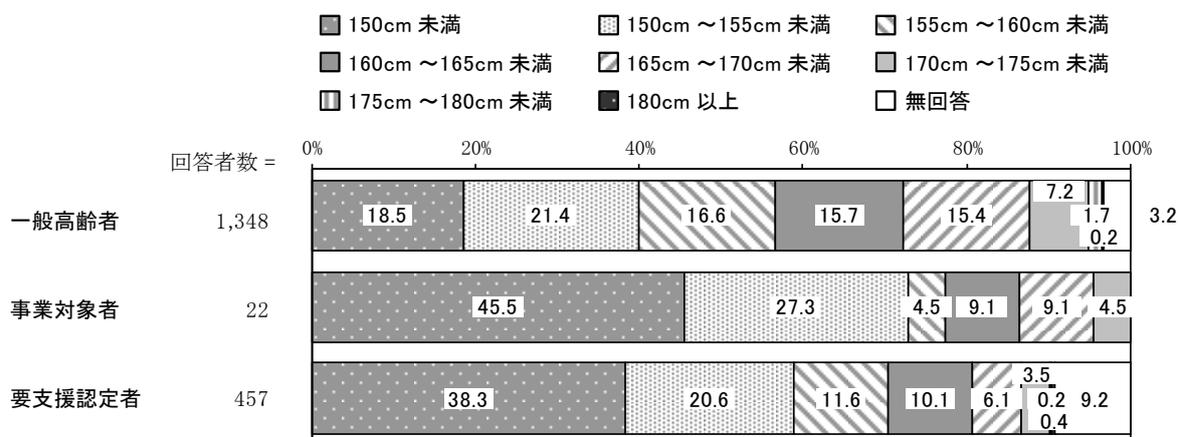
#### 問 身長

【一般高齢者：問3(1)、事業対象者・要支援認定者：問3(1)】

一般高齢者では、「150cm～155cm未満」の割合が21.4%と最も高く、次いで「150cm未満」の割合が18.5%、「155cm～160cm未満」の割合が16.6%となっています。

事業対象者では、「150cm未満」の割合が45.5%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」の割合が27.3%となっています。

要支援認定者では、「150cm未満」の割合が38.3%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」の割合が20.6%、「155cm～160cm未満」の割合が11.6%となっています。



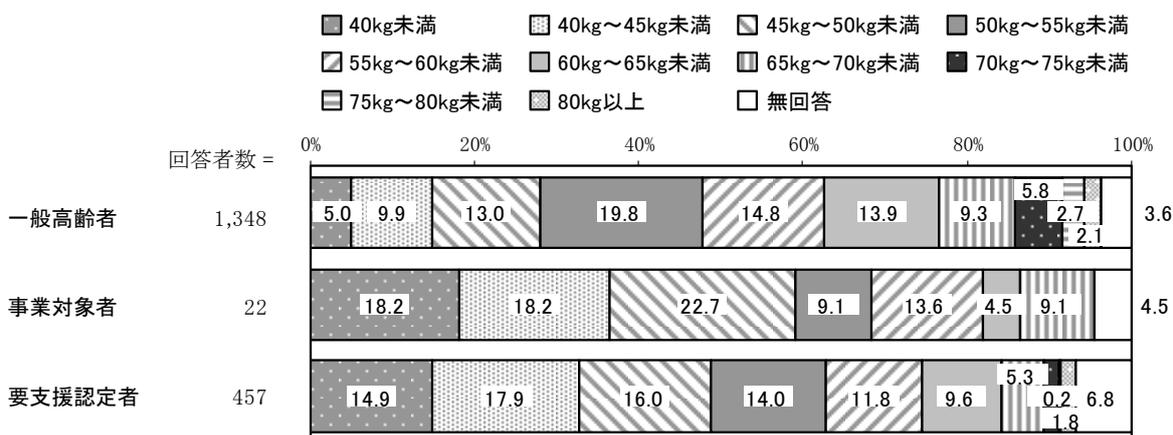
#### 問 体重

【一般高齢者：問3(1)、事業対象者・要支援認定者：問3(1)】

一般高齢者では、「50kg～55kg未満」の割合が19.8%と最も高く、次いで「55kg～60kg未満」の割合が14.8%、「60kg～65kg未満」の割合が13.9%となっています。

事業対象者では、「45kg～50kg未満」の割合が22.7%と最も高く、次いで「40kg未満」、「40kg～45kg未満」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「40kg～45kg未満」の割合が17.9%と最も高く、次いで「45kg～50kg未満」の割合が16.0%、「40kg未満」の割合が14.9%となっています。



## 問 BMI

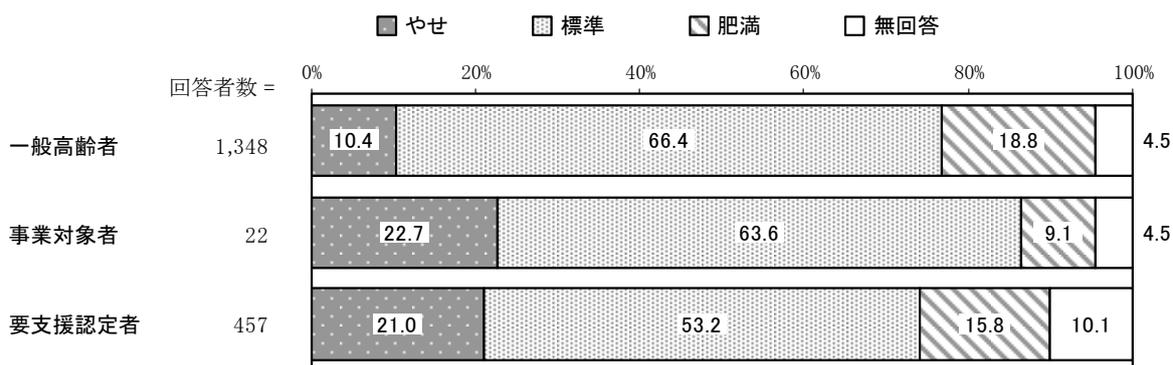
### 【一般高齢者：問3（1）、事業対象者・要支援認定者：問3（1）】

一般高齢者では、「標準」の割合が66.4%と最も高く、次いで「肥満」の割合が18.8%、「やせ」の割合が10.4%となっています。

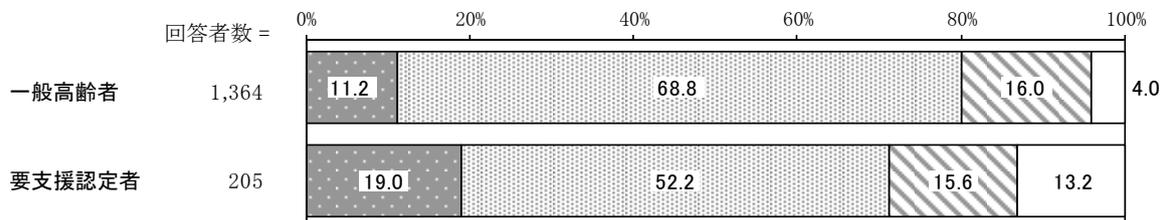
事業対象者では、「標準」の割合が63.6%と最も高く、次いで「やせ」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が53.2%と最も高く、次いで「やせ」の割合が21.0%、「肥満」の割合が15.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



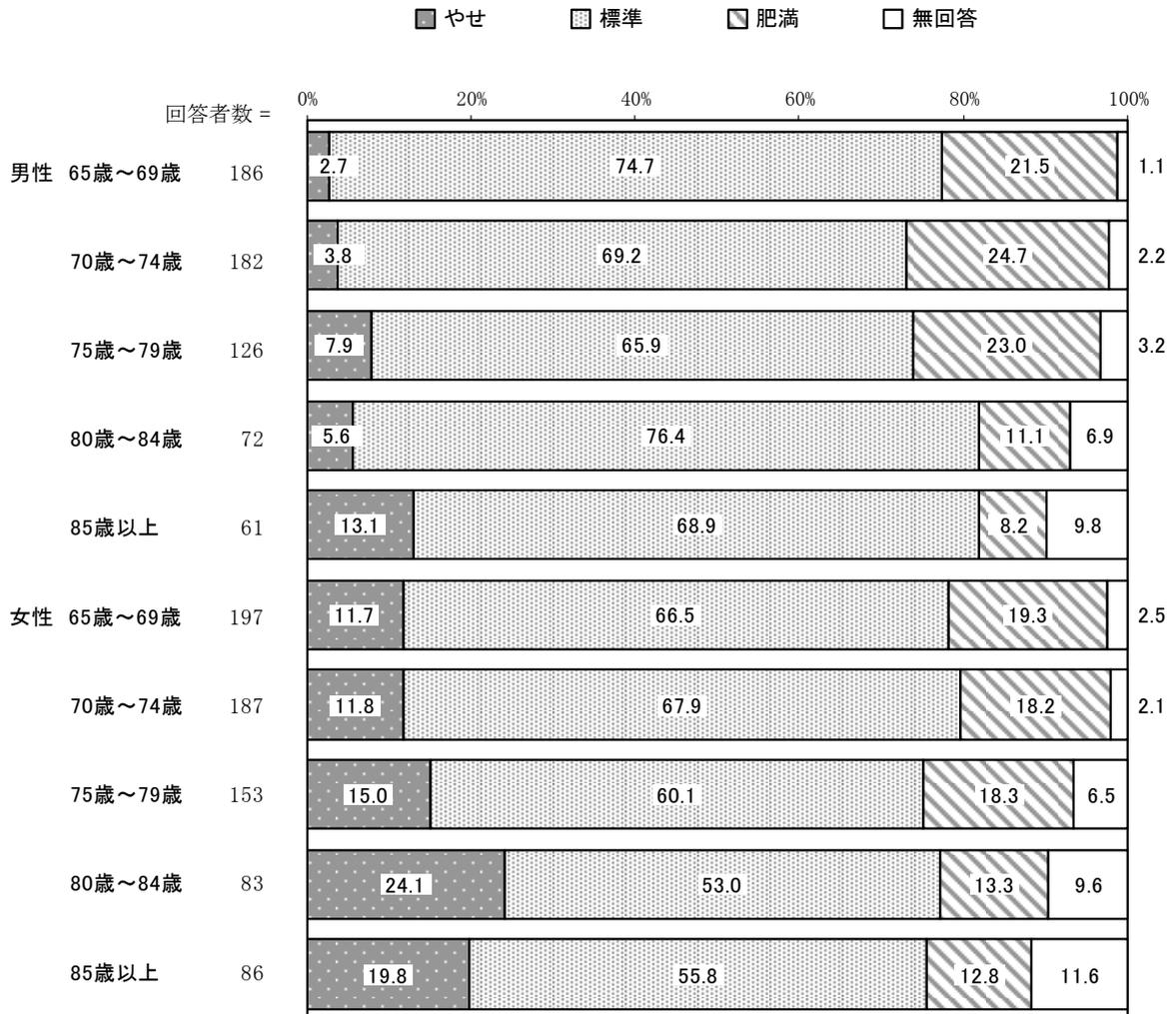
### 【平成28年度調査】



<一般高齢者>

【性・年齢別】

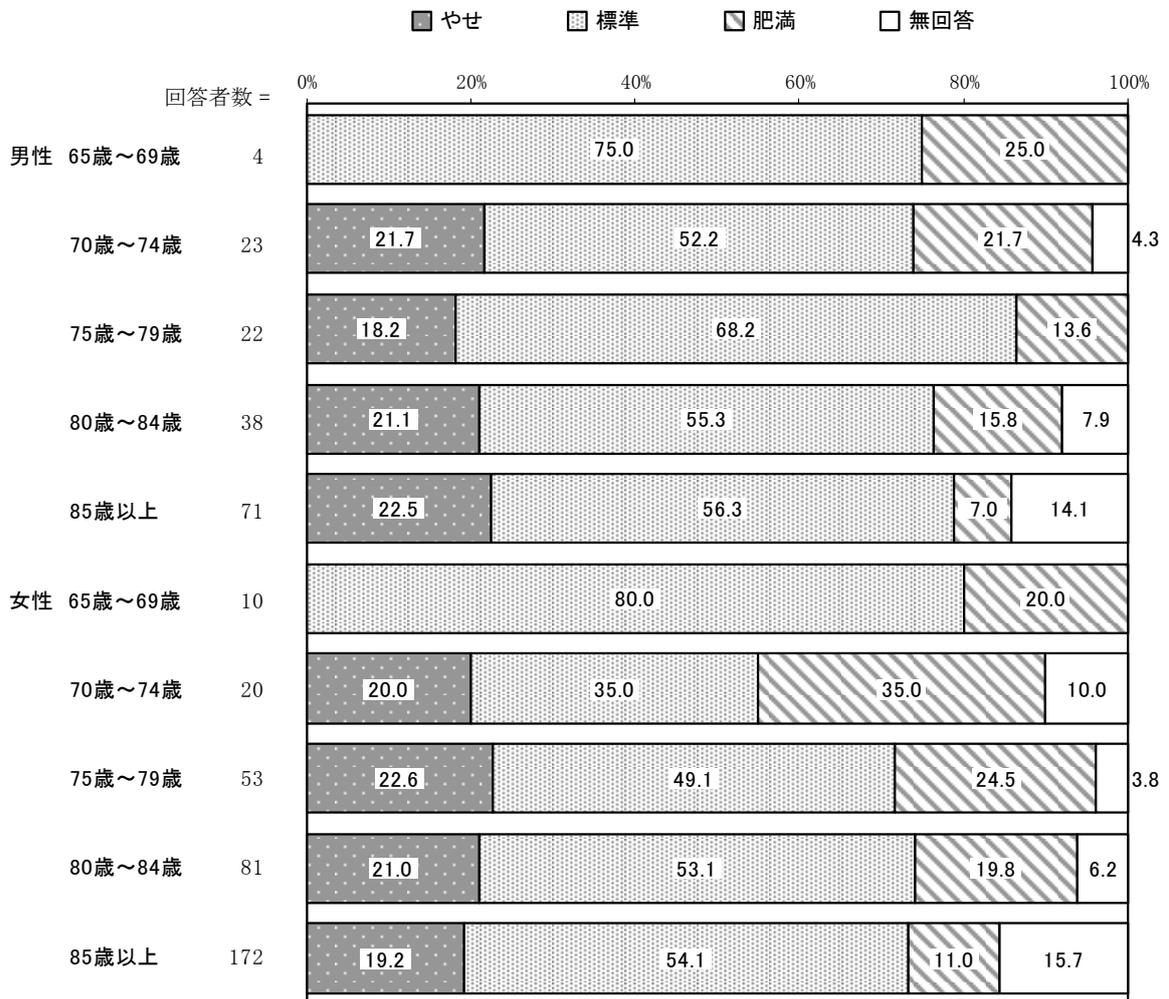
性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の80歳～84歳で「やせ」の割合が、男性の65歳～79歳で「肥満」の割合が高くなっています。



<事業対象者・要支援認定者>

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の70歳～74歳で「肥満」の割合が高くなっています。



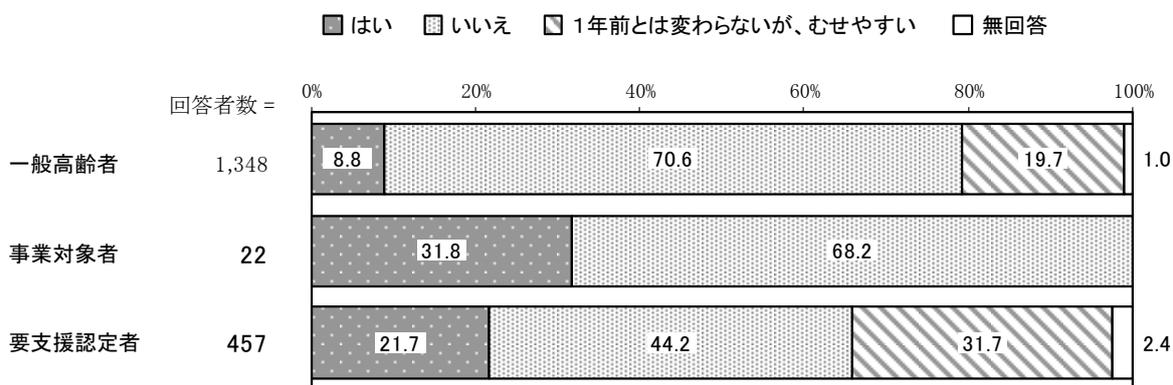
問 1年前に比べ、食べ物や汁物、飲み物でむせることが多くなりましたか。  
(○はひとつ)

【一般高齢者：問3(2)、事業対象者・要支援認定者：問3(2)】

一般高齢者では、「いいえ」の割合が70.6%と最も高く、次いで「1年前とは変わらないが、むせやすい」の割合が19.7%となっています。

事業対象者では、「いいえ」の割合が68.2%と最も高く、次いで「はい」の割合が31.8%となっています。

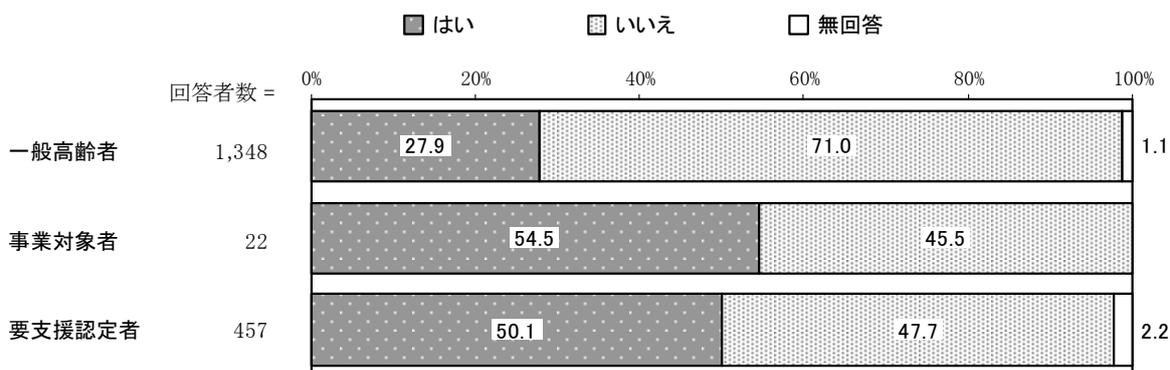
要支援認定者では、「いいえ」の割合が44.2%と最も高く、次いで「1年前とは変わらないが、むせやすい」の割合が31.7%、「はい」の割合が21.7%となっています。



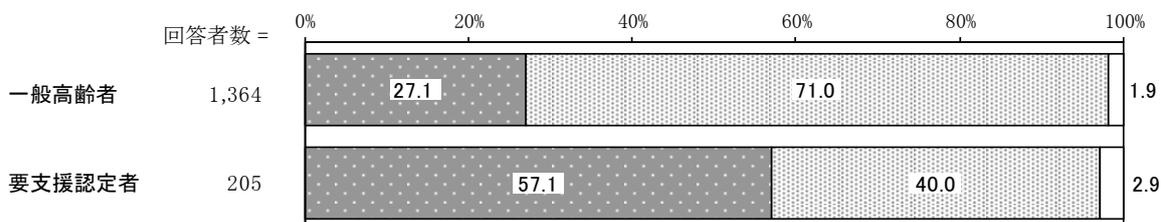
問 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問3(3)、事業対象者・要支援認定者：問3(3)】

一般高齢者では、「はい」の割合が27.9%、「いいえ」の割合が71.0%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が54.5%、「いいえ」の割合が45.5%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が50.1%、「いいえ」の割合が47.7%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

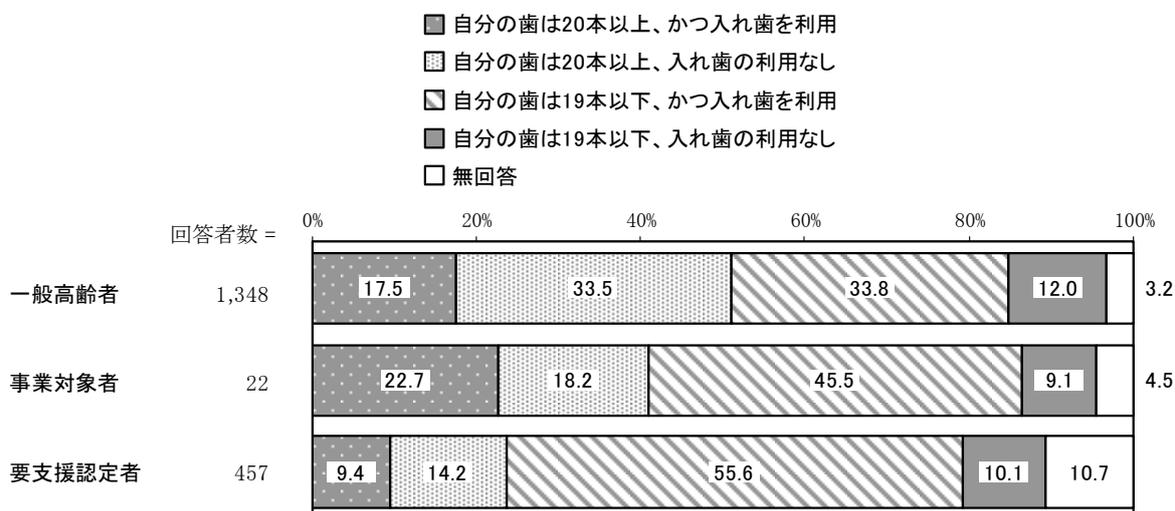
【一般高齢者：問3(4)、事業対象者・要支援認定者：問3(4)】

一般高齢者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が33.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が33.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が17.5%となっています。

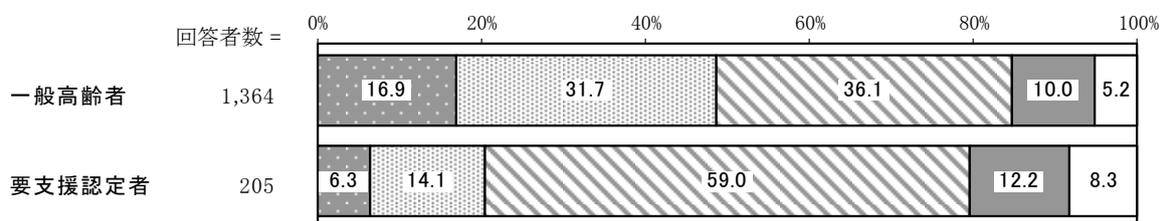
事業対象者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が45.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が22.7%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が55.6%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が14.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が10.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



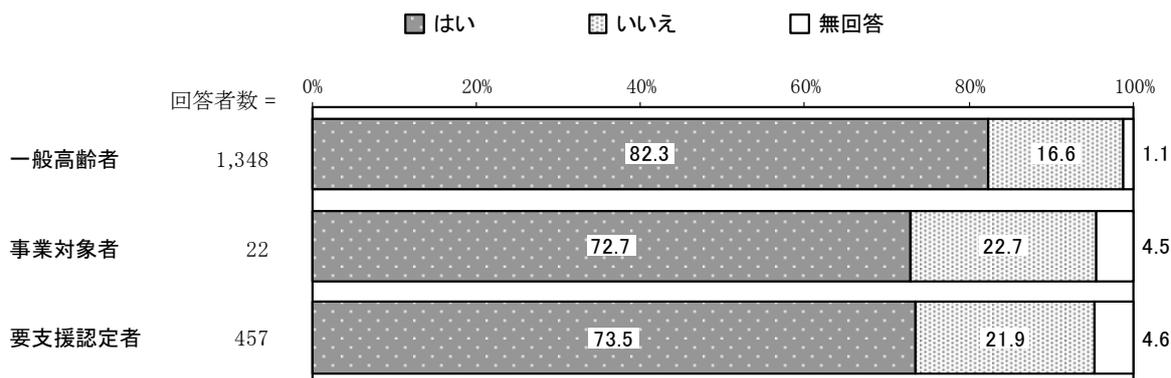
【平成28年度調査】



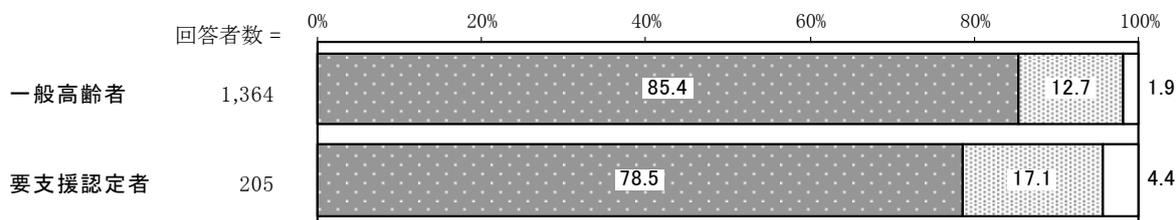
問 歯医者さんのかかりつけ医はいますか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問3(5)、事業対象者・要支援認定者：問3(5)】

一般高齢者では、「はい」の割合が82.3%、「いいえ」の割合が16.6%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が72.7%、「いいえ」の割合が22.7%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が73.5%、「いいえ」の割合が21.9%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。  
 平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、「はい」の割合が減少しています。



【平成28年度調査】



問 症状がなくても定期的に歯の健診を受けていますか。(〇はひとつ)

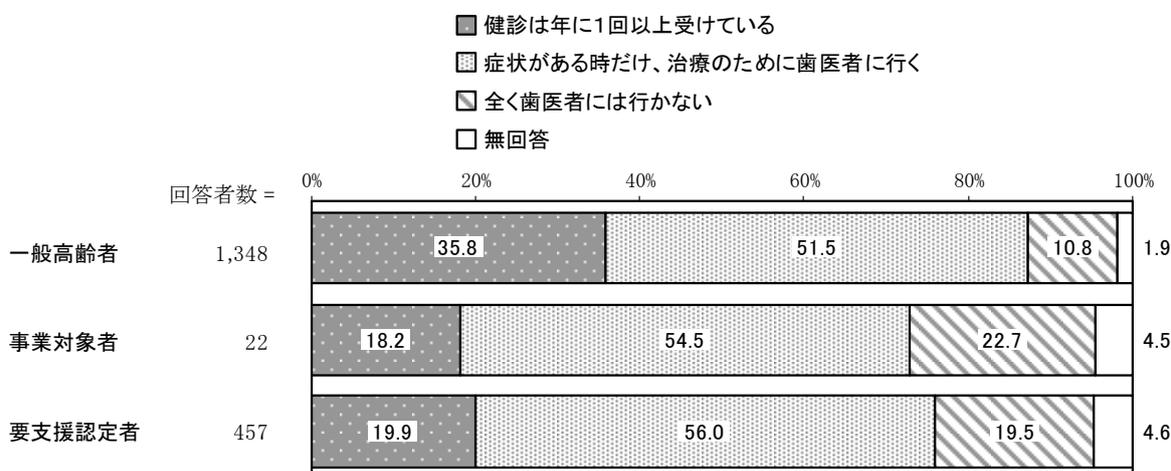
【一般高齢者：問3(6)、事業対象者・要支援認定者：問3(6)】

一般高齢者では、「症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く」の割合が51.5%と最も高く、次いで「健診は年に1回以上受けている」の割合が35.8%、「全く歯医者には行かない」の割合が10.8%となっています。

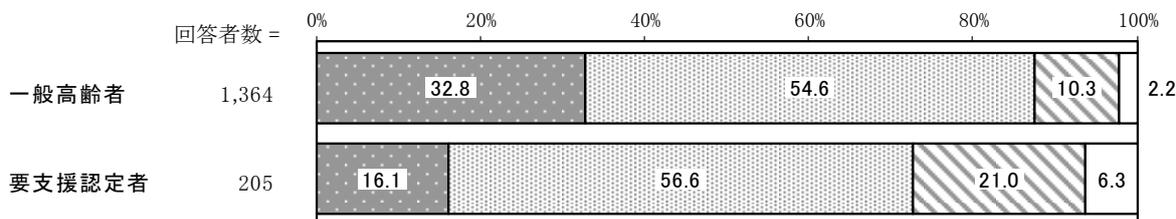
事業対象者では、「症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く」の割合が54.5%と最も高く、次いで「全く歯医者には行かない」の割合が22.7%、「健診は年に1回以上受けている」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く」の割合が56.0%と最も高く、次いで「健診は年に1回以上受けている」の割合が19.9%、「全く歯医者には行かない」の割合が19.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 どなたかと食事をともしる機会がありますか。(〇はひとつ)

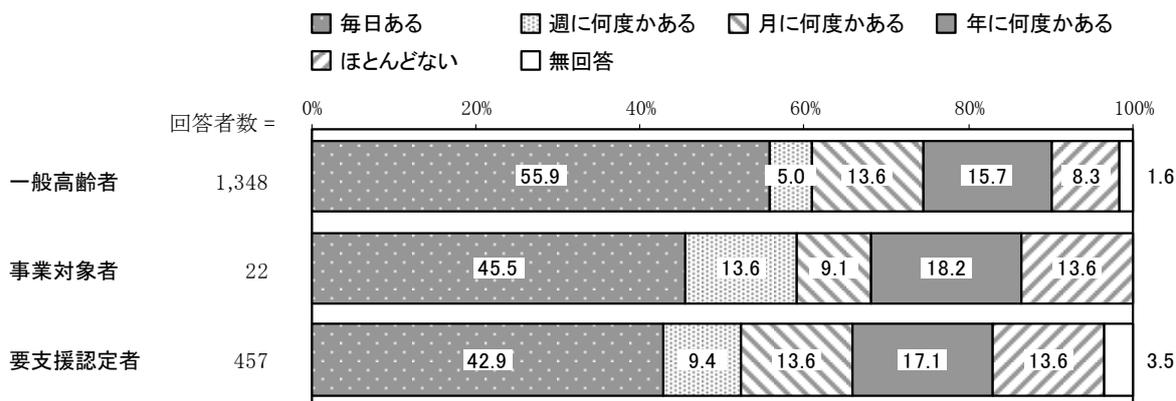
【一般高齢者：問3(7)、事業対象者・要支援認定者：問3(7)】

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が55.9%と最も高く、次いで「年に何度かある」の割合が15.7%、「月に何度かある」の割合が13.6%となっています。

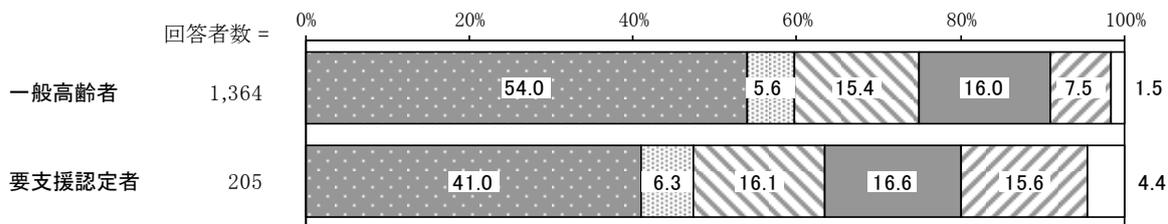
事業対象者では、「毎日ある」の割合が45.5%と最も高く、次いで「年に何度かある」の割合が18.2%、「週に何度かある」、「ほとんどない」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「毎日ある」の割合が42.9%と最も高く、次いで「年に何度かある」の割合が17.1%、「月に何度かある」、「ほとんどない」の割合が13.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】

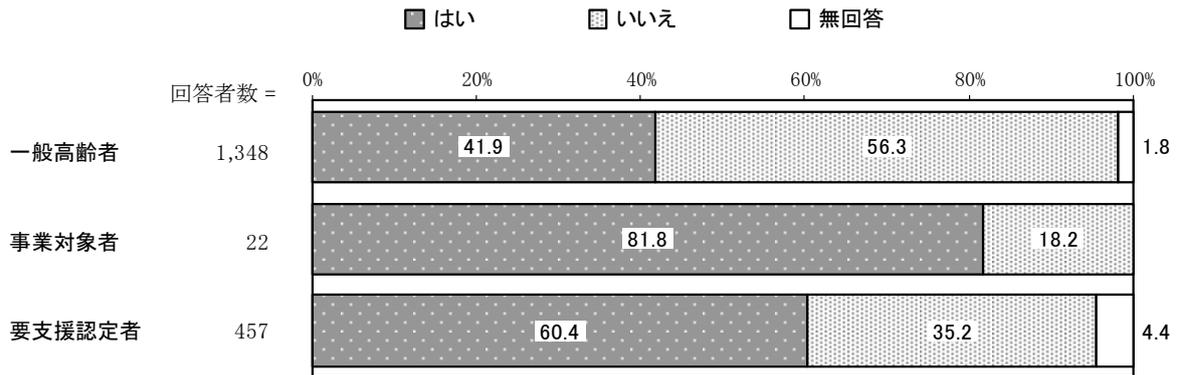


#### (4) 毎日の生活について

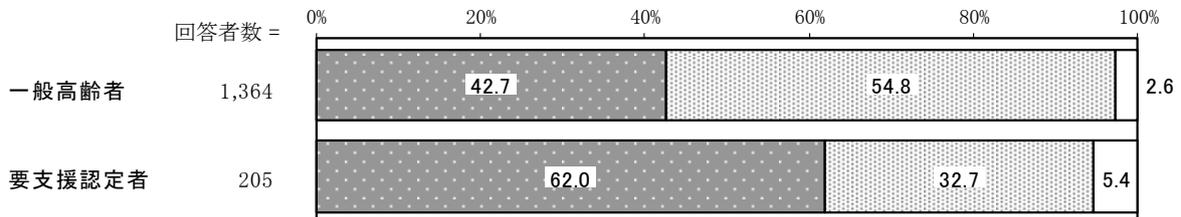
問 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問4(1)、事業対象者・要支援認定者：問4(1)】

一般高齢者では、「はい」の割合が41.9%、「いいえ」の割合が56.3%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が81.8%、「いいえ」の割合が18.2%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が60.4%、「いいえ」の割合が35.2%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



#### 【平成28年度調査】



問 日常生活について、次の①～⑪のそれぞれの項目について、1～3の中からあてはまるものに○をつけてください。(各項目に、○はひとつずつ)

【一般高齢者：問4(2)、事業対象者・要支援認定者：問4(2)】

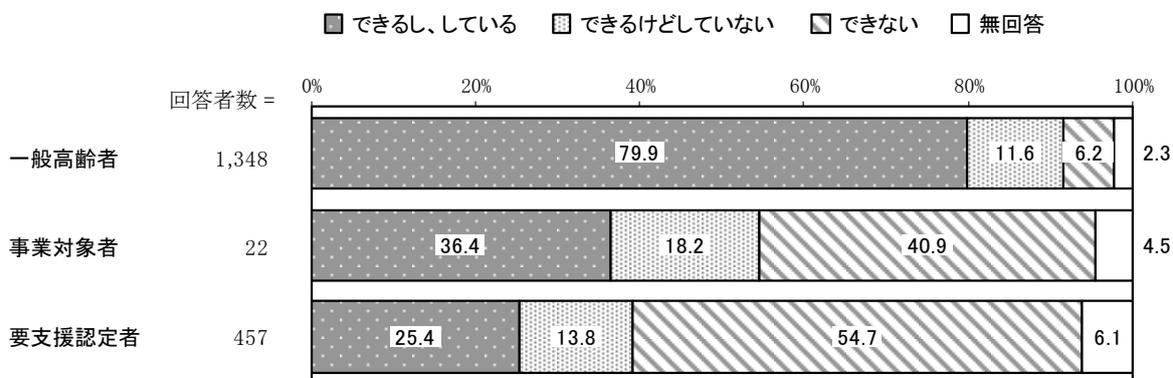
①バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が79.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.6%となっています。

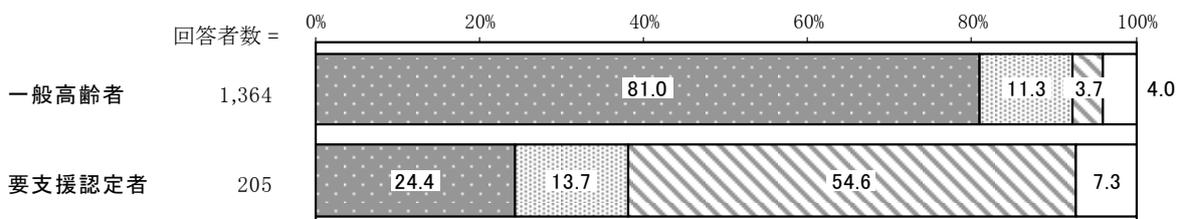
事業対象者では、「できない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が36.4%、「できるけどしていない」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が54.7%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が25.4%、「できるけどしていない」の割合が13.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



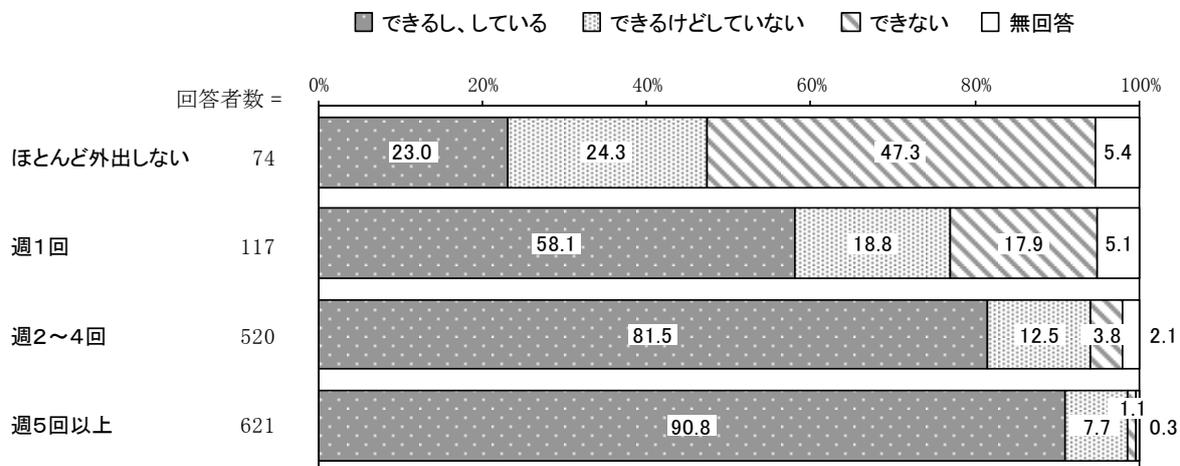
【平成28年度調査】



<一般高齢者>

【外出頻度別】

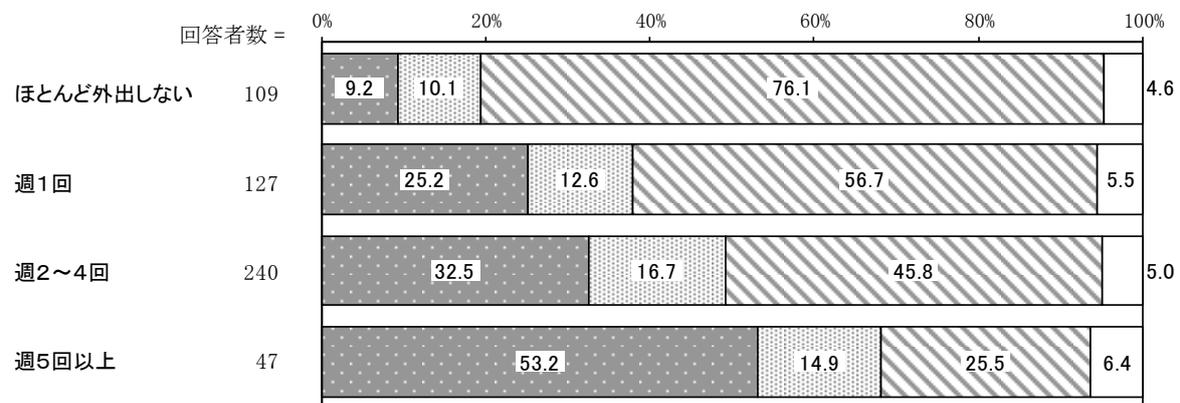
外出頻度別で見ると、外出頻度が高くなるにつれ「できるし、している」の割合が、外出頻度が低くなるにつれ「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



<事業対象者・要支援認定者>

【外出頻度別】

外出頻度別で見ると、外出頻度が高くなるにつれ「できるし、している」の割合が、外出頻度が低くなるにつれ「できない」の割合が高くなっています。



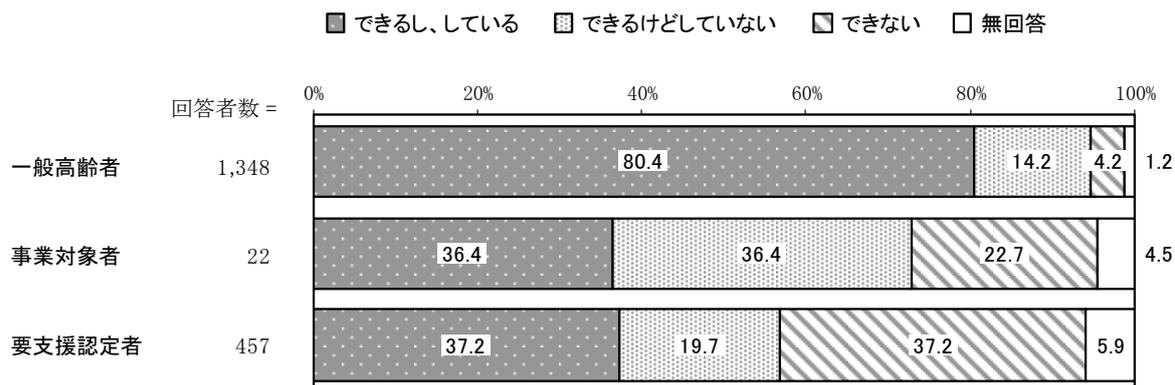
## ②自分で食品・日用品の買物をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が80.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.2%となっています。

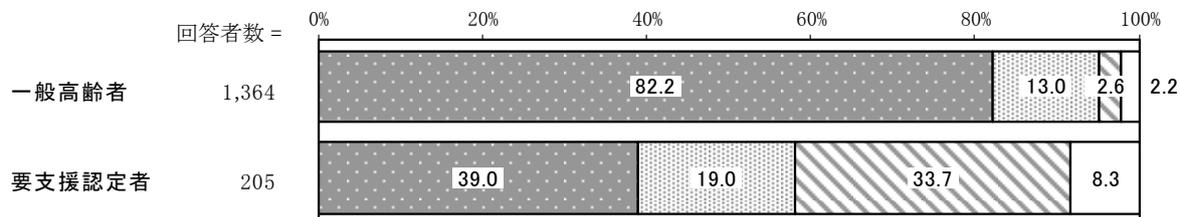
事業対象者では、「できるし、している」、「できるけどしていない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「できない」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」、「できない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



### ③自分で食事の用意をしていますか

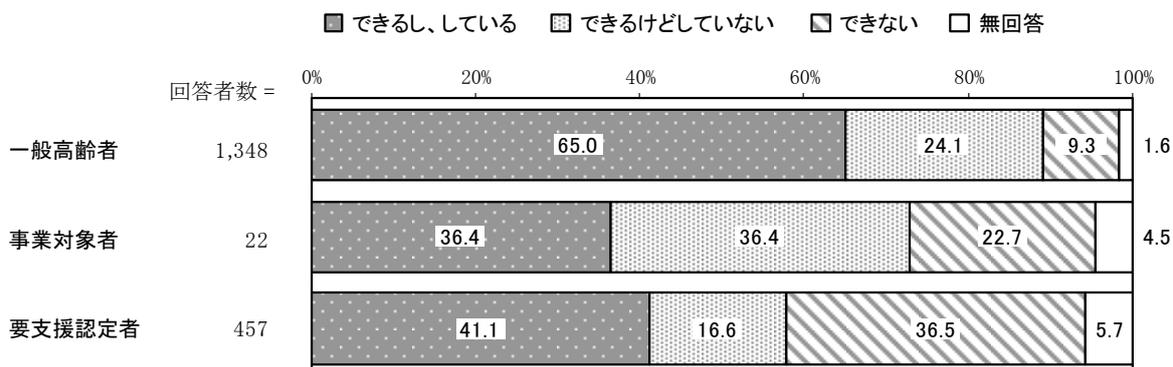
一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 24.1%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」、「できるけどしていない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「できない」の割合が 22.7%となっています。

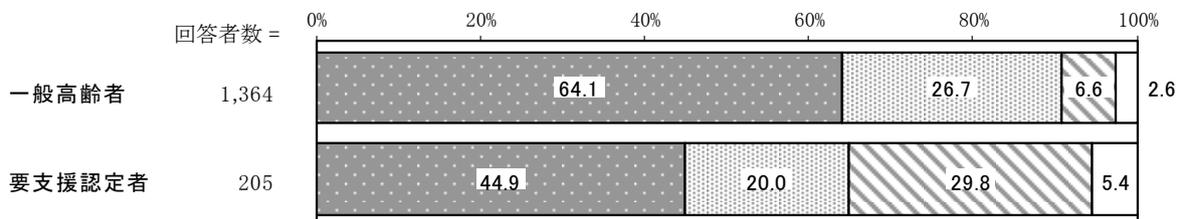
要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「できない」の割合が 36.5%、「できるけどしていない」の割合が 16.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

要支援認定者では、「できない」の割合が増加しています。



### 【平成 28 年度調査】



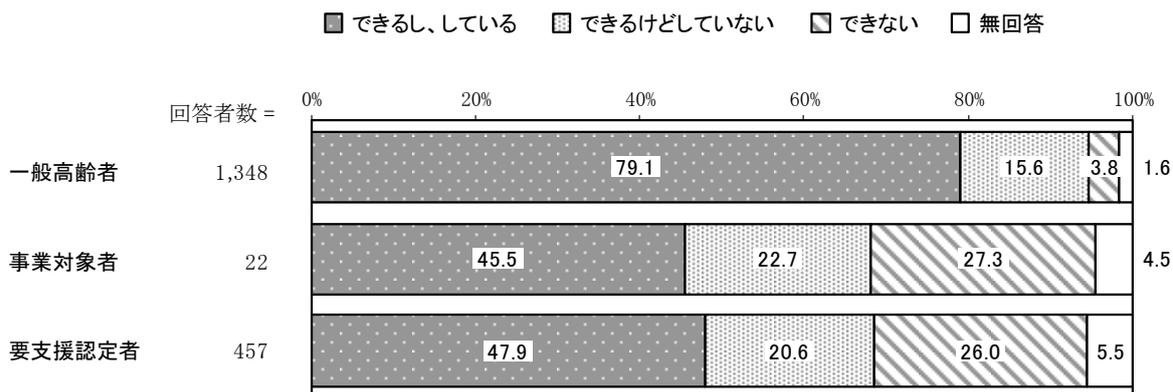
#### ④自分で請求書の支払いをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が79.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.6%となっています。

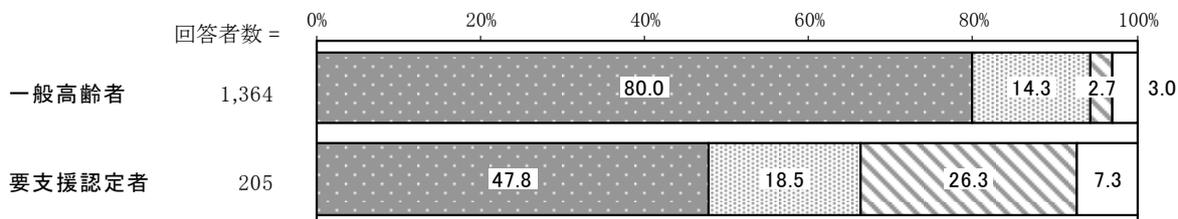
事業対象者では、「できるし、している」の割合が45.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が27.3%、「できるけどしていない」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が47.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が26.0%、「できるけどしていない」の割合が20.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



#### 【平成28年度調査】



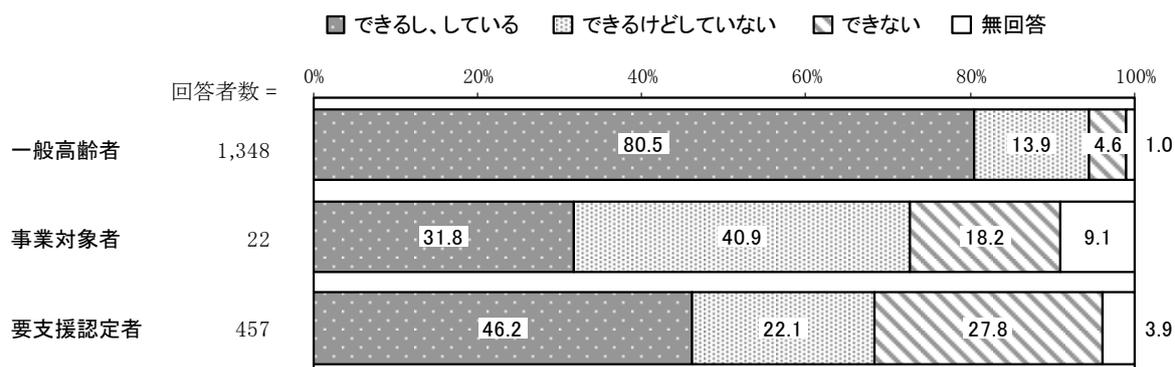
### ⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が80.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.9%となっています。

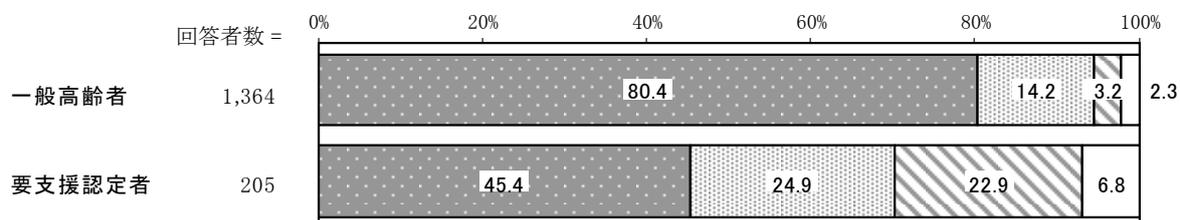
事業対象者では、「できるけどしていない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が31.8%、「できない」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が46.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が27.8%、「できるけどしていない」の割合が22.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



### ⑥自分で家の掃除をしていますか

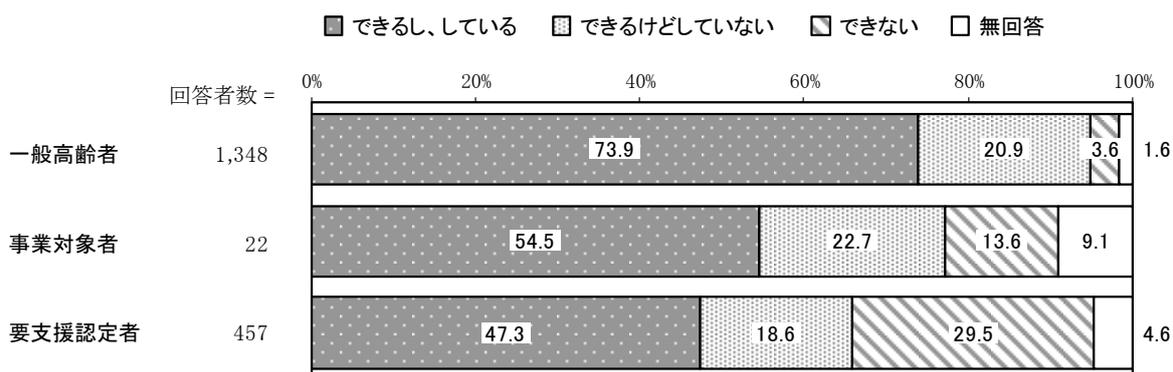
一般高齢者では、「できるし、している」の割合が73.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が20.9%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が54.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が22.7%、「できない」の割合が13.6%となっています。

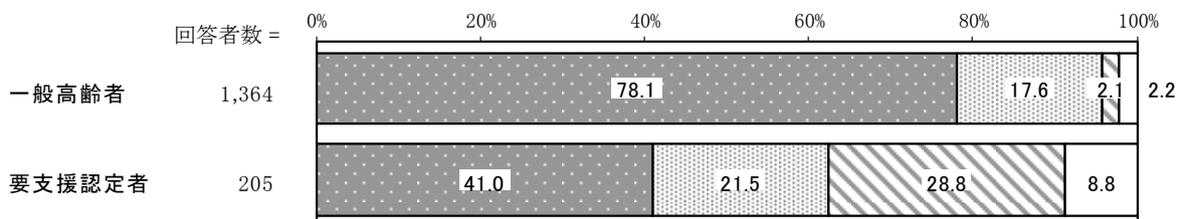
要支援認定者では、「できるし、している」の割合が47.3%と最も高く、次いで「できない」の割合が29.5%、「できるけどしていない」の割合が18.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、「できるし、している」の割合が増加しています。



### 【平成28年度調査】



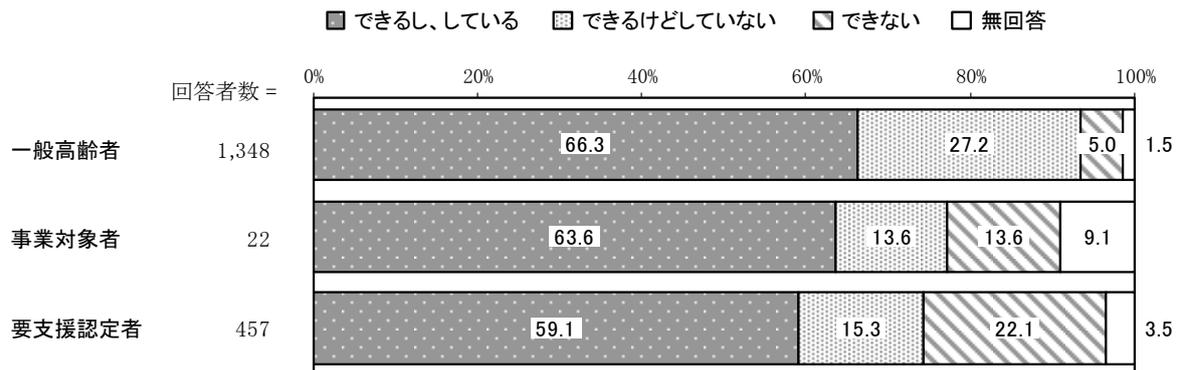
⑦自分で洗濯をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 27.2%となっています。

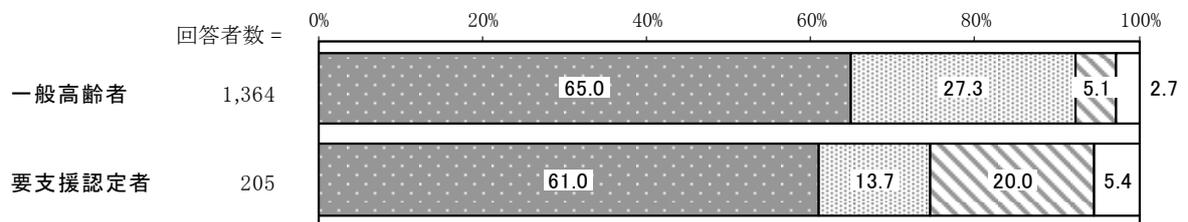
事業対象者では、「できるし、している」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」、「できない」の割合が 13.6%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「できない」の割合が 22.1%、「できるけどしていない」の割合が 15.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成 28 年度調査】



### ⑧自分でお風呂の支度をしていますか

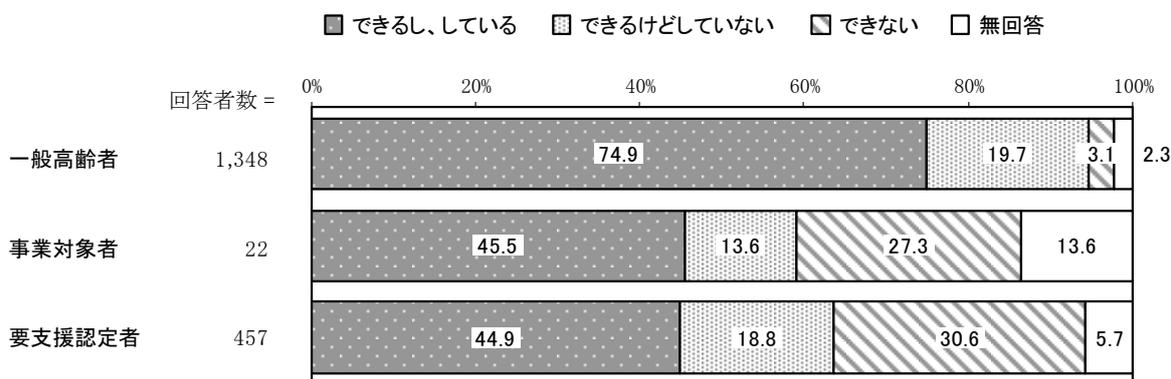
一般高齢者では、「できるし、している」の割合が74.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.7%となっています。

事業対象者では、「できるし、している」の割合が45.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が27.3%、「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。

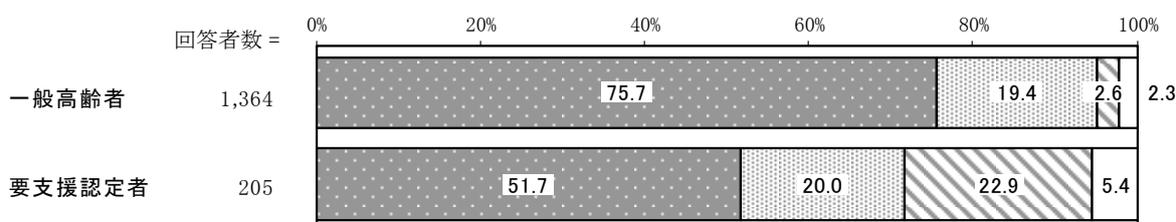
要支援認定者では、「できるし、している」の割合が44.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が30.6%、「できるけどしていない」の割合が18.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

要支援認定者では、「できない」の割合が増加しています。一方、「できるし、している」の割合が減少しています。



### 【平成28年度調査】



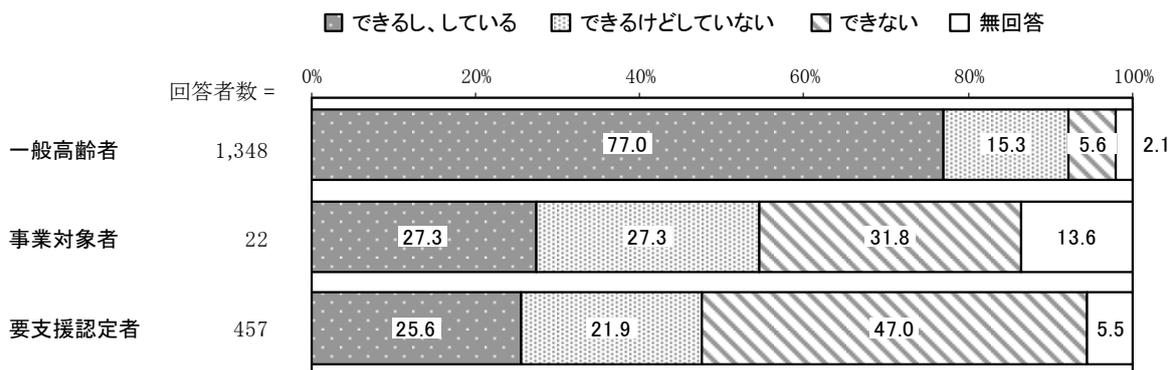
⑨自分で市役所等での手続きをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が77.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.3%となっています。

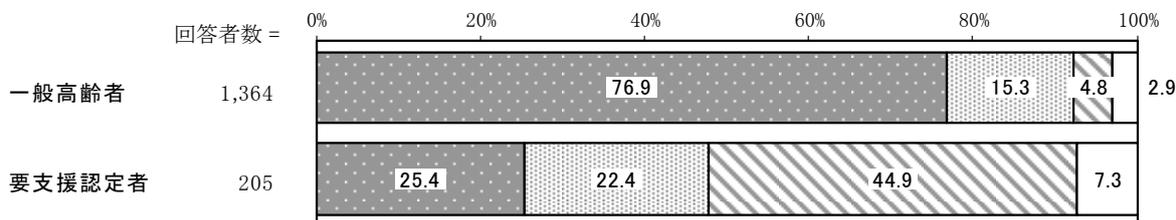
事業対象者では、「できない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「できるし、している」、「できるけどしていない」の割合が27.3%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が25.6%、「できるけどしていない」の割合が21.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



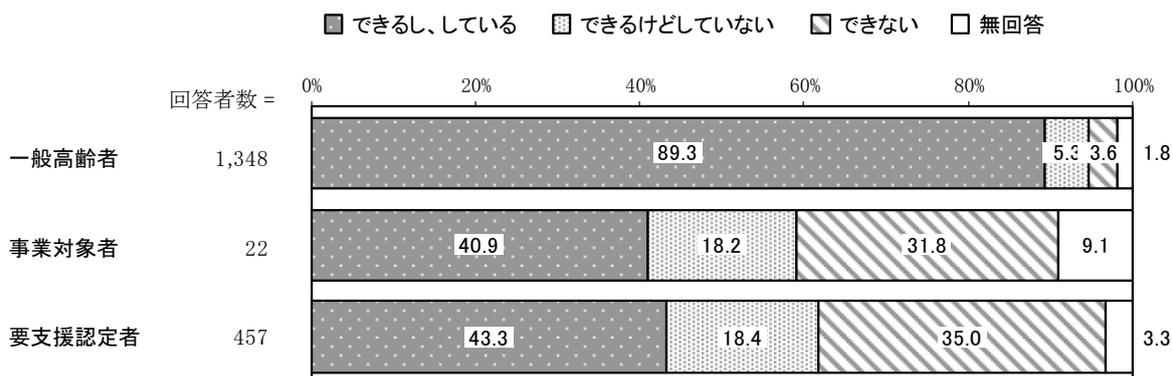
⑩通院や薬の受け取りを1人でしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が89.3%と最も高くなっています。

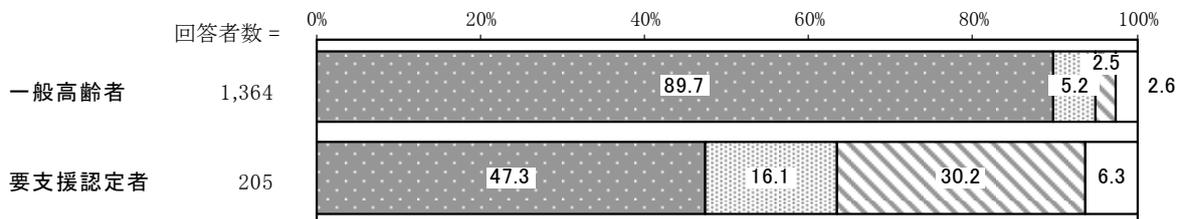
事業対象者では、「できるし、している」の割合が40.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が31.8%、「できるけどしていない」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が43.3%と最も高く、次いで「できない」の割合が35.0%、「できるけどしていない」の割合が18.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



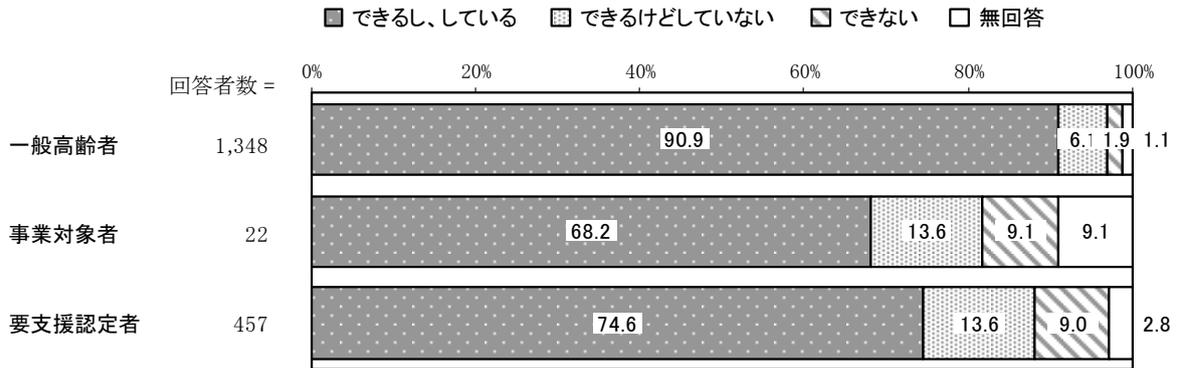
⑪新聞・雑誌を読むことをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が90.9%と最も高くなっています。

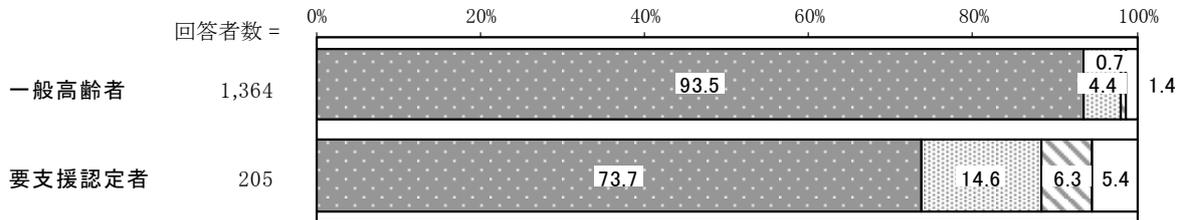
事業対象者では、「できるし、している」の割合が68.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問4(3)、事業対象者・要支援認定者：問4(3)】

一般高齢者では、「困難を感じていることはない」の割合が77.2%と最も高くなっています。

事業対象者では、「困難を感じていることはない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「ごみ集積所までの運搬が困難」の割合が31.8%、「分別することが難しい」の割合が27.3%となっています。

要支援認定者では、「ごみ集積所までの運搬が困難」の割合が42.2%と最も高く、次いで「困難を感じていることはない」の割合が24.5%、「分別することが難しい」の割合が19.7%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	分別することが難しい	ごみ集積所までの運搬が困難	収集日や収集時間帯に出せない	ごみ出しを頼める人がいない	その他	困難を感じていることはない	無回答
一般高齢者	1,348	5.0	5.4	2.2	1.9	5.8	77.2	6.1
事業対象者	22	27.3	31.8	4.5	9.1	4.5	40.9	9.1
要支援認定者	457	19.7	42.2	12.9	6.3	13.8	24.5	12.0

問 必要な物の購入はどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問4(4)、事業対象者・要支援認定者：問4(4)】

一般高齢者では、「自分で買い物に行く」の割合が86.9%と最も高く、次いで「宅配・通販を利用している」の割合が21.0%、「家族・友人等に連れて行ってもらう」の割合が20.9%となっています。

事業対象者では、「家族・友人等に連れて行ってもらう」の割合が59.1%と最も高く、次いで「自分で買い物に行く」の割合が36.4%、「宅配・通販を利用している」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「家族・友人等に連れて行ってもらう」の割合が68.9%と最も高く、次いで「自分で買い物に行く」の割合が29.1%、「宅配・通販を利用している」の割合が23.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分で買い物に行く	家族・友人等に連れて行ってもらう	宅配・通販を利用している	移動販売を利用している	買い物ができず困っている	無回答
一般高齢者	1,348	86.9	20.9	21.0	1.2	0.2	2.2
事業対象者	22	36.4	59.1	18.2	4.5	4.5	4.5
要支援認定者	457	29.1	68.9	23.0	5.0	2.6	6.3

問 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。  
(○はいくつでも)

【一般高齢者：問4（5）、事業対象者・要支援認定者：問4（5）】

一般高齢者では、「特に不便や不安はない」の割合が63.4%と最も高く、次いで「近くにお店がない（なくなった）」の割合が19.9%、「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が14.4%となっています。

事業対象者では、「近くにお店がない（なくなった）」の割合が45.5%と最も高く、次いで「自分で車の運転ができない」、「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が40.9%となっています。

要支援認定者では、「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」の割合が45.5%と最も高く、次いで「自分で車の運転ができない」の割合が41.8%、「近くにお店がない（なくなった）」の割合が33.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「自分で車の運転ができない」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	近くにお店がない（なくなった）	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが大変（または不安）	バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）	買い物を手伝ってくれる人がいない	介護等によって買い物にでかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答
一般高齢者	1,348	19.9	10.9	9.6	14.4	2.1	0.7	63.4	5.3	3.6
事業対象者	22	45.5	40.9	36.4	40.9	13.6	9.1	18.2	4.5	13.6
要支援認定者	457	33.3	41.8	45.5	24.3	3.9	9.8	18.2	10.1	6.3

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数（件）	近くにお店がない（なくなった）	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが大変（または不安）	バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）	買い物を手伝ってくれる人がいない	介護等によって買い物にでかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答
一般高齢者	1364	22.6	16.9	11.6	13.2	2.1	1.2	66.3	7.3	6.5

<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「特に不便や不安はない」の割合が高くなっています。また、女性で「近くにお店がない（なくなった）」「自分で車の運転ができない」「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「自分で車の運転ができない」「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が高く、「特に不便や不安はない」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	近くにお店がない (なくなった)	自分で車の 運転が できない	歩いて 買い物 に行く のが 大変 (または 不安)	バス などの 交通の 便が 悪い (または 交通 手段 がない)	買い 物を 手伝 って くれ る 人 が い な い	介 護 等 に よ っ て 買 い 物 に で か け に く く な っ た	特 に 不 便 や 不 安 は な い	そ の 他	無 回 答
全体		1348 100.0	268 19.9	147 10.9	129 9.6	194 14.4	28 2.1	9 0.7	855 63.4	71 5.3	48 3.6
性別	男性	629 100.0	101 16.1	40 6.4	42 6.7	66 10.5	11 1.7	2 0.3	447 71.1	24 3.8	20 3.2
	女性	706 100.0	164 23.2	107 15.2	87 12.3	127 18.0	17 2.4	7 1.0	401 56.8	47 6.7	25 3.5
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	70 18.3	15 3.9	16 4.2	41 10.7	4 1.0	2 0.5	276 72.1	14 3.7	12 3.1
	70歳～74歳	370 100.0	57 15.4	26 7.0	20 5.4	45 12.2	6 1.6	—	267 72.2	15 4.1	8 2.2
	75歳～79歳	281 100.0	58 20.6	30 10.7	30 10.7	45 16.0	8 2.8	2 0.7	169 60.1	15 5.3	10 3.6
	80歳～84歳	157 100.0	32 20.4	27 17.2	25 15.9	26 16.6	5 3.2	2 1.3	88 56.1	9 5.7	11 7.0
	85歳～89歳	90 100.0	30 33.3	28 31.1	18 20.0	20 22.2	3 3.3	1 1.1	33 36.7	8 8.9	3 3.3
	90歳～94歳	39 100.0	9 23.1	12 30.8	13 33.3	10 25.6	1 2.6	1 2.6	12 30.8	5 12.8	4 10.3
	95歳～99歳	20 100.0	10 50.0	9 45.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0	4 20.0	5 25.0	—
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【居住地区別、家族構成別】

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北、山梨・宇刈、浅羽北で「特に不便や不安はない」の割合が高くなっています。また、三川で「近くにお店がない(なくなった)」「バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)で「近くにお店がない(なくなった)」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数(件)、下段 構成比(%)

区分	回答者数(件)	近くにお店がない(なくなった)	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが大変(または不安)	バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)	買い物を手伝ってくれる人がいない	介護等によって買い物にかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答	
全体	1348 100.0	268 19.9	147 10.9	129 9.6	194 14.4	28 2.1	9 0.7	855 63.4	71 5.3	48 3.6	
居住地区別	袋井南	126 100.0	14 11.1	16 12.7	11 8.7	13 10.3	5 4.0	— —	83 65.9	10 7.9	9 7.1
	豊沢	60 100.0	10 16.7	8 13.3	5 8.3	10 16.7	— —	1 1.7	40 66.7	3 5.0	1 1.7
	高南	86 100.0	21 24.4	13 15.1	8 9.3	13 15.1	3 3.5	1 1.2	56 65.1	3 3.5	— —
	袋井西	118 100.0	13 11.0	12 10.2	13 11.0	10 8.5	3 2.5	— —	77 65.3	7 5.9	5 4.2
	袋井北	177 100.0	13 7.3	17 9.6	22 12.4	16 9.0	6 3.4	— —	126 71.2	9 5.1	6 3.4
	袋井東	109 100.0	38 34.9	14 12.8	9 8.3	24 22.0	1 0.9	1 0.9	57 52.3	6 5.5	4 3.7
	今井	65 100.0	16 24.6	6 9.2	3 4.6	11 16.9	— —	2 3.1	39 60.0	7 10.8	2 3.1
	三川	48 100.0	26 54.2	7 14.6	8 16.7	16 33.3	— —	1 2.1	19 39.6	2 4.2	1 2.1
	笠原	50 100.0	21 42.0	4 8.0	6 12.0	9 18.0	— —	— —	28 56.0	1 2.0	1 2.0
	山梨・宇刈	166 100.0	18 10.8	16 9.6	13 7.8	19 11.4	4 2.4	2 1.2	115 69.3	7 4.2	10 6.0
	浅羽北	132 100.0	17 12.9	13 9.8	11 8.3	9 6.8	3 2.3	— —	91 68.9	6 4.5	6 4.5
	浅羽西	60 100.0	15 25.0	5 8.3	8 13.3	11 18.3	1 1.7	— —	35 58.3	4 6.7	— —
	浅羽東	41 100.0	14 34.1	3 7.3	1 2.4	11 26.8	— —	1 2.4	24 58.5	2 4.9	1 2.4
	浅羽南	80 100.0	25 31.3	7 8.8	8 10.0	20 25.0	1 1.3	— —	48 60.0	1 1.3	1 1.3
	わからない	5 100.0	— —	— —	1 20.0	— —	— —	— —	2 40.0	1 20.0	1 20.0
家族構成別	1人暮らし	132 100.0	25 18.9	16 12.1	17 12.9	24 18.2	8 6.1	— —	73 55.3	14 10.6	6 4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	430 100.0	100 23.3	37 8.6	33 7.7	60 14.0	9 2.1	1 0.2	283 65.8	13 3.0	8 1.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	84 100.0	15 17.9	13 15.5	6 7.1	12 14.3	1 1.2	2 2.4	55 65.5	4 4.8	3 3.6
	息子・娘との2世帯	343 100.0	68 19.8	42 12.2	32 9.3	53 15.5	2 0.6	— —	221 64.4	14 4.1	14 4.1
	その他	335 100.0	57 17.0	37 11.0	41 12.2	43 12.8	8 2.4	5 1.5	207 61.8	25 7.5	16 4.8

### 【介護・介助の必要性別、生活自立度（買い物）別】

介護・介助の必要性別でみると、介護が必要ない人に比べ、介護が必要な人で「自分で車の運転ができない」「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が高くなっています。

生活自立度（買い物）別でみると、他に比べ、買い物ができない人で「近くにお店がない（なくなった）」「自分で車の運転ができない」「歩いて買い物に行くのが大変（または不安）」「バスなどの交通の便が悪い（または交通手段がない）」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	近くにお店がない (なくなった)	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが 大変(または不安)	バスなどの交通の便が悪い (または交通手段がない)	買い物を手伝ってくれる 人がいない	介護等によって買い物に でかけにくくなった	特に不便や不安はない	その他	無回答
全体		1348 100.0	268 19.9	147 10.9	129 9.6	194 14.4	28 2.1	9 0.7	855 63.4	71 5.3	48 3.6
介護・介助の 必要性別	介護・介助は必要ない	1182 100.0	227 19.2	94 8.0	81 6.9	158 13.4	20 1.7	4 0.3	798 67.5	48 4.1	35 3.0
	必要だが、現在は受けていない	98 100.0	20 20.4	33 33.7	31 31.6	21 21.4	7 7.1	1 1.0	34 34.7	11 11.2	8 8.2
	現在、介護を受けている	44 100.0	13 29.5	17 38.6	14 31.8	11 25.0	— —	4 9.1	13 29.5	12 27.3	2 4.5
(買い物) 生活自立度別	できるし、している	1084 100.0	208 19.2	93 8.6	79 7.3	146 13.5	25 2.3	6 0.6	721 66.5	46 4.2	35 3.2
	できるけどしていない	192 100.0	39 20.3	27 14.1	30 15.6	28 14.6	3 1.6	1 0.5	115 59.9	13 6.8	5 2.6
	できない	56 100.0	17 30.4	27 48.2	19 33.9	19 33.9	— —	1 1.8	11 19.6	11 19.6	7 12.5

問 食料品や日用品の買い物の支援について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、1～3の中からあてはまるものに○をつけてください。

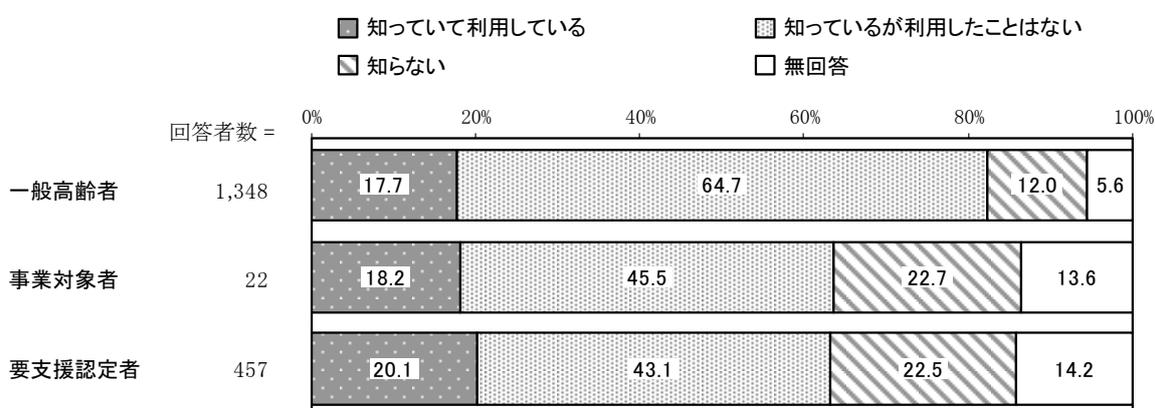
【一般高齢者：問4（6）、事業対象者・要支援認定者：問4（6）】

### ①民間企業の宅配サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が64.7%と最も高く、次いで「知っていて利用している」の割合が17.7%、「知らない」の割合が12.0%となっています。

事業対象者では、「知っているが利用したことはない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が22.7%、「知っていて利用している」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が43.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が22.5%、「知っていて利用している」の割合が20.1%となっています。

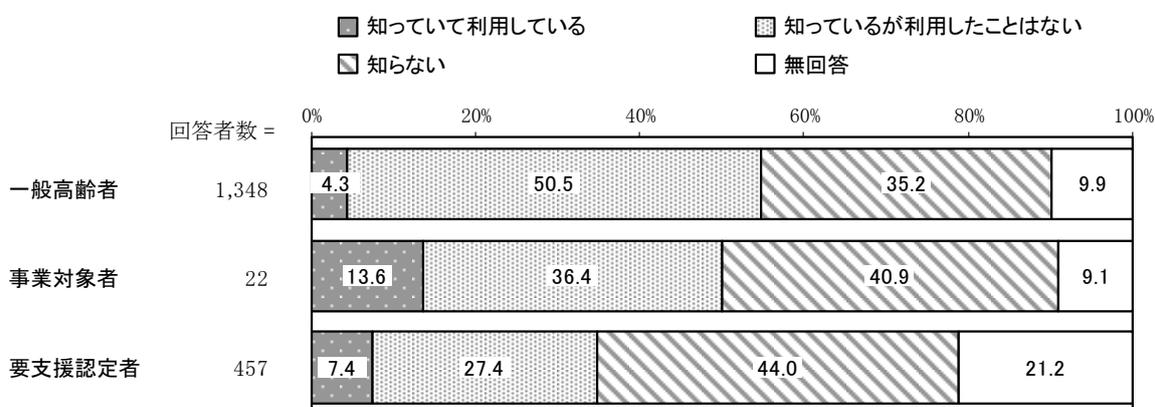


### ②移動販売車

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が50.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が35.2%となっています。

事業対象者では、「知らない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が36.4%、「知っていて利用している」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「知らない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が27.4%となっています。

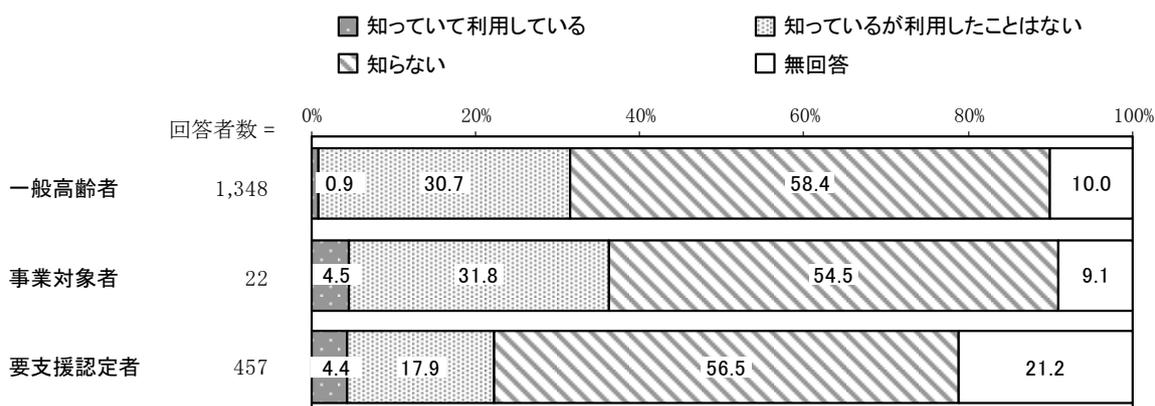


### ③ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援

一般高齢者では、「知らない」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 30.7%となっています。

事業対象者では、「知らない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 31.8%となっています。

要支援認定者では、「知らない」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 17.9%となっています。

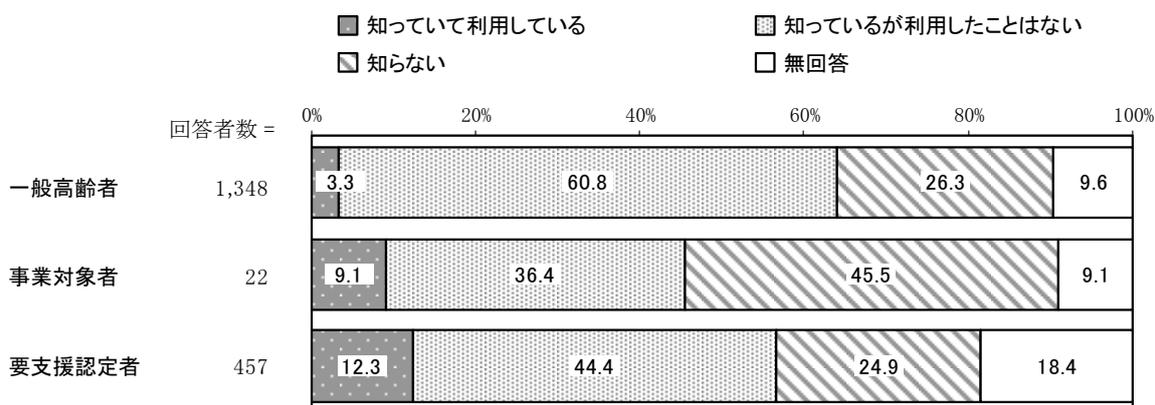


### ④配食サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 26.3%となっています。

事業対象者では、「知らない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 36.4%となっています。

要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 24.9%、「知っていて利用している」の割合が 12.3%となっています。

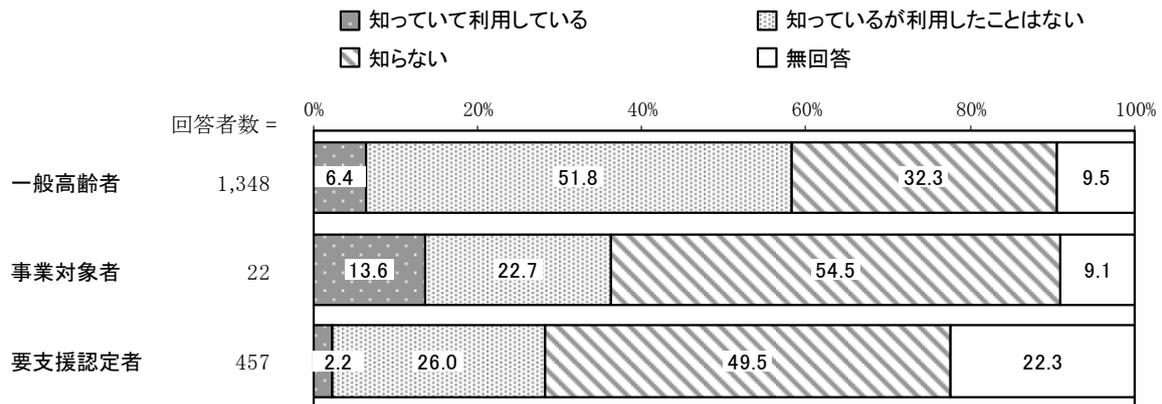


### ⑤ネットスーパー等のインターネットショッピング

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が51.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が32.3%となっています。

事業対象者では、「知らない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が22.7%、「知っているが利用している」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「知らない」の割合が49.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が26.0%となっています。



## (5) 地域での活動について

問 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度(ひんど)で参加していますか。  
 ※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

【一般高齢者：問5(1)、事業対象者・要支援認定者：問5(1)】

### ①ボランティアのグループ

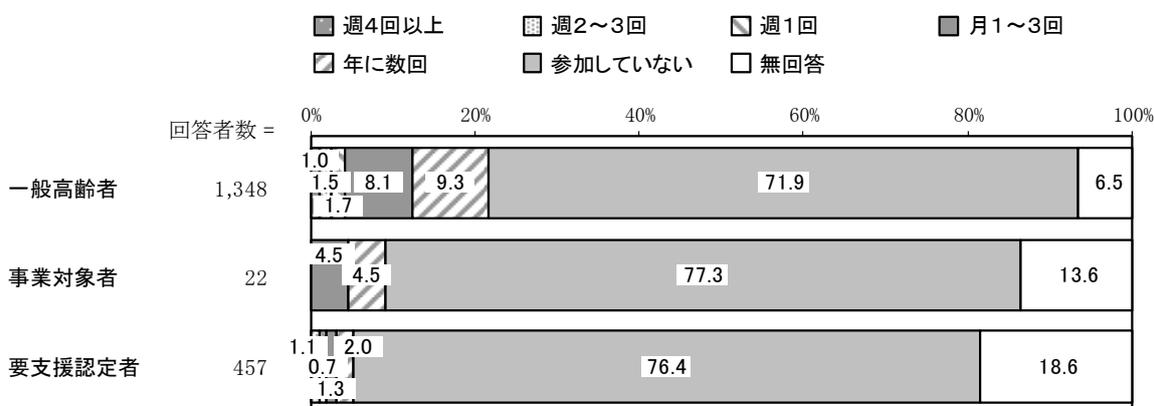
一般高齢者では、「参加していない」の割合が71.9%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が77.3%と最も高くなっています。

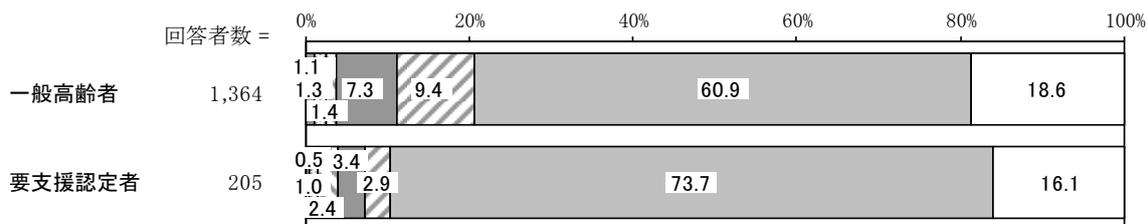
要支援認定者では、「参加していない」の割合が76.4%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」の割合が増加しています。

要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



## ②スポーツ関係のグループやクラブ

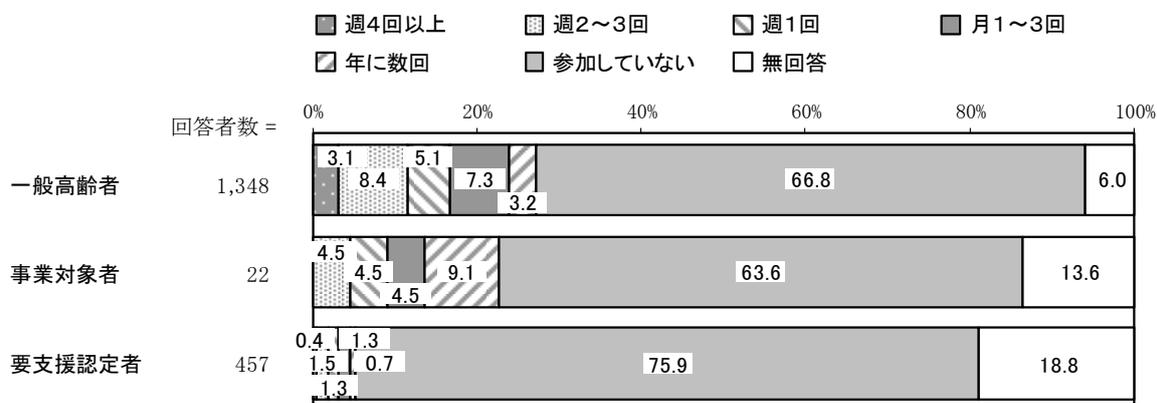
一般高齢者では、「参加していない」の割合が66.8%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が63.6%と最も高くなっています。

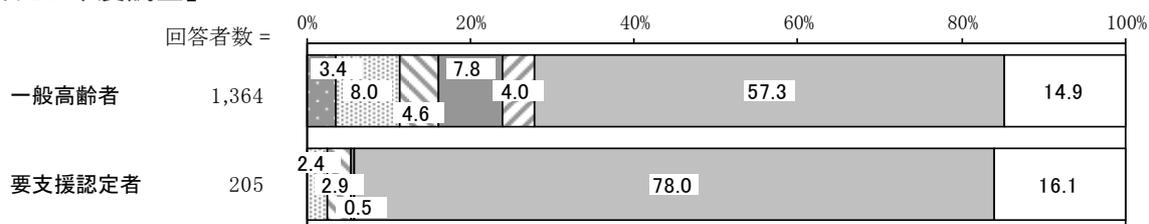
要支援認定者では、「参加していない」の割合が75.9%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」の割合が増加しています。

要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



### ③趣味関係のグループ

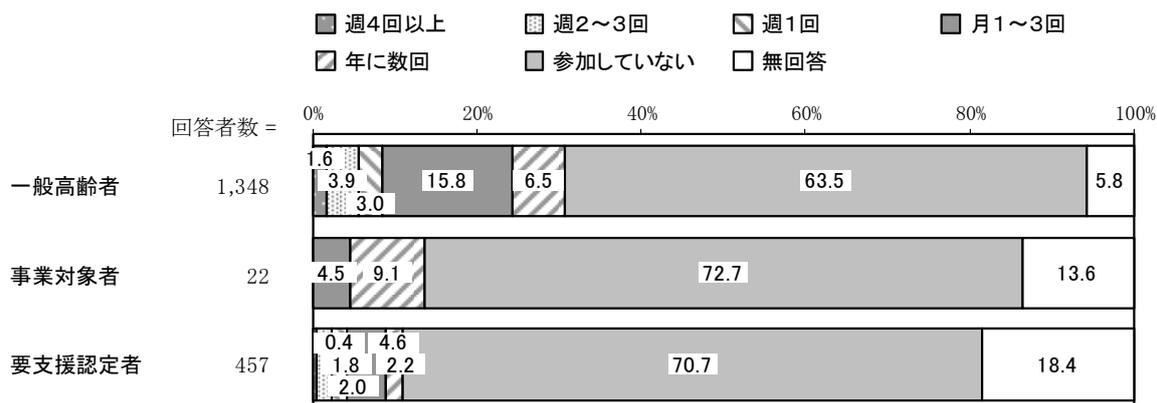
一般高齢者では、「参加していない」の割合が63.5%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が15.8%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が72.7%と最も高くなっています。

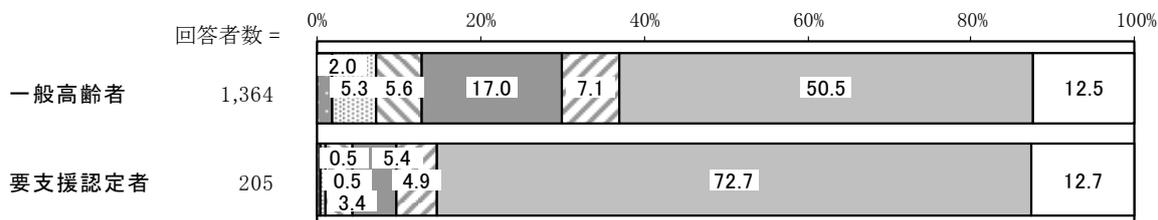
要支援認定者では、「参加していない」の割合が70.7%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」の割合が増加しています。

要支援認定者では、大きな変化はみられません。

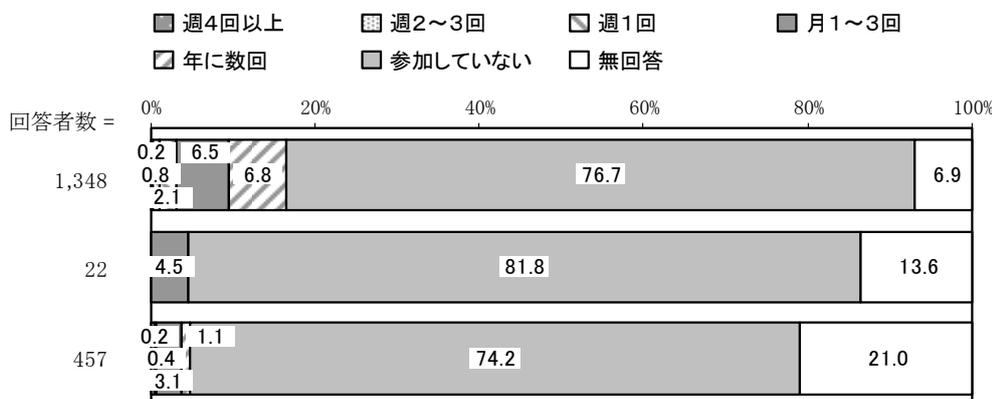


### 【平成28年度調査】

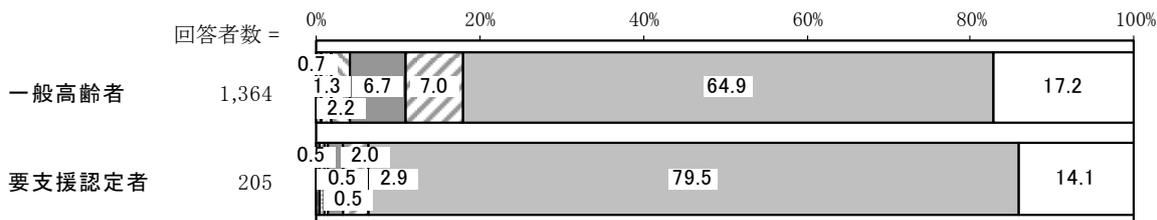


#### ④学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」の割合が76.7%と最も高くなっています。  
 事業対象者では、「参加していない」の割合が81.8%と最も高くなっています。  
 要支援認定者では、「参加していない」の割合が74.2%と最も高くなっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」の割合が増加しています。  
 要支援認定者では、「参加していない」の割合が減少しています。

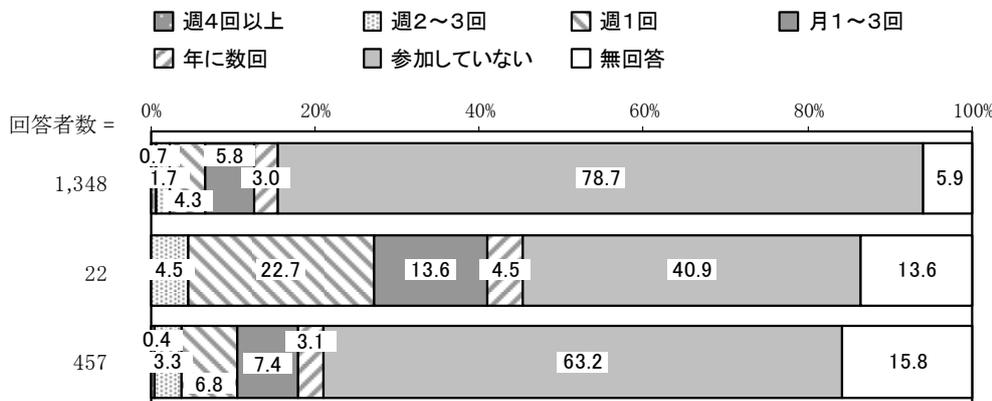


#### 【平成28年度調査】



#### ⑤介護予防のための通いの場（サロン・居場所・しぞ〜かでん伝体操など）

一般高齢者では、「参加していない」の割合が78.7%と最も高くなっています。  
 事業対象者では、「参加していない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「週1回」の割合が22.7%、「月1~3回」の割合が13.6%となっています。  
 要支援認定者では、「参加していない」の割合が63.2%と最も高くなっています。

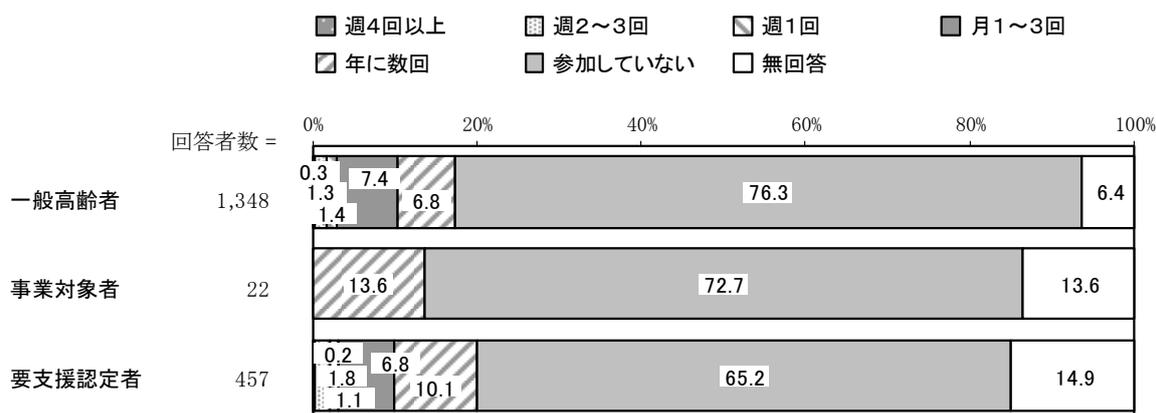


### ⑥シニアクラブ・老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が76.3%と最も高くなっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が72.7%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が65.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が10.1%となっています。

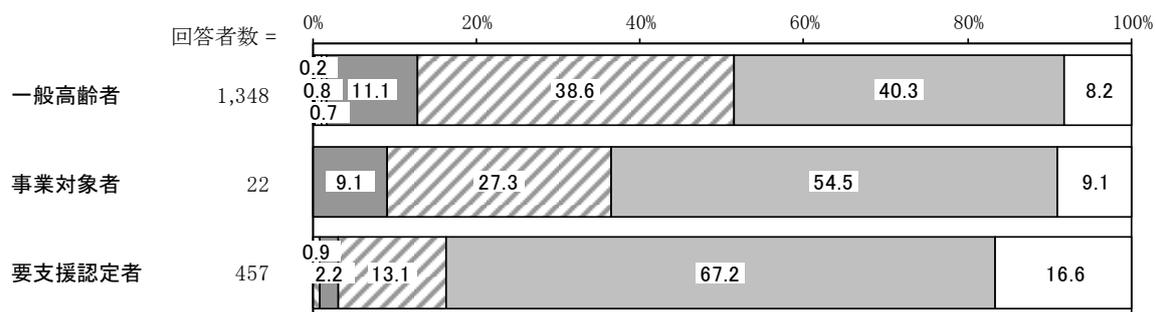


### ⑦町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が38.6%、「月1～3回」の割合が11.1%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が27.3%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が67.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が13.1%となっています。

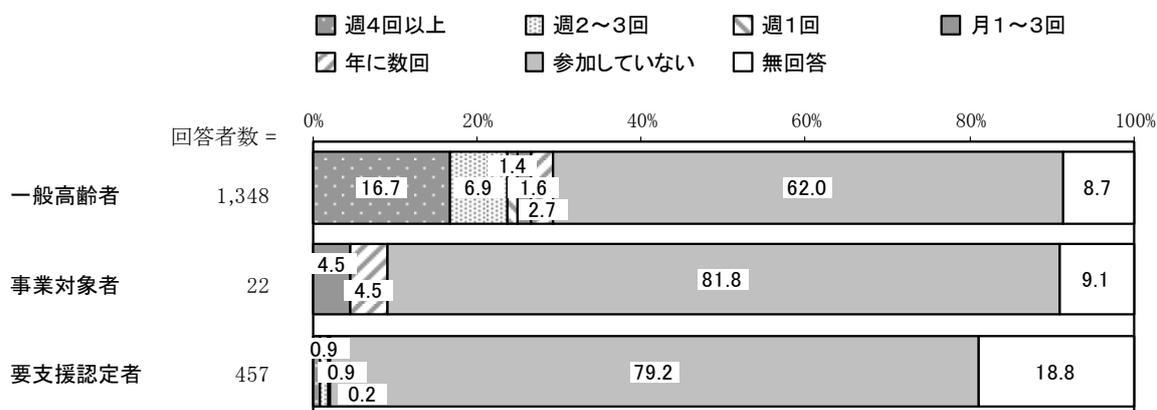


### ⑧収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」の割合が62.0%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が16.7%となっています。

事業対象者では、「参加していない」の割合が81.8%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が79.2%と最も高くなっています。



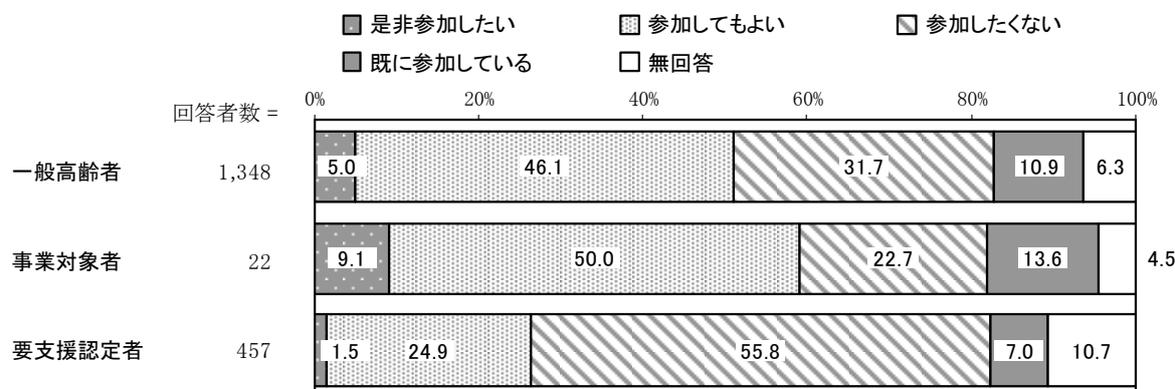
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問5（2）、事業対象者・要支援認定者：問5（2）】

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が46.1%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が31.7%、「既に参加している」の割合が10.9%となっています。

事業対象者では、「参加してもよい」の割合が50.0%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が22.7%、「既に参加している」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が55.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が24.9%となっています。



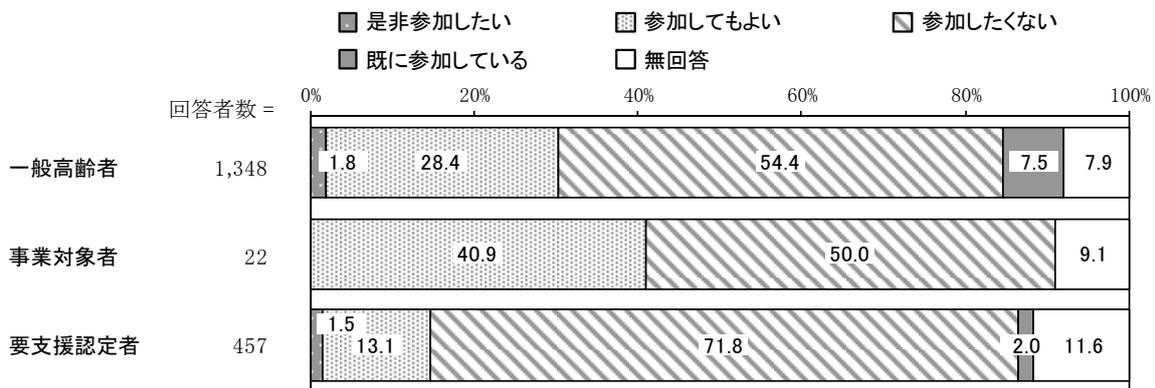
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

【一般高齢者：問5（3）、事業対象者・要支援認定者：問5（3）】

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が54.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が28.4%となっています。

事業対象者では、「参加したくない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が40.9%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が13.1%となっています。



問 一般高齢者では問5（2）、（3）のどちらか、事業対象者・要支援認定者では（2）、（3）のどちらかで「1」「2」「4」と回答された方にお伺いします。  
 どんな活動に参加してみたいと思いますか。（〇はいくつでも）

【一般高齢者：問5（4）、事業対象者・要支援認定者：問5（4）】

一般高齢者では、「趣味活動」の割合が43.2%と最も高く、次いで「運動（ウォーキング、ヨガなど）」の割合が37.1%、「地域（自治会）内の支え合い活動」の割合が23.7%となっています。

事業対象者では、「運動（ウォーキング、ヨガなど）」、「趣味活動」の割合が31.3%と最も高く、次いで「生活援助（通院介助、買い物など）」の割合が25.0%となっています。

要支援認定者では、「趣味活動」の割合が35.8%と最も高く、次いで「運動（ウォーキング、ヨガなど）」の割合が18.9%、「地域（自治会）内の支え合い活動」の割合が15.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「趣味活動」の割合が減少しています。

要支援認定者では、「学習（英会話、パソコンなど）」「趣味活動」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	ボランティア	運動 （ウォーキング、 ヨガなど）	学習 （英会話、 パソコンなど）	生活援助 （通院介助、 買い物など）	趣味活動	地域 （自治会） 内の支え合い活動	その他	無回答
一般高齢者	858	12.8	37.1	11.5	5.7	43.2	23.7	2.7	14.5
事業対象者	16	12.5	31.3	—	25.0	31.3	18.8	6.3	18.8
要支援認定者	159	1.9	18.9	5.0	6.9	35.8	15.1	5.7	28.3

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数（件）	ボランティア	運動 （ウォーキング、 ヨガなど）	学習 （英会話、 パソコンなど）	生活援助 （通院介助、 買い物など）	趣味活動	その他	無回答
一般高齢者	—	15.3	41.5	10.1	4.5	48.9	2.1	16.8
要支援認定者	—	1.5	14.7	10.3	7.4	52.9	2.9	29.4

## (6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問6(1)、事業対象者・要支援認定者：問6(1)】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が58.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が40.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が29.2%となっています。

事業対象者では、「別居の子ども」の割合が54.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が36.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が31.8%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が40.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が32.6%、「同居の子ども」の割合が29.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,348	58.3	22.5	28.6	29.2	15.9	40.1	2.3	3.3	3.5
事業対象者	22	36.4	27.3	54.5	31.8	13.6	31.8	9.1	4.5	4.5
要支援認定者	457	32.6	29.1	40.5	26.9	15.5	22.1	3.3	4.6	6.3

### 【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,364	59.8	22.3	26.5	29.0	18.9	41.1	2.2	4.2	3.1
要支援認定者	205	34.1	25.4	38.0	26.8	17.1	22.4	2.9	3.9	1.5

<一般高齢者>

【性別、家族構成別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「配偶者」の割合が高くなっています。また、女性で「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣の人」「友人」の割合が高くなっています。

家族構成別で見ると、他に比べ、1人暮らしで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣の人」「友人」の割合が、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「配偶者」の割合が、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分		回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣の人	友人	その他	その いない ような人は	無回答
全 体		1348 100.0	786 58.3	303 22.5	385 28.6	393 29.2	214 15.9	541 40.1	31 2.3	44 3.3	47 3.5
性 別	男性	629 100.0	443 70.4	92 14.6	106 16.9	118 18.8	72 11.4	170 27.0	16 2.5	29 4.6	35 5.6
	女性	706 100.0	336 47.6	209 29.6	277 39.2	271 38.4	141 20.0	367 52.0	14 2.0	14 2.0	11 1.6
家 族 構 成 別	1人暮らし	132 100.0	2 1.5	2 1.5	52 39.4	50 37.9	28 21.2	70 53.0	4 3.0	10 7.6	4 3.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	430 100.0	341 79.3	19 4.4	157 36.5	115 26.7	69 16.0	161 37.4	7 1.6	11 2.6	14 3.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	84 100.0	64 76.2	5 6.0	16 19.0	22 26.2	8 9.5	32 38.1	2 2.4	2 2.4	2 2.4
	息子・娘との2世帯	343 100.0	200 58.3	159 46.4	76 22.2	98 28.6	46 13.4	142 41.4	7 2.0	8 2.3	10 2.9
	その他	335 100.0	168 50.1	116 34.6	81 24.2	104 31.0	60 17.9	128 38.2	11 3.3	12 3.6	13 3.9

<事業対象者・要支援認定者>

【性別、年齢別、介護度別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「配偶者」の割合が高くなっています。また、女性で「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が、年齢が高くなるにつれ「同居の子ども」の割合が高くなる傾向がみられます。

介護度別で見ると、他に比べ、事業対象者で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	その ような人は いない	無回答
全 体		545 100.0	171 31.4	158 29.0	213 39.1	150 27.5	80 14.7	124 22.8	20 3.7	26 4.8	36 6.6
性 別	男性	159 100.0	87 54.7	41 25.8	44 27.7	37 23.3	20 12.6	22 13.8	4 2.5	11 6.9	12 7.5
	女性	340 100.0	69 20.3	108 31.8	158 46.5	101 29.7	57 16.8	96 28.2	16 4.7	12 3.5	15 4.4
年 齢 別	65歳～69歳	14 100.0	9 64.3	3 21.4	1 7.1	7 50.0	1 7.1	4 28.6	—	1 7.1	1 7.1
	70歳～74歳	43 100.0	20 46.5	5 11.6	15 34.9	17 39.5	10 23.3	13 30.2	1 2.3	5 11.6	2 4.7
	75歳～79歳	80 100.0	37 46.3	20 25.0	34 42.5	25 31.3	9 11.3	23 28.8	3 3.8	3 3.8	5 6.3
	80歳～84歳	133 100.0	41 30.8	31 23.3	39 29.3	38 28.6	22 16.5	38 28.6	2 1.5	8 6.0	9 6.8
	85歳～89歳	145 100.0	46 31.7	44 30.3	70 48.3	33 22.8	22 15.2	24 16.6	6 4.1	4 2.8	10 6.9
	90歳～94歳	90 100.0	12 13.3	40 44.4	36 40.0	23 25.6	15 16.7	13 14.4	5 5.6	4 4.4	7 7.8
	95歳～99歳	28 100.0	2 7.1	13 46.4	14 50.0	4 14.3	1 3.6	6 21.4	3 10.7	1 3.6	—
	100歳以上	2 100.0	—	1 50.0	2 100.0	—	—	—	—	—	—
介 護 度 別	要支援1	264 100.0	88 33.3	81 30.7	91 34.5	67 25.4	39 14.8	53 20.1	9 3.4	11 4.2	17 6.4
	要支援2	193 100.0	61 31.6	52 26.9	94 48.7	56 29.0	32 16.6	48 24.9	6 3.1	10 5.2	12 6.2
	事業対象者	22 100.0	8 36.4	6 27.3	12 54.5	7 31.8	3 13.6	7 31.8	2 9.1	1 4.5	1 4.5

問 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。  
(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問6(2)、事業対象者・要支援認定者：問6(2)】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が55.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が41.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が33.2%となっています。

事業対象者では、「配偶者」の割合が45.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が31.8%、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「配偶者」の割合が30.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が24.1%、「友人」の割合が23.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,348	55.9	20.2	26.3	33.2	22.8	41.2	1.6	5.5	4.3
事業対象者	22	45.5	13.6	18.2	18.2	13.6	31.8	4.5	18.2	—
要支援認定者	457	30.4	17.9	24.1	22.8	13.8	23.9	1.5	10.9	9.8

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,364	56.8	18.3	24.0	31.1	24.0	42.4	2.1	5.1	3.5
要支援認定者	205	31.7	17.1	22.0	25.4	12.2	20.5	2.9	15.6	4.9

問 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。  
(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問6(3)、事業対象者・要支援認定者：問6(3)】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が64.1%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が34.1%、「別居の子ども」の割合が22.6%となっています。

事業対象者では、「別居の子ども」の割合が36.4%と最も高く、次いで「配偶者」、「同居の子ども」の割合が31.8%となっています。

要支援認定者では、「同居の子ども」の割合が41.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が35.9%、「配偶者」の割合が35.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,348	64.1	34.1	22.6	12.1	1.1	2.1	1.6	3.8	3.3
事業対象者	22	31.8	31.8	36.4	9.1	—	—	4.5	9.1	4.5
要支援認定者	457	35.2	41.1	35.9	15.1	2.2	2.8	3.3	2.4	4.6

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,364	65.9	34.7	25.0	13.6	1.5	2.9	1.9	3.9	2.2
要支援認定者	205	35.1	36.6	35.6	18.0	2.4	3.9	5.9	6.3	2.4

問 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問6(4)、事業対象者・要支援認定者：問6(4)】

一般高齢者では、「配偶者」の割合が66.2%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が28.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が23.8%となっています。

事業対象者では、「配偶者」の割合が45.5%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が27.3%、「別居の子ども」の割合が13.6%となっています。

要支援認定者では、「配偶者」の割合が32.2%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が26.9%、「同居の子ども」の割合が17.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,348	66.2	28.5	20.1	23.8	2.6	3.6	1.6	7.3	5.3
事業対象者	22	45.5	9.1	13.6	9.1	4.5	—	—	27.3	9.1
要支援認定者	457	32.2	17.1	10.3	9.8	0.9	2.0	6.1	26.9	14.0

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親・	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	1,364	68.9	28.7	22.4	24.4	4.0	4.8	2.1	7.0	4.2
要支援認定者	205	36.1	14.1	11.7	13.2	2.9	3.4	9.8	23.4	14.1

## (7) 健康について

問 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

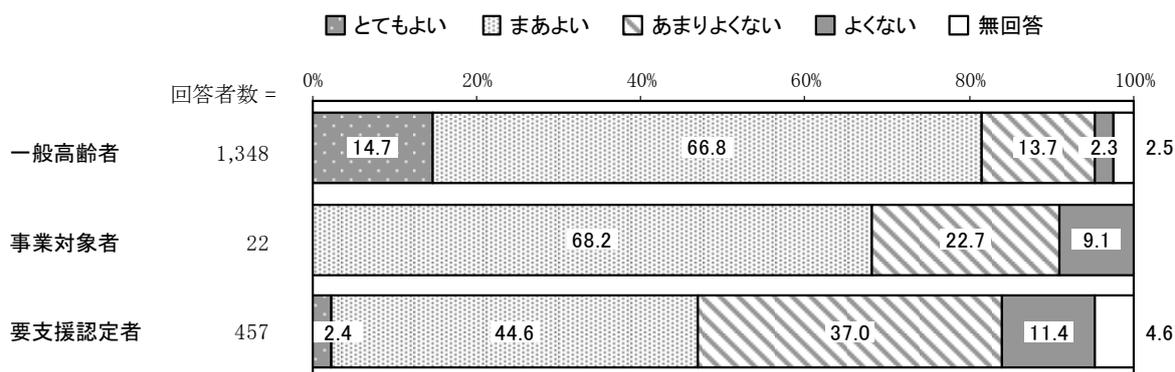
【一般高齢者：問7(1)、事業対象者・要支援認定者：問7(1)】

一般高齢者では、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が81.5%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が16.0%となっています。

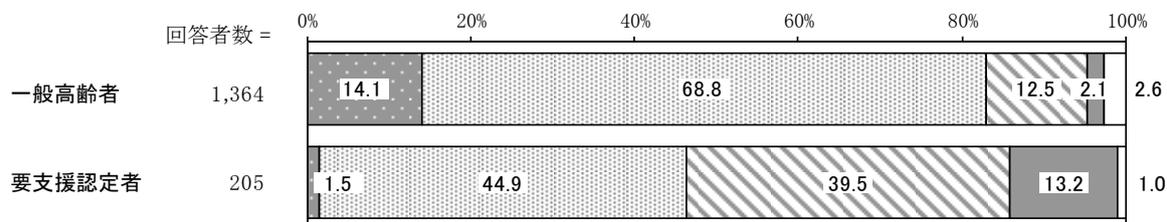
事業対象者では、“よい”の割合が68.2%、“よくない”の割合が31.8%となっています。

要支援認定者では、“よい”の割合が47.0%、“よくない”の割合が48.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



問 あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇はひとつ)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください)

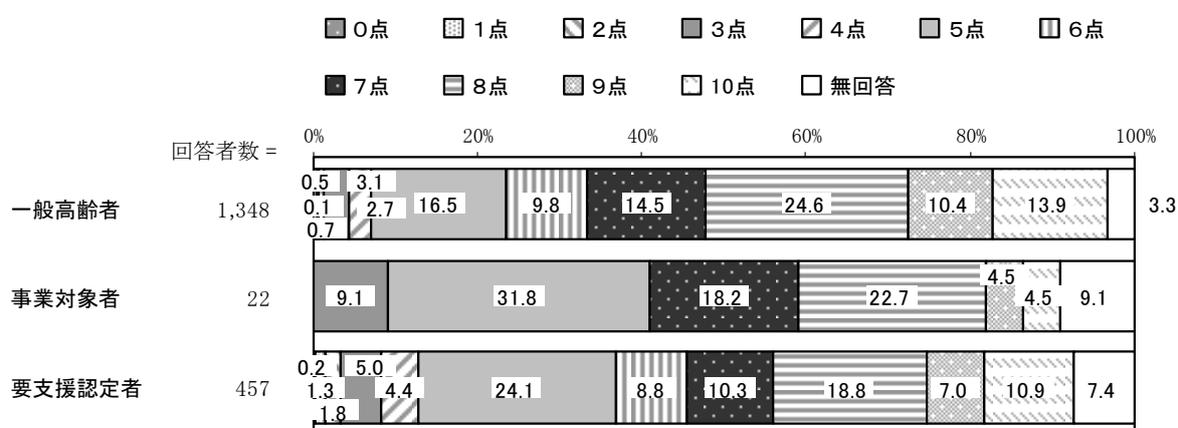
【一般高齢者：問7(2)、事業対象者・要支援認定者：問7(2)】

一般高齢者では、「8点」の割合が24.6%と最も高く、次いで「5点」の割合が16.5%、「7点」の割合が14.5%となっています。

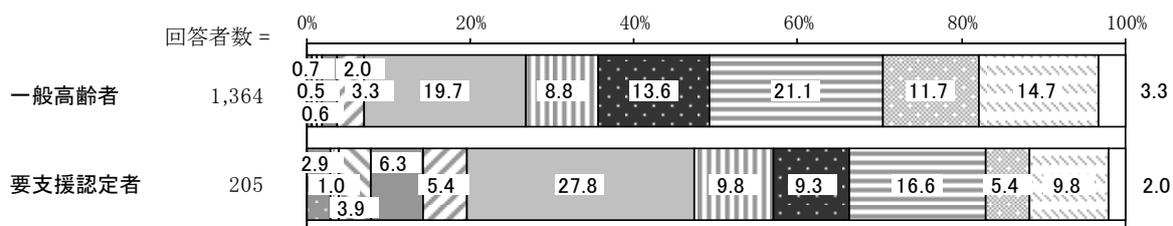
事業対象者では、「5点」の割合が31.8%と最も高く、次いで「8点」の割合が22.7%、「7点」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「5点」の割合が24.1%と最も高く、次いで「8点」の割合が18.8%、「10点」の割合が10.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者、要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】

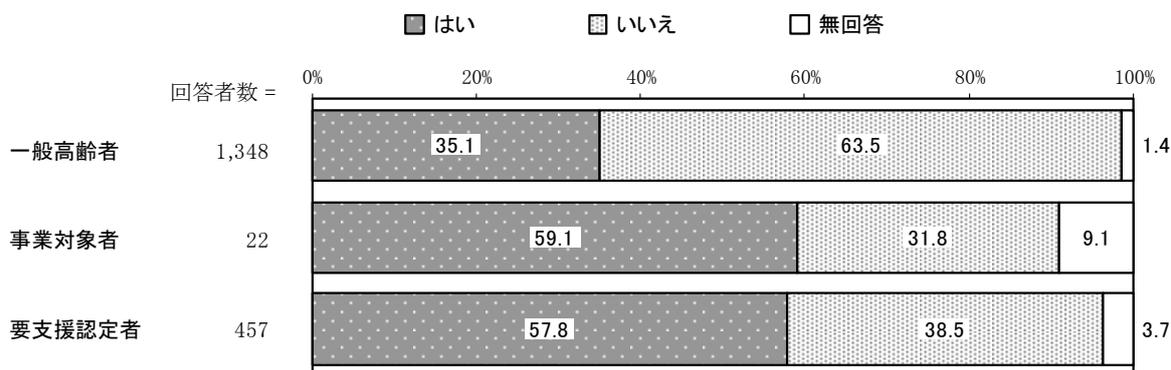


問 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(〇はひとつ)

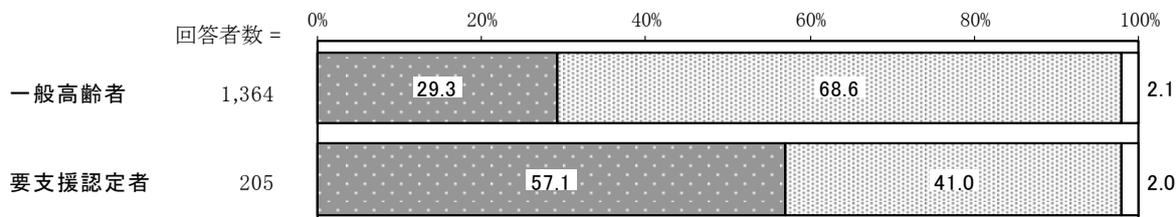
【一般高齢者：問7（3）、事業対象者・要支援認定者：問7（3）】

一般高齢者では、「はい」の割合が35.1%、「いいえ」の割合が63.5%となっています。  
事業対象者では、「はい」の割合が59.1%、「いいえ」の割合が31.8%となっています。  
要支援認定者では、「はい」の割合が57.8%、「いいえ」の割合が38.5%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、大きな変化はみられません。



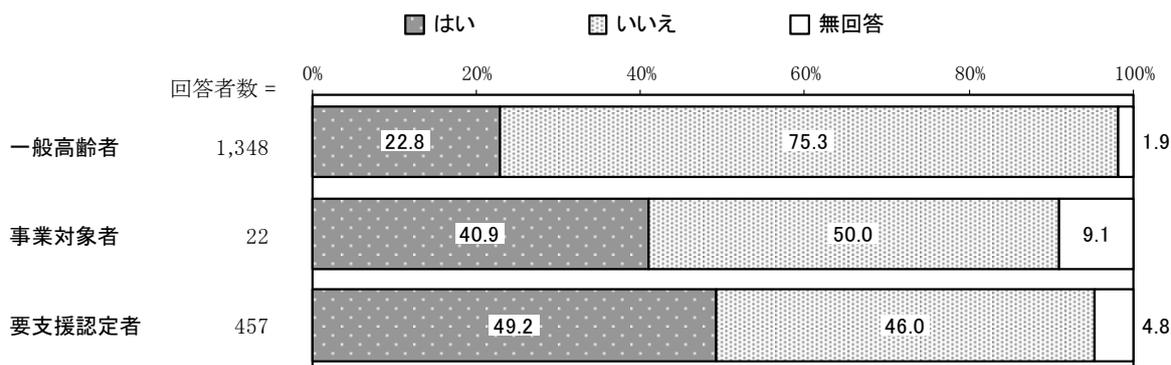
【平成28年度調査】



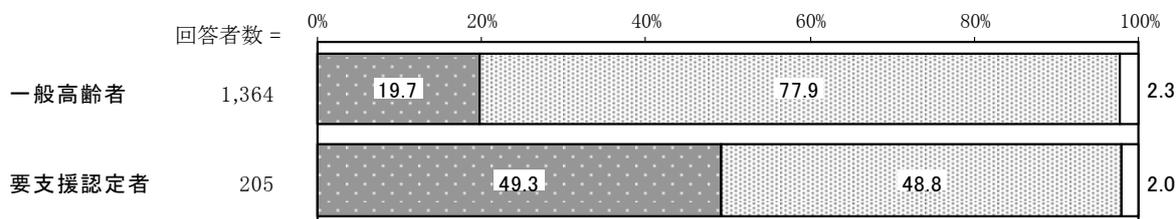
問 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問7(4)、事業対象者・要支援認定者：問7(4)】

一般高齢者では、「はい」の割合が22.8%、「いいえ」の割合が75.3%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が40.9%、「いいえ」の割合が50.0%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が49.2%、「いいえ」の割合が46.0%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】



問 タバコは吸っていますか。(〇はひとつ)

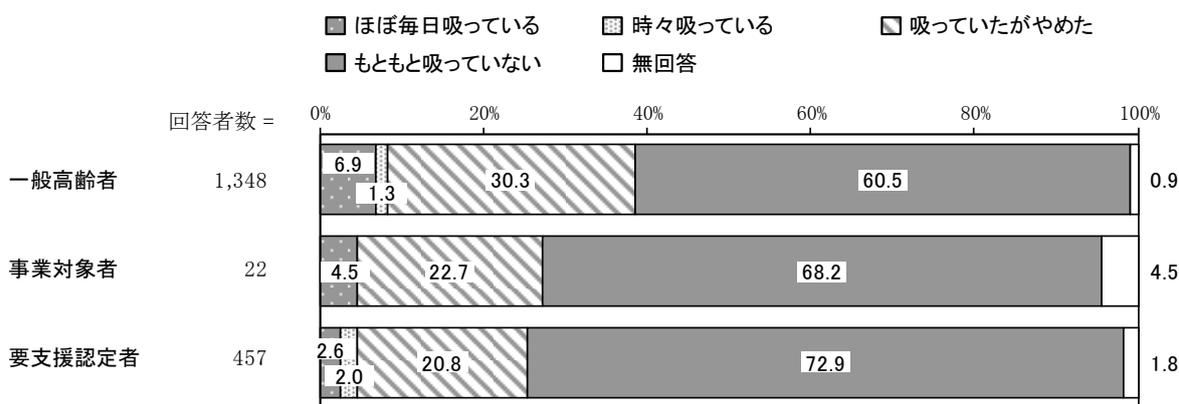
【一般高齢者：問7(5)、事業対象者・要支援認定者：問7(5)】

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が60.5%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が30.3%となっています。

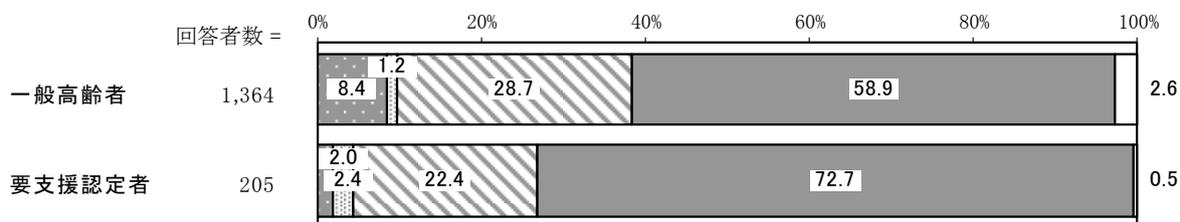
事業対象者では、「もともと吸っていない」の割合が68.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が20.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



【平成28年度調査】

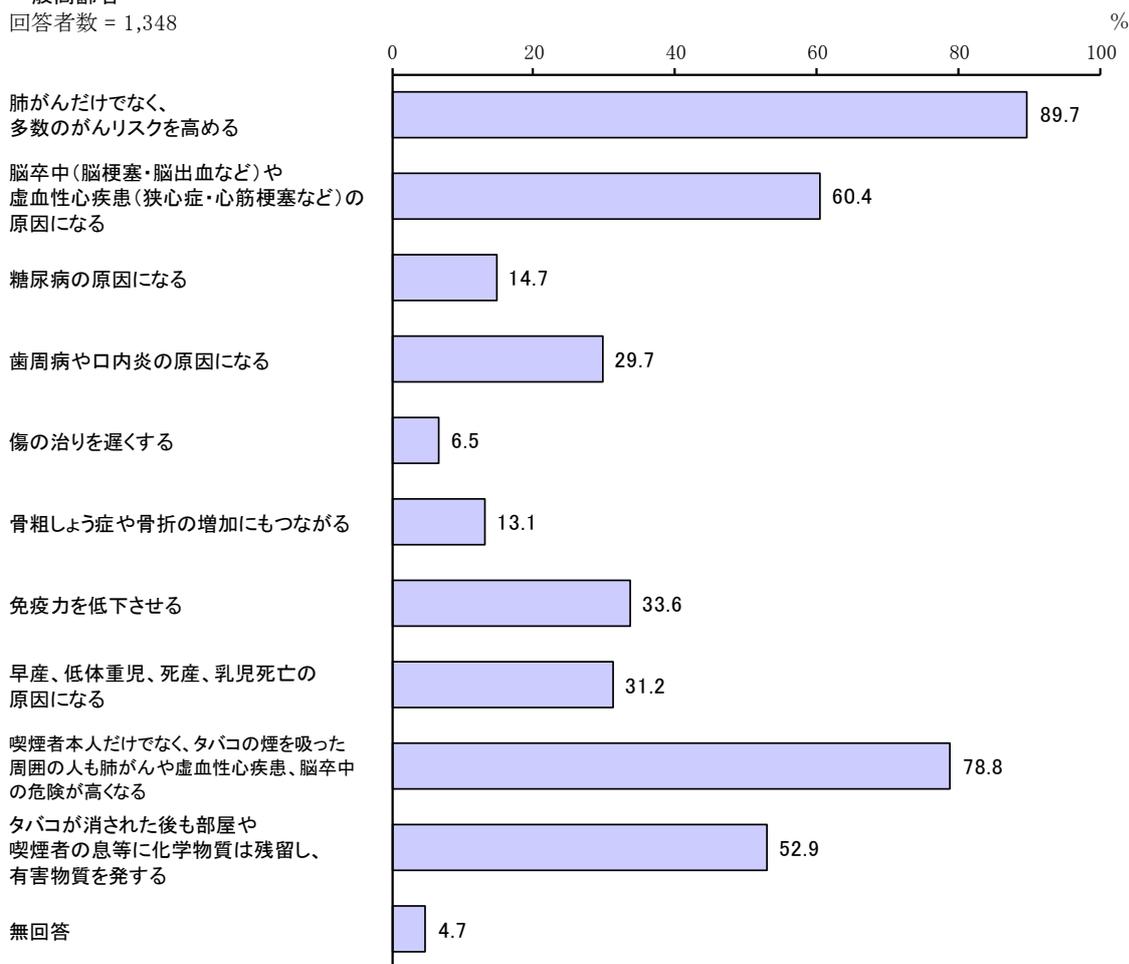


問 『タバコ健康被害』について、あなたが知っているものは何ですか。  
(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問7(6)】

一般高齢者では、「肺がんだけでなく、多数のがんリスクを高める」の割合が89.7%と最も高く、次いで「喫煙者本人だけでなく、タバコの煙を吸った周囲の人も肺がんや虚血性心疾患、脳卒中の危険が高くなる」の割合が78.8%、「脳卒中（脳梗塞・脳出血など）や虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞など）の原因になる」の割合が60.4%となっています。

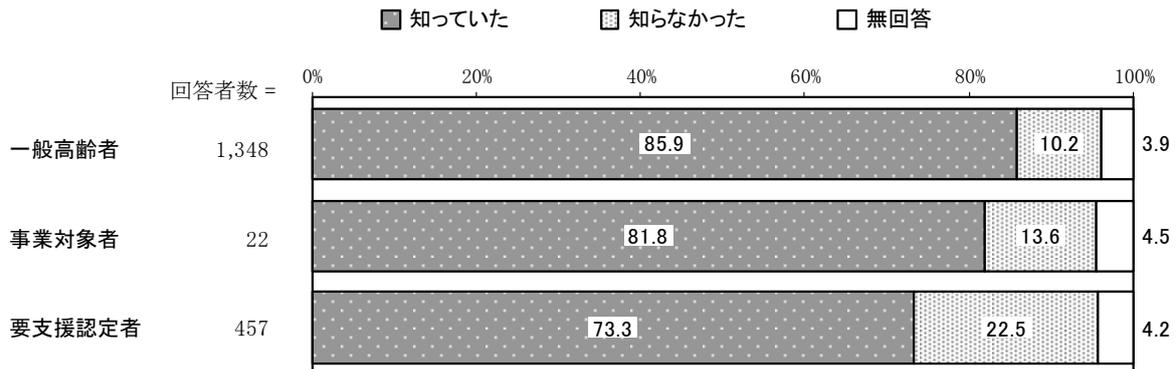
一般高齢者  
回答者数 = 1,348



問 他の人が吸うタバコの煙を自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうことを『受動喫煙』と言いますが、あなたは『受動喫煙』の意味を知っていましたか。  
(〇はひとつ)

【一般高齢者：問7(7)、事業対象者・要支援認定者：問7(6)】

一般高齢者では、「知っていた」の割合が85.9%、「知らなかった」の割合が10.2%となっています。  
事業対象者では、「知っていた」の割合が81.8%、「知らなかった」の割合が13.6%となっています。  
要支援認定者では、「知っていた」の割合が73.3%、「知らなかった」の割合が22.5%となっています。



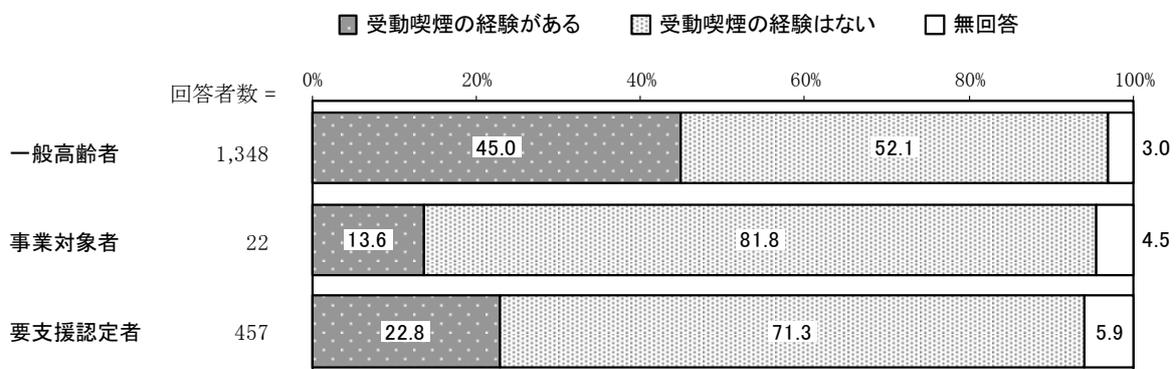
問 あなた自身、過去1年の間で、『受動喫煙』を受けた経験がありますか。  
(〇はひとつ)

【一般高齢者：問7(8)、事業対象者・要支援認定者：問7(7)】

一般高齢者では、「受動喫煙の経験がある」の割合が45.0%、「受動喫煙の経験はない」の割合が52.1%となっています。

事業対象者では、「受動喫煙の経験がある」の割合が13.6%、「受動喫煙の経験はない」の割合が81.8%となっています。

要支援認定者では、「受動喫煙の経験がある」の割合が22.8%、「受動喫煙の経験はない」の割合が71.3%となっています。



問 一般高齢者では問7（8）で、事業対象者・要支援認定者では問7（7）で「1」と回答された方にお伺いします。

『受動喫煙』を受けたのは、どのような場所でしたか。（〇はいくつでも）

【一般高齢者：問7（9）、事業対象者・要支援認定者：問7（8）】

一般高齢者では、「飲食店」の割合が43.7%と最も高く、次いで「自宅」の割合が24.6%、「路上」の割合が24.3%となっています。

事業対象者では、「飲食店」が2件となっています。「職場」、「路上」が1件となっています。

要支援認定者では、「自宅」の割合が37.5%と最も高く、次いで「飲食店」の割合が33.7%、「路上」の割合が23.1%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅	職場	飲食店	路上	駅・公園等の 公共の場	その他	無回答
一般高齢者	606	24.6	17.0	43.7	24.3	21.8	17.3	1.0
事業対象者	3	—	33.3	66.7	33.3	—	—	—
要支援認定者	104	37.5	4.8	33.7	23.1	20.2	10.6	2.9

問 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(〇は3つまで)

【一般高齢者：問7(10)、事業対象者・要支援認定者：問7(9)】

一般高齢者では、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」の割合が52.1%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」の割合が51.3%、「健康診断などを定期的に受ける」の割合が23.6%となっています。

事業対象者では、「休養や睡眠を十分にとる」の割合が63.6%と最も高く、次いで「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が54.5%、「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」の割合が40.9%となっています。

要支援認定者では、「休養や睡眠を十分にとる」の割合が51.9%と最も高く、次いで「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」の割合が49.0%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が39.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「休養や睡眠を十分にとる」の割合が増加しています。一方、「身の回りのことはなるべく自分で行う」「仕事をする」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
一般高齢者	1,348	51.3	52.1	15.7	23.6	2.5	22.3	2.8	3.7	14.8	17.4	11.0	1.0	1.5	20.6
事業対象者	22	63.6	40.9	13.6	—	—	31.8	4.5	—	9.1	54.5	4.5	4.5	—	18.2
要支援認定者	457	51.9	49.0	19.7	15.1	1.1	8.8	1.5	2.6	18.8	39.4	3.1	1.5	2.0	16.6

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
一般高齢者	1364	46.1	48.5	18.3	25.4	2.0	24.4	4.0	4.3	15.5	24.8	16.1	1.2	3.7	16.3

<一般高齢者>

【年齢別、健康状態別】

年齢別で見ると、70歳以上で年齢が低くなるにつれ「散歩やスポーツをする」の割合が高くなっています。また、80歳未満に比べ、80歳以上で「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなっています。

健康状態別で見ると、健康状態がよいほど「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」「散歩やスポーツをする」の割合が高く、健康状態がよくないほど「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数（件）	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	
全体	1348 100.0	691 51.3	702 52.1	212 15.7	318 23.6	34 2.5	300 22.3	38 2.8	
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	193 50.4	189 49.3	51 13.3	100 26.1	10 2.6	91 23.8	9 2.3
	70歳～74歳	370 100.0	198 53.5	196 53.0	65 17.6	89 24.1	10 2.7	102 27.6	9 2.4
	75歳～79歳	281 100.0	140 49.8	145 51.6	58 20.6	65 23.1	5 1.8	64 22.8	10 3.6
	80歳～84歳	157 100.0	81 51.6	89 56.7	17 10.8	28 17.8	5 3.2	27 17.2	7 4.5
	85歳～89歳	90 100.0	46 51.1	46 51.1	9 10.0	23 25.6	2 2.2	11 12.2	3 3.3
	90歳～94歳	39 100.0	19 48.7	20 51.3	10 25.6	5 12.8	2 5.1	1 2.6	— —
	95歳～99歳	20 100.0	12 60.0	11 55.0	2 10.0	7 35.0	— —	— —	— —
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
健康状態別	とてもよい	198 100.0	109 55.1	107 54.0	36 18.2	39 19.7	2 1.0	48 24.2	4 2.0
	まあよい	900 100.0	466 51.8	479 53.2	138 15.3	220 24.4	18 2.0	212 23.6	30 3.3
	あまりよくない	185 100.0	97 52.4	89 48.1	25 13.5	49 26.5	9 4.9	31 16.8	3 1.6
	よくない	31 100.0	9 29.0	10 32.3	7 22.6	5 16.1	1 3.2	4 12.9	— —

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
全 体		50 3.7	199 14.8	235 17.4	148 11.0	13 1.0	20 1.5	278 20.6
年 齢 別	65 歳～69 歳	16 4.2	61 15.9	40 10.4	60 15.7	3 0.8	4 1.0	85 22.2
	70 歳～74 歳	12 3.2	53 14.3	54 14.6	41 11.1	4 1.1	6 1.6	69 18.6
	75 歳～79 歳	12 4.3	35 12.5	48 17.1	22 7.8	2 0.7	6 2.1	63 22.4
	80 歳～84 歳	5 3.2	23 14.6	44 28.0	14 8.9	3 1.9	— —	32 20.4
	85 歳～89 歳	4 4.4	18 20.0	27 30.0	8 8.9	1 1.1	2 2.2	16 17.8
	90 歳～94 歳	1 2.6	7 17.9	11 28.2	2 5.1	— —	2 5.1	7 17.9
	95 歳～99 歳	— —	2 10.0	6 30.0	1 5.0	— —	— —	5 25.0
	100 歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
健 康 状 態 別	とてもよい	9 4.5	24 12.1	23 11.6	21 10.6	— —	3 1.5	47 23.7
	まあよい	32 3.6	139 15.4	152 16.9	101 11.2	8 0.9	10 1.1	186 20.7
	あまりよくない	6 3.2	28 15.1	39 21.1	22 11.9	3 1.6	5 2.7	32 17.3
	よくない	1 3.2	5 16.1	8 25.8	2 6.5	2 6.5	2 6.5	6 19.4

問 健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

【一般高齢者：問7(11)、事業対象者・要支援認定者：問7(10)】

一般高齢者では、「認知症の予防について」の割合が51.0%と最も高く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」の割合が45.8%、「望ましい食生活について」の割合が34.8%となっています。

事業対象者では、「認知症の予防について」の割合が50.0%と最も高く、次いで「寝たきりや介護の予防について」の割合が45.5%、「運動の方法について」の割合が36.4%となっています。

要支援認定者では、「認知症の予防について」の割合が48.6%と最も高く、次いで「寝たきりや介護の予防について」の割合が35.2%、「望ましい食生活について」の割合が30.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
一般高齢者	1,348	45.8	34.8	17.4	13.1	21.4	8.4	51.0	9.6	3.9	10.7
事業対象者	22	22.7	27.3	36.4	4.5	45.5	9.1	50.0	9.1	—	18.2
要支援認定者	457	29.1	30.2	18.6	8.8	35.2	8.8	48.6	9.6	2.8	15.5

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
一般高齢者	1364	42.2	37.7	16.8	12.8	22.7	9.1	47.9	9.2	4.1	10.6

<一般高齢者>

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「寝たきりや介護の予防について」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、80歳～89歳で「望ましい食生活について」の割合が高くなっています。また、65歳～69歳で「運動の方法について」の割合が高くなっています。

健康状態別でみると、健康状態がよいほど「望ましい食生活について」の割合が高く、健康状態がよくないほど「うつ病の予防について」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分	回答者数（件）	がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答	
全体	1348 100.0	617 45.8	469 34.8	235 17.4	177 13.1	288 21.4	113 8.4	688 51.0	130 9.6	53 3.9	144 10.7	
性別	男性	629 100.0	304 48.3	207 32.9	123 19.6	98 15.6	87 13.8	64 10.2	309 49.1	49 7.8	32 5.1	67 10.7
	女性	706 100.0	307 43.5	256 36.3	111 15.7	78 11.0	200 28.3	49 6.9	371 52.5	78 11.0	21 3.0	77 10.9
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	172 44.9	124 32.4	89 23.2	41 10.7	63 16.4	36 9.4	179 46.7	41 10.7	15 3.9	40 10.4
	70歳～74歳	370 100.0	173 46.8	124 33.5	64 17.3	52 14.1	82 22.2	30 8.1	189 51.1	36 9.7	15 4.1	38 10.3
	75歳～79歳	281 100.0	135 48.0	103 36.7	36 12.8	40 14.2	63 22.4	23 8.2	154 54.8	23 8.2	10 3.6	30 10.7
	80歳～84歳	157 100.0	67 42.7	62 39.5	25 15.9	24 15.3	37 23.6	14 8.9	82 52.2	17 10.8	6 3.8	16 10.2
	85歳～89歳	90 100.0	45 50.0	37 41.1	16 17.8	15 16.7	23 25.6	8 8.9	49 54.4	8 8.9	4 4.4	8 8.9
	90歳～94歳	39 100.0	12 30.8	11 28.2	4 10.3	2 5.1	12 30.8	1 2.6	22 56.4	2 5.1	2 5.1	7 17.9
	95歳～99歳	20 100.0	8 40.0	6 30.0	—	3 15.0	7 35.0	1 5.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
健康状態別	とてもよい	198 100.0	91 46.0	72 36.4	24 12.1	20 10.1	43 21.7	16 8.1	98 49.5	15 7.6	14 7.1	21 10.6
	まあよい	900 100.0	430 47.8	322 35.8	179 19.9	121 13.4	182 20.2	77 8.6	471 52.3	75 8.3	23 2.6	91 10.1
	あまりよくない	185 100.0	76 41.1	60 32.4	27 14.6	30 16.2	50 27.0	18 9.7	91 49.2	30 16.2	10 5.4	20 10.8
	よくない	31 100.0	11 35.5	5 16.1	2 6.5	5 16.1	7 22.6	—	13 41.9	6 19.4	5 16.1	4 12.9

<事業対象者・要支援認定者>

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「運動の方法について」「健康診断・各種検診の内容や受け方などについて」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「寝たきりや介護の予防について」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、80歳～84歳で「認知症の予防について」の割合が高くなっています。また、80歳～84歳、90歳～94歳で「寝たきりや介護の予防について」の割合が、70歳～74歳で「望ましい食生活について」の割合が高くなっています。

健康状態別でみると、健康状態がよいほど「望ましい食生活について」「認知症の予防について」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分	有効回答数（件）	がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答	
全体	545 100.0	161 29.5	171 31.4	101 18.5	49 9.0	186 34.1	46 8.4	261 47.9	49 9.0	13 2.4	94 17.2	
性別	男性	159 100.0	51 32.1	47 29.6	40 25.2	23 14.5	42 26.4	12 7.5	73 45.9	14 8.8	3 1.9	26 16.4
	女性	340 100.0	97 28.5	104 30.6	53 15.6	23 6.8	129 37.9	32 9.4	161 47.4	30 8.8	9 2.6	61 17.9
年齢別	65歳～69歳	14 100.0	4 28.6	3 21.4	4 28.6	1 7.1	4 28.6	1 7.1	4 28.6	4 28.6	2 14.3	1 7.1
	70歳～74歳	43 100.0	14 32.6	16 37.2	12 27.9	1 2.3	11 25.6	7 16.3	19 44.2	7 16.3	2 4.7	4 9.3
	75歳～79歳	80 100.0	19 23.8	25 31.3	14 17.5	7 8.8	25 31.3	2 2.5	35 43.8	6 7.5	1 1.3	20 25.0
	80歳～84歳	133 100.0	44 33.1	41 30.8	16 12.0	16 12.0	56 42.1	5 3.8	72 54.1	15 11.3	-	22 16.5
	85歳～89歳	145 100.0	50 34.5	49 33.8	25 17.2	13 9.0	39 26.9	18 12.4	71 49.0	7 4.8	4 2.8	27 18.6
	90歳～94歳	90 100.0	19 21.1	24 26.7	22 24.4	9 10.0	35 38.9	10 11.1	46 51.1	6 6.7	3 3.3	12 13.3
	95歳～99歳	28 100.0	7 25.0	6 21.4	5 17.9	2 7.1	10 35.7	3 10.7	10 35.7	4 14.3	1 3.6	6 21.4
	100歳以上	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
健康状態別	とてもよい	11 100.0	2 18.2	7 63.6	1 9.1	-	5 45.5	1 9.1	6 54.5	1 9.1	-	3 27.3
	まあよい	253 100.0	72 28.5	81 32.0	48 19.0	21 8.3	77 30.4	27 10.7	127 50.2	16 6.3	6 2.4	45 17.8
	あまりよくない	197 100.0	66 33.5	61 31.0	37 18.8	18 9.1	77 39.1	11 5.6	100 50.8	22 11.2	4 2.0	26 13.2
	よくない	57 100.0	16 28.1	15 26.3	10 17.5	4 7.0	23 40.4	5 8.8	18 31.6	8 14.0	3 5.3	11 19.3

問 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

【一般高齢者：問7(12)、事業対象者・要支援認定者：問7(11)】

一般高齢者では、「高血圧」の割合が41.2%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が20.3%、「ない」の割合が16.2%となっています。

事業対象者では、「高血圧」の割合が54.5%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が40.9%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が45.3%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が32.2%、「目の病気」の割合が28.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

要支援認定者では、「目の病気」「耳の病気」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
一般高齢者	1,348	16.2	41.2	3.9	8.8	13.4	11.7	5.4	4.2	8.7	12.6
事業対象者	22	4.5	54.5	18.2	18.2	18.2	4.5	13.6	13.6	18.2	13.6
要支援認定者	457	2.6	45.3	10.7	17.1	16.4	8.3	9.6	5.3	12.3	32.2

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
一般高齢者	2.4	3.8	1.9	1.3	0.8	0.2	20.3	5.2	6.3	5.5
事業対象者	13.6	4.5	4.5	4.5	18.2	—	40.9	—	4.5	4.5
要支援認定者	14.7	4.8	2.6	2.8	5.3	2.6	28.9	8.3	6.8	5.3

【平成 28 年度調査】

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
一般高齢者	1364	19.6	40.0	2.1	8.5	13.1	11.7	6.1	6.2	6.2	7.8
要支援認定者	205	2.0	43.9	15.6	15.1	12.7	6.3	11.7	5.9	9.3	31.2

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
一般高齢者	2.7	3.8	1.4	0.9	0.1	0.4	20.7	4.4	7.7	5.3
要支援認定者	15.6	4.4	2.0	4.9	2.9	5.4	36.6	13.7	8.8	4.9

<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。また、女性で「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。また、他に比べ、85歳～89歳で「目の病気」の割合が、90歳～94歳で「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が、90歳～94歳、95歳～99歳で「心臓病」「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	有効回答数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	
											(骨粗しょう症、関 節症等)	
全 体	1348 100.0	219 16.2	555 41.2	52 3.9	118 8.8	181 13.4	158 11.7	73 5.4	56 4.2	117 8.7	170 12.6	
性 別	男性	629 100.0	108 17.2	270 42.9	35 5.6	70 11.1	108 17.2	56 8.9	41 6.5	30 4.8	101 16.1	35 5.6
	女性	706 100.0	111 15.7	280 39.7	16 2.3	48 6.8	73 10.3	101 14.3	29 4.1	26 3.7	15 2.1	134 19.0
年 齢 別	65歳～69歳	383 100.0	101 26.4	123 32.1	12 3.1	20 5.2	46 12.0	44 11.5	10 2.6	10 2.6	21 5.5	37 9.7
	70歳～74歳	370 100.0	56 15.1	166 44.9	15 4.1	32 8.6	49 13.2	49 13.2	24 6.5	17 4.6	39 10.5	28 7.6
	75歳～79歳	281 100.0	24 8.5	125 44.5	7 2.5	28 10.0	42 14.9	44 15.7	13 4.6	13 4.6	21 7.5	43 15.3
	80歳～84歳	157 100.0	19 12.1	73 46.5	7 4.5	13 8.3	26 16.6	11 7.0	13 8.3	8 5.1	17 10.8	28 17.8
	85歳～89歳	90 100.0	11 12.2	38 42.2	5 5.6	12 13.3	13 14.4	6 6.7	8 8.9	5 5.6	11 12.2	18 20.0
	90歳～94歳	39 100.0	2 5.1	20 51.3	5 12.8	8 20.5	4 10.3	2 5.1	4 10.3	2 5.1	4 10.3	8 20.5
	95歳～99歳	20 100.0	5 25.0	7 35.0	— —	5 25.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	8 40.0
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマ ー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体		32 2.4	51 3.8	25 1.9	17 1.3	11 0.8	3 0.2	273 20.3	70 5.2	85 6.3	74 5.5
性 別	男性	17 2.7	27 4.3	7 1.1	4 0.6	6 1.0	2 0.3	119 18.9	36 5.7	39 6.2	38 6.0
	女性	15 2.1	23 3.3	18 2.5	12 1.7	5 0.7	1 0.1	153 21.7	32 4.5	46 6.5	35 5.0
年 齢 別	65歳～69歳	5 1.3	10 2.6	6 1.6	4 1.0	1 0.3	- -	52 13.6	14 3.7	34 8.9	17 4.4
	70歳～74歳	6 1.6	15 4.1	9 2.4	7 1.9	- -	1 0.3	81 21.9	11 3.0	22 5.9	18 4.9
	75歳～79歳	11 3.9	14 5.0	4 1.4	4 1.4	2 0.7	- -	67 23.8	22 7.8	18 6.4	17 6.0
	80歳～84歳	3 1.9	5 3.2	5 3.2	- -	2 1.3	1 0.6	39 24.8	10 6.4	8 5.1	10 6.4
	85歳～89歳	2 2.2	5 5.6	- -	- -	2 2.2	- -	26 28.9	6 6.7	3 3.3	8 8.9
	90歳～94歳	3 7.7	1 2.6	1 2.6	- -	3 7.7	1 2.6	5 12.8	1 2.6	- -	3 7.7
	95歳～99歳	2 10.0	1 5.0	- -	1 5.0	1 5.0	- -	3 15.0	5 25.0	- -	1 5.0
	100歳以上	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

<事業対象者・要支援認定者>

【性別、年齢別、介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「糖尿病」「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」「腎臓・前立腺の病気」「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高くなっています。また、女性で「高血圧」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「心臓病」の割合が、年齢が低くなるにつれ「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「糖尿病」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、75歳～79歳、80歳～84歳で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

介護度別でみると、他に比べ、要支援2で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。また、事業対象者で「高血圧」「認知症（アルツハイマー病等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全 体		545 100.0	16 2.9	240 44.0	61 11.2	92 16.9	91 16.7	43 7.9	54 9.9	29 5.3	64 11.7	165 30.3
性 別	男性	159 100.0	1 0.6	58 36.5	29 18.2	30 18.9	41 25.8	10 6.3	25 15.7	9 5.7	43 27.0	27 17.0
	女性	340 100.0	12 3.5	165 48.5	24 7.1	60 17.6	47 13.8	29 8.5	26 7.6	16 4.7	18 5.3	125 36.8
年 齢 別	65歳～69歳	14 100.0	— —	8 57.1	5 35.7	— —	7 50.0	2 14.3	1 7.1	— —	3 21.4	3 21.4
	70歳～74歳	43 100.0	— —	16 37.2	9 20.9	4 9.3	16 37.2	4 9.3	2 4.7	2 4.7	6 14.0	10 23.3
	75歳～79歳	80 100.0	1 1.3	29 36.3	10 12.5	13 16.3	11 13.8	12 15.0	9 11.3	5 6.3	10 12.5	30 37.5
	80歳～84歳	133 100.0	7 5.3	65 48.9	19 14.3	21 15.8	27 20.3	14 10.5	16 12.0	8 6.0	14 10.5	48 36.1
	85歳～89歳	145 100.0	4 2.8	61 42.1	8 5.5	26 17.9	16 11.0	4 2.8	18 12.4	8 5.5	16 11.0	41 28.3
	90歳～94歳	90 100.0	3 3.3	41 45.6	10 11.1	18 20.0	10 11.1	6 6.7	4 4.4	5 5.6	12 13.3	21 23.3
	95歳～99歳	28 100.0	— —	15 53.6	— —	9 32.1	2 7.1	1 3.6	3 10.7	1 3.6	2 7.1	8 28.6
	100歳以上	2 100.0	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —
介 護 度 別	要支援1	264 100.0	7 2.7	121 45.8	28 10.6	40 15.2	43 16.3	21 8.0	27 10.2	10 3.8	28 10.6	76 28.8
	要支援2	193 100.0	5 2.6	86 44.6	21 10.9	38 19.7	32 16.6	17 8.8	17 8.8	14 7.3	28 14.5	71 36.8
	事業対象者	22 100.0	1 4.5	12 54.5	4 18.2	4 18.2	4 18.2	1 4.5	3 13.6	3 13.6	4 18.2	3 13.6

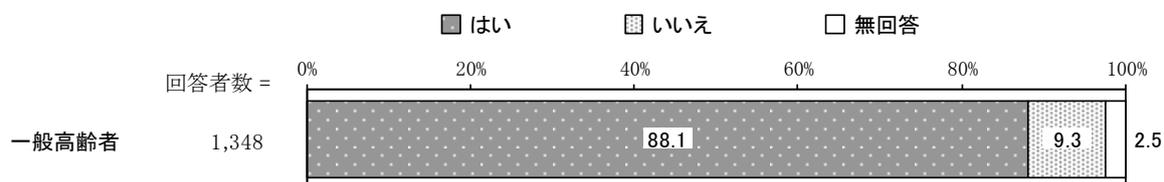
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体		77 14.1	25 4.6	15 2.8	14 2.6	34 6.2	15 2.8	154 28.3	46 8.4	32 5.9	31 5.7
性 別	男性	18 11.3	11 6.9	7 4.4	5 3.1	17 10.7	6 3.8	38 23.9	14 8.8	6 3.8	11 6.9
	女性	52 15.3	12 3.5	7 2.1	9 2.6	13 3.8	9 2.6	105 30.9	31 9.1	19 5.6	20 5.9
年 齢 別	65歳～69歳	— —	— —	— —	3 21.4	1 7.1	1 7.1	5 35.7	— —	— —	2 14.3
	70歳～74歳	4 9.3	3 7.0	2 4.7	2 4.7	4 9.3	4 9.3	13 30.2	4 9.3	— —	3 7.0
	75歳～79歳	11 13.8	2 2.5	3 3.8	2 2.5	3 3.8	2 2.5	21 26.3	4 5.0	5 6.3	6 7.5
	80歳～84歳	21 15.8	7 5.3	5 3.8	3 2.3	14 10.5	4 3.0	37 27.8	12 9.0	7 5.3	6 4.5
	85歳～89歳	23 15.9	9 6.2	3 2.1	1 0.7	8 5.5	2 1.4	40 27.6	13 9.0	8 5.5	7 4.8
	90歳～94歳	11 12.2	3 3.3	2 2.2	1 1.1	2 2.2	1 1.1	28 31.1	8 8.9	8 8.9	6 6.7
	95歳～99歳	5 17.9	1 3.6	— —	2 7.1	1 3.6	— —	9 32.1	5 17.9	— —	1 3.6
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
介 護 度 別	要支援1	32 12.1	10 3.8	6 2.3	7 2.7	15 5.7	6 2.3	70 26.5	15 5.7	16 6.1	20 7.6
	要支援2	35 18.1	12 6.2	6 3.1	6 3.1	9 4.7	6 3.1	62 32.1	23 11.9	8 4.1	11 5.7
	事業対象者	3 13.6	1 4.5	1 4.5	1 4.5	4 18.2	— —	9 40.9	— —	1 4.5	1 4.5

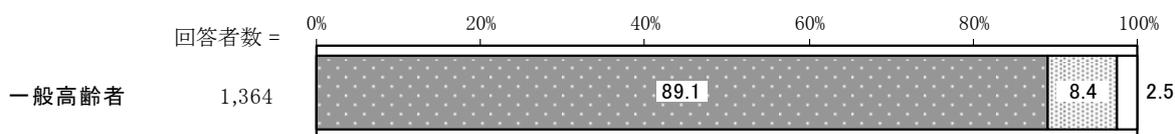
問 かかりつけのお医者さんはいますか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問7 (13)】

一般高齢者では、「はい」の割合が88.1%、「いいえ」の割合が9.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



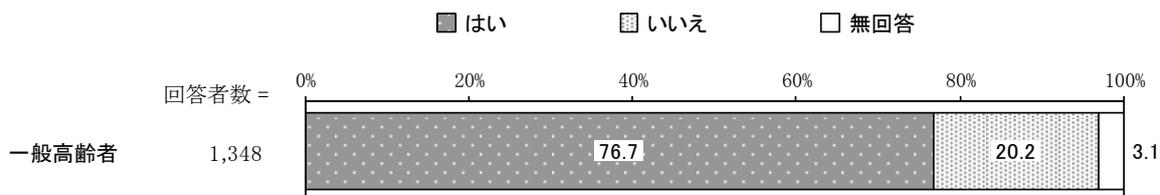
【平成28年度調査】



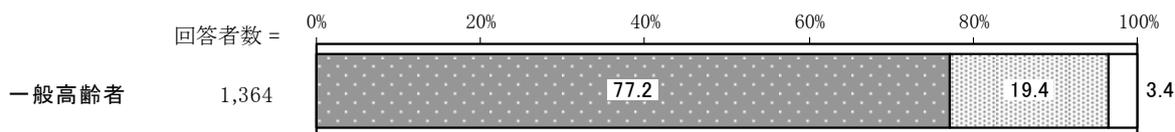
問 かかりつけの薬局はありますか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問7 (14)】

一般高齢者では、「はい」の割合が76.7%、「いいえ」の割合が20.2%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



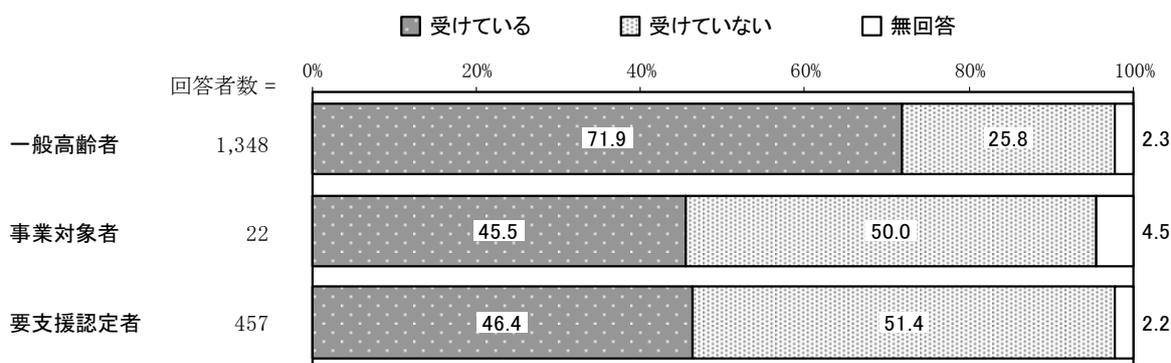
【平成28年度調査】



問 1年に1回は生活習慣病に関する健康診査（特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けていますか。（○はひとつ）

【一般高齢者：問7（15）、事業対象者・要支援認定者：問7（12）】

一般高齢者では、「受けている」の割合が71.9%、「受けていない」の割合が25.8%となっています。事業対象者では、「受けている」の割合が45.5%、「受けていない」の割合が50.0%となっています。要支援認定者では「受けている」の割合が46.4%、「受けていない」の割合が51.4%となっています。



問 一般高齢者では問7（15）、事業対象者・要支援認定者では問7（12）で「受けていない」と回答された方にお伺いします。

1年に1度も、健康診査を受けていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【一般高齢者：問7（16）、事業対象者・要支援認定者：問7（13）】

一般高齢者では、「定期的にかかりつけの病院で検査している」の割合が59.5%と最も高く、次いで「自覚症状がない」の割合が26.1%、「予約したり健診に行くのが面倒くさい」の割合が12.1%となっています。

事業対象者では、「定期的にかかりつけの病院で検査している」の割合が63.6%と最も高く、次いで「予約したり健診に行くのが面倒くさい」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「定期的にかかりつけの病院で検査している」の割合が74.0%と最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自覚症状がない	かかりつけの病院がない	病気が発見されたり、悪いところを指摘されるのが怖い	予約したり健診に行くのが面倒くさい	定期的にかかりつけの病院で検査している	お金がなく、受けたくても受けることが出来ない	その他	無回答
一般高齢者	348	26.1	4.6	8.9	12.1	59.5	2.9	6.3	2.9
事業対象者	11	9.1	—	9.1	18.2	63.6	—	—	18.2
要支援認定者	235	8.9	0.4	4.3	6.8	74.0	1.3	5.1	10.6

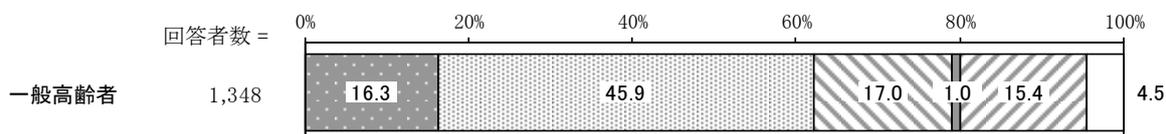
## (8) 介護保険サービス・総合事業について

問 あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。  
次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

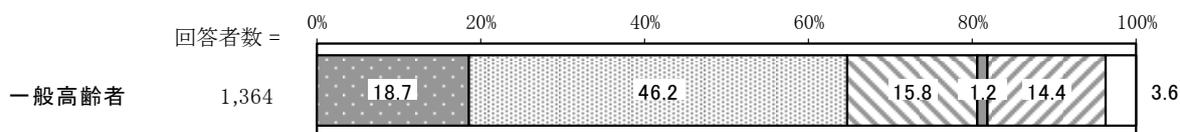
【一般高齢者：問8(1)】

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」の割合が45.9%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所したい」の割合が17.0%、「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」の割合が16.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

- なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
- ▨ 介護保険サービス(デイサービスや短期の宿泊サービスなど)を使いながら自宅で介護してほしい
- ▩ 老人ホームなどの施設に入所したい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



### 【平成28年度調査】

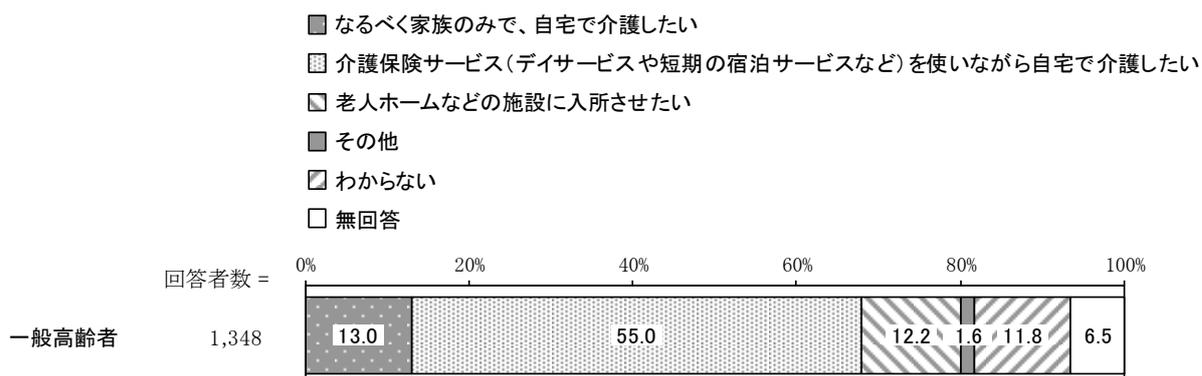


問 あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。  
次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

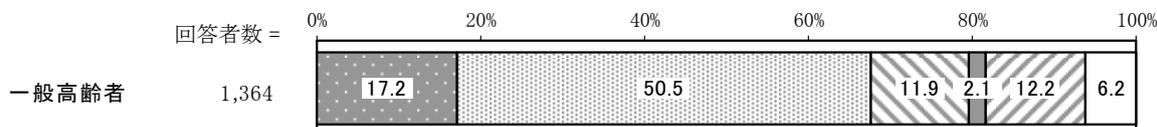
【一般高齢者：問8(2)】

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」の割合が55.0%と最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が13.0%、「老人ホームなどの施設に入所させたい」の割合が12.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



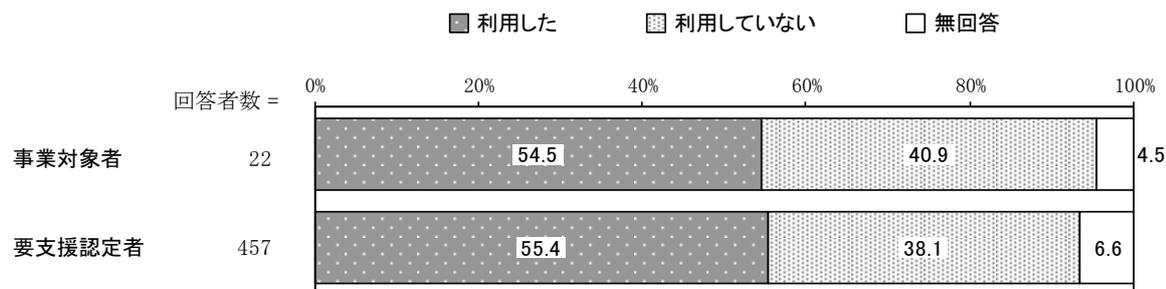
【平成28年度調査】



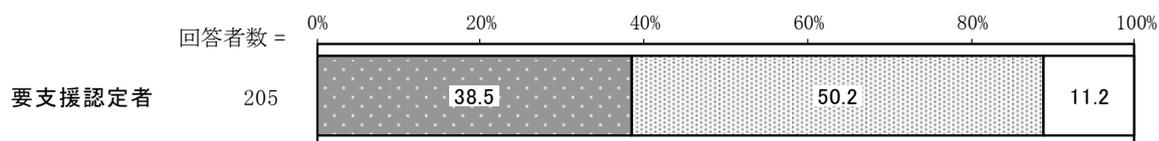
問 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス・総合事業サービスを利用しましたか。(〇はひとつ)

【事業対象者・要支援認定者：問8(1)】

事業対象者では、「利用した」の割合が54.5%、「利用していない」の割合が40.9%となっています。要支援認定者では、「利用した」の割合が55.4%、「利用していない」の割合が38.1%となっています。平成28年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。



【平成28年度調査】



問 事業対象者・要支援認定者の問8(1)で「1」と回答された方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ○はひとつ)

【事業対象者・要支援認定者：問8(2)】

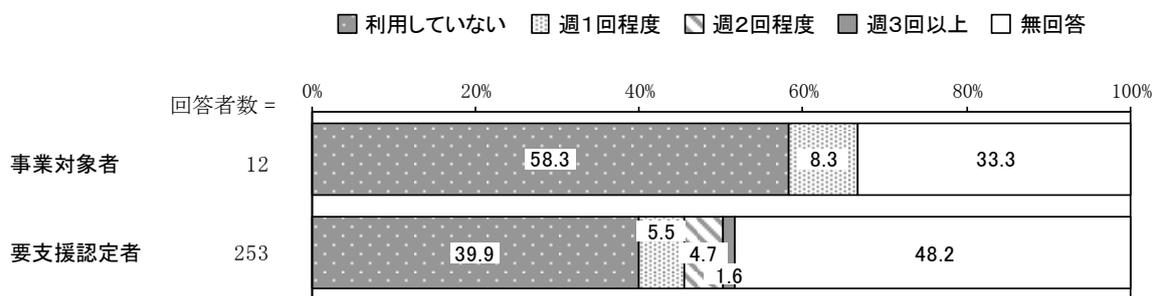
1. 1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)

A. 訪問介護・訪問型サービス(ホームヘルプ)

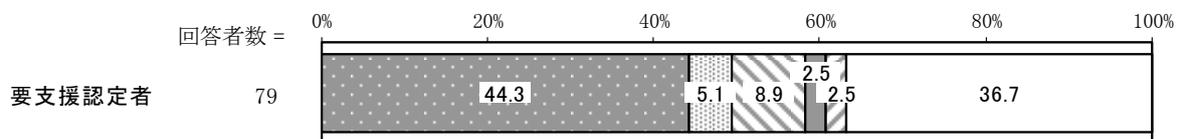
事業対象者では、「利用していない」の割合が58.3%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「利用していない」の割合が39.9%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では「利用していない」の割合が減少しています。



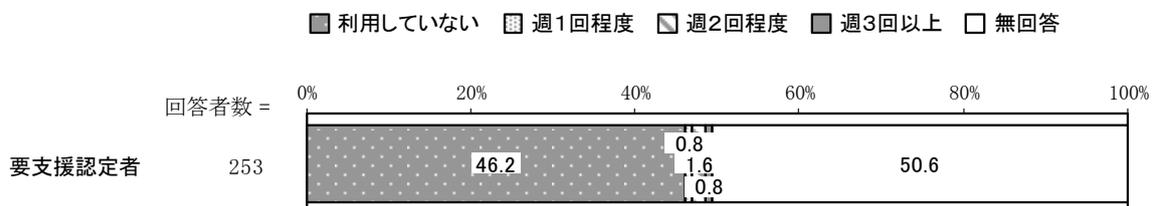
【平成28年度調査】



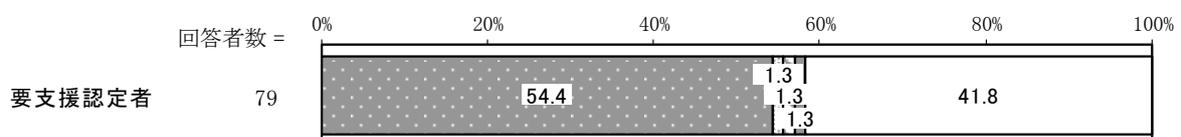
B. 訪問入浴介護

「利用していない」の割合が46.2%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では「利用していない」の割合が減少しています。



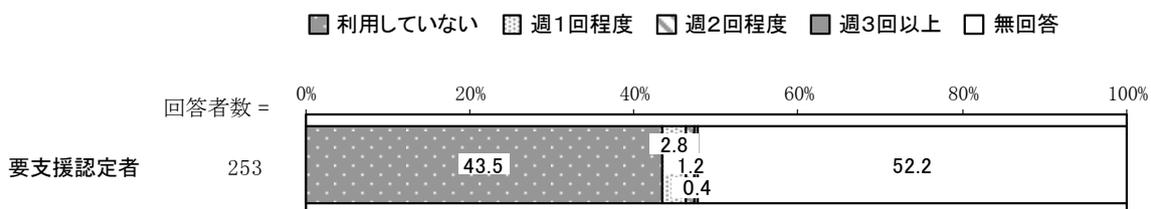
【平成28年度調査】



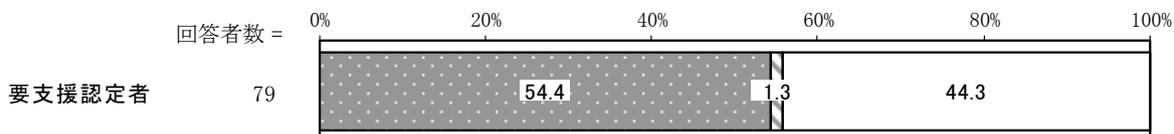
### C. 訪問看護

「利用していない」の割合が43.5%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では「利用していない」の割合が減少しています。



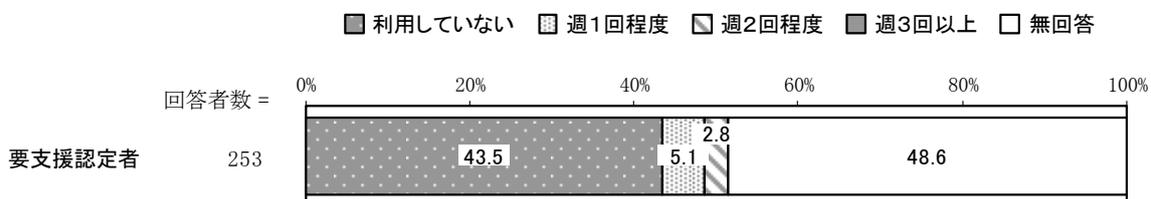
#### 【平成28年度調査】



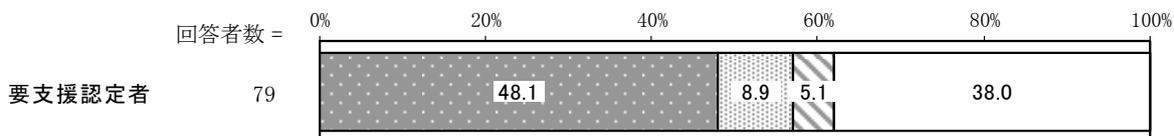
### D. 訪問リハビリテーション

「利用していない」の割合が43.5%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では大きな変化はみられません。



#### 【平成28年度調査】

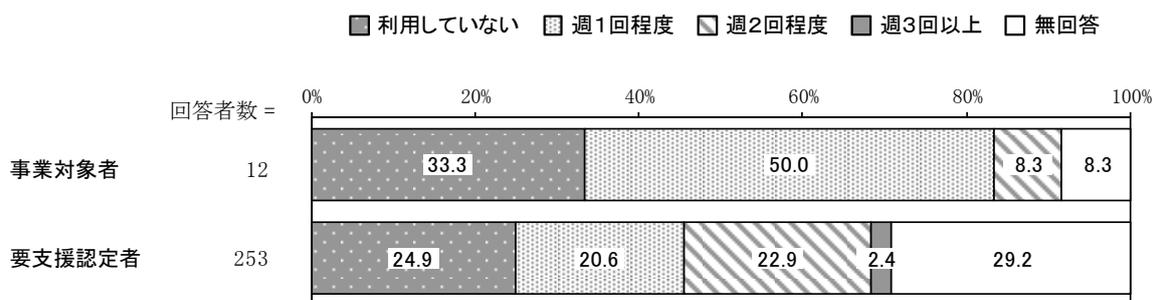


### E. 通所介護・通所型サービス（デイサービス）

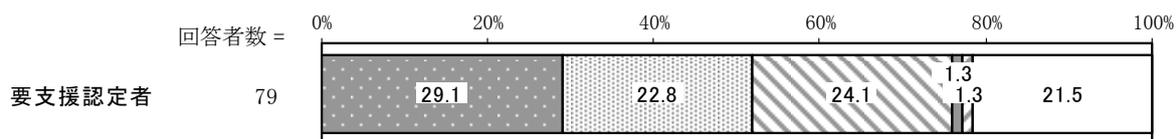
事業対象者では、「週1回程度」の割合が50.0%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が33.3%となっています。

要支援認定者では、「利用していない」の割合が24.9%と最も高く、次いで「週2回程度」の割合が22.9%、「週1回程度」の割合が20.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では大きな変化はみられません。



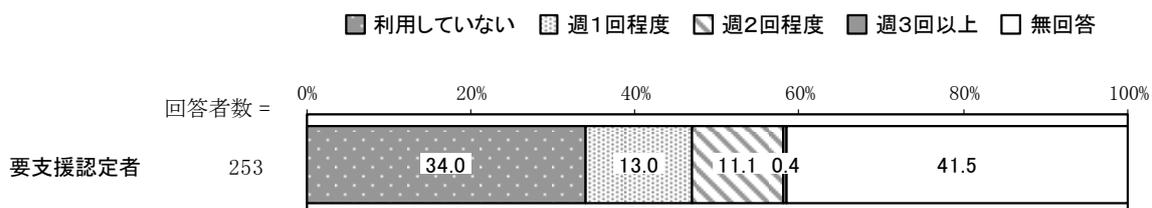
#### 【平成28年度調査】



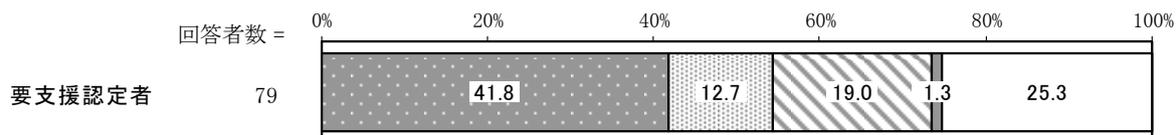
### F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「利用していない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「週1回程度」の割合が13.0%、「週2回程度」の割合が11.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では「利用していない」「週2回程度」の割合が減少しています。



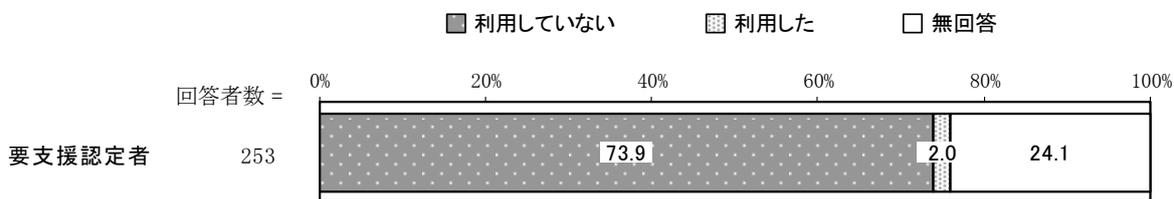
#### 【平成28年度調査】



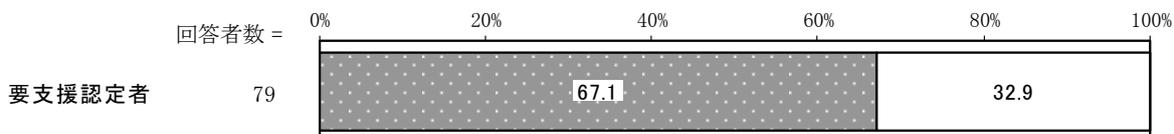
2. 1週間あたりの利用回数（〇はひとつ）

G. 小規模多機能型居宅介護

要支援認定者では、「利用していない」の割合が73.9%、「利用した」の割合が2.0%となっています。平成28年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



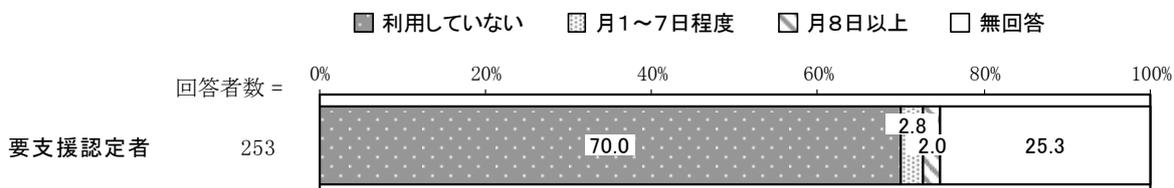
【平成28年度調査】



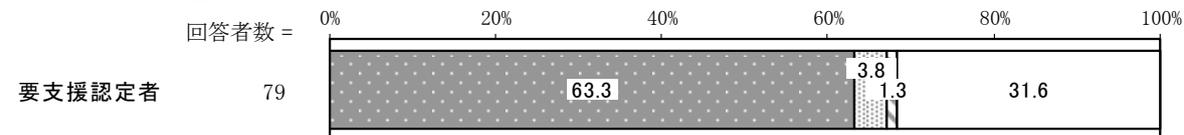
3. 1か月あたりの利用回数（〇はひとつ）

H. ショートステイ

要支援認定者では、「利用していない」の割合が70.0%と最も高くなっています。平成28年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



【平成28年度調査】

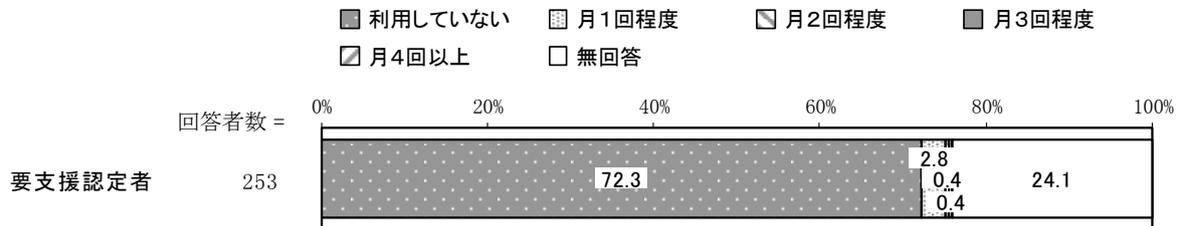


#### 4. 1か月あたりの利用回数（〇はひとつ）

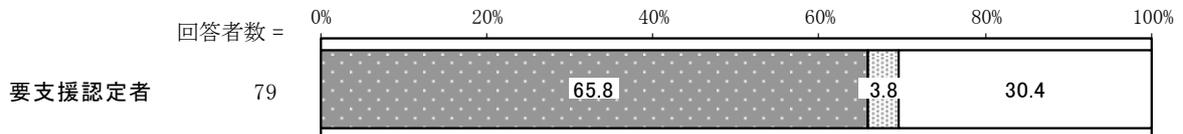
##### I. 居宅療養管理指導

要支援認定者では、「利用していない」の割合が72.3%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



##### 【平成28年度調査】



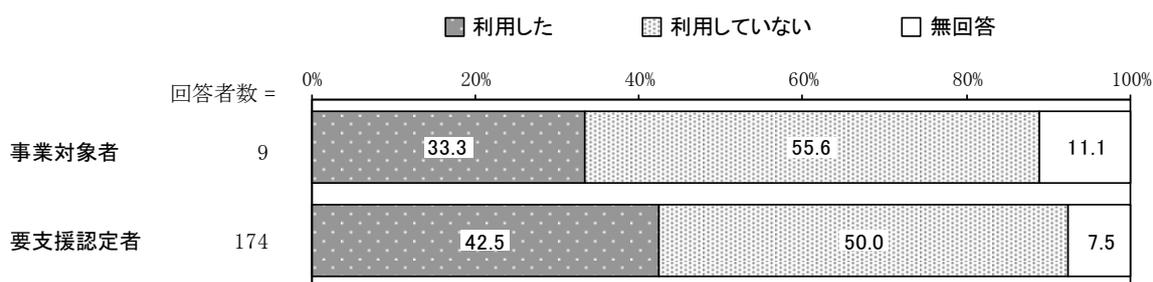
問 事業対象者・要支援認定者：問 8（1）で「利用していない」と回答された方にお伺いします。あなたは今までに介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を含む）・総合事業サービスを利用したことがありますか。（○はひとつ）

【事業対象者・要支援認定者：問 8（3）】

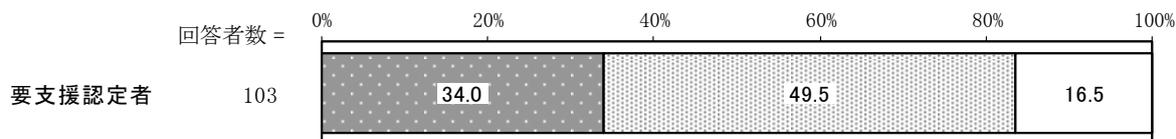
事業対象者では、「利用した」が3件、「利用していない」が5件となっています。

要支援認定者では、「利用した」の割合が 42.5%、「利用していない」の割合が 50.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。



【平成 28 年度調査】



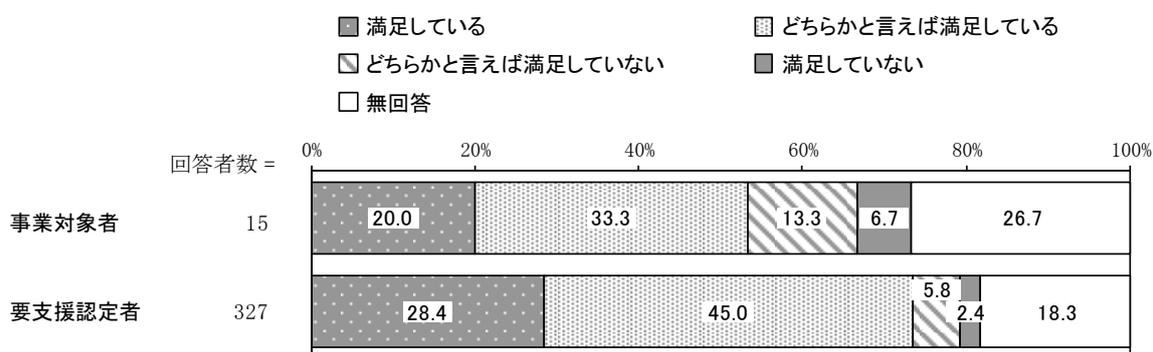
問 事業対象者・要支援認定者の問 8 (1) で「利用した」または (3) で「利用した」と回答された方にお伺いします。  
介護保険制度全般についてどのように思いますか。(〇はひとつ)

【事業対象者・要支援認定者：問 8 (4)】

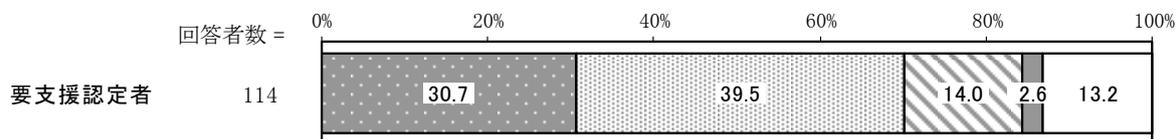
事業対象者では、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」をあわせた“満足している”の割合が 53.3%、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」をあわせた“満足していない”の割合が 20.0%となっています。

要支援認定者では、“満足している”の割合が 73.4%、“満足していない”の割合が 8.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、“満足していない”の割合が減少しています。



【平成 28 年度調査】



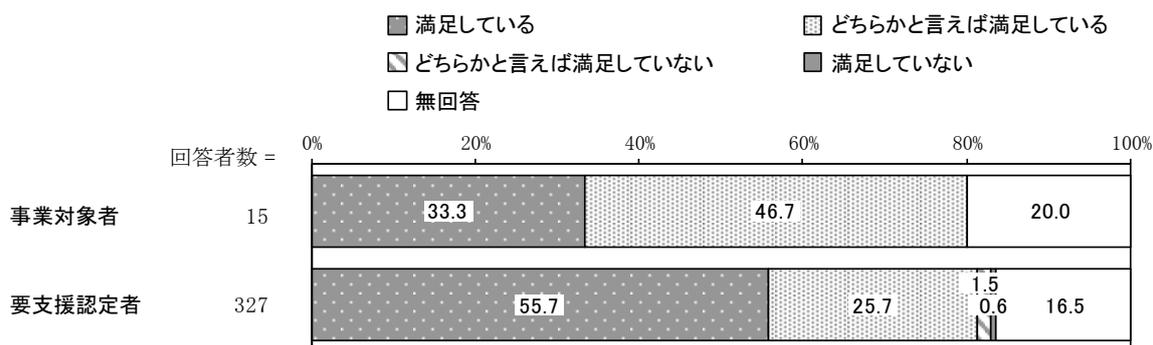
問 事業対象者・要支援認定者の問8（1）で「利用した」または（3）で「利用した」と回答された方にお伺いします。  
 担当のケアマネジャーに満足していますか。（○はひとつ）

【事業対象者・要支援認定者：問8（5）】

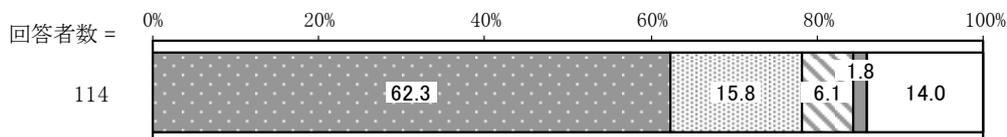
事業対象者では、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」をあわせた“満足している”の割合が80.0%となっています。

要支援認定者では、“満足している”の割合が81.4%、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」をあわせた“満足していない”の割合が2.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、“満足していない”の割合が減少しています。



【平成28年度調査】



問 事業対象者・要支援認定者の問8(3)で「利用していない」と回答された方にお伺いします。あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。  
(〇は3つまで)

【事業対象者・要支援認定者：問8(6)】

事業対象者では、「家族が介護しているから」、「まだ利用するほど困っていないから」、「病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから」、「利用の仕方がわからないから」が1件となっています。

要支援認定者では、「まだ利用するほど困っていないから」の割合が55.2%と最も高く、次いで「家族が介護しているから」の割合が33.3%、「利用することに抵抗を感じるから」の割合が11.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では「家族が介護しているから」「他人を自宅に入れたくないから」「利用することに抵抗を感じるから」の割合が増加し、「病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族が介護しているから	まだ利用するほど困っていないから	利用したいサービスがないから	他人を自宅に入れたくないから	利用者負担が高いから	利用することに抵抗を感じるから	利用したいが予約がいっぱいで利用できないから	病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから	利用の仕方がわからないから	その他	無回答
事業対象者	5	20.0	20.0	—	—	—	—	—	20.0	20.0	20.0	—
要支援認定者	87	33.3	55.2	4.6	5.7	6.9	11.5	—	—	6.9	10.3	11.5

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族が介護しているから	まだ利用するほど困っていないから	利用したいサービスがないから	他人を自宅に入れたくないから	利用者負担が高いから	利用することに抵抗を感じるから	利用したいが予約がいっぱいで利用できないから	病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから	利用の仕方がわからないから	その他	無回答
要支援認定者	51	15.7	51.0	2.0	0.0	3.9	3.9	3.9	7.8	5.9	5.9	21.6

<事業対象者・要支援認定者>

【介護度別】

介護度別でみると、他に比べ、要支援1で「まだ利用するほど困っていないから」の割合が、要支援2で「家族が介護しているから」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分	回答者数 (件)	家族が介護しているから	まだ利用するほど困っていないから	利用したいサービスがないから	他人を自宅に入れたくないから	利用者負担が高いから	利用することに抵抗を感じるから	利用したいが予約がいっぱいで 利用できないから	病院に入院していて、医療保険の 適用となっていたから	利用の仕方がわからないから	その他	無回答
全 体	114 100.0	34 29.8	61 53.5	5 4.4	6 5.3	7 6.1	11 9.6	— —	3 2.6	8 7.0	10 8.8	14 12.3
介護度別	要支援1	61 100.0	19 31.1	35 57.4	4 6.6	5 8.2	5 9.8	— —	— —	6 9.8	8 13.1	6 9.8
	要支援2	26 100.0	10 38.5	13 50.0	— —	— —	1 3.8	4 15.4	— —	— —	1 3.8	4 15.4
	事業対象者	5 100.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	— —	— —	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —

問 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、袋井市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問8(3)、事業対象者・要支援認定者：問8(7)】

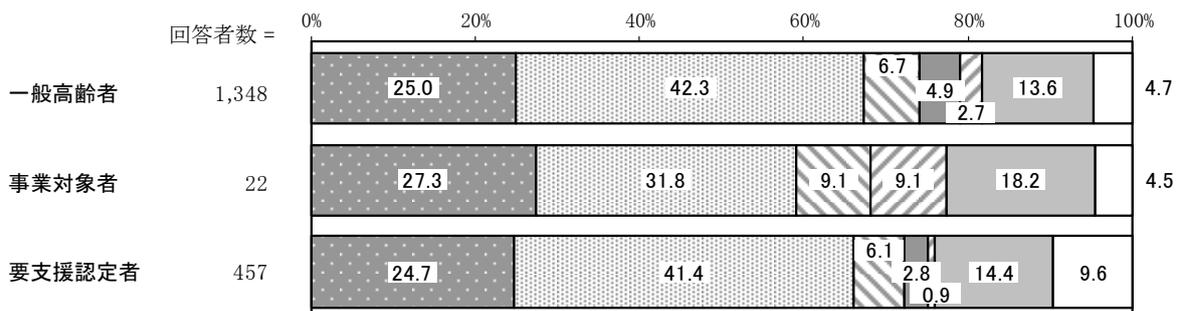
一般高齢者では、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」の割合が42.3%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」の割合が25.0%、「わからない」の割合が13.6%となっています。

事業対象者では、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」の割合が27.3%、「わからない」の割合が18.2%となっています。

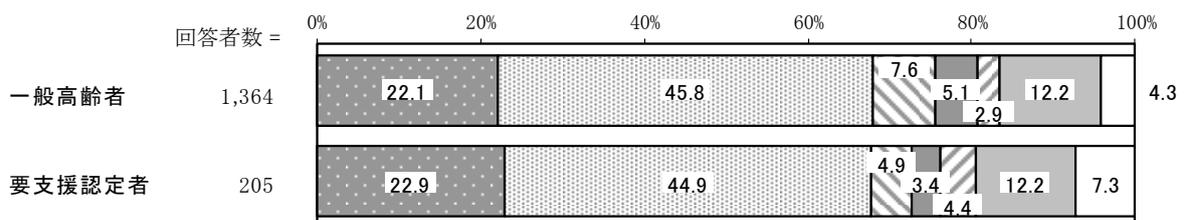
要支援認定者では、「介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」の割合が41.4%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」の割合が24.7%、「わからない」の割合が14.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。

- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
- ▩ 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者数の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



【平成28年度調査】



問 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービス（寝たきりなど介護が必要な状態になることの予防や自立した生活の支援）などについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。（○は3つまで）

【一般高齢者：問8（4）、事業対象者・要支援認定者：問14（1）】

一般高齢者では、「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が35.9%と最も高く、次いで「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が33.5%、「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」の割合が28.3%となっています。

事業対象者では、「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が54.5%と最も高く、次いで「介護支援ボランティアによる、在宅・施設での生活上のちょっとした支援」の割合が22.7%、「近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり」の割合が18.2%となっています。

要支援認定者では、「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が22.5%と最も高く、次いで「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が21.7%、「特にない」の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり」「認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催」「介護支援ボランティアによる支援」「自宅への訪問理美容サービス」の割合が増加しています。一方、「住民が主体となって運営する「通いの場」づくり」「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」「公的または民間による配食サービス」の割合が減少しています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、「自宅への訪問理美容サービス」の割合が増加しています。一方、「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」「認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催」「公的または民間による配食サービス」の割合が減少しています。

単位：％

区分	回答者数(件)	「一介護予防の場」づくり	近所で住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	近所で住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	「一介護予防の場」づくり	外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援施設での生活上のちょっとした支援	介護支援ボランティアによる支援施設での生活上のちょっとした支援	在宅・施設での生活のちょっとした支援	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にない	無回答
一般高齢者	1348	10.6	35.9	14.0	7.9	18.2	11.9	28.3	24.6	33.5	7.3	1.4	9.1	9.1								
事業対象者	22	18.2	54.5	13.6	9.1	22.7	9.1	13.6	9.1	13.6	9.1	—	9.1	13.6								
要支援認定者	457	7.7	21.7	11.8	5.0	11.2	14.2	13.6	10.5	22.5	13.6	1.3	17.3	17.7								

【平成 28 年度調査】

単位：％

区分	回答者数(件)	「一介護予防の場」づくり	近所で住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場(居場所)づくり	近所で住民が主体となって運営する「通いの場」づくり	「一介護予防の場」づくり	外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援施設での生活上のちょっとした支援	自宅への訪問理美容サービス	住宅改修する際の相談、助言	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にない	無回答
要支援認定者	205	—	10.7	28.3	16.1	—	10.2	14.1	2.9	18.0	18.5	22.0	11.2	0.5	15.1	13.2					

<一般高齢者>

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数（件）	「介護予防の場」づくり	近所で住民が主体となって運営する交流の場（居場所）づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり	単なお手伝い	外出・散歩の付き添いや買物などの簡	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にな	無回答	
全 体	1348 100.0	143 10.6	484 35.9	189 14.0	106 7.9	245 18.2	160 11.9	381 28.3	331 24.6	452 33.5	98 7.3	19 1.4	122 9.1	122 9.1			
年 齢 別	65 歳～69 歳	383 100.0	30 7.8	130 33.9	57 14.9	30 7.8	76 19.8	52 13.6	127 33.2	102 26.6	143 37.3	28 7.3	8 2.1	27 7.0	23 6.0		
	70 歳～74 歳	370 100.0	44 11.9	141 38.1	50 13.5	36 9.7	61 16.5	36 9.7	115 31.1	102 27.6	138 37.3	26 7.0	4 1.1	42 11.4	17 4.6		
	75 歳～79 歳	281 100.0	27 9.6	96 34.2	40 14.2	24 8.5	57 20.3	40 14.2	79 28.1	76 27.0	95 33.8	16 5.7	5 1.8	24 8.5	27 9.6		
	80 歳～84 歳	157 100.0	21 13.4	66 42.0	23 14.6	11 7.0	32 20.4	15 9.6	35 22.3	33 21.0	48 30.6	15 9.6	2 1.3	8 5.1	19 12.1		
	85 歳～89 歳	90 100.0	13 14.4	34 37.8	10 11.1	3 3.3	13 14.4	11 12.2	12 13.3	13 14.4	17 18.9	7 7.8	—	—	11 12.2	21 23.3	
	90 歳～94 歳	39 100.0	4 10.3	10 25.6	7 17.9	2 5.1	3 7.7	3 7.7	9 23.1	3 7.7	7 17.9	4 10.3	—	—	6 15.4	9 23.1	
	95 歳～99 歳	20 100.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	—	1 5.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	4 20.0	2 10.0	—	—	2 10.0	4 20.0	
	100 歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

【居住地区別、家族構成別】

居住地区別でみると、他に比べ、豊沢で「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が高くなっています。また、笠原、浅羽北で「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、他に比べ、1人暮らしで「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が高くなっています。また、息子・娘との2世帯で「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（%）

区分	回答者数（件）	近所付近住民が主体となつて運営する「介護予防の場」づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり	単なお手伝い	外出・散歩の付き添いや買物などの簡	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にな	無回答
全 体	1348 100.0	143 10.6	484 35.9	189 14.0	106 7.9	245 18.2	160 11.9	381 28.3	331 24.6	452 33.5	98 7.3	19 1.4	122 9.1	122 9.1	
居住地区別	袋井南	126 100.0	12 9.5	34 27.0	17 13.5	4 3.2	27 21.4	20 15.9	30 23.8	24 19.0	39 31.0	11 8.7	3 2.4	11 8.7	20 15.9
	豊 沢	60 100.0	8 13.3	27 45.0	3 5.0	9 15.0	6 10.0	12 20.0	9 15.0	13 21.7	25 41.7	4 6.7	— —	9 15.0	3 3.3
	高南	86 100.0	11 12.8	30 34.9	14 16.3	12 14.0	13 15.1	5 5.8	32 37.2	23 26.7	30 34.9	5 5.8	1 1.2	7 8.1	6 7.0
	袋井西	118 100.0	13 11.0	49 41.5	12 10.2	5 4.2	26 22.0	8 6.8	24 20.3	28 23.7	36 30.5	8 6.8	1 0.8	14 11.9	12 10.2
	袋井北	177 100.0	17 9.6	68 38.4	22 12.4	20 11.3	34 19.2	20 11.3	61 34.5	38 21.5	51 28.8	11 6.2	1 0.6	17 9.6	15 8.5
	袋井東	109 100.0	13 11.9	38 34.9	18 16.5	10 9.2	19 17.4	14 12.8	28 25.7	22 20.2	35 32.1	9 8.3	4 3.7	8 7.3	13 11.9
	今井	65 100.0	8 12.3	26 40.0	10 15.4	6 9.2	10 15.4	6 9.2	18 27.7	21 32.3	22 33.8	5 7.7	— —	5 7.7	6 9.2
	三川	48 100.0	4 8.3	20 41.7	9 18.8	4 8.3	9 18.8	5 10.4	12 25.0	12 25.0	17 35.4	3 6.3	— —	2 4.2	7 14.6
	笠原	50 100.0	7 14.0	18 36.0	5 10.0	6 12.0	10 20.0	9 18.0	20 40.0	13 26.0	22 44.0	5 10.0	2 4.0	2 4.0	3 6.0
	山梨・宇刈	166 100.0	13 7.8	65 39.2	27 16.3	10 6.0	28 16.9	18 10.8	41 24.7	46 27.7	64 38.6	17 10.2	2 1.2	13 7.8	11 6.6
	浅羽北	132 100.0	7 5.3	35 26.5	21 15.9	6 4.5	27 20.5	13 9.8	49 37.1	44 33.3	53 40.2	7 5.3	— —	10 7.6	7 5.3
	浅羽西	60 100.0	9 15.0	20 33.3	9 15.0	5 8.3	7 11.7	8 13.3	16 26.7	16 26.7	19 31.7	7 11.7	2 3.3	4 6.7	3 5.0
	浅羽東	41 100.0	5 12.2	11 26.8	8 19.5	3 7.3	7 17.1	8 19.5	13 31.7	8 19.5	12 29.3	3 7.3	— —	6 14.6	4 9.8
	浅羽南	80 100.0	13 16.3	34 42.5	12 15.0	5 6.3	16 20.0	10 12.5	19 23.8	18 22.5	21 26.3	1 1.3	3 3.8	9 11.3	8 10.0
	わからない	5 100.0	— —	1 20.0	— —	1 20.0	2 40.0	— —	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —	— —	2 40.0
	家族構成別	1人暮らし	132 100.0	12 9.1	39 29.5	16 12.1	5 3.8	14 10.6	13 9.8	45 34.1	27 20.5	52 39.4	11 8.3	3 2.3	11 8.3
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）		430 100.0	41 9.5	142 33.0	63 14.7	36 8.4	88 20.5	46 10.7	147 34.2	116 27.0	152 35.3	27 6.3	3 0.7	42 9.8	28 6.5
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）		84 100.0	9 10.7	30 35.7	18 21.4	4 4.8	17 20.2	13 15.5	27 32.1	25 29.8	26 31.0	3 3.6	— —	7 8.3	5 6.0
息子・娘との2世帯		343 100.0	42 12.2	137 39.9	48 14.0	37 10.8	62 18.1	43 12.5	72 21.0	85 24.8	101 29.4	29 8.5	4 1.2	33 9.6	32 9.3
その他		335 100.0	35 10.4	132 39.4	42 12.5	24 7.2	60 17.9	45 13.4	85 25.4	76 22.7	119 35.5	25 7.5	9 2.7	26 7.8	30 9.0

<事業対象者・要支援認定者>

【居住地区別、介護度別】

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南で「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」の割合が、浅羽東で「自宅への訪問理美容サービス」「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」の割合が高くなっています。

介護度別でみると、他に比べ、事業対象者で「誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり」「介護支援ボランティアによる、在宅・施設での生活上のちょっとした支援」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 （件）	近所で住民が主体となつて運営する「介護予防の場」づくり	誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり	単なお手伝い 外出・散歩の付き添いや買物などの簡	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にない	無回答	
全 体	545 100.0	44 8.1	133 24.4	62 11.4	28 5.1	57 10.5	74 13.6	75 13.8	56 10.3	125 22.9	68 12.5	6 1.1	87 16.0	101 18.5	
居住地区別	袋井南	62 100.0	7 11.3	22 35.5	5 8.1	3 4.8	6 9.7	13 21.0	12 19.4	3 4.8	16 25.8	13 21.0	1 1.6	6 9.7	8 12.9
	豊 沢	17 100.0	4 23.5	4 23.5	— —	1 5.9	4 23.5	3 17.6	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	— —	2 11.8	3 17.6
	高 南	32 100.0	— —	4 12.5	7 21.9	3 9.4	5 15.6	4 12.5	2 6.3	3 9.4	10 31.3	4 12.5	— —	3 9.4	8 25.0
	袋井西	67 100.0	6 9.0	15 22.4	5 7.5	3 4.5	6 9.0	7 10.4	8 11.9	2 3.0	15 22.4	9 13.4	1.5 25.4	17 25.4	14 20.9
	袋井北	59 100.0	4 6.8	10 16.9	3 5.1	4 6.8	8 13.6	5 8.5	9 15.3	8 13.6	17 28.8	10 16.9	— —	9 15.3	8 13.6
	袋井東	32 100.0	2 6.3	9 28.1	6 18.8	4 12.5	2 6.3	4 12.5	6 18.8	7 21.9	6 18.8	6 18.8	— —	1 3.1	7 21.9
	今 井	24 100.0	— —	6 25.0	6 25.0	2 8.3	3 12.5	5 20.8	5 20.8	1 4.2	3 12.5	3 12.5	1 4.2	3 12.5	5 20.8
	三 川	22 100.0	2 9.1	6 27.3	2 9.1	3 13.6	5 22.7	4 18.2	— —	1 4.5	2 9.1	2 9.1	— —	4 18.2	5 22.7
	笠 原	33 100.0	1 3.0	11 33.3	4 12.1	— —	1 3.0	5 15.2	3 9.1	1 3.0	8 24.2	1 3.0	— —	9 27.3	4 12.1
	山梨・宇刈	66 100.0	4 6.1	13 19.7	6 9.1	2 3.0	4 6.1	8 12.1	7 10.6	11 16.7	13 19.7	3 4.5	2 3.0	14 21.2	16 24.2
	浅羽北	40 100.0	6 15.0	13 32.5	8 20.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	8 20.0	3 7.5	8 20.0	8 20.0	— —	5 12.5	6 15.0
	浅羽西	19 100.0	2 10.5	5 26.3	2 10.5	1 5.3	3 15.8	2 10.5	1 5.3	3 15.8	6 31.6	2 10.5	— —	2 10.5	3 15.8
	浅羽東	17 100.0	2 11.8	4 23.5	3 17.6	— —	3 17.6	6 35.3	6 35.3	3 17.6	6 35.3	2 11.8	— —	1 5.9	2 11.8
	浅羽南	30 100.0	1 3.3	5 16.7	4 13.3	— —	3 10.0	2 6.7	4 13.3	4 13.3	9 30.0	1 3.3	1 3.3	7 23.3	5 16.7
	わからない	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —
	介護度別	要支援1	264 100.0	20 7.6	67 25.4	25 9.5	14 5.3	27 10.2	33 12.5	36 13.6	24 9.1	55 20.8	35 13.3	2 0.8	53 20.1
要支援2		193 100.0	15 7.8	32 16.6	29 15.0	9 4.7	24 12.4	32 16.6	26 13.5	24 12.4	48 24.9	27 14.0	4 2.1	26 13.5	35 18.1
事業対象者		22 100.0	4 18.2	12 54.5	3 13.6	2 9.1	5 22.7	2 9.1	3 13.6	2 9.1	3 13.6	2 9.1	— —	2 9.1	3 13.6

問 事業対象者・要支援認定者では問8(7)で「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」「介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」と回答された方にお伺いします。

あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(〇は3つまで)

【事業対象者・要支援認定者：問8(8)】

事業対象者では、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」の割合が61.5%と最も高く、次いで「デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの施設に通うサービス」の割合が53.8%、「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」の割合が46.2%となっています。

要支援認定者では、「デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの施設に通うサービス」の割合が33.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」の割合が32.8%、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」の割合が29.8%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	施設に通うサービス デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム (認知症の方が共同生活する施設)	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
事業対象者	13	46.2	53.8	30.8	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7	—	—
要支援認定者	302	32.8	33.8	15.9	29.8	22.5	3.0	9.3	2.0	11.6	7.0

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	施設に通うサービス デイサービスやショートステイ(短期の宿泊サービス)などの	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム (認知症の方が共同生活する施設)	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
要支援認定者	139	28.8	32.4	12.9	28.1	18.7	5.0	10.1	1.4	15.8	11.5

<事業対象者・要支援認定者>

【居住地区別】

居住地区別で見ると、他に比べ、豊沢で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」の割合が、豊沢、笠原で「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数（件）	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体	343 100.0	113 32.9	114 33.2	54 15.7	104 30.3	75 21.9	11 3.2	33 9.6	7 2.0	46 13.4	23 6.7
居住地区別	袋井南	37 100.0	11 29.7	12 32.4	3 8.1	10 27.0	7 18.9	1 2.7	8 21.6	3 8.1	1 2.7
	豊沢	13 100.0	3 23.1	8 61.5	1 7.7	7 53.8	1 7.7	2 15.4	1 7.7	— —	— —
	高南	27 100.0	13 48.1	6 22.2	3 11.1	6 22.2	6 22.2	— —	1 3.7	— —	3 11.1
	袋井西	38 100.0	13 34.2	9 23.7	7 18.4	14 36.8	9 23.7	1 2.6	3 7.9	2 5.3	4 10.5
	袋井北	37 100.0	12 32.4	11 29.7	5 13.5	11 29.7	8 21.6	1 2.7	5 13.5	— —	6 16.2
	袋井東	19 100.0	6 31.6	8 42.1	3 15.8	5 26.3	2 10.5	— —	— —	— —	3 15.8
	今井	10 100.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	— —	— —	1 10.0
	三川	14 100.0	4 28.6	6 42.9	6 42.9	6 42.9	5 35.7	1 7.1	1 7.1	— —	— —
	笠原	17 100.0	8 47.1	7 41.2	4 23.5	9 52.9	5 29.4	— —	1 5.9	— —	2 11.8
	山梨・宇刈	43 100.0	14 32.6	11 25.6	4 9.3	9 20.9	12 27.9	2 4.7	7 16.3	1 2.3	5 11.6
	浅羽北	27 100.0	8 29.6	13 48.1	7 25.9	8 29.6	4 14.8	— —	1 3.7	— —	5 18.5
	浅羽西	11 100.0	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1	2 18.2	— —	— —	— —	2 18.2
	浅羽東	15 100.0	3 20.0	6 40.0	1 6.7	7 46.7	7 46.7	— —	2 13.3	— —	2 13.3
	浅羽南	19 100.0	7 36.8	4 21.1	2 10.5	4 21.1	4 21.1	2 10.5	2 10.5	1 5.3	6 31.6
	わからない	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

## 【介護度別、保険料負担別】

介護度別でみると、他に比べ、事業対象者で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」「医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス」「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」の割合が高くなっています。

保険料負担別でみると、負担を抑えてほしい人に比べ、負担が増えてもやむを得ない人で「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

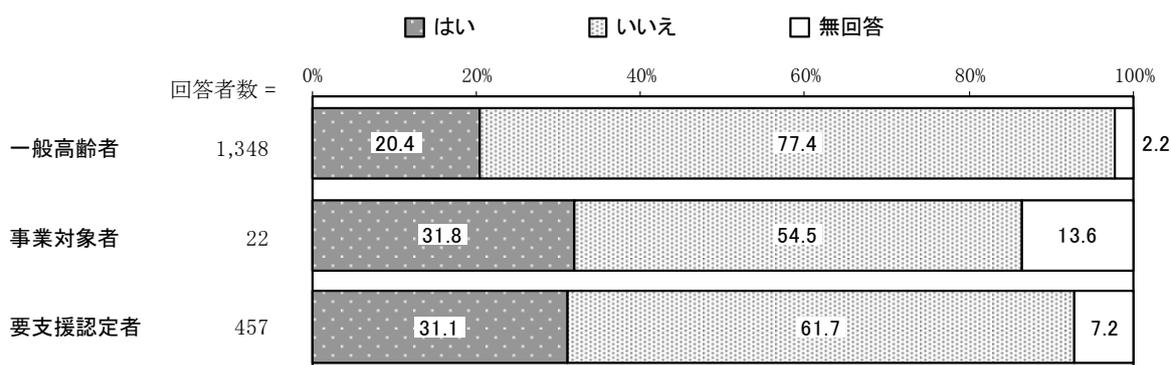
区分		回答者数 (件)	ホームヘルパーや訪問看護などの 自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ (短期の宿泊サービス)などの 施設に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して 療養上の管理指導を行うサービス	デイサービスを中心として訪問介護や ショートステイを組み合わせ利用できる サービス	特別養護老人ホームなどの入所して サービスを受けられる介護保険施設	グループホーム (認知症の方が共同生活する施設)	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全 体		343 100.0	113 32.9	114 33.2	54 15.7	104 30.3	75 21.9	11 3.2	33 9.6	7 2.0	46 13.4	23 6.7
介護度別	要支援1	166 100.0	51 30.7	51 30.7	25 15.1	46 27.7	34 20.5	5 3.0	19 11.4	2 1.2	22 13.3	15 9.0
	要支援2	136 100.0	48 35.3	51 37.5	23 16.9	44 32.4	34 25.0	4 2.9	9 6.6	4 2.9	13 9.6	6 4.4
	事業対象者	13 100.0	6 46.2	7 53.8	4 30.8	8 61.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	—	—
保険料 負担別	負担が増えても やむを得ない	129 100.0	49 38.0	50 38.8	21 16.3	48 37.2	33 25.6	5 3.9	11 8.5	4 3.1	12 9.3	6 4.7
	負担をできる限り 抑えてほしい	214 100.0	64 29.9	64 29.9	33 15.4	56 26.2	42 19.6	6 2.8	22 10.3	3 1.4	34 15.9	17 7.9

## (9) 介護予防・日常生活支援総合事業について

問 あなたは、総合事業のサービスがあることについて知っていましたか。  
(○はひとつ)

【一般高齢者：問9(1)、事業対象者・要支援認定者：問9(1)】

一般高齢者では、「はい」の割合が20.4%、「いいえ」の割合が77.4%となっています。  
事業対象者では、「はい」の割合が31.8%、「いいえ」の割合が54.5%となっています。  
要支援認定者では、「はい」の割合が31.1%、「いいえ」の割合が61.7%となっています。



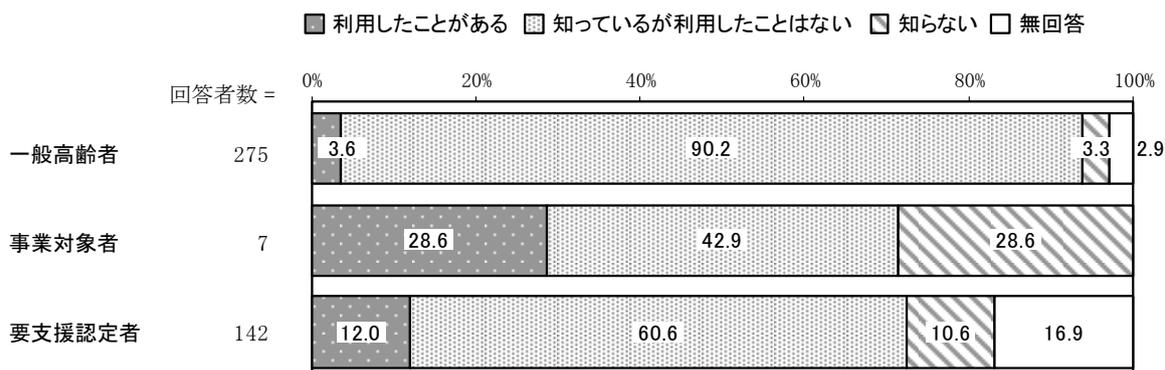
問 一般高齢者では問9(1)、事業対象者・要支援認定者では問9(1)で「はい」と回答された方にお伺いします。  
次の総合事業サービスについてご回答ください。(それぞれ○はひとつ)

【一般高齢者：問9(2)、事業対象者・要支援認定者：問9(2)】

### <訪問型サービス>

#### A. 現行相当サービス（ホームヘルプ）

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が90.2%と最も高くなっています。  
事業対象者では、「知っているが利用したことはない」が3件となっています。「利用したことがある」、「知らない」が2件となっています。  
要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が60.6%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が12.0%、「知らない」の割合が10.6%となっています。

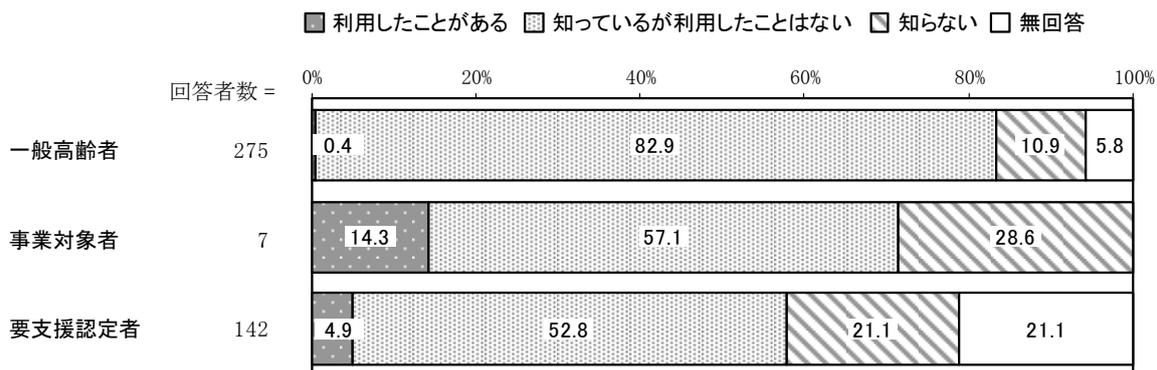


## B. 基準緩和サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が82.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が10.9%となっています。

事業対象者では、「知っているが利用したことはない」が4件となっています。「知らない」が2件、「利用したことがある」が1件となっています。

要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が21.1%となっています。

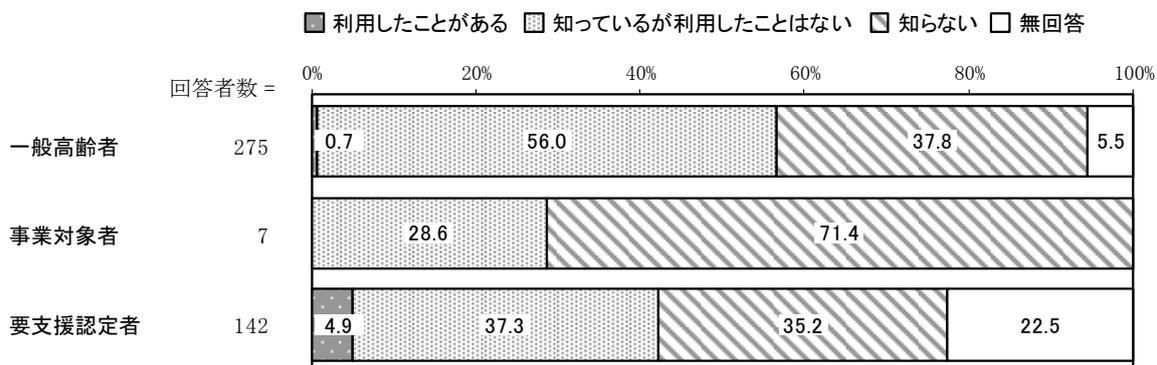


## C. 短期集中サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が37.8%となっています。

事業対象者では、「知らない」が5件となっています。「知っているが利用したことはない」が2件となっています。

要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が35.2%となっています。



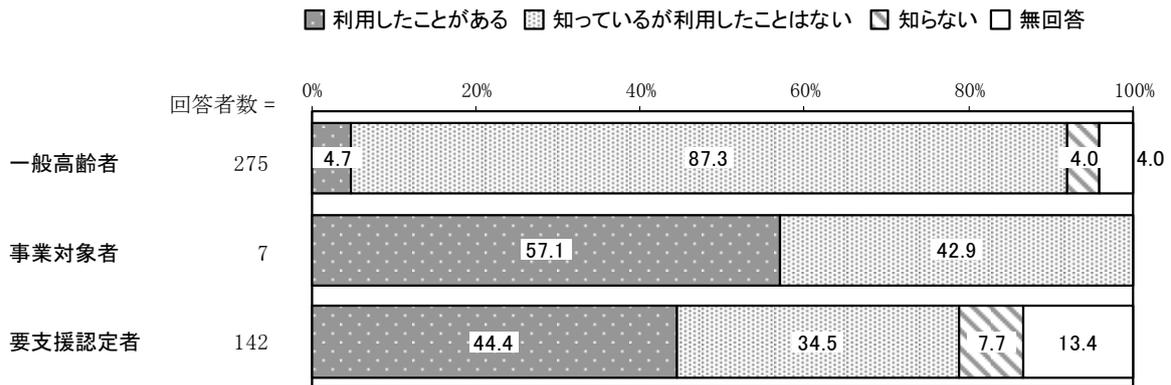
## <通所型サービス>

### A. 現行相当サービス（デイサービス）

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が87.3%と最も高くなっています。

事業対象者では、「利用したことがある」が4件となっています。「知っているが利用したことはない」が3件となっています。

要支援認定者では、「利用したことがある」の割合が44.4%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が34.5%となっています。

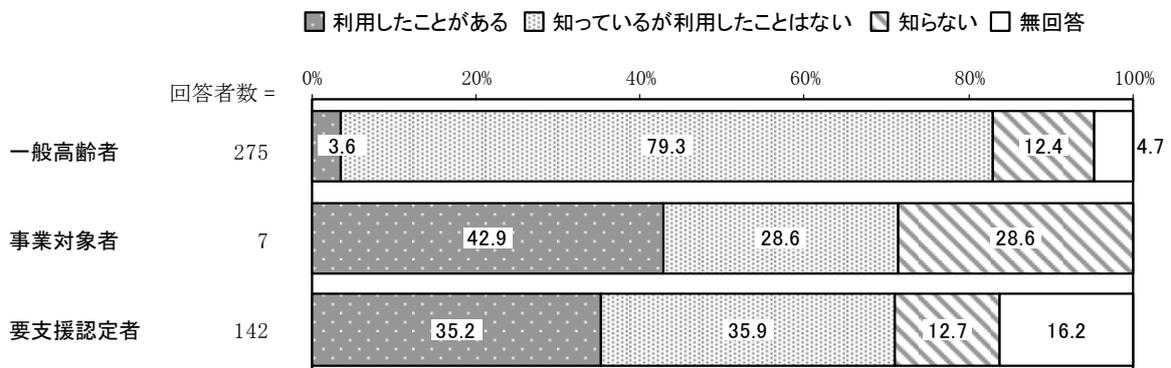


### B. 基準緩和サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が79.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が12.4%となっています。

事業対象者では、「利用したことがある」が3件となっています。「知っているが利用したことはない」、「知らない」が2件となっています。

要支援認定者では、「知っているが利用したことはない」の割合が35.9%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が35.2%、「知らない」の割合が12.7%となっています。

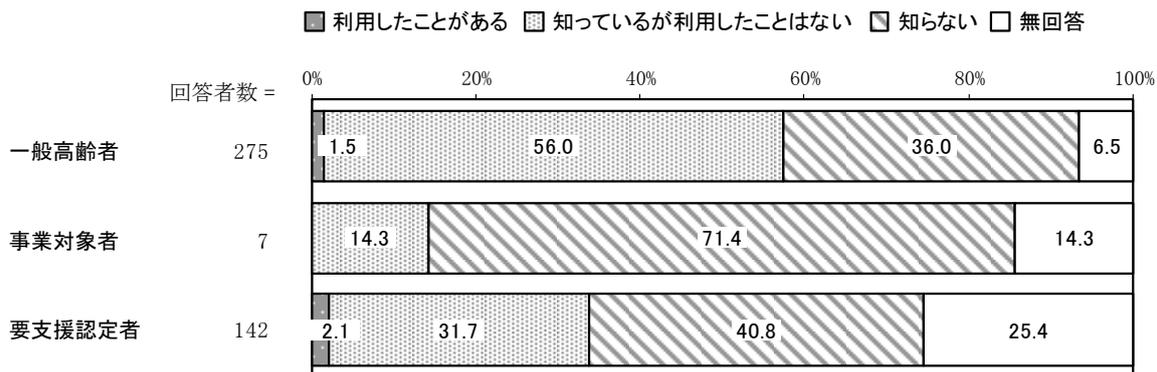


### C. 短期集中サービス

一般高齢者では、「知っているが利用したことはない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が36.0%となっています。

事業対象者では、「知らない」が5件となっています。「知っているが利用したことはない」が1件となっています。

要支援認定者では、「知らない」の割合が40.8%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が31.7%となっています。



## (10) 地域包括支援センターについて

問 高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関として、市内4か所に設置されている地域包括支援センターの役割を知っていますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

【一般高齢者：問10(1)、事業対象者・要支援認定者：問10(1)】

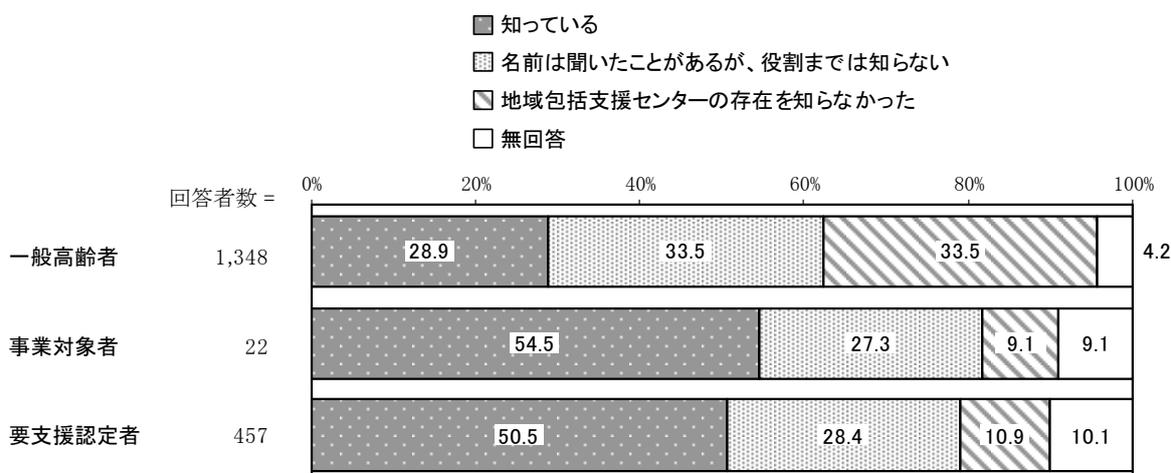
一般高齢者では、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が33.5%と最も高く、次いで「知っている」の割合が28.9%となっています。

事業対象者では、「知っている」の割合が54.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が27.3%となっています。

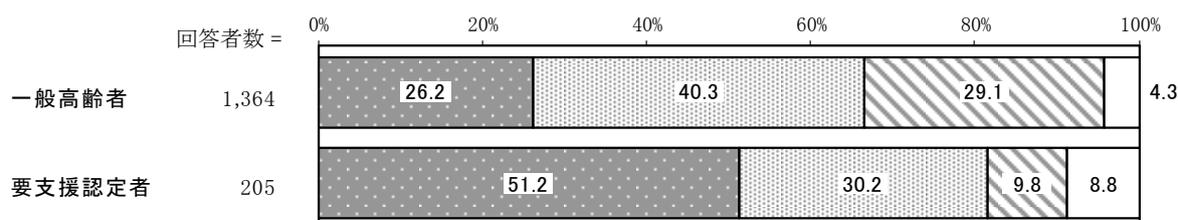
要支援認定者では、「知っている」の割合が50.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が28.4%、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が10.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が減少しています。

平成28年度調査と比較すると、要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成28年度調査】



問 一般高齢者・事業対象者・要支援認定者の問10(1)で「知っている」「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」と回答された方にお伺いします。  
 あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。  
 次の中から当てはまるものに○をつけてください(○はいくつでも)

【一般高齢者：問10(2)、事業対象者・要支援認定者：問10(2)】

一般高齢者では、「利用したことはない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が13.2%となっています。

事業対象者では、「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が72.2%と最も高く、次いで「電話による相談、問い合わせ」の割合が33.3%、「窓口での相談、手続き」、「利用したことはない」の割合が16.7%となっています。

要支援認定者では、「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が62.6%と最も高く、次いで「電話による相談、問い合わせ」の割合が23.3%、「利用したことはない」の割合が18.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、「利用したことはない」の割合が減少しています。

要支援認定者では、「電話による相談、問い合わせ」の割合が増加しています。

単位：%

区分	回答者数(件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	職員による自宅訪問を 受けての相談	その他	利用したことはない	無回答
一般高齢者	840	9.0	8.8	13.2	4.3	71.1	3.9
事業対象者	18	33.3	16.7	72.2	—	16.7	5.6
要支援認定者	361	23.3	16.1	62.6	2.8	18.8	2.8

【平成28年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	職員による自宅訪問を 受けての相談	その他	利用したことはない	無回答
一般高齢者	908	5.5	6.1	9.4	3.3	77.9	3.4
要支援認定者	167	15.6	12.6	58.1	0.6	22.2	7.8

<一般高齢者>

【居住地区別】

居住地区別で見ると、他に比べ、浅羽北、浅羽西で「利用したことはない」の割合が高くなっています。また、袋井南で「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	職員による自宅 訪問を受けての 相談	その他	利用したことは ない	無回答	
全体	840 100.0	76 9.0	74 8.8	111 13.2	36 4.3	597 71.1	33 3.9	
居住地区別	袋井南	74 100.0	8 10.8	11 14.9	21 28.4	6 8.1	40 54.1	2 2.7
	豊沢	36 100.0	3 8.3	2 5.6	3 8.3	—	29 80.6	3 8.3
	高南	59 100.0	7 11.9	5 8.5	6 10.2	7 11.9	37 62.7	2 3.4
	袋井西	64 100.0	4 6.3	5 7.8	9 14.1	1 1.6	42 65.6	6 9.4
	袋井北	106 100.0	8 7.5	8 7.5	10 9.4	1 0.9	78 73.6	7 6.6
	袋井東	68 100.0	10 14.7	7 10.3	8 11.8	4 5.9	45 66.2	1 1.5
	今井	46 100.0	6 13.0	7 15.2	8 17.4	1 2.2	31 67.4	3 6.5
	三川	32 100.0	2 6.3	2 6.3	5 15.6	2 6.3	24 75.0	—
	笠原	40 100.0	3 7.5	4 10.0	5 12.5	2 5.0	27 67.5	2 5.0
	山梨・宇刈	107 100.0	11 10.3	12 11.2	18 16.8	6 5.6	71 66.4	4 3.7
	浅羽北	83 100.0	6 7.2	3 3.6	7 8.4	—	72 86.7	1 1.2
	浅羽西	38 100.0	1 2.6	2 5.3	4 10.5	1 2.6	33 86.8	—
	浅羽東	29 100.0	3 10.3	2 6.9	1 3.4	2 6.9	23 79.3	1 3.4
	浅羽南	47 100.0	4 8.5	3 6.4	6 12.8	3 6.4	36 76.6	—
	わからない	2 100.0	—	—	—	—	2 100.0	—

<事業対象者・要支援認定者>

【居住地区別、介護度別】

居住地区別で見ると、他に比べ、三川、浅羽東で「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が、今井、浅羽西、浅羽南で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

介護度別で見ると、他に比べ、事業対象者で「電話による相談、問い合わせ」「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

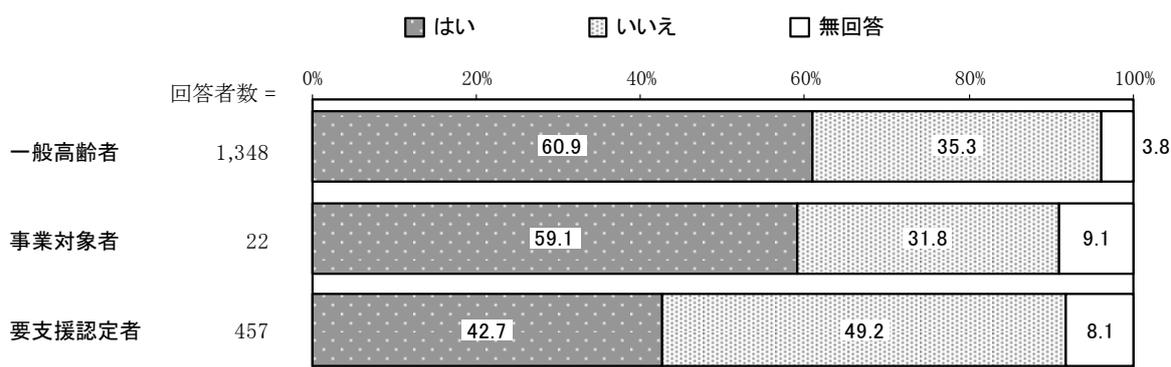
区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	職員による自宅 訪問を受けての 相談	その他	利用したことは ない	無回答	
全 体	420 100.0	97 23.1	66 15.7	258 61.4	13 3.1	81 19.3	16 3.8	
居住地区別	袋井南	49 100.0	15 30.6	8 16.3	29 59.2	2 4.1	6 12.2	2 4.1
	豊沢	13 100.0	1 7.7	2 15.4	8 61.5	1 7.7	2 15.4	—
	高南	26 100.0	5 19.2	2 7.7	20 76.9	—	4 15.4	1 3.8
	袋井西	52 100.0	12 23.1	10 19.2	25 48.1	2 3.8	10 19.2	4 7.7
	袋井北	40 100.0	11 27.5	10 25.0	21 52.5	1 2.5	8 20.0	1 2.5
	袋井東	23 100.0	3 13.0	2 8.7	14 60.9	1 4.3	4 17.4	2 8.7
	今井	16 100.0	2 12.5	2 12.5	10 62.5	—	6 37.5	—
	三川	20 100.0	4 20.0	1 5.0	16 80.0	—	2 10.0	—
	笠原	27 100.0	4 14.8	5 18.5	16 59.3	3 11.1	6 22.2	1 3.7
	山梨・宇刈	50 100.0	12 24.0	4 8.0	33 66.0	1 2.0	11 22.0	3 6.0
	浅羽北	34 100.0	10 29.4	3 8.8	26 76.5	—	4 11.8	1 2.9
	浅羽西	18 100.0	3 16.7	4 22.2	9 50.0	—	7 38.9	—
	浅羽東	14 100.0	6 42.9	4 28.6	11 78.6	1 7.1	1 7.1	—
	浅羽南	21 100.0	4 19.0	5 23.8	8 38.1	1 4.8	9 42.9	—
	わからない	1 100.0	1 100.0	—	—	—	—	—
介護度別	要支援1	202 100.0	42 20.8	27 13.4	127 62.9	5 2.5	42 20.8	5 2.5
	要支援2	159 100.0	42 26.4	31 19.5	99 62.3	5 3.1	26 16.4	5 3.1
	事業対象者	18 100.0	6 33.3	3 16.7	13 72.2	—	3 16.7	1 5.6

## (11) は一とふるプラザ袋井（総合健康センター）について

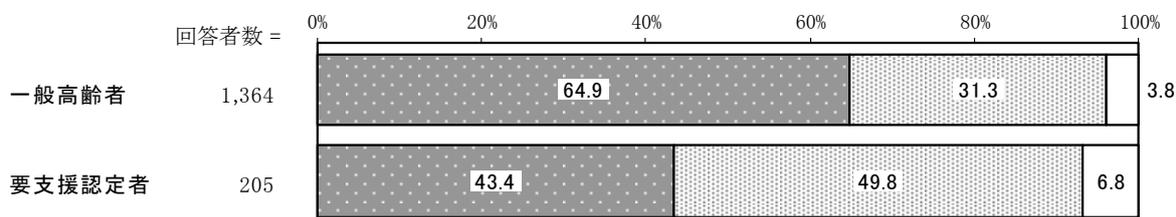
問 あなたは、は一とふるプラザ（総合健康センター）があることを知っていましたか。（〇はひとつ）

【一般高齢者：問 11（1）、事業対象者・要支援認定者：問 11（1）】

一般高齢者では、「はい」の割合が 60.9%、「いいえ」の割合が 35.3%となっています。事業対象者では、「はい」の割合が 59.1%、「いいえ」の割合が 31.8%となっています。要支援認定者では、「はい」の割合が 42.7%、「いいえ」の割合が 49.2%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、一般高齢者と要支援認定者では、大きな変化はみられません。



### 【平成 28 年度調査】



問 一般高齢者・事業対象者・要支援認定者の問 11（1）で「1」と回答された方にお伺いします。

あなたは、はとふるプラザ（総合健康センター）を利用したことがありますか。次の中から当てはまるものに○をつけてください。（聖隷袋井市民病院の受診は除きます。）  
（○はいくつでも）

【一般高齢者：問 11（2）、事業対象者・要支援認定者：問 11（2）】

一般高齢者では、「利用したことはない」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「健（検）診の受診」の割合が 28.4%、「運動教室や講座等へ参加」の割合が 13.4%となっています。

事業対象者では、「運動教室や講座等へ参加」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 30.8%、「窓口での相談、手続き」の割合が 23.1%となっています。

要支援認定者では、「利用したことはない」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「窓口での相談、手続き」の割合が 17.4%、「電話による相談、問い合わせ」の割合が 14.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、一般高齢者では、「電話による相談、問い合わせ」「運動教室や講座等へ参加」「健（検）診の受診」の割合が増加しています。一方、「利用したことはない」の割合が減少しています。

平成 28 年度調査と比較すると、要支援認定者では、「窓口での相談、手続き」「運動教室や講座等へ参加」の割合が増加しています。一方、「利用したことはない」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	電話による相談、問い合わせ	窓口での相談、手続き	運動教室や講座等へ参加	健（検）診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への相談、手続き	その他	利用したことはない	無回答
一般高齢者	821	9.1	8.5	13.4	28.4	5.7	3.5	1.3	51.2	1.0
事業対象者	13	7.7	23.1	38.5	15.4	—	—	—	30.8	7.7
要支援認定者	195	14.4	17.4	10.8	10.8	—	4.1	1.5	50.8	6.2

【平成 28 年度調査】

単位：%

区分	回答者数（件）	電話による相談、問い合わせ	窓口での相談、手続き	運動教室や講座等へ参加	健（検）診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への相談、手続き	その他	利用したことはない	無回答
一般高齢者	885	3.3	5.6	7.2	20.8	3.1	2.0	1.2	62.0	3.1
要支援認定者	89	10.1	6.7	1.1	10.1	3.4	3.4	—	67.4	3.4

<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「健(検)診の受診」の割合が、年齢が高くなるにつれ「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数(件)、下段 構成比(%)

区分		回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	運動教室や講座等へ 参加	健(検)診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への 相談、手続き	その他	利用したことはない	無回答
全体		821 100.0	75 9.1	70 8.5	110 13.4	233 28.4	47 5.7	29 3.5	11 1.3	420 51.2	8 1.0
性別	男性	356 100.0	35 9.8	36 10.1	41 11.5	97 27.2	15 4.2	15 4.2	2 0.6	190 53.4	2 0.6
	女性	459 100.0	40 8.7	34 7.4	68 14.8	135 29.4	31 6.8	13 2.8	9 2.0	227 49.5	6 1.3
年齢別	65歳～69歳	283 100.0	22 7.8	21 7.4	37 13.1	105 37.1	15 5.3	8 2.8	4 1.4	132 46.6	1 0.4
	70歳～74歳	247 100.0	31 12.6	24 9.7	33 13.4	79 32.0	16 6.5	9 3.6	3 1.2	121 49.0	2 0.8
	75歳～79歳	164 100.0	12 7.3	16 9.8	26 15.9	34 20.7	10 6.1	8 4.9	3 1.8	89 54.3	—
	80歳～84歳	75 100.0	7 9.3	7 9.3	8 10.7	10 13.3	3 4.0	1 1.3	1 1.3	43 57.3	3 4.0
	85歳～89歳	30 100.0	1 3.3	—	4 13.3	3 10.0	2 6.7	2 6.7	—	19 63.3	—
	90歳～94歳	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	—	9 75.0	2 16.7
	95歳～99歳	6 100.0	—	—	—	1 16.7	—	—	—	5 83.3	—
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

## 【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽西、浅羽東、浅羽南で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	運動教室や講座等へ 参加	健(検)診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への 相談、手続き	その他	利用したことはない	無回答	
全 体	821 100.0	75 9.1	70 8.5	110 13.4	233 28.4	47 5.7	29 3.5	11 1.3	420 51.2	8 1.0	
居住地区別	袋井南	68 100.0	9 13.2	9 13.2	6 8.8	20 29.4	5 7.4	3 4.4	1 1.5	32 47.1	— —
	豊沢	30 100.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3	6 20.0	1 3.3	— —	1 3.3	19 63.3	1 3.3
	高南	58 100.0	3 5.2	5 8.6	10 17.2	16 27.6	— —	1 1.7	— —	30 51.7	— —
	袋井西	70 100.0	7 10.0	4 5.7	8 11.4	22 31.4	2 2.9	1 1.4	— —	36 51.4	2 2.9
	袋井北	111 100.0	11 9.9	16 14.4	13 11.7	38 34.2	7 6.3	5 4.5	— —	52 46.8	1 0.9
	袋井東	75 100.0	11 14.7	7 9.3	13 17.3	28 37.3	6 8.0	6 8.0	2 2.7	34 45.3	— —
	今井	42 100.0	4 9.5	3 7.1	5 11.9	12 28.6	1 2.4	3 7.1	1 2.4	17 40.5	1 2.4
	三川	34 100.0	4 11.8	4 11.8	9 26.5	9 26.5	4 11.8	1 2.9	1 2.9	14 41.2	— —
	笠原	35 100.0	3 8.6	1 2.9	4 11.4	7 20.0	1 2.9	— —	— —	21 60.0	1 2.9
	山梨・宇刈	108 100.0	10 9.3	14 13.0	16 14.8	38 35.2	6 5.6	3 2.8	2 1.9	46 42.6	1 0.9
	浅羽北	77 100.0	5 6.5	4 5.2	15 19.5	15 19.5	7 9.1	2 2.6	3 3.9	42 54.5	1 1.3
	浅羽西	37 100.0	2 5.4	— —	2 5.4	9 24.3	2 5.4	1 2.7	— —	25 67.6	— —
	浅羽東	23 100.0	1 4.3	1 4.3	3 13.0	4 17.4	1 4.3	1 4.3	— —	15 65.2	— —
	浅羽南	40 100.0	2 5.0	1 2.5	3 7.5	9 22.5	4 10.0	2 5.0	— —	27 67.5	— —
わからない	2 100.0	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	1 50.0	— —	

<事業対象者・要支援認定者>

【居住地区別、介護度別】

居住地区別で見ると、他に比べ、浅羽南で「電話による相談、問い合わせ」の割合が、笠原で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

介護度別で見ると、他に比べ、事業対象者で「運動教室や講座等へ参加」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

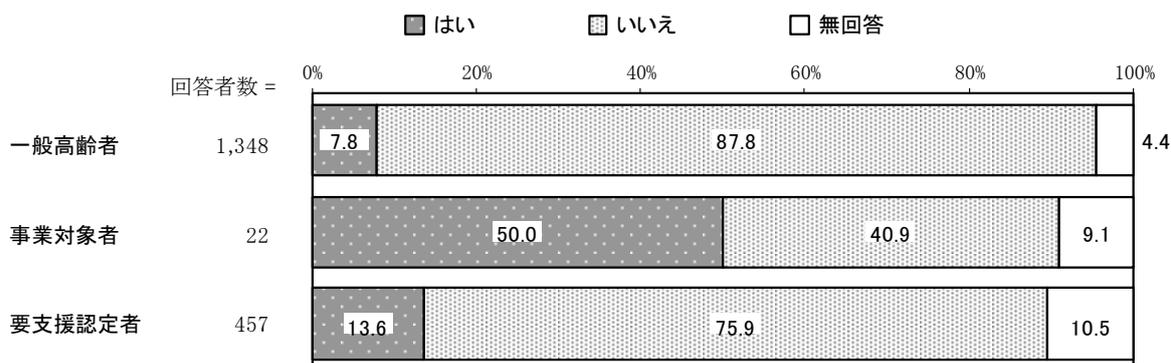
区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	参加 運動教室や講座等へ	健(検)診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への 相談、手続き	その他	利用したことはない	無回答	
全 体	234 100.0	35 15.0	40 17.1	28 12.0	24 10.3	2 0.9	9 3.8	3 1.3	113 48.3	15 6.4	
居住地区別	袋井南	28 100.0	4 14.3	3 10.7	3 10.7	1 3.6	— —	3 10.7	— —	16 57.1	1 3.6
	豊沢	8 100.0	— —	1 12.5	1 12.5	2 25.0	— —	— —	— —	5 62.5	— —
	高南	15 100.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3	— —	2 13.3	— —	9 60.0	— —
	袋井西	30 100.0	4 13.3	5 16.7	4 13.3	4 13.3	— —	— —	1 3.3	15 50.0	2 6.7
	袋井北	32 100.0	7 21.9	8 25.0	5 15.6	6 18.8	— —	1 3.1	1 3.1	12 37.5	1 3.1
	袋井東	15 100.0	2 13.3	3 20.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	— —	2 13.3	4 26.7
	今井	8 100.0	1 12.5	4 50.0	— —	3 37.5	— —	— —	— —	2 25.0	1 12.5
	三川	11 100.0	2 18.2	2 18.2	2 18.2	1 9.1	— —	— —	— —	5 45.5	1 9.1
	笠原	13 100.0	1 7.7	1 7.7	— —	— —	— —	— —	1 7.7	10 76.9	— —
	山梨・宇刈	27 100.0	5 18.5	4 14.8	4 14.8	1 3.7	— —	1 3.7	— —	9 33.3	3 11.1
	浅羽北	15 100.0	1 6.7	2 13.3	3 20.0	— —	— —	— —	— —	9 60.0	1 6.7
	浅羽西	6 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 16.7	— —	5 83.3	— —
	浅羽東	7 100.0	2 28.6	1 14.3	— —	1 14.3	— —	— —	— —	4 57.1	— —
	浅羽南	11 100.0	3 27.3	2 18.2	— —	1 9.1	1 9.1	— —	— —	6 54.5	— —
	わからない	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
介護度別	要支援1	115 100.0	16 13.9	18 15.7	12 10.4	11 9.6	— —	3 2.6	2 1.7	57 49.6	10 8.7
	要支援2	80 100.0	12 15.0	16 20.0	9 11.3	10 12.5	— —	5 6.3	1 1.3	42 52.5	2 2.5
	事業対象者	13 100.0	1 7.7	3 23.1	5 38.5	2 15.4	— —	— —	— —	4 30.8	1 7.7

## (12) 認知症にかかる相談窓口について

問 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

【一般高齢者：問12(1)、事業対象者・要支援認定者：問12(1)】

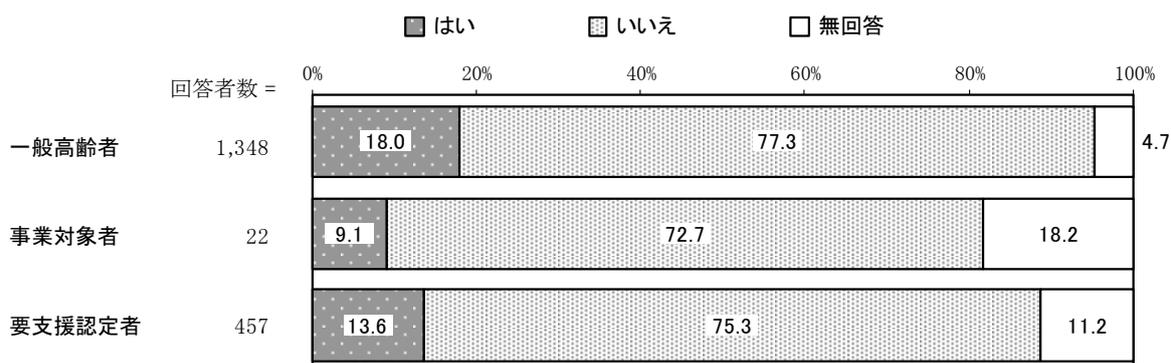
一般高齢者では、「はい」の割合が7.8%、「いいえ」の割合が87.8%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が50.0%、「いいえ」の割合が40.9%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が13.6%、「いいえ」の割合が75.9%となっています。



問 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

【一般高齢者：問12(2)、事業対象者・要支援認定者：問12(2)】

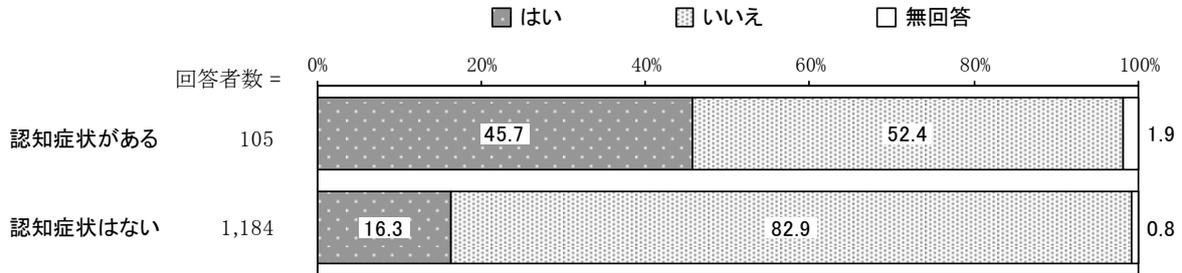
一般高齢者では、「はい」の割合が18.0%、「いいえ」の割合が77.3%となっています。  
 事業対象者では、「はい」の割合が9.1%、「いいえ」の割合が72.7%となっています。  
 要支援認定者では、「はい」の割合が13.6%、「いいえ」の割合が75.3%となっています。



<一般高齢者>

【本人または家族の認知症状の有無別】

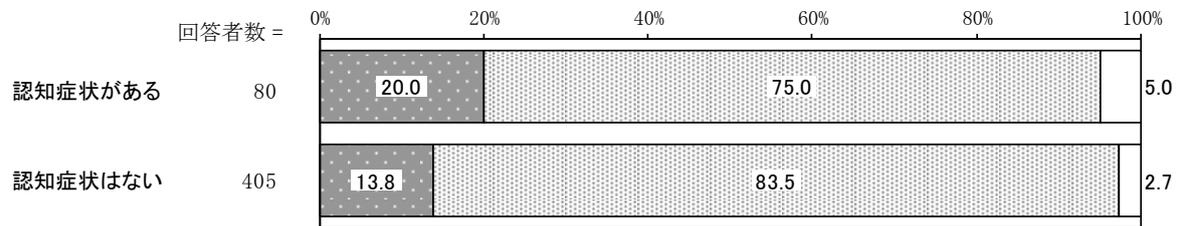
本人または家族の認知症状の有無別でみると、他に比べ、認知症状はないに比べ、認知症状があるで「はい」の割合が高くなっています。



<事業対象者・要支援認定者>

【本人または家族の認知症状の有無別】

本人または家族の認知症状の有無別でみると、認知症状はないに比べ、認知症状があるで「はい」の割合が高くなっています。

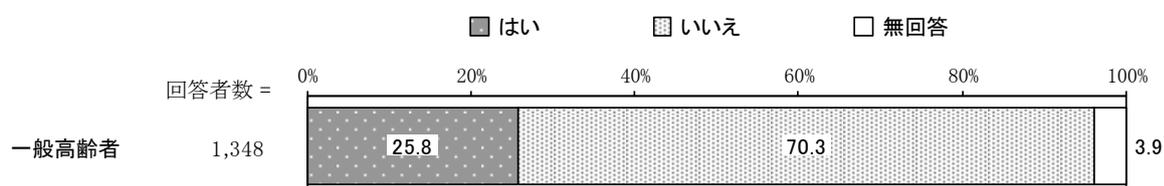


### (13) 介護支援ボランティアについて

問 あなたは、介護支援ボランティアを知っていましたか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問 13 (1)】

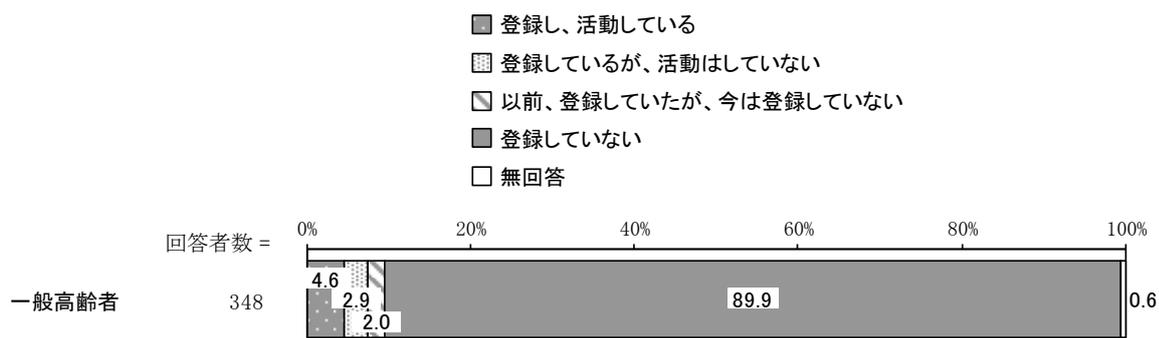
一般高齢者では、「はい」の割合が 25.8%、「いいえ」の割合が 70.3%となっています。



問 一般高齢者の問 13 (1) で「はい」と回答された方にお伺いします。介護支援ボランティアに登録していますか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問 13 (2)】

一般高齢者では、「登録していない」の割合が 89.9%と最も高くなっています。



## (14) 生きがいについて

問 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのどのような時ですか。（○はいくつでも）

【一般高齢者：問14（1）、事業対象者・要支援認定者：問13（1）】

一般高齢者では、「友人や知人と過ごすとき」の割合が58.6%と最も高く、次いで「家族との団らんのとき」の割合が54.5%、「おいしいものを食べているとき」の割合が52.4%となっています。

事業対象者では、「友人や知人と過ごすとき」の割合が45.5%と最も高く、次いで「家族との団らんのとき」の割合が40.9%、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が36.4%となっています。

要支援認定者では、「おいしいものを食べているとき」の割合が53.0%と最も高く、次いで「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が52.1%、「家族との団らんのとき」の割合が45.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	仕事をしているとき （農作業なども含む）	教養を身につけること（学習）を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動（自治会、ボランティア 等）に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
一般高齢者	1,348	44.1	20.5	33.0	54.5	58.6	8.9	11.9	43.2	42.4
事業対象者	22	22.7	18.2	22.7	40.9	45.5	9.1	13.6	9.1	22.7
要支援認定者	457	14.9	13.1	13.8	45.7	42.9	13.6	3.7	9.4	26.0

区分	テレビを見たり、 ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
一般高齢者	47.5	11.5	32.3	23.8	52.4	17.5	3.6	1.8	3.1
事業対象者	36.4	4.5	31.8	9.1	31.8	4.5	—	4.5	13.6
要支援認定者	52.1	4.6	19.9	13.8	53.0	16.2	4.4	4.6	9.8

【平成 28 年度調査】

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
一般高齢者	1364	45.7	19.1	33.8	52.1	58.2	10.6	12.2	43.9	38.8

区分	テレビを見たり、 ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
一般高齢者	46.1	8.9	34.5	25.7	50.6	17.2	3.3	2.3	2.8

<一般高齢者>

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の65歳～69歳、75歳～79歳で「友人や知人と過ごすとき」の割合が、男性の65歳～74歳で「仕事をしているとき（農作業なども含む）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき(農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)をしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	地域活動(自治会、ボランティア等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
男性 65歳～69歳	186	51.6	17.2	39.2	57.5	51.1	2.2	14.5	48.4	30.1
70歳～74歳	182	52.7	15.4	35.7	57.7	50.0	3.8	14.8	45.6	31.3
75歳～79歳	126	42.1	23.0	35.7	57.9	50.0	8.7	15.9	38.1	32.5
80歳～84歳	72	40.3	16.7	41.7	48.6	52.8	18.1	8.3	40.3	41.7
85歳以上	61	44.3	13.1	24.6	47.5	32.8	29.5	8.2	21.3	23.0
女性 65歳～69歳	197	48.2	25.9	31.5	56.3	72.1	1.0	11.7	59.4	50.8
70歳～74歳	187	39.0	24.6	31.6	58.8	66.8	2.7	7.5	49.2	56.7
75歳～79歳	153	38.6	24.8	34.0	46.4	71.9	14.4	13.7	41.8	59.5
80歳～84歳	83	33.7	18.1	24.1	51.8	62.7	21.7	10.8	31.3	54.2
85歳以上	86	34.9	18.6	20.9	48.8	53.5	20.9	7.0	16.3	29.1

区分	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
男性 65歳～69歳	40.3	18.8	30.6	29.0	44.6	10.8	3.8	3.8	2.7
70歳～74歳	43.4	25.8	28.0	23.1	42.3	11.0	2.7	1.6	2.7
75歳～79歳	47.6	19.0	24.6	15.1	32.5	14.3	4.8	1.6	4.0
80歳～84歳	44.4	8.3	22.2	16.7	45.8	15.3	6.9	4.2	2.8
85歳以上	42.6	4.9	14.8	11.5	41.0	14.8	4.9	4.9	4.9
女性 65歳～69歳	46.7	6.6	40.1	36.5	65.0	25.9	2.5	0.5	1.0
70歳～74歳	52.4	9.1	36.9	22.5	62.6	23.0	2.7	0.5	0.5
75歳～79歳	54.2	3.9	43.1	24.8	63.4	20.3	3.9	2.0	2.0
80歳～84歳	54.2	2.4	39.8	24.1	63.9	22.9	3.6	—	2.4
85歳以上	50.0	1.2	25.6	14.0	53.5	14.0	3.5	1.2	14.0

### 【ボランティアグループへの参加状況別】

ボランティアグループへの参加状況別でみると、他に比べ、週2～3回で「友人や知人と過ごすとき」の割合が、週1回で「教養を身につけること（学習）をしているとき」「他人から感謝されたとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	13	61.5	38.5	46.2	76.9	69.2	7.7	61.5	46.2	46.2
週2～3回	20	45.0	35.0	50.0	55.0	80.0	20.0	35.0	55.0	30.0
週1回	23	43.5	56.5	52.2	65.2	69.6	13.0	69.6	47.8	34.8
月1～3回	109	45.9	24.8	47.7	57.8	67.9	22.9	38.5	57.8	41.3
年に数回	126	52.4	30.2	47.6	60.3	70.6	18.3	28.6	54.0	38.9
参加していない	969	43.8	17.5	29.4	54.1	56.2	5.0	4.3	41.4	43.6

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	76.9	7.7	53.8	38.5	53.8	30.8	—	—	7.7
週2～3回	40.0	15.0	50.0	20.0	60.0	15.0	10.0	—	—
週1回	26.1	21.7	69.6	39.1	43.5	26.1	8.7	—	—
月1～3回	46.8	13.8	48.6	24.8	53.2	24.8	2.8	—	0.9
年に数回	46.8	13.5	37.3	27.0	46.8	24.6	0.8	0.8	2.4
参加していない	48.6	11.6	29.7	24.1	54.0	15.7	4.0	2.3	2.5

### 【スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況別】

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況別でみると、参加頻度が高くなるにつれ「健康づくりやスポーツをしているとき」の割合が高くなっています。また、他に比べ、週4回以上で「友人や知人と過ごすとき」「旅行に行っているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	42	31.0	26.2	88.1	54.8	83.3	19.0	19.0	73.8	42.9
週2～3回	113	31.0	27.4	82.3	51.3	69.9	29.2	18.6	52.2	47.8
週1回	69	40.6	23.2	75.4	58.0	66.7	18.8	18.8	55.1	43.5
月1～3回	99	50.5	31.3	67.7	56.6	66.7	16.2	18.2	62.6	44.4
年に数回	43	65.1	18.6	55.8	67.4	67.4	14.0	20.9	62.8	44.2
参加していない	901	46.5	18.6	18.0	54.7	55.4	4.4	9.0	38.8	42.1

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	45.2	9.5	38.1	11.9	71.4	26.2	—	—	2.4
週2～3回	42.5	16.8	46.0	24.8	56.6	30.1	0.9	—	1.8
週1回	43.5	17.4	43.5	21.7	58.0	24.6	1.4	1.4	1.4
月1～3回	47.5	15.2	52.5	29.3	55.6	25.3	3.0	—	1.0
年に数回	53.5	14.0	41.9	32.6	67.4	20.9	—	—	2.3
参加していない	48.9	10.9	28.3	24.6	50.6	14.5	4.4	2.4	2.7

### 【趣味関係のグループへの参加状況別】

趣味関係のグループへの参加状況別でみると、他に比べ、週4回以上で「教養を身につけること（学習）をしているとき」「健康づくりやスポーツをしているとき」「友人や知人と過ごすとき」「地域活動（自治会、ボランティア等）に参加しているとき」「旅行に行っているとき」「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事をしているとき （農作業なども含む）	教養を身につけること （学習）をしているとき	健康づくりやスポーツを しているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ 活動をしているとき	地域活動（自治会、ボラン ティア等）に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物 しているとき
週4回以上	21	47.6	47.6	61.9	66.7	81.0	14.3	33.3	61.9	47.6
週2～3回	52	42.3	30.8	55.8	51.9	76.9	23.1	21.2	55.8	53.8
週1回	41	48.8	36.6	53.7	53.7	73.2	19.5	19.5	58.5	34.1
月1～3回	213	46.0	38.0	46.9	55.9	73.2	16.4	21.1	54.9	44.6
年に数回	87	51.7	21.8	51.7	64.4	71.3	18.4	18.4	51.7	37.9
参加していない	856	44.4	15.0	26.1	54.6	52.9	4.2	7.6	39.8	42.5

区分	テレビを見たり、ラジ オを聞いているとき	パソコン、インター ネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	71.4	4.8	47.6	33.3	61.9	33.3	—	—	—
週2～3回	46.2	19.2	51.9	15.4	50.0	23.1	3.8	—	1.9
週1回	39.0	17.1	61.0	26.8	48.8	24.4	2.4	2.4	—
月1～3回	41.3	13.1	41.3	30.5	60.6	24.9	3.3	0.5	1.4
年に数回	51.7	12.6	49.4	23.0	51.7	26.4	4.6	—	2.3
参加していない	49.6	11.2	27.3	24.1	51.6	14.5	3.9	2.5	2.5

### 【学習・教養サークルへの参加状況別】

学習・教養サークルへの参加状況別でみると、他に比べ、週1回で「教養を身につけること（学習）をしているとき」の割合が、週2～3回、週1回、月1～3回で「友人や知人と過ごすとき」の割合が高くなっています。また、週4回以上で「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事をしているとき （農作業なども含む）	教養を身につけること（学習）を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動（自治会、ボランティア 等）に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	3	100.0	33.3	33.3	100.0	66.7	—	33.3	66.7	33.3
週2～3回	11	63.6	63.6	36.4	45.5	81.8	27.3	18.2	36.4	45.5
週1回	28	50.0	78.6	67.9	60.7	82.1	21.4	25.0	64.3	46.4
月1～3回	87	47.1	62.1	44.8	59.8	79.3	23.0	27.6	52.9	44.8
年に数回	92	56.5	34.8	62.0	65.2	68.5	31.5	30.4	55.4	41.3
参加していない	1,034	43.2	14.1	29.5	54.0	56.4	4.7	8.7	42.3	42.9

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
週4回以上	66.7	—	66.7	33.3	66.7	66.7	—	—	—
週2～3回	45.5	18.2	36.4	9.1	45.5	36.4	—	—	—
週1回	57.1	32.1	50.0	35.7	67.9	32.1	—	—	—
月1～3回	47.1	17.2	47.1	28.7	59.8	31.0	6.9	1.1	—
年に数回	37.0	17.4	56.5	32.6	51.1	25.0	3.3	—	3.3
参加していない	48.6	10.7	29.9	23.8	52.9	15.5	3.7	2.2	2.3

### 【介護予防のための通いの場への参加状況別】

介護予防のための通いの場への参加状況別でみると、他に比べ、年に数回で「仕事をしているとき（農作業なども含む）」「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。また、月1～3回で「旅行に行っているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	9	55.6	22.2	55.6	44.4	66.7	22.2	—	22.2	44.4
週2～3回	23	17.4	17.4	56.5	30.4	78.3	34.8	26.1	43.5	65.2
週1回	58	34.5	34.5	51.7	55.2	55.2	27.6	20.7	43.1	48.3
月1～3回	78	39.7	25.6	50.0	56.4	76.9	30.8	28.2	62.8	48.7
年に数回	40	77.5	32.5	57.5	62.5	70.0	30.0	32.5	47.5	42.5
参加していない	1,061	45.1	19.2	30.3	55.6	57.8	4.4	9.5	43.4	41.8

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	55.6	—	22.2	44.4	55.6	22.2	11.1	—	—
週2～3回	56.5	4.3	47.8	21.7	65.2	26.1	—	4.3	4.3
週1回	44.8	5.2	43.1	22.4	55.2	19.0	3.4	1.7	5.2
月1～3回	41.0	11.5	44.9	30.8	64.1	20.5	3.8	2.6	—
年に数回	47.5	15.0	50.0	37.5	47.5	35.0	2.5	—	—
参加していない	48.4	12.4	31.3	24.0	52.6	16.8	3.8	1.9	2.4

## 【シニアクラブ・老人クラブへの参加状況別】

シニアクラブ・老人クラブへの参加状況別でみると、参加頻度が高くなるにつれ「健康づくりやスポーツをしているとき」「シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき」の割合が高くなっています。また、他に比べ、月1～3回で「おいしいものを食べているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	4	25.0	25.0	100.0	50.0	75.0	100.0	25.0	75.0	75.0
週2～3回	18	16.7	16.7	88.9	44.4	61.1	66.7	22.2	55.6	50.0
週1回	19	47.4	21.1	63.2	47.4	63.2	63.2	21.1	42.1	36.8
月1～3回	100	47.0	27.0	48.0	53.0	65.0	50.0	23.0	44.0	43.0
年に数回	92	48.9	28.3	44.6	64.1	66.3	25.0	21.7	42.4	46.7
参加していない	1,029	45.3	19.5	30.1	55.2	58.3	1.3	9.6	44.5	42.6

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
週4回以上	75.0	—	50.0	25.0	50.0	—	—	—	—
週2～3回	44.4	11.1	38.9	27.8	38.9	5.6	—	—	5.6
週1回	52.6	5.3	47.4	15.8	36.8	26.3	—	—	5.3
月1～3回	44.0	13.0	44.0	19.0	59.0	18.0	6.0	1.0	5.0
年に数回	45.7	10.9	34.8	20.7	55.4	20.7	4.3	1.1	1.1
参加していない	48.1	12.0	32.2	25.5	53.3	17.7	3.4	2.0	1.9

### 【町内会・自治会への参加状況別】

町内会・自治会への参加状況別でみると、外出頻度が高くなるにつれ「友人や知人と過ごすとき」「パソコン、インターネットをしているとき」の割合が高くなっています。また、他に比べ、週2～3回で「仕事をしているとき（農作業なども含む）」「教養を身につけること（学習）をしているとき」「おいしいものを食べているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	仕事をしているとき （農作業なども含む）	教養を身につけること（学習）を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動（自治会、ボランティア 等）に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	3	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	—	66.7	66.7	33.3
週2～3回	11	54.5	36.4	63.6	54.5	90.9	9.1	18.2	63.6	36.4
週1回	10	40.0	10.0	70.0	50.0	70.0	20.0	30.0	70.0	10.0
月1～3回	150	45.3	22.7	42.7	59.3	66.0	14.7	31.3	57.3	38.0
年に数回	520	50.4	21.2	36.2	59.2	63.1	9.4	13.3	47.9	45.0
参加していない	543	39.2	19.5	27.8	50.6	53.8	5.2	4.2	37.8	42.7

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
週4回以上	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	—	—	—
週2～3回	27.3	36.4	45.5	27.3	63.6	18.2	9.1	—	—
週1回	60.0	20.0	50.0	20.0	60.0	10.0	—	—	—
月1～3回	43.3	20.0	48.7	30.7	48.0	21.3	5.3	1.3	1.3
年に数回	46.3	12.3	34.2	23.8	51.7	18.7	3.5	1.5	1.3
参加していない	50.5	9.0	28.2	23.9	56.9	15.8	3.1	2.6	2.8

### 【収入のある仕事への参加状況別】

収入のある仕事への参加状況別でみると、参加頻度が高くなるにつれ「仕事をしているとき（農作業なども含む）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、月1～3回で「家族との団らんのとき」「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事をしているとき （農作業なども含む）	教養を身につけること （学習）をしているとき	健康づくりやスポーツを しているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ 活動をしているとき	地域活動（自治会、ボランティア 等）に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物 しているとき
週4回以上	225	77.3	20.4	29.3	55.6	63.1	1.3	9.8	51.1	34.7
週2～3回	93	77.4	29.0	37.6	55.9	61.3	7.5	10.8	58.1	29.0
週1回	19	68.4	31.6	42.1	57.9	73.7	15.8	26.3	36.8	26.3
月1～3回	21	57.1	23.8	52.4	76.2	66.7	19.0	23.8	66.7	47.6
年に数回	37	67.6	24.3	40.5	51.4	70.3	8.1	24.3	56.8	51.4
参加していない	836	31.0	19.9	34.1	55.1	57.9	10.0	11.1	40.8	46.5

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな い	無回 答
週4回以上	46.2	13.3	35.1	45.3	53.8	22.7	3.6	0.9	1.3
週2～3回	43.0	16.1	47.3	39.8	52.7	20.4	3.2	1.1	—
週1回	42.1	10.5	63.2	47.4	63.2	31.6	—	—	—
月1～3回	52.4	23.8	42.9	47.6	61.9	38.1	—	—	—
年に数回	43.2	24.3	45.9	32.4	45.9	27.0	—	—	2.7
参加していない	48.8	10.6	30.5	16.4	53.8	14.8	3.9	2.5	2.2

<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事をしているとき（農作業なども含む）」「健康づくりやスポーツをしているとき」「パソコン、インターネットをしているとき」の割合が高くなっています。また、女性で「教養を身につけること（学習）をしているとき」「友人や知人と過ごすとき」「散歩や買い物をしているとき」「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」「他人から感謝されたとき」「おいしいものを食べているとき」「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「旅行に行っているとき」「収入があったとき」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること (学習)をしているとき	健康づくりやスポーツ をしているとき	家族との団らん のとき	友人や知人と 過ごすとき	シニアクラブ・老人 クラブ活動をして いるとき	地域活動(自治会、 ボランティア等) に参加しているとき	旅行に行っている とき	散歩や買い物をして いるとき
全体		1348 100.0	594 44.1	276 20.5	445 33.0	734 54.5	790 58.6	120 8.9	160 11.9	583 43.2	572 42.4
性別	男性	629 100.0	301 47.9	109 17.3	230 36.6	351 55.8	308 49.0	54 8.6	85 13.5	265 42.1	200 31.8
	女性	706 100.0	285 40.4	166 23.5	211 29.9	377 53.4	475 67.3	65 9.2	73 10.3	313 44.3	367 52.0
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	191 49.9	83 21.7	135 35.2	218 56.9	237 61.9	6 1.6	50 13.1	207 54.0	156 40.7
	70歳～74歳	370 100.0	169 45.7	74 20.0	124 33.5	215 58.1	217 58.6	12 3.2	41 11.1	175 47.3	163 44.1
	75歳～79歳	281 100.0	114 40.6	67 23.8	97 34.5	145 51.6	174 61.9	33 11.7	41 14.6	112 39.9	134 47.7
	80歳～84歳	157 100.0	58 36.9	28 17.8	51 32.5	79 50.3	91 58.0	32 20.4	16 10.2	56 35.7	77 49.0
	85歳～89歳	90 100.0	40 44.4	17 18.9	24 26.7	41 45.6	45 50.0	22 24.4	8 8.9	21 23.3	27 30.0
	90歳～94歳	39 100.0	12 30.8	3 7.7	7 17.9	22 56.4	17 43.6	10 25.6	2 5.1	4 10.3	7 17.9
	95歳～99歳	20 100.0	6 30.0	4 20.0	2 10.0	9 45.0	4 20.0	4 20.0	1 5.0	3 15.0	5 25.0
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
全 体		640 47.5	155 11.5	436 32.3	321 23.8	706 52.4	236 17.5	49 3.6	24 1.8	42 3.1
性 別	男性	273 43.4	116 18.4	164 26.1	134 21.3	261 41.5	78 12.4	26 4.1	20 3.2	18 2.9
	女性	361 51.1	39 5.5	269 38.1	184 26.1	441 62.5	156 22.1	22 3.1	20 2.8	6 0.8
年 齢 別	65 歳～69 歳	167 43.6	48 12.5	136 35.5	126 32.9	211 55.1	71 18.5	12 3.1	7 1.8	8 2.1
	70 歳～74 歳	178 48.1	64 17.3	121 32.7	84 22.7	194 52.4	63 17.0	10 2.7	6 1.6	4 1.1
	75 歳～79 歳	144 51.2	30 10.7	97 34.5	58 20.6	138 49.1	49 17.4	12 4.3	8 2.8	5 1.8
	80 歳～84 歳	78 49.7	8 5.1	49 31.2	33 21.0	87 55.4	32 20.4	8 5.1	4 2.5	3 1.9
	85 歳～89 歳	40 44.4	2 2.2	20 22.2	11 12.2	42 46.7	15 16.7	3 3.3	12 13.3	2 2.2
	90 歳～94 歳	20 51.3	2 5.1	6 15.4	6 15.4	18 46.2	3 7.7	2 5.1	3 7.7	1 2.6
	95 歳～99 歳	9 45.0	—	5 25.0	2 10.0	12 60.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0
	100 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—

<事業対象者・要支援認定者>

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の75歳～79歳で「家族との団らんのとき」の割合が、男性の65歳～69歳で「パソコン、インターネットをしているとき」の割合が高くなっています。また、男性の65歳～69歳、女性の70歳～74歳で「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき(農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)をしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき	地域活動(自治会、ボランティア等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
男性 65歳～69歳	4	25.0	50.0	—	25.0	50.0	—	—	50.0	25.0
70歳～74歳	23	8.7	21.7	8.7	8.7	17.4	—	—	4.3	21.7
75歳～79歳	22	13.6	4.5	13.6	59.1	50.0	9.1	9.1	18.2	27.3
80歳～84歳	38	28.9	15.8	36.8	39.5	28.9	28.9	15.8	18.4	13.2
85歳以上	71	16.9	9.9	16.9	38.0	26.8	19.7	4.2	8.5	16.9
女性 65歳～69歳	10	—	20.0	—	30.0	30.0	—	10.0	10.0	10.0
70歳～74歳	20	5.0	20.0	20.0	50.0	45.0	5.0	5.0	15.0	60.0
75歳～79歳	53	11.3	7.5	15.1	47.2	50.9	1.9	—	11.3	30.2
80歳～84歳	81	12.3	12.3	16.0	44.4	50.6	13.6	4.9	12.3	25.9
85歳以上	172	17.4	14.0	12.2	51.2	49.4	19.2	2.9	5.8	30.2

区分	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
男性 65歳～69歳	75.0	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	—	25.0	—
70歳～74歳	52.2	17.4	17.4	4.3	39.1	4.3	13.0	4.3	21.7
75歳～79歳	45.5	9.1	36.4	13.6	40.9	13.6	—	9.1	13.6
80歳～84歳	36.8	7.9	13.2	13.2	42.1	10.5	5.3	10.5	7.9
85歳以上	45.1	—	18.3	14.1	40.8	7.0	2.8	5.6	18.3
女性 65歳～69歳	30.0	20.0	10.0	30.0	50.0	—	—	—	20.0
70歳～74歳	70.0	5.0	30.0	15.0	70.0	15.0	—	—	5.0
75歳～79歳	52.8	1.9	22.6	13.2	60.4	17.0	5.7	1.9	7.5
80歳～84歳	60.5	2.5	13.6	4.9	49.4	11.1	3.7	2.5	8.6
85歳以上	51.7	1.2	23.8	14.0	58.1	20.3	3.5	3.5	5.2

### 【ボランティアのグループへの参加状況別】

ボランティアのグループへの参加状況別でみると、他に比べ、参加していないで「おいしいものを食べているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	7	—	28.6	42.9	28.6	42.9	14.3	28.6	—	57.1
週1回	6	33.3	—	33.3	50.0	33.3	33.3	—	—	33.3
月1～3回	8	—	12.5	12.5	12.5	62.5	12.5	12.5	12.5	37.5
年に数回	11	18.2	36.4	27.3	54.5	63.6	54.5	36.4	27.3	63.6
参加していない	401	15.0	11.5	13.5	47.1	39.9	12.2	2.2	9.7	24.4

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	14.3	14.3	42.9	28.6	57.1	14.3	—	—	14.3
週1回	50.0	—	33.3	—	33.3	33.3	—	—	33.3
月1～3回	50.0	—	37.5	—	25.0	—	—	12.5	25.0
年に数回	54.5	9.1	18.2	36.4	45.5	—	9.1	—	9.1
参加していない	53.6	4.5	20.7	13.0	54.4	13.5	4.7	5.2	7.5

### 【スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況別】

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況別でみると、他に比べ、月1～3回で「健康づくりやスポーツをしているとき」「旅行に行っているとき」「若い世代と交流しているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	3	—	—	66.7	33.3	66.7	66.7	—	33.3	100.0
週2～3回	12	16.7	16.7	83.3	41.7	50.0	41.7	8.3	25.0	33.3
週1回	9	11.1	44.4	55.6	44.4	44.4	33.3	—	11.1	22.2
月1～3回	11	18.2	18.2	90.9	54.5	63.6	45.5	—	36.4	27.3
年に数回	6	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	50.0
参加していない	388	14.4	11.3	9.5	47.4	40.2	10.8	3.1	8.2	25.5

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—	—
週2～3回	66.7	8.3	33.3	25.0	66.7	16.7	—	—	8.3
週1回	44.4	11.1	11.1	11.1	44.4	11.1	—	—	11.1
月1～3回	36.4	—	36.4	18.2	45.5	27.3	9.1	—	9.1
年に数回	50.0	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	—	—	33.3
参加していない	54.4	4.4	20.6	12.1	54.4	13.7	5.2	5.2	7.5

【趣味関係のグループへの参加状況別】

趣味関係のグループへの参加状況別でみると、他に比べ、月1～3回で「教養を身につけること（学習）をしているとき」「健康づくりやスポーツをしているとき」「旅行に行っているとき」の割合が、年に数回で「家族との団らんのとき」「友人や知人と過ごすとき」「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」「他人から感謝されたとき」「おいしいものを食べているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	2	—	—	50.0	50.0	100.0	50.0	—	—	50.0
週2～3回	8	12.5	25.0	25.0	25.0	62.5	50.0	—	37.5	37.5
週1回	9	—	22.2	22.2	33.3	66.7	22.2	11.1	22.2	33.3
月1～3回	31	12.9	25.8	22.6	25.8	54.8	29.0	6.5	19.4	35.5
年に数回	13	15.4	7.7	—	61.5	61.5	30.8	7.7	—	23.1
参加していない	374	15.0	11.0	14.2	48.4	39.0	11.2	3.2	8.8	25.9

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	50.0	—	50.0	50.0	—	—	—
週2～3回	37.5	25.0	—	—	25.0	12.5	—	—	12.5
週1回	44.4	11.1	33.3	11.1	77.8	33.3	11.1	11.1	—
月1～3回	38.7	9.7	22.6	16.1	45.2	19.4	—	—	19.4
年に数回	61.5	—	30.8	7.7	61.5	23.1	—	—	15.4
参加していない	55.3	3.7	21.1	13.6	54.8	12.6	5.3	5.1	7.5

【学習・教養サークルへの参加状況別】

学習・教養サークルへの参加状況別では、回答者数が少ないため、参考とします。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	2	—	50.0	—	—	100.0	—	50.0	—	100.0
週1回	2	—	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	—
月1～3回	17	23.5	58.8	41.2	47.1	64.7	47.1	17.6	52.9	52.9
年に数回	7	14.3	14.3	28.6	57.1	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6
参加していない	392	14.8	9.9	13.3	46.7	40.1	10.7	2.3	8.2	25.3

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	—	—	100.0	50.0	50.0	—	—	—	—
週1回	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
月1～3回	64.7	23.5	23.5	29.4	52.9	23.5	11.8	—	5.9
年に数回	71.4	—	28.6	14.3	71.4	28.6	—	—	14.3
参加していない	53.6	3.8	21.7	12.8	54.1	13.3	4.8	5.1	7.9

### 【介護予防のための通いの場への参加状況別】

介護予防のための通いの場への参加状況別でみると、他に比べ、週2～3回で「友人や知人と過ごすとき」「旅行に行っているとき」「他人から感謝されたとき」の割合が、年に数回で「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること (学習)をしているとき	健康づくりやスポーツを しているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ 活動をしているとき	地域活動(自治会、ボランテニア 等)に参加している とき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしている とき
週4回以上	2	—	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	—	100.0
週2～3回	19	15.8	26.3	52.6	68.4	73.7	26.3	5.3	31.6	36.8
週1回	44	20.5	11.4	27.3	45.5	36.4	18.2	6.8	9.1	29.5
月1～3回	44	15.9	27.3	25.0	38.6	65.9	43.2	13.6	18.2	40.9
年に数回	15	13.3	6.7	6.7	46.7	60.0	33.3	—	13.3	20.0
参加していない	327	14.7	10.7	10.1	46.5	36.1	7.3	2.1	8.3	24.5

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	50.0	—	50.0	—	100.0	50.0	—	—	—
週2～3回	47.4	5.3	36.8	21.1	63.2	15.8	5.3	—	—
週1回	40.9	2.3	18.2	18.2	45.5	11.4	4.5	—	15.9
月1～3回	52.3	9.1	22.7	13.6	56.8	11.4	4.5	—	9.1
年に数回	73.3	6.7	13.3	13.3	53.3	20.0	—	—	13.3
参加していない	53.5	4.0	21.4	12.8	53.8	14.4	5.2	5.8	8.0

## 【シニアクラブ・老人クラブへの参加状況別】

シニアクラブ・老人クラブへの参加状況別でみると、他に比べ、週2～3回で「シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき」の割合が高くなっています。また、年に数回で「散歩や買い物をしているとき」「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」「他人から感謝されたとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	1	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0
週2～3回	10	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	70.0	—	20.0	20.0
週1回	9	22.2	11.1	11.1	33.3	77.8	77.8	—	—	22.2
月1～3回	38	21.1	13.2	31.6	36.8	50.0	47.4	10.5	21.1	26.3
年に数回	58	22.4	20.7	32.8	48.3	53.4	44.8	10.3	15.5	37.9
参加していない	339	13.0	11.2	9.7	46.6	38.1	3.5	1.5	8.0	23.6

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—
週2～3回	50.0	—	10.0	20.0	50.0	10.0	—	—	30.0
週1回	55.6	—	55.6	11.1	44.4	11.1	—	—	—
月1～3回	50.0	2.6	13.2	7.9	47.4	13.2	—	—	13.2
年に数回	62.1	5.2	29.3	24.1	56.9	19.0	1.7	1.7	1.7
参加していない	51.3	4.7	20.9	12.1	52.5	13.6	6.2	5.6	9.1

### 【自治会への参加状況別】

自治会への参加状況別でみると、他に比べ、月1～3回で「仕事をしているとき（農作業なども含む）」「地域活動（自治会、ボランティア等）に参加しているとき」「旅行に行っているとき」の割合が高くなっています。また、年に数回で「収入があったとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週1回	4	—	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0	—	—	75.0
月1～3回	14	28.6	21.4	28.6	28.6	64.3	28.6	28.6	35.7	21.4
年に数回	73	20.5	15.1	20.5	46.6	46.6	27.4	8.2	16.4	35.6
参加していない	348	13.8	12.1	12.6	45.7	41.1	11.2	2.0	7.8	23.9

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週2～3回	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週1回	—	50.0	25.0	25.0	75.0	50.0	—	—	—
月1～3回	35.7	7.1	21.4	7.1	42.9	—	—	7.1	7.1
年に数回	49.3	8.2	23.3	23.3	57.5	8.2	2.7	—	11.0
参加していない	56.3	3.2	21.6	11.5	52.9	14.9	5.5	6.0	6.6

## 【収入のある仕事別】

収入のある仕事への参加状況別では、回答者数が少ないため、参考とします。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事をしているとき (農作業なども含む)	教養を身につけること(学習)を しているとき	健康づくりやスポーツをしている とき	家族との団らんとき	友人や知人と過ごすとき	シニアクラブ・老人クラブ活動を しているとき	地域活動(自治会、ボランティア 等)に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき
週4回以上	5	60.0	40.0	60.0	60.0	20.0	—	—	20.0	20.0
週2～3回	4	50.0	25.0	—	100.0	50.0	—	—	25.0	25.0
週1回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月1～3回	3	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—
年に数回	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	—	50.0	50.0	50.0
参加していない	419	13.8	12.4	14.6	45.6	43.2	15.3	3.8	10.0	26.0

区分	テレビを見たり、ラジオを 聞いているとき	パソコン、インターネットを しているとき	他人から感謝されたとき	収入があったとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特 に な い	無 回 答
週4回以上	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	—	—	20.0	—
週2～3回	75.0	25.0	50.0	25.0	75.0	25.0	—	—	—
週1回	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月1～3回	33.3	—	—	—	—	—	—	—	66.7
年に数回	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—
参加していない	53.7	4.1	21.5	12.9	53.5	14.1	5.0	5.0	7.2

問 今後やってみたいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問 14 (2)、事業対象者・要支援認定者：問 13 (2)】

一般高齢者では、「趣味の活動」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「健康づくりやスポーツ」の割合が 34.9%、「働くこと」の割合が 24.6%となっています。

事業対象者では、「特にない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「健康づくりやスポーツ」、「趣味の活動」の割合が 27.3%となっています。

要支援認定者では、「特にない」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「趣味の活動」の割合が 22.1%、「健康づくりやスポーツ」の割合が 16.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・老人クラブ活動	社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)	自治会の活動	その他	特にない	無回答
一般高齢者	1,348	24.6	17.5	34.9	39.8	7.3	7.9	3.6	1.6	24.2	6.7
事業対象者	22	4.5	9.1	27.3	27.3	13.6	4.5	—	13.6	40.9	4.5
要支援認定者	457	7.9	9.8	16.8	22.1	9.2	1.5	1.5	2.2	44.9	13.1

【平成 28 年度調査】

単位：%

区分	回答者数 (件)	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・老人クラブ活動	社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)	自治会の活動	その他	特にない	無回答
一般高齢者	1364	27.5	18.7	35.7	41.5	8.8	10.1	4.5	2.1	23.5	7.0

<一般高齢者>

【性別、年齢別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「働くこと」「趣味の活動」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「働くこと」「学習や教養を高めるための活動」「健康づくりやスポーツ」「趣味の活動」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が高くなるにつれ「特にない」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	働くこと	学習や教養を 高めるための活動	健康づくりやスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・ 老人クラブ活動	社会奉仕活動 (ボランティア、 高齢者の 生活支援など)	自治会の活動	その他	特にない	無回答	
全 体		1348 100.0	332 24.6	236 17.5	470 34.9	536 39.8	99 7.3	106 7.9	49 3.6	22 1.6	326 24.2	90 6.7	
性別	男性	629 100.0	175 27.8	111 17.6	235 37.4	270 42.9	48 7.6	62 9.9	33 5.2	9 1.4	145 23.1	29 4.6	
	女性	706 100.0	152 21.5	125 17.7	232 32.9	263 37.3	51 7.2	43 6.1	16 2.3	12 1.7	181 25.6	57 8.1	
年齢別	65歳～69歳	383 100.0	113 29.5	90 23.5	151 39.4	181 47.3	12 3.1	43 11.2	19 5.0	8 2.1	64 16.7	11 2.9	
	70歳～74歳	370 100.0	98 26.5	68 18.4	153 41.4	155 41.9	13 3.5	35 9.5	13 3.5	2 0.5	84 22.7	16 4.3	
	75歳～79歳	281 100.0	62 22.1	44 15.7	94 33.5	114 40.6	24 8.5	16 5.7	9 3.2	5 1.8	69 24.6	22 7.8	
	80歳～84歳	157 100.0	31 19.7	17 10.8	47 29.9	52 33.1	25 15.9	4 2.5	1 0.6	4 2.5	46 29.3	16 10.2	
	85歳～89歳	90 100.0	19 21.1	15 16.7	17 18.9	23 25.6	20 22.2	5 5.6	4 4.4	2 2.2	33 36.7	12 13.3	
	90歳～94歳	39 100.0	7 17.9	1 2.6	4 10.3	5 12.8	5 12.8	2 5.1	1 2.6	—	—	18 46.2	8 20.5
	95歳～99歳	20 100.0	—	1 5.0	1 5.0	3 15.0	—	—	—	—	—	12 60.0	3 15.0
	100歳以上	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

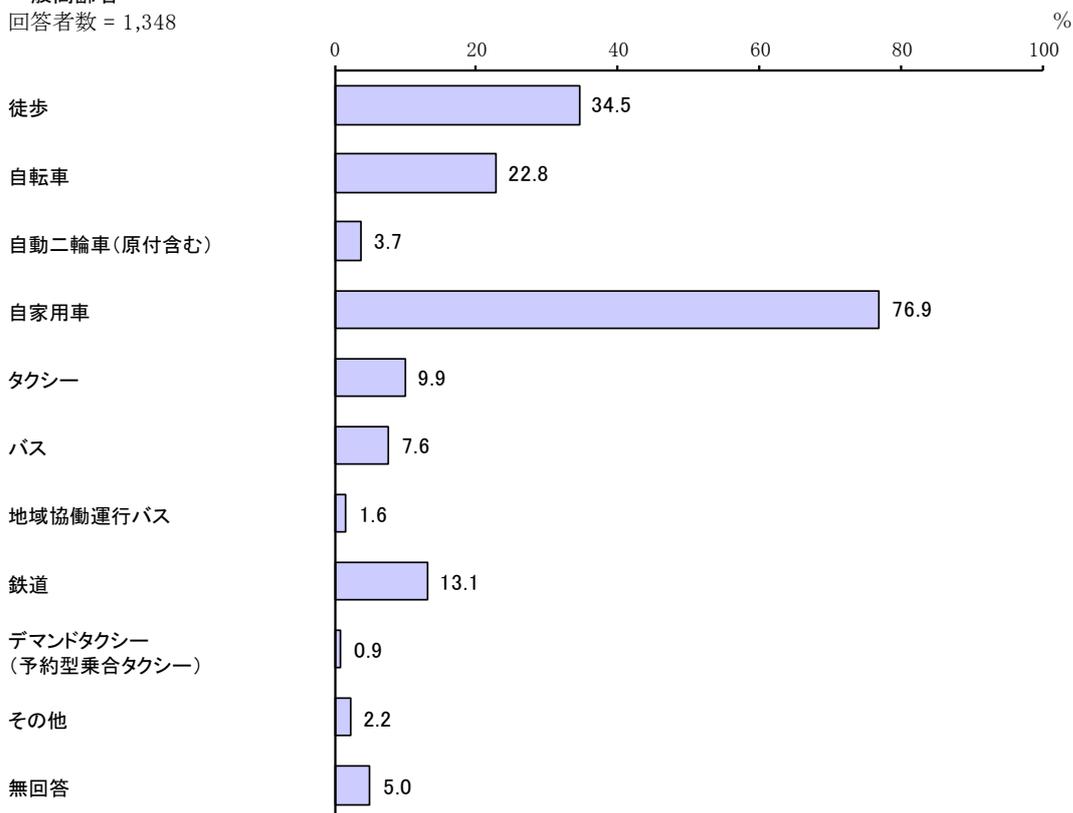
## (15) 交通手段について

問 外出の際、主に利用する交通手段は何ですか。(〇は3つまで)

【一般高齢者：問15(1)】

一般高齢者では、「自家用車」の割合が76.9%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が34.5%、「自転車」の割合が22.8%となっています。

一般高齢者  
回答者数 = 1,348



<一般高齢者>

【外出頻度別】

外出頻度別でみると、外出頻度が高くなるにつれ「徒歩」「自家用車」「鉄道」の割合が、外出頻度が低くなるにつれ「タクシー」の割合が高くなる傾向がみられます。

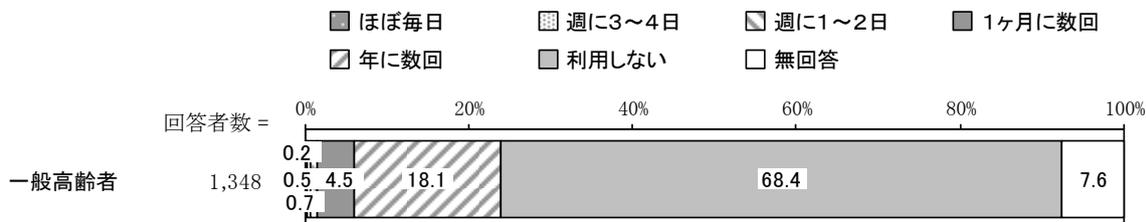
単位：%

区分	回答者数(件)	徒歩	自転車	自動二輪車(原付含む)	自家用車	タクシー	バス	地域協働運行バス	鉄道	デマンドタクシー(予約型乗合タクシー)	その他	無回答
ほとんど外出しない	74	23.0	12.2	—	44.6	23.0	4.1	4.1	1.4	2.7	14.9	16.2
週1回	117	26.5	20.5	1.7	53.0	24.8	11.1	2.6	10.3	3.4	4.3	8.5
週2~4回	520	37.3	25.2	4.6	75.6	10.2	8.8	2.5	14.2	1.0	1.7	4.4
週5回以上	621	35.3	22.4	3.5	87.1	5.3	6.6	0.5	14.5	0.2	0.6	3.2

問 バスの利用頻度はどのくらいですか。(〇はひとつ)

【一般高齢者：問15(2)】

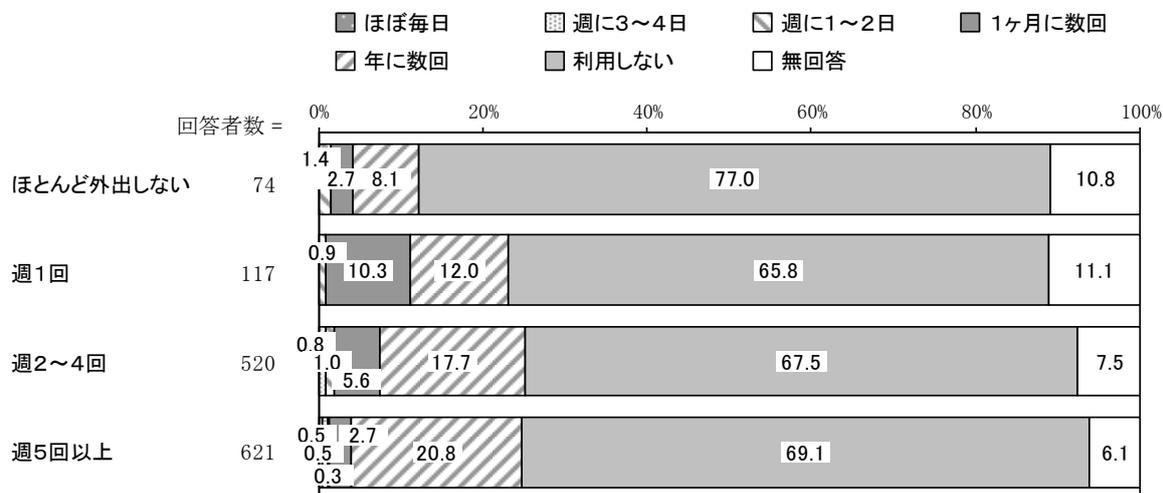
一般高齢者では、「利用しない」の割合が68.4%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が18.1%となっています。



<一般高齢者>

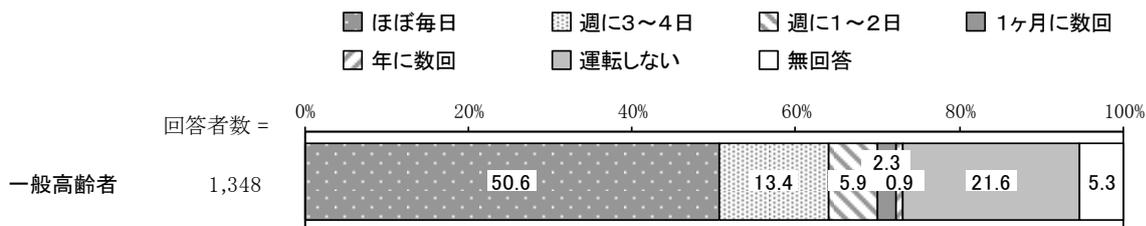
【外出頻度別】

外出頻度別で見ると、外出頻度が高くなるにつれ「年に数回」の割合が高くなっています。また、他に比べ、週1回で「1ヶ月に数回」の割合が、ほとんど外出しないで「利用しない」の割合が高くなっています。



問 自動車の運転頻度はどのくらいですか。(○はひとつ) 【一般高齢者：問15(3)】

一般高齢者では、「ほぼ毎日」の割合が50.6%と最も高く、次いで「運転しない」の割合が21.6%、「週に3~4日」の割合が13.4%となっています。



問 日頃、どのような目的で自動車を運転していますか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問 15 (4)、事業対象者・要支援認定者：問 14 (6)】

一般高齢者では、「買い物のため」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「病院や診療所に通うため」の割合が 55.3%、「趣味で使用するため」の割合が 33.1%となっています。

事業対象者では、「運転免許証を持っていない(または既に返納した)」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「買い物のため」、「病院や診療所に通うため」の割合が 22.7%となっています。

要支援認定者では、「運転免許証を持っていない(または既に返納した)」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「病院や診療所に通うため」の割合が 16.8%、「買い物のため」の割合が 16.0%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	買い物のため	病院や診療所に通うため	家族等の送迎のため	仕事や通勤のため	趣味で使用するため	運転免許証は持っているが、運転していない	運転免許証を持っていない(または既に返納した)	その他	無回答
一般高齢者	1,348	67.2	55.3	29.7	29.2	33.1	2.0	13.3	1.9	10.2
事業対象者	22	22.7	22.7	18.2	—	4.5	4.5	50.0	4.5	18.2
要支援認定者	457	16.0	16.8	4.4	1.8	4.4	5.3	54.7	2.8	19.3

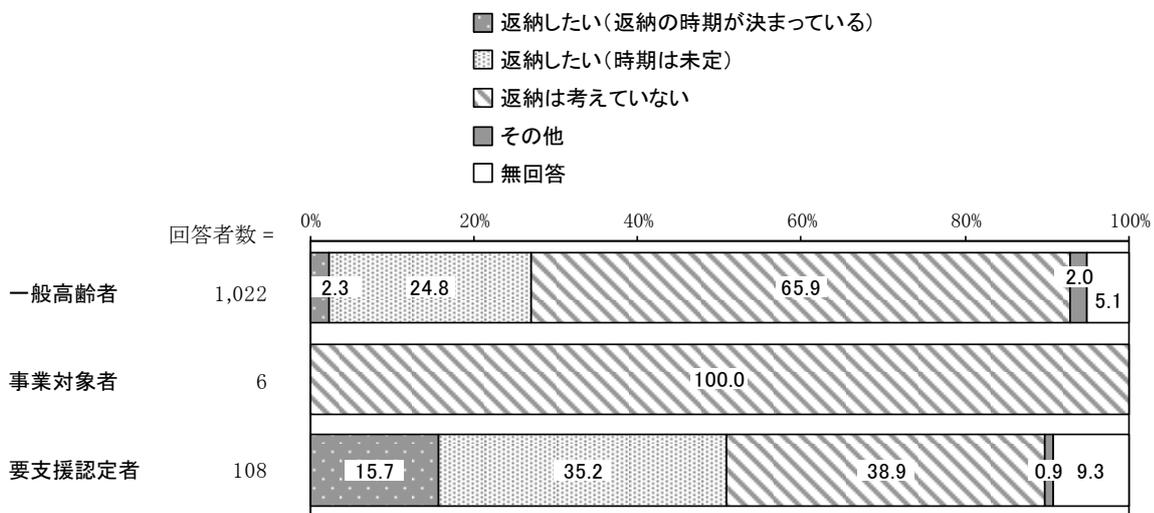
問 一般高齢者では問 15（４）、事業対象者・要支援認定者では問 14（６）で「買い物のため」～「運転免許証は持っているが、運転していない」と回答された方にお伺いします。  
あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか。

【一般高齢者：問 15（５）、事業対象者・要支援認定者：問 14（７）】

一般高齢者では、「返納は考えていない」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「返納したい（時期は未定）」の割合が 24.8%となっています。

事業対象者では、「返納は考えていない」が 6 件となっています。

要支援認定者では、「返納は考えていない」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「返納したい（時期は未定）」の割合が 35.2%、「返納したい（返納の時期が決まっている）」の割合が 15.7%となっています。



問 一般高齢者では問 15（5）、事業対象者・要支援認定者では問 14（7）で「返納したい（返納の時期が決まっている）」「返納したい（時期は未定）」と回答された方にお伺いします。  
免許を返納後、または自分で自動車の運転ができなくなった場合はどのように外出しますか。（〇はいくつでも）

【一般高齢者：問 15（6）、事業対象者・要支援認定者：問 14（8）】

一般高齢者では、「同居の家族に自動車を送迎をしてもらう」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「公共の鉄道・バスを利用する」の割合が 47.8%、「民間タクシー等を利用する」の割合が 37.3%となっています。

事業対象者では、有効回答がありませんでした。

要支援認定者では、「同居の家族に自動車を送迎をしてもらう」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「別居の親族等に自動車を送迎をしてもらう」の割合が 38.2%、「民間タクシー等を利用する」の割合が 32.7%となっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	同居の家族に自動車を送迎をしてもらう	別居の親族等に自動車を送迎をしてもらう	友人・隣人等に自動車を送迎をってもらう	公共の鉄道・バスを利用する	地域協働運行バスを利用する	デマンドタクシー（予約型乗合タクシー）を利用する	ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援を利用する	民間タクシー等を利用する	その他	移動手段がなく困る	無回答
一般高齢者	276	51.1	20.3	1.8	47.8	24.3	11.2	5.4	37.3	5.4	5.1	2.9
事業対象者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
要支援認定者	55	54.5	38.2	7.3	14.5	7.3	14.5	16.4	32.7	5.5	7.3	—

## (16) その他について

問 あなたはどのような医療サービスの充実を望みますか。(〇はいくつでも)

【事業対象者・要支援認定者：問 14 (2)】

事業対象者では、「レスパイト入院」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「往診」の割合が 45.5%、「訪問診療」の割合が 31.8%となっています。

要支援認定者では、「往診」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「レスパイト入院」の割合が 37.2%、「訪問看護」の割合が 23.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「訪問看護」の割合が減少しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問 歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
事業対象者	22	31.8	45.5	13.6	9.1	27.3	9.1	54.5	4.5	18.2
要支援認定者	457	21.7	37.6	23.0	14.0	22.3	7.0	37.2	2.6	28.0

【平成 28 年度調査】

単位：%

区分	回答者数 (件)	訪問診療	訪問看護	訪問 歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
要支援認定者	205	24.9	28.8	15.6	23.9	9.3	41.0	4.4	23.4

<事業対象者・要支援認定者>

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「往診」「訪問歯科診療」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
全 体		545 100.0	119 21.8	201 36.9	117 21.5	70 12.8	113 20.7	36 6.6	198 36.3	15 2.8	160 29.4
年 齢 別	65歳～69歳	14 100.0	4 28.6	4 28.6	2 14.3	1 7.1	2 14.3	— —	2 14.3	2 14.3	4 28.6
	70歳～74歳	43 100.0	13 30.2	9 20.9	6 14.0	6 14.0	11 25.6	4 9.3	14 32.6	2 4.7	12 27.9
	75歳～79歳	80 100.0	13 16.3	24 30.0	21 26.3	7 8.8	21 26.3	4 5.0	33 41.3	1 1.3	23 28.8
	80歳～84歳	133 100.0	26 19.5	47 35.3	25 18.8	13 9.8	30 22.6	7 5.3	48 36.1	2 1.5	41 30.8
	85歳～89歳	145 100.0	32 22.1	54 37.2	32 22.1	21 14.5	25 17.2	11 7.6	52 35.9	4 2.8	50 34.5
	90歳～94歳	90 100.0	21 23.3	46 51.1	20 22.2	19 21.1	17 18.9	5 5.6	40 44.4	3 3.3	18 20.0
	95歳～99歳	28 100.0	7 25.0	12 42.9	7 25.0	2 7.1	5 17.9	4 14.3	6 21.4	— —	7 25.0
	100歳以上	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	— —	1 50.0	— —	— —

【居住地区別、介護度別】

居住地区別でみると、他に比べ、袋井東、三川で「訪問診療」の割合が高くなっています。また、浅羽北で「訪問看護」の割合が高くなっています。

介護度別でみると、他に比べ、要支援2で「訪問看護」の割合が高くなっています。また、事業対象者で「訪問診療」「レスパイト入院」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問 歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答	
全 体	545 100.0	119 21.8	201 36.9	117 21.5	70 12.8	113 20.7	36 6.6	198 36.3	15 2.8	160 29.4	
居住地区別	袋井南	62 100.0	11 17.7	28 45.2	14 22.6	5 8.1	19 30.6	5 8.1	22 35.5	1 1.6	12 19.4
	豊 沢	17 100.0	4 23.5	10 58.8	3 17.6	3 17.6	4 23.5	— —	10 58.8	— —	4 23.5
	高 南	32 100.0	8 25.0	15 46.9	7 21.9	3 9.4	7 21.9	2 6.3	18 56.3	— —	8 25.0
	袋井西	67 100.0	15 22.4	25 37.3	13 19.4	11 16.4	16 23.9	6 9.0	18 26.9	2 3.0	22 32.8
	袋井北	59 100.0	7 11.9	20 33.9	4 6.8	9 15.3	14 23.7	2 3.4	20 33.9	6 10.2	14 23.7
	袋井東	32 100.0	11 34.4	12 37.5	10 31.3	8 25.0	7 21.9	5 15.6	12 37.5	— —	11 34.4
	今 井	24 100.0	3 12.5	4 16.7	5 20.8	2 8.3	7 29.2	— —	6 25.0	1 4.2	9 37.5
	三 川	22 100.0	8 36.4	9 40.9	5 22.7	3 13.6	5 22.7	3 13.6	7 31.8	— —	7 31.8
	笠 原	33 100.0	8 24.2	12 36.4	6 18.2	4 12.1	6 18.2	2 6.1	12 36.4	1 3.0	11 33.3
	山梨・宇刈	66 100.0	13 19.7	22 33.3	12 18.2	9 13.6	7 10.6	5 7.6	21 31.8	3 4.5	26 39.4
	浅羽北	40 100.0	8 20.0	15 37.5	15 37.5	3 7.5	8 20.0	1 2.5	20 50.0	— —	8 20.0
	浅羽西	19 100.0	4 21.1	9 47.4	3 15.8	1 5.3	3 15.8	— —	6 31.6	— —	6 31.6
	浅羽東	17 100.0	6 35.3	8 47.1	5 29.4	5 29.4	3 17.6	2 11.8	8 47.1	1 5.9	1 5.9
	浅羽南	30 100.0	9 30.0	9 30.0	7 23.3	2 6.7	5 16.7	2 6.7	13 43.3	— —	10 33.3
	わからない	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —
介護度別	要支援1	264 100.0	51 19.3	85 32.2	50 18.9	29 11.0	52 19.7	19 7.2	95 36.0	7 2.7	82 31.1
	要支援2	193 100.0	48 24.9	87 45.1	55 28.5	35 18.1	50 25.9	13 6.7	75 38.9	5 2.6	46 23.8
	事業対象者	22 100.0	7 31.8	10 45.5	3 13.6	2 9.1	6 27.3	2 9.1	12 54.5	1 4.5	4 18.2

問 災害時の情報はどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

【一般高齢者：問 16 (1)、事業対象者・要支援認定者：問 14 (3)】

一般高齢者では、「テレビ・ラジオ」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「同報無線」の割合が 53.9%、「家族・近所・友人など」の割合が 38.0%となっています。

事業対象者では、「テレビ・ラジオ」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「同報無線」の割合が 45.5%、「メローねっと（袋井市Eメール）」、「家族・近所・友人など」の割合が 27.3%となっています。

要支援認定者では、「テレビ・ラジオ」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「家族・近所・友人など」の割合が 46.2%、「同報無線」の割合が 37.9%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	メローねっと (袋井市Eメール)	同報無線	袋井市ホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ	家族・近所・友人など	その他	何もしていない	無回答
一般高齢者	1,348	31.8	53.9	4.8	12.1	74.3	38.0	1.0	1.8	4.1
事業対象者	22	27.3	45.5	—	4.5	59.1	27.3	—	4.5	13.6
要支援認定者	457	12.9	37.9	3.3	2.0	62.1	46.2	0.7	2.4	13.1

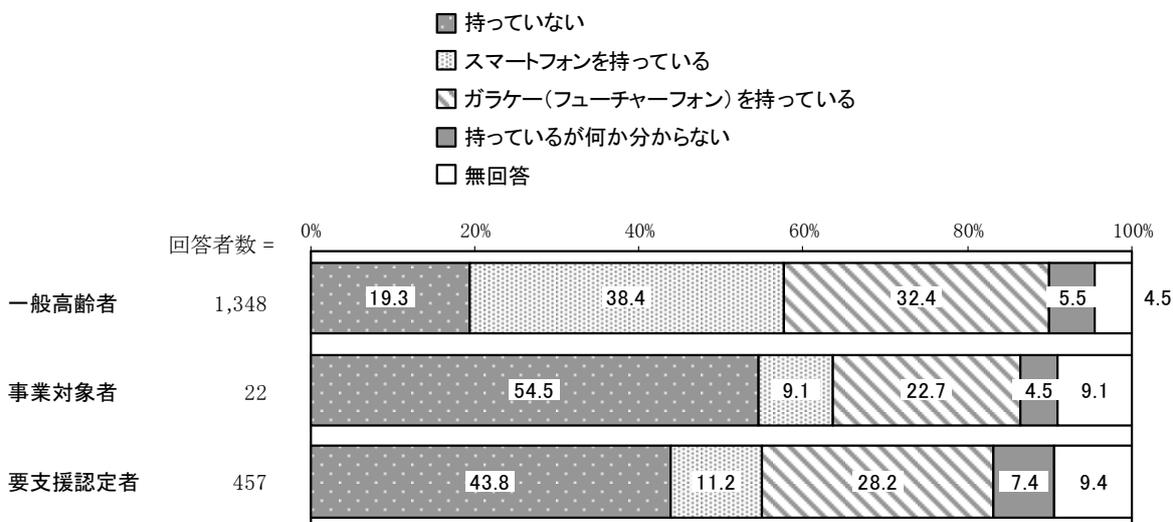
問 あなたは、携帯電話を持っていますか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問16(2)、事業対象者・要支援認定者：問14(4)】

一般高齢者では、「スマートフォンを持っている」の割合が38.4%と最も高く、次いで「ガラケー（フューチャーフォン）を持っている」の割合が32.4%、「持っていない」の割合が19.3%となっています。

事業対象者では、「持っていない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「ガラケー（フューチャーフォン）を持っている」の割合が22.7%となっています。

要支援認定者では、「持っていない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「ガラケー（フューチャーフォン）を持っている」の割合が28.2%、「スマートフォンを持っている」の割合が11.2%となっています。



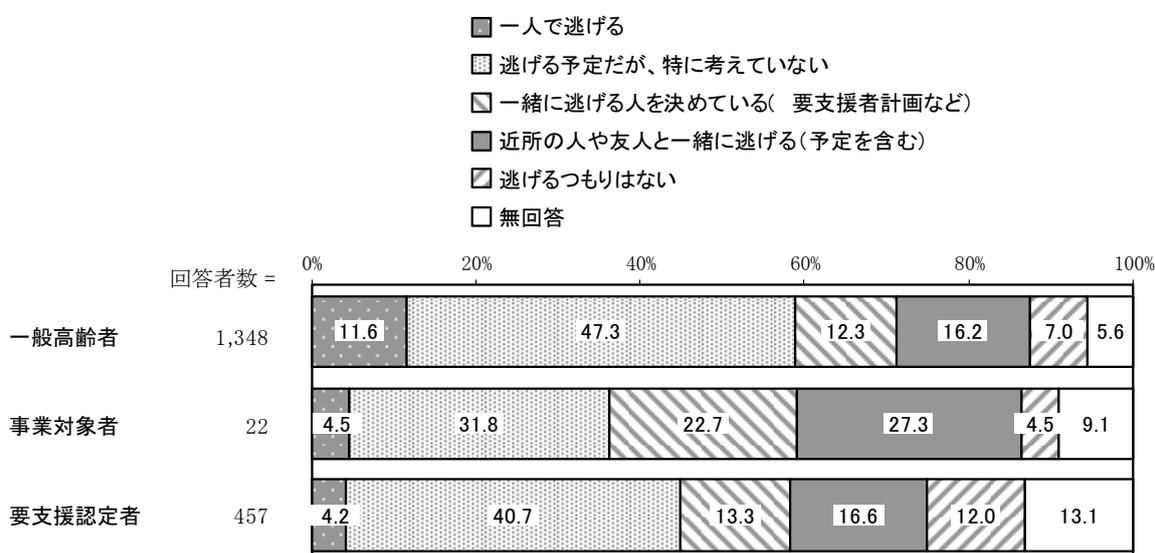
問 災害時にどのように避難しますか。(○はひとつ)

【一般高齢者：問 16 (3)、事業対象者・要支援認定者：問 14 (5)】

一般高齢者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「近所の人や友人と一緒に逃げる(予定を含む)」の割合が 16.2%、「一緒に逃げる人を決めている(要支援者計画など)」の割合が 12.3%となっています。

事業対象者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「近所の人や友人と一緒に逃げる(予定を含む)」の割合が 27.3%、「一緒に逃げる人を決めている(要支援者計画など)」の割合が 22.7%となっています。

要支援認定者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「近所の人や友人と一緒に逃げる(予定を含む)」の割合が 16.6%、「一緒に逃げる人を決めている(要支援者計画など)」の割合が 13.3%となっています。



## 2 生活機能評価等に関する分析

### (1) 機能別リスク該当者割合の分析

#### ① 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

#### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

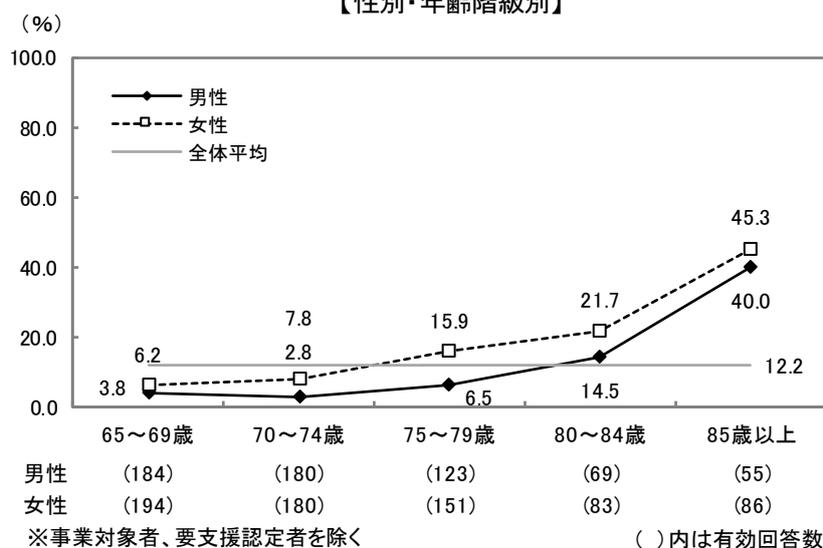
注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

#### 【リスク該当状況】

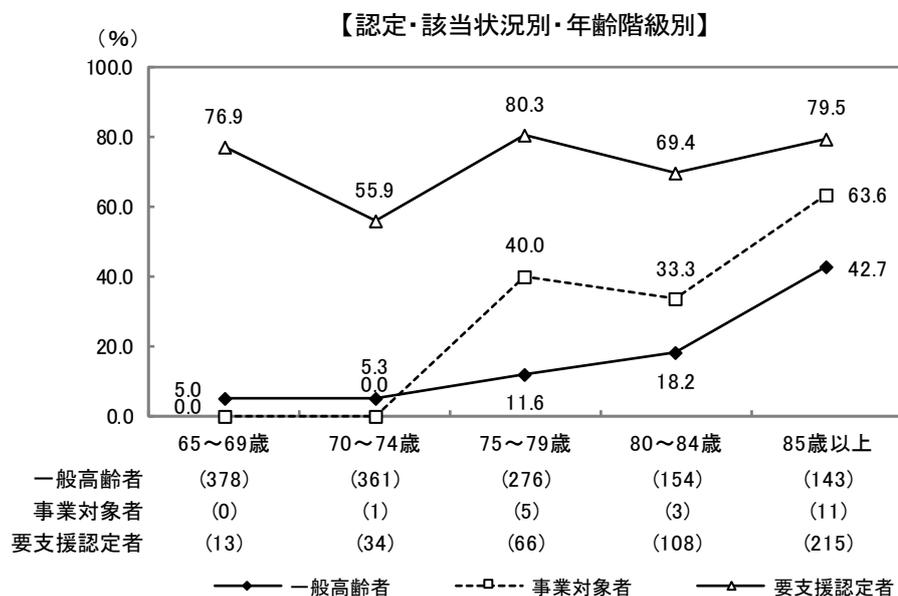
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で12.2%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べて該当者割合が高く、85歳以上では45.3%と75～79歳に比べて29.4ポイント増加しています。一方、男性では、85歳以上では40.0%と75～79歳に比べて33.5ポイント増加しています。したがって、男性、女性ともに75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【性別・年齢階級別】

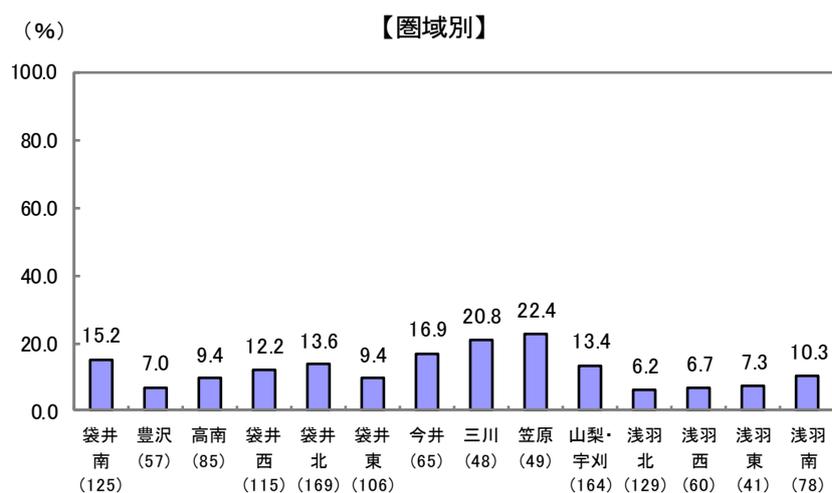


認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べて要支援認定者では割合がとて高くなっています。要支援認定者では、75～79歳で該当者が80%以上となっています。



圏域別にみると、袋井南、袋井北、今井、三川、笠原、山梨・宇刈で該当者割合が全体平均の12.2%を超えています。

また、最も高い圏域は笠原で22.4%、最も低い圏域は浅羽北で6.2%となっており、16.2ポイントの差となっています。



## ② 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

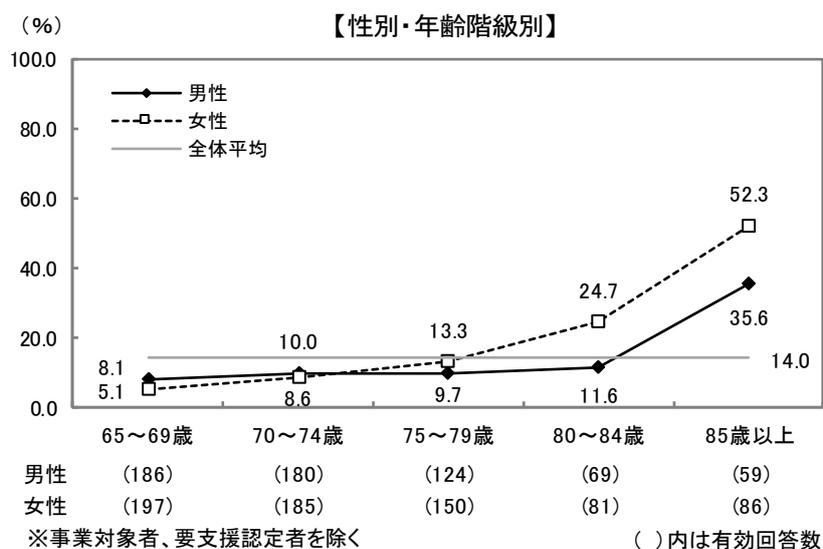
問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

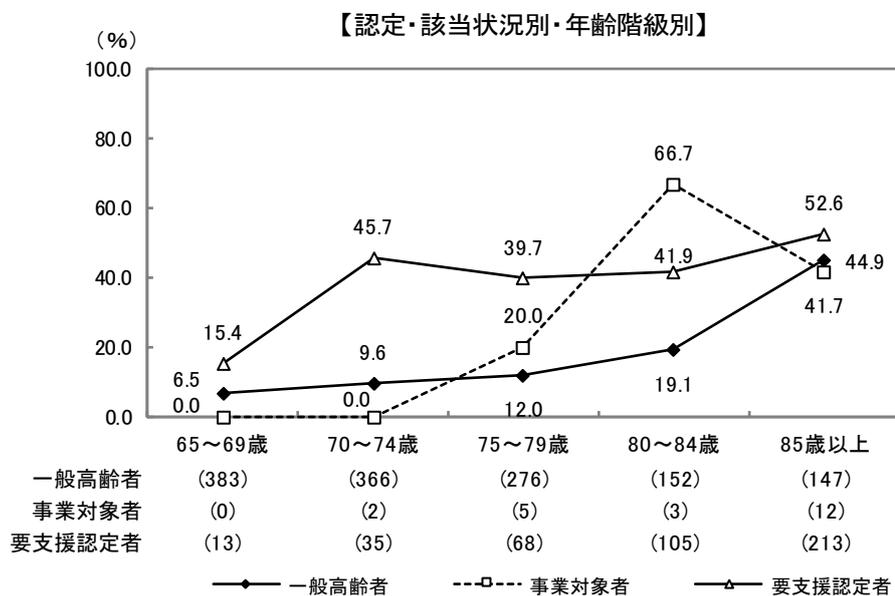
### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で14.0%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で52.3%と80～84歳に比べて27.6ポイント増加しています。また、85歳以上では、男性に比べて女性で割合が高く、16.7ポイントの差となっています。男性、女性ともに80歳以上で外出の頻度が徐々に減少し、特に85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

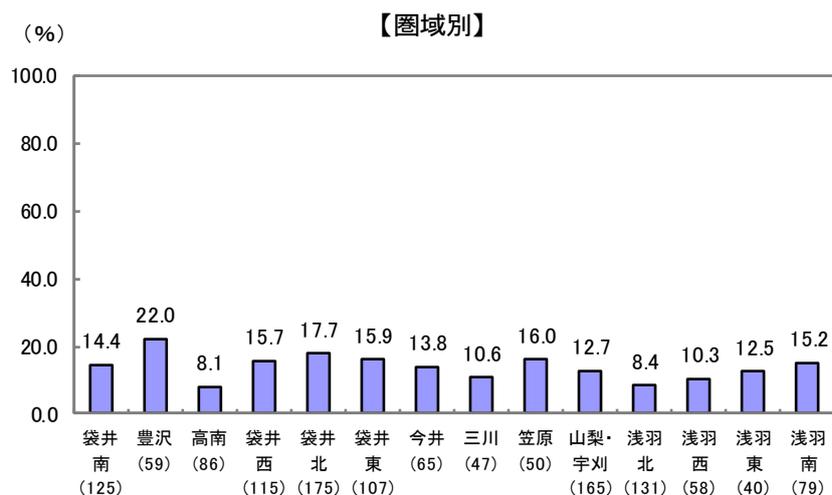


認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べて要支援認定者では割合が高くなっています。また、事業対象者では、75～84歳にかけて急激に増加しており、80～84歳で66.7%と最も高くなっています。



圏域別にみると、袋井南、豊沢、袋井西、袋井北、袋井東、笠原、浅羽南で該当者割合が全体平均の14.0%を超えています。

また、最も高い圏域は豊沢で22.0%、最も低い圏域は高南で8.1%となっており、13.9ポイントの差となっています。



### ③ 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

#### 【判定設問】

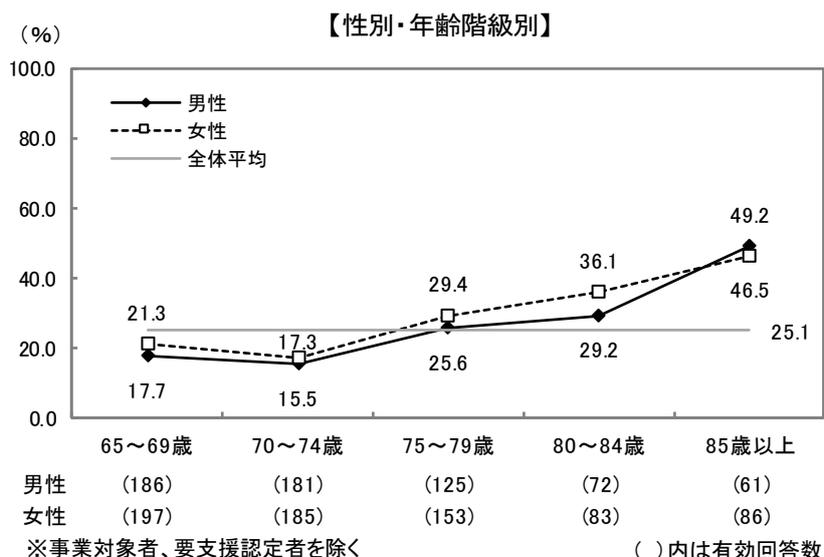
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

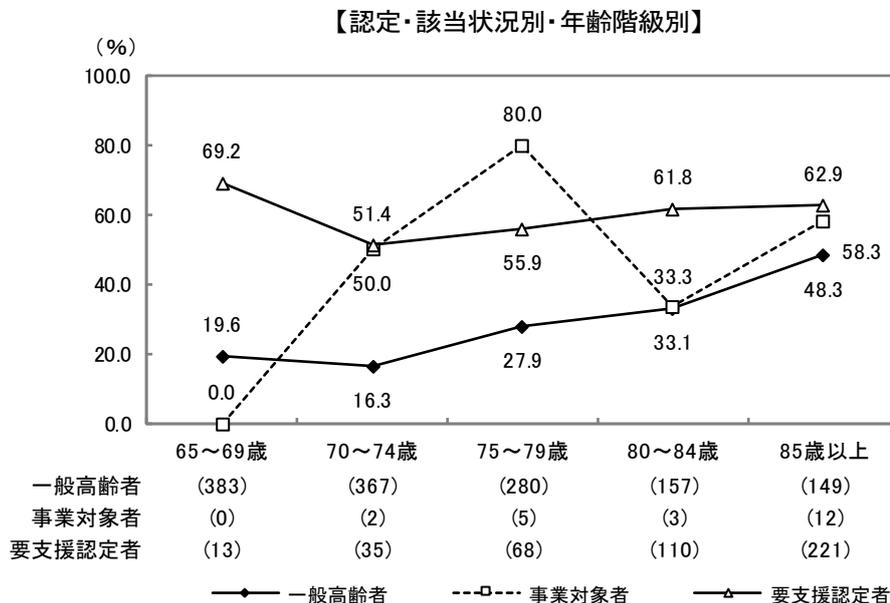
#### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で25.1%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上を除き男性に比べて転倒リスクが高くなっており、75歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。一方、男性では、75～79歳を境に増加し、85歳以上で49.2%と70～74歳に比べて20.0ポイント増加しています。

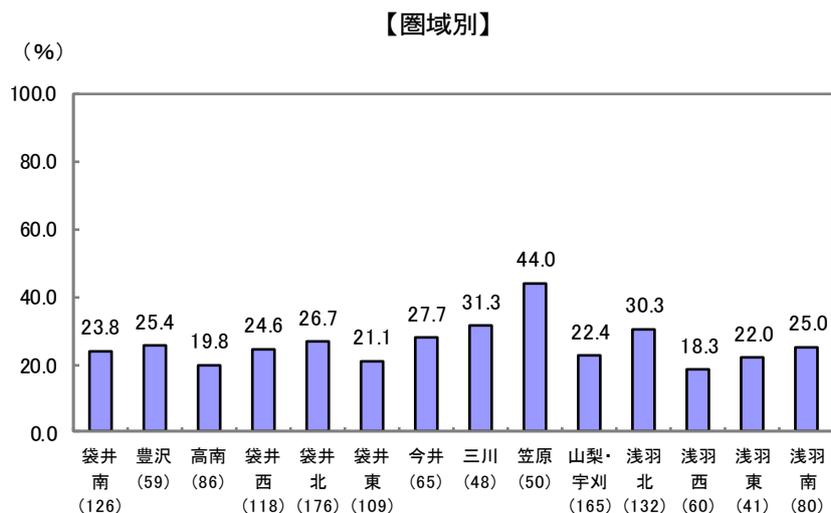


認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者では、65～69歳、70～74歳で転倒リスクの該当者が69.2%、51.4%となっており、75歳以上の後期高齢者になると該当者の割合が50%台と減少していることから、外出の機会などが減少し、転倒リスクが減少していることがうかがえます。一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が増加傾向となっています。



圏域別にみると、豊沢、袋井北、今井、三川、笠原、浅羽北で該当者割合が全体平均の25.1%を超えています。

また、最も高い圏域は笠原で44.0%、最も低い圏域は浅羽西で18.3%となっており、25.7ポイントの差となっています。



#### ④ 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

##### 【判定設問】

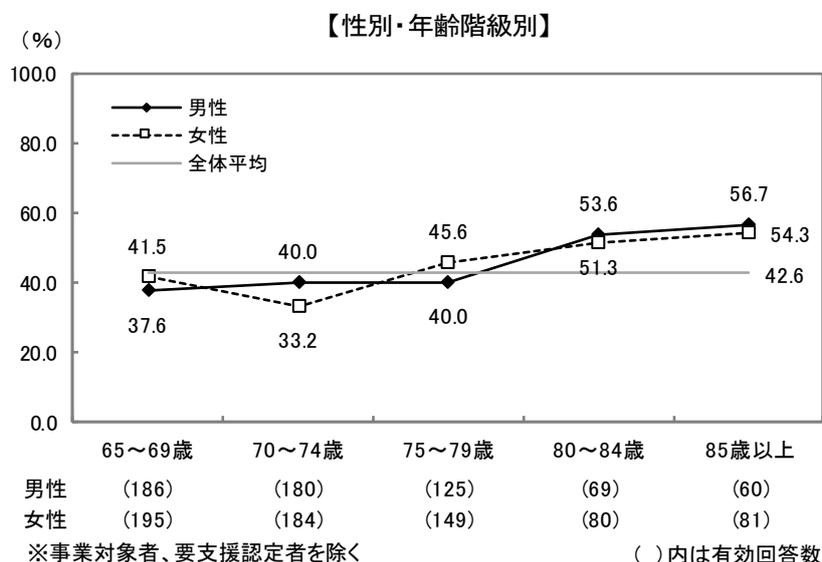
問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

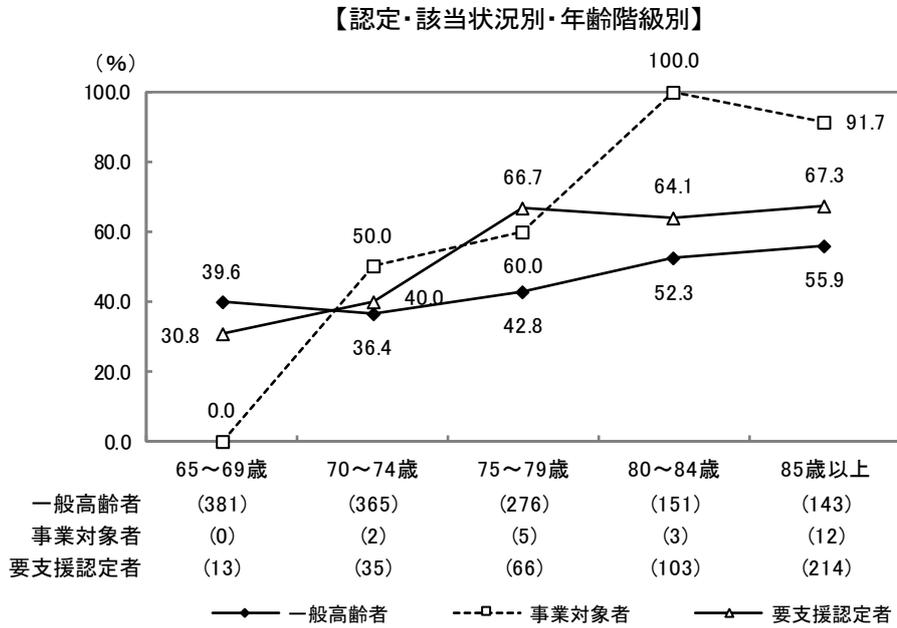
##### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で42.6%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに80歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。また、80歳以上では、男性に比べて女性で割合が高くなっています。

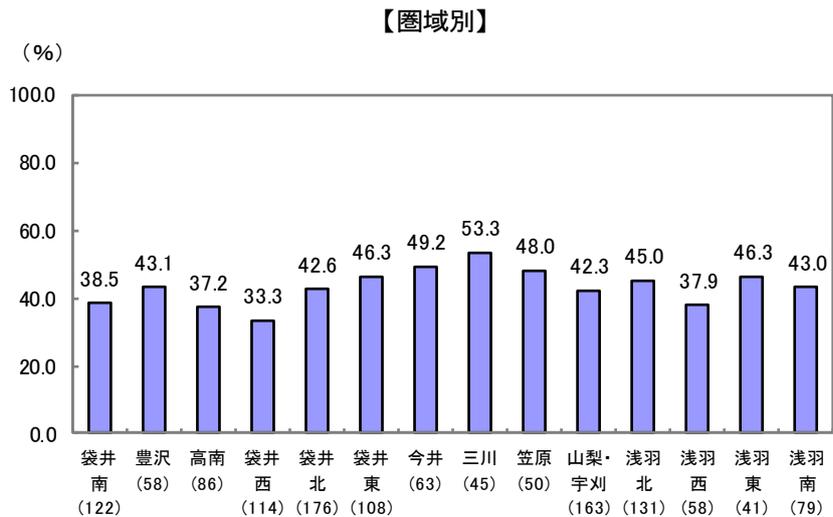


認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では 75 歳以降で年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。また、事業対象者では、85 歳以上で 91.7%と最も高くなっています。



圏域別にみると、豊沢、袋井東、今井、三川、笠原、浅羽北、浅羽東、浅羽南で該当者割合が全体平均の 42.6%を超えています。

また、最も高い圏域は三川で 53.3%、最も低い圏域は袋井西で 33.3%となっており、20 ポイントの差となっています。



## ⑤ うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

### 【判定設問】

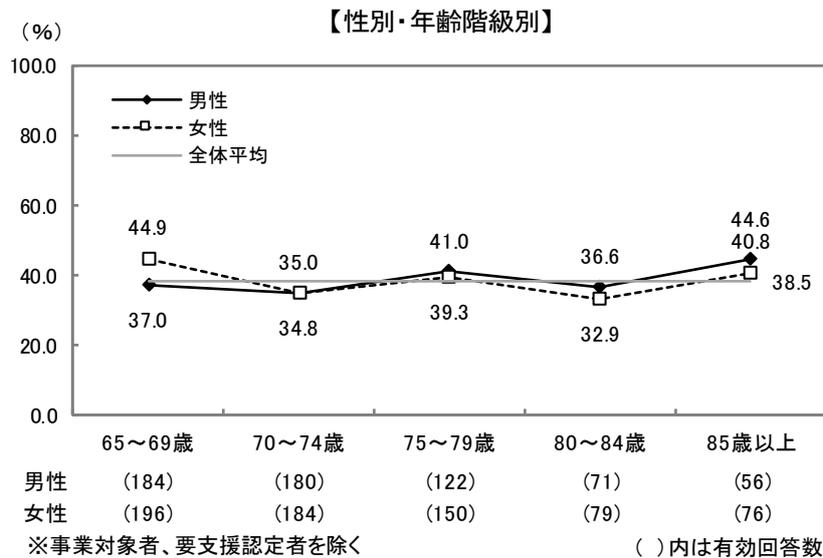
問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

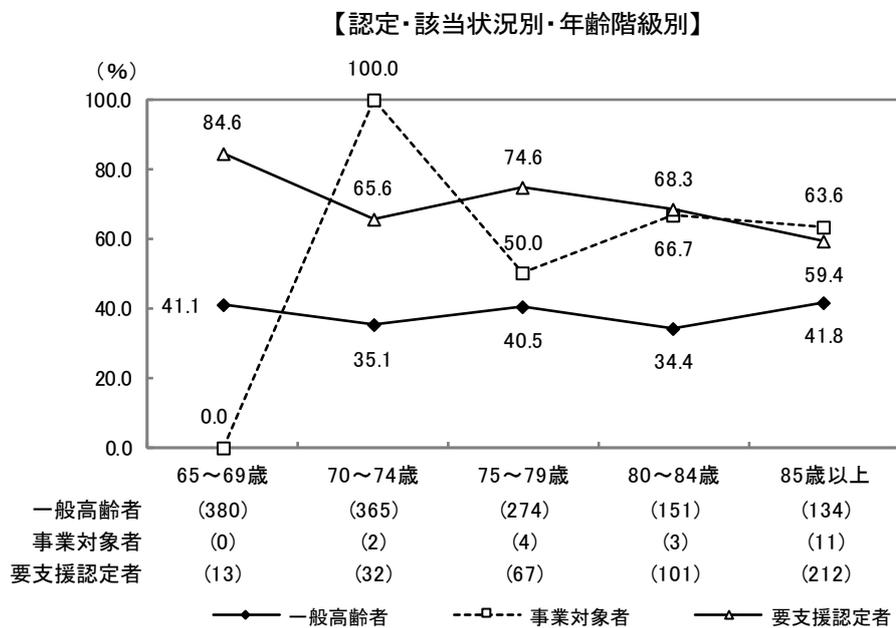
### 【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で38.5%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、65～69歳を除き女性に比べて男性で若干割合が高くなっていますが、どちらとも年齢階級での大きな変化はありません。

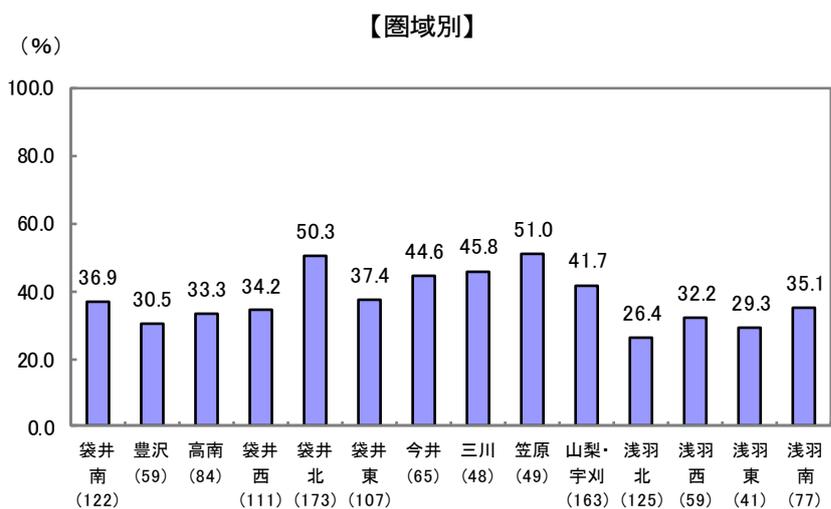


認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べて要支援認定者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。また、要支援認定者では、年齢階級が上がるにつれて、割合が低くなる傾向となっています。



圏域別にみると、袋井北、今井、三川、笠原、山梨・宇刈で該当者割合が全体平均の38.5%を超えています。

また、最も高い圏域は笠原で51.0%、最も低い圏域は浅羽北で26.4%となっており、24.6ポイントの差となっています。



## (2) 日常生活

### ① 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

#### 【判定設問】

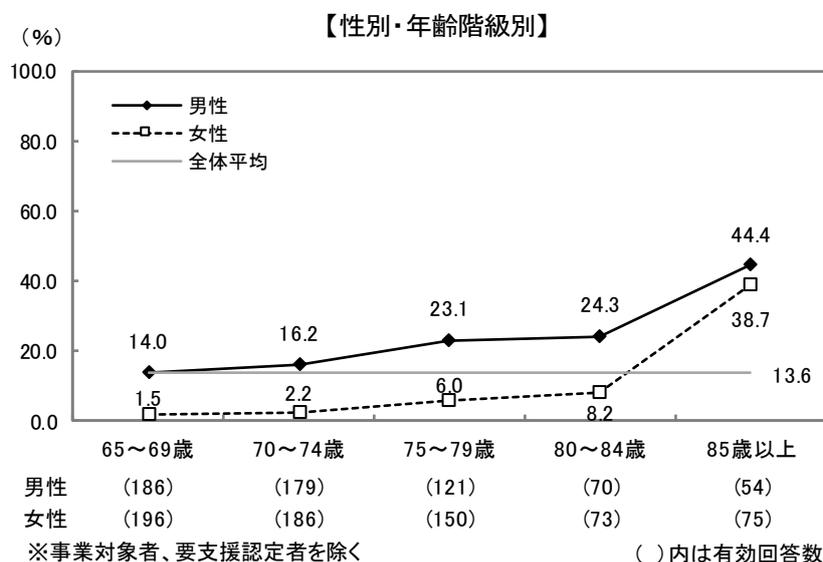
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (2) ①	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ②	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ③	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ④	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (2) ⑤	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

注) 事業対象者・要支援認定者調査と問番号同じ

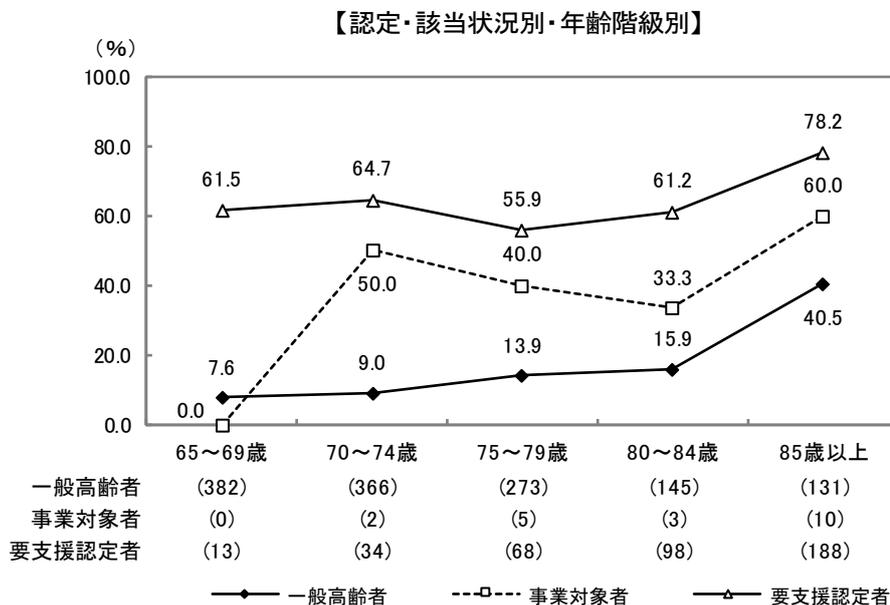
#### 【該当状況】

全体平均では13.6%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに、85歳以上になると急激に増加しています。男性では、85歳以上で44.4%と80～84歳に比べて20.1ポイント、女性では、85歳以上で38.7%と80～84歳に比べて30.5ポイント増加しています。

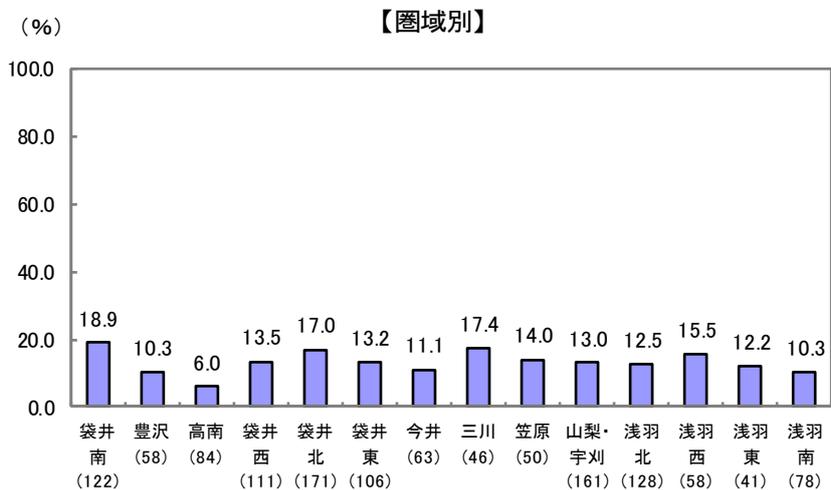


認定・該当状況別・年齢階級別でみると、一般高齢者に比べて要支援認定者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。



圏域別にみると、袋井南、袋井北、三川、笠原、浅羽西で該当者割合が全体平均の13.6%を超えています。

また、最も高い圏域は袋井南で18.9%、最も低い圏域は高南で6.0%となっており、12.9ポイントの差となっています。



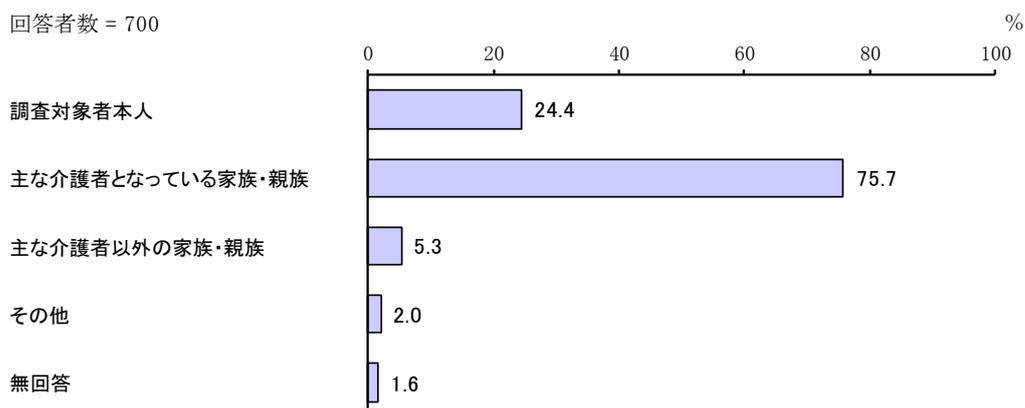
### 3 要介護認定者

#### (1) 本人について

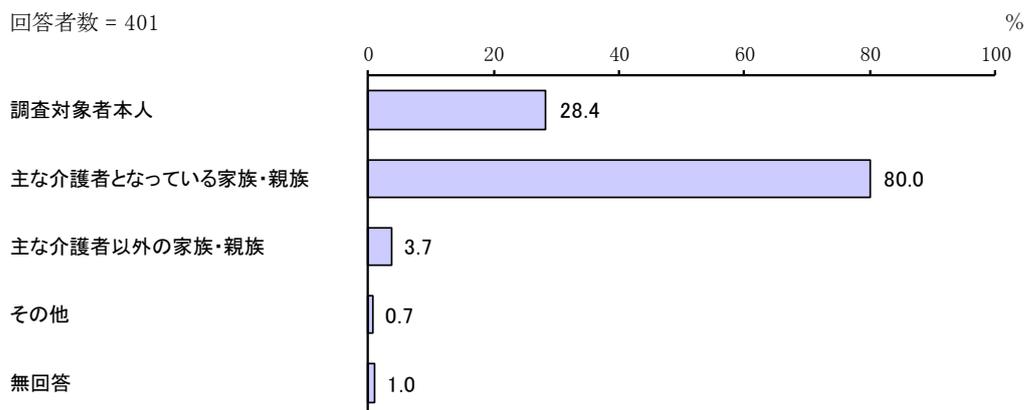
##### 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（〇はいくつでも）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が75.7%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が24.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



##### 【平成28年度調査】



### 【性別、要介護度別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

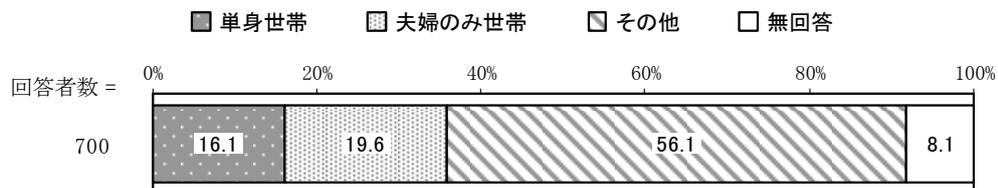
要介護度別でみると、要介護度が重くなるにつれ「調査対象者本人」の割合が低く、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

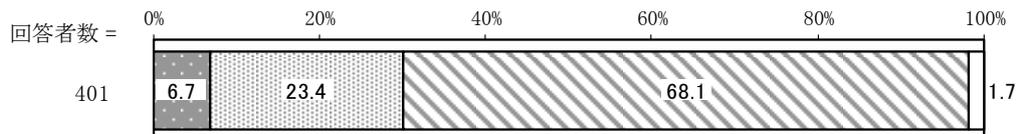
区分		回答者数 (件)	調査対象者本人	主な介護者となっ ている家族・親族	主な介護者以外 の家族・親族	その他	無回答
全 体		700 100.0	171 24.4	530 75.7	37 5.3	14 2.0	11 1.6
性 別	男性	255 100.0	67 26.3	191 74.9	9 3.5	4 1.6	5 2.0
	女性	442 100.0	103 23.3	337 76.2	28 6.3	10 2.3	5 1.1
要 介 護 度 別	要介護1	294 100.0	85 28.9	223 75.9	8 2.7	5 1.7	5 1.7
	要介護2	144 100.0	42 29.2	107 74.3	7 4.9	2 1.4	— —
	要介護3	97 100.0	17 17.5	73 75.3	11 11.3	2 2.1	1 1.0
	要介護4	94 100.0	10 10.6	77 81.9	7 7.4	4 4.3	3 3.2
	要介護5	46 100.0	3 6.5	41 89.1	3 6.5	1 2.2	— —
	わからない	7 100.0	5 71.4	2 28.6	1 14.3	— —	— —

### 問2 世帯類型について、ご回答ください（〇はひとつ）

「単身世帯」の割合が16.1%、「夫婦のみ世帯」の割合が19.6%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、「単身世帯」の割合が増加しています。

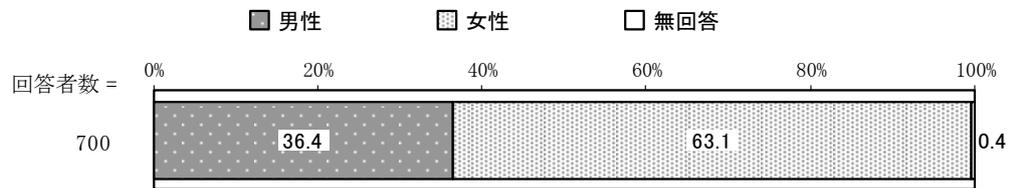


### 【平成28年度調査】

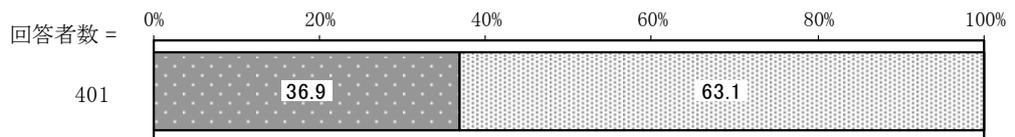


### 問3 ご本人の性別について、ご回答ください（〇はひとつ）

「男性」の割合が36.4%、「女性」の割合が63.1%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



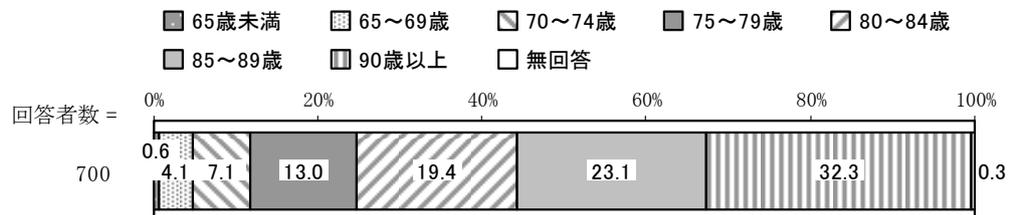
#### 【平成28年度調査】



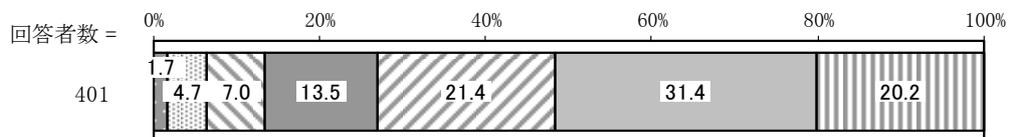
### 問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（〇はひとつ） （令和元年12月1日現在の年齢をお答えください）

「90歳以上」の割合が32.3%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が23.1%、「80～84歳」の割合が19.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「85～89歳」の割合が減少し、「90歳以上」の割合が増加しています。

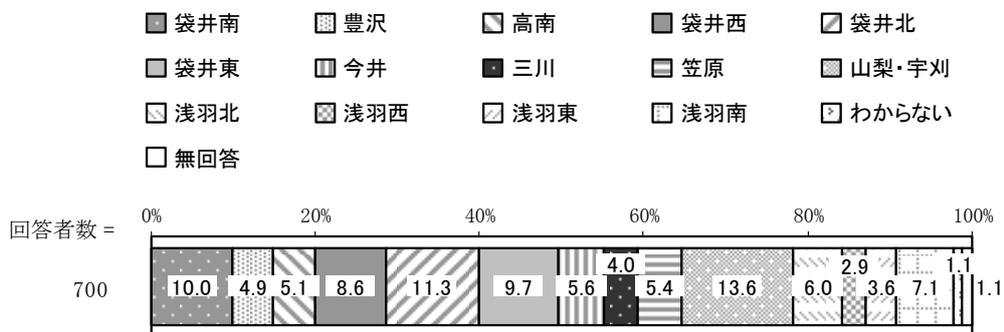


#### 【平成28年度調査】

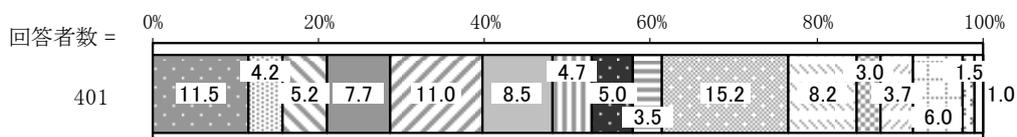


**問5 ご本人のお住まいの地区について、ご回答ください（〇はひとつ）**

「山梨・宇刈」の割合が13.4%と最も高く、次いで「袋井北」の割合が11.0%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【平成28年度調査】**

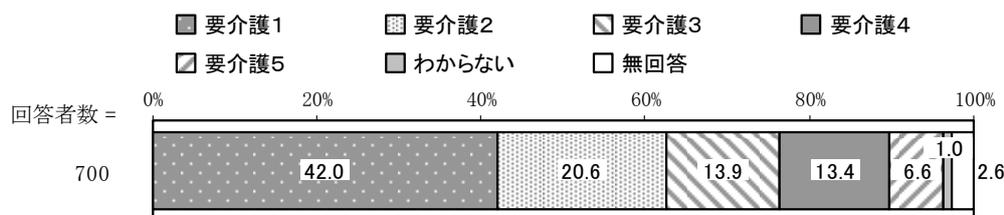


**問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください（〇はひとつ）**

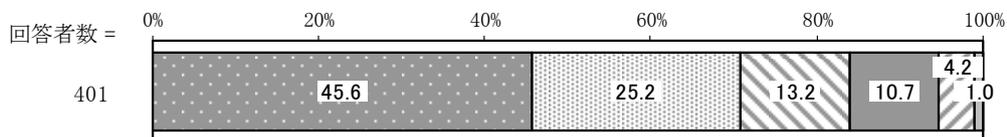
要介護度は、介護保険被保険者証に記載してあります。

「要介護1」の割合が42.0%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が20.6%、「要介護3」の割合が13.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【平成28年度調査】**



【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「要介護1」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、80～84歳で「要介護1」の割合が、70～74歳で「要介護5」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	わからない	無回答
全 体		700 100.0	294 42.0	144 20.6	97 13.9	94 13.4	46 6.6	7 1.0	18 2.6
性 別	男性	255 100.0	99 38.8	55 21.6	39 15.3	33 12.9	19 7.5	4 1.6	6 2.4
	女性	442 100.0	194 43.9	89 20.1	57 12.9	61 13.8	27 6.1	3 0.7	11 2.5
年 齢 別	65歳未満	4 100.0	2 50.0	1 25.0	— —	1 25.0	— —	— —	— —
	65～69歳	29 100.0	11 37.9	7 24.1	1 3.4	7 24.1	2 6.9	— —	1 3.4
	70～74歳	50 100.0	16 32.0	12 24.0	3 6.0	9 18.0	8 16.0	2 4.0	— —
	75～79歳	91 100.0	38 41.8	11 12.1	16 17.6	17 18.7	6 6.6	2 2.2	1 1.1
	80～84歳	136 100.0	65 47.8	28 20.6	22 16.2	8 5.9	10 7.4	— —	3 2.2
	85～89歳	162 100.0	71 43.8	32 19.8	19 11.7	22 13.6	9 5.6	2 1.2	7 4.3
	90歳以上	226 100.0	90 39.8	53 23.5	36 15.9	30 13.3	11 4.9	1 0.4	5 2.2

【居住地区別】

居住地区別で見ると、他に比べ、浅羽西で「要介護1」の割合が高くなっています。

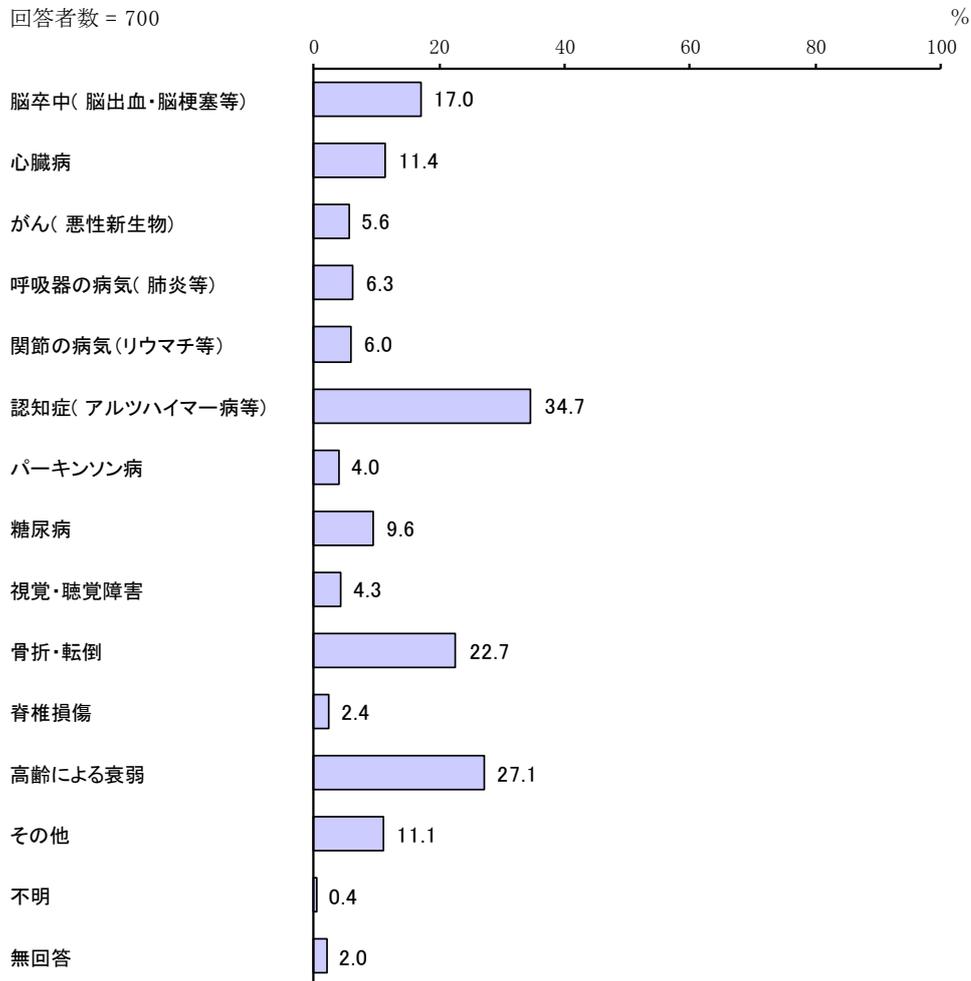
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	わからない	無回答
全 体		700 100.0	294 42.0	144 20.6	97 13.9	94 13.4	46 6.6	7 1.0	18 2.6
居住地区別	袋井南	70 100.0	25 35.7	15 21.4	12 17.1	14 20.0	3 4.3	—	1 1.4
	豊沢	34 100.0	9 26.5	9 26.5	7 20.6	7 20.6	2 5.9	—	—
	高南	36 100.0	12 33.3	10 27.8	5 13.9	4 11.1	3 8.3	—	2 5.6
	袋井西	60 100.0	26 43.3	15 25.0	8 13.3	5 8.3	4 6.7	1 1.7	1 1.7
	袋井北	79 100.0	29 36.7	16 20.3	12 15.2	11 13.9	8 10.1	—	3 3.8
	袋井東	68 100.0	32 47.1	12 17.6	12 17.6	7 10.3	1 1.5	1 1.5	3 4.4
	今井	39 100.0	16 41.0	12 30.8	2 5.1	5 12.8	4 10.3	—	—
	三川	28 100.0	10 35.7	8 28.6	4 14.3	2 7.1	3 10.7	—	1 3.6
	笠原	38 100.0	19 50.0	6 15.8	3 7.9	7 18.4	2 5.3	1 2.6	—
	山梨・宇刈	95 100.0	51 53.7	22 23.2	7 7.4	7 7.4	6 6.3	—	2 2.1
	浅羽北	42 100.0	17 40.5	4 9.5	7 16.7	9 21.4	3 7.1	1 2.4	1 2.4
	浅羽西	20 100.0	12 60.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0	—	—
	浅羽東	25 100.0	7 28.0	6 24.0	5 20.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0
	浅羽南	50 100.0	25 50.0	5 10.0	8 16.0	8 16.0	1 2.0	1 2.0	2 4.0
	わからない	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	—

## 問7 介護、介助が必要になった主な原因について、ご回答ください（〇はいくつでも）

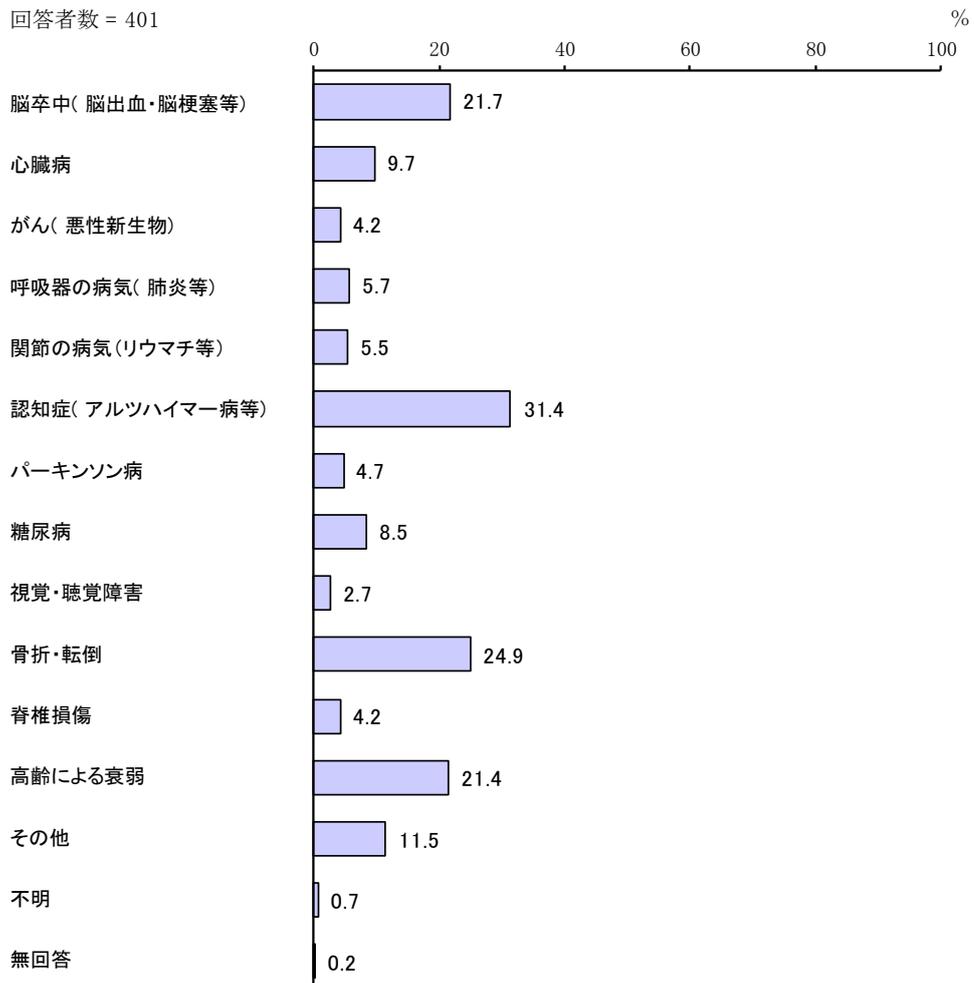
「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が34.7%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が27.1%、「骨折・転倒」の割合が22.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「高齢による衰弱」の割合が増加しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



【性別、年齢別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「呼吸器の病気(肺炎等)」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「認知症(アルツハイマー病等)」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の割合が、年齢が高くなるにつれ「高齢による衰弱」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、85～89歳で「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が高くなっています。

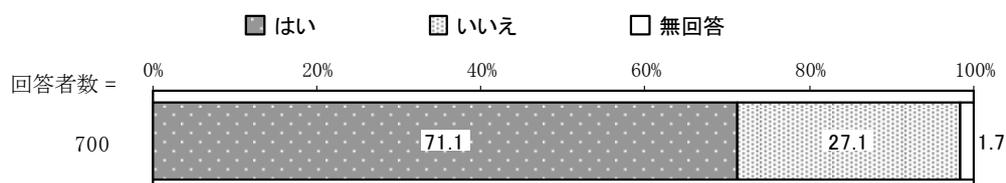
要介護度別でみると、介護度が重くなるにつれ「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、要介護3で「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数(件)、下段 構成比(%)

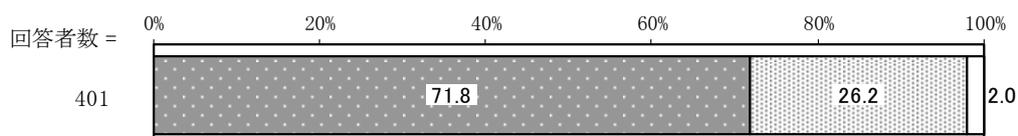
区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	700	119	80	39	44	42	243	28	67	30	159	17	190	78	3	14	
	100.0	17.0	11.4	5.6	6.3	6.0	34.7	4.0	9.6	4.3	22.7	2.4	27.1	11.1	0.4	2.0	
性別	男性	255	58	33	22	27	9	75	14	27	10	43	9	53	30	1	4
		100.0	22.7	12.9	8.6	10.6	3.5	29.4	5.5	10.6	3.9	16.9	3.5	20.8	11.8	0.4	1.6
	女性	442	61	47	17	17	33	168	14	39	20	115	8	136	48	2	9
		100.0	13.8	10.6	3.8	3.8	7.5	38.0	3.2	8.8	4.5	26.0	1.8	30.8	10.9	0.5	2.0
年齢別	65歳未満	4	—	1	—	—	—	3	—	—	—	1	—	—	—	—	
		100.0	—	25.0	—	—	—	75.0	—	—	—	25.0	—	—	—	—	
	65～69歳	29	9	1	3	1	3	9	1	4	—	4	—	1	5	—	
		100.0	31.0	3.4	10.3	3.4	10.3	31.0	3.4	13.8	—	13.8	—	3.4	17.2	—	
	70～74歳	50	20	7	7	2	3	9	4	4	—	6	4	6	—	1	
		100.0	40.0	14.0	14.0	4.0	6.0	18.0	8.0	8.0	—	12.0	8.0	12.0	—	2.0	
	75～79歳	91	20	15	7	5	4	24	9	19	2	12	4	3	14	—	
	100.0	22.0	16.5	7.7	5.5	4.4	26.4	9.9	20.9	2.2	13.2	4.4	3.3	15.4	—		
80～84歳	136	26	21	8	10	9	51	6	12	4	34	4	25	13	1		
	100.0	19.1	15.4	5.9	7.4	6.6	37.5	4.4	8.8	2.9	25.0	2.9	18.4	9.6	0.7		
85～89歳	162	26	12	8	14	9	73	6	15	8	35	2	48	15	—		
	100.0	16.0	7.4	4.9	8.6	5.6	45.1	3.7	9.3	4.9	21.6	1.2	29.6	9.3	—		
90歳以上	226	18	23	6	12	13	74	2	13	16	66	3	109	24	2		
	100.0	8.0	10.2	2.7	5.3	5.8	32.7	0.9	5.8	7.1	29.2	1.3	48.2	10.6	0.9		
要介護度別	要介護1	294	37	41	11	18	20	103	8	37	15	66	6	74	34	3	
		100.0	12.6	13.9	3.7	6.1	6.8	35.0	2.7	12.6	5.1	22.4	2.0	25.2	11.6	1.0	
	要介護2	144	24	13	12	10	7	51	8	13	3	39	2	50	17	—	
		100.0	16.7	9.0	8.3	6.9	4.9	35.4	5.6	9.0	2.1	27.1	1.4	34.7	11.8	—	
	要介護3	97	20	9	5	5	6	46	7	6	2	23	2	28	6	—	
		100.0	20.6	9.3	5.2	5.2	6.2	47.4	7.2	6.2	2.1	23.7	2.1	28.9	6.2	—	
	要介護4	94	25	6	6	3	4	25	3	8	6	21	4	22	11	—	
	100.0	26.6	6.4	6.4	3.2	4.3	26.6	3.2	8.5	6.4	22.3	4.3	23.4	11.7	—		
要介護5	46	12	7	3	3	2	17	2	3	2	7	2	11	8	—		
	100.0	26.1	15.2	6.5	6.5	4.3	37.0	4.3	6.5	4.3	15.2	4.3	23.9	17.4	—		
わからない	7	—	1	1	2	—	1	—	—	—	1	—	2	—	—		
	100.0	—	14.3	14.3	28.6	—	14.3	—	—	—	14.3	—	28.6	—	—		

### 問8 かかりつけの歯医者さんはいますか（〇はひとつ）

「はい」の割合が71.1%、「いいえ」の割合が27.1%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



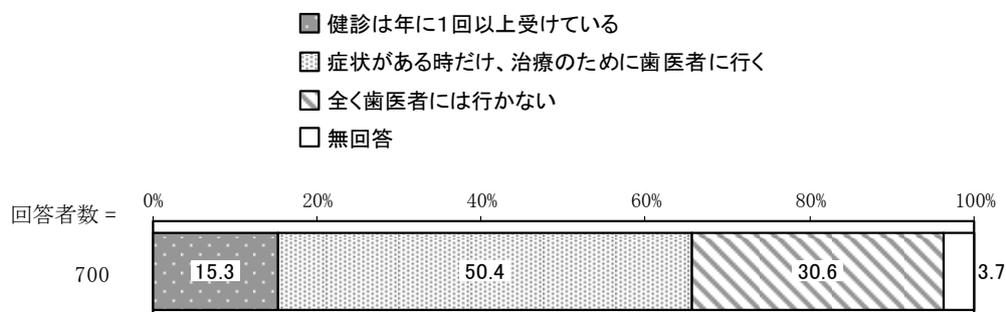
#### 【平成28年度調査】



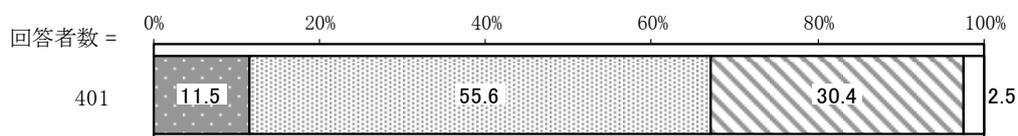
### 問9 症状がなくても定期的に歯の健診を受けていますか（〇はひとつ）

「症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く」の割合が50.4%と最も高く、次いで「全く歯医者には行かない」の割合が30.6%、「健診は年に1回以上受けている」の割合が15.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く」の割合が減少しています。

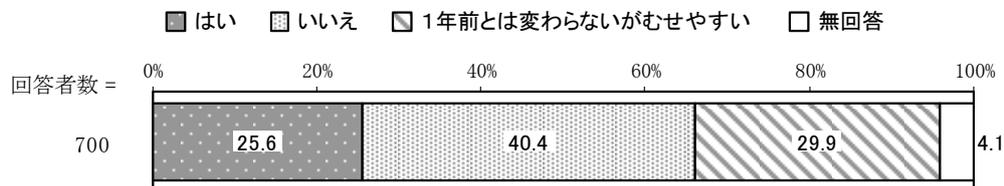


#### 【平成28年度調査】



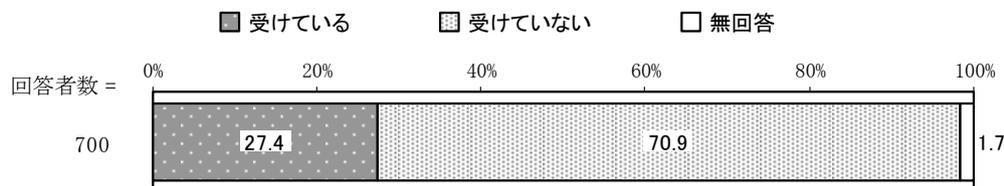
問10 1年前に比べ、食べ物や汁物、飲み物でむせることが多くなりましたか (〇はひとつ)

「いいえ」の割合が40.4%と最も高く、次いで「1年前とは変わらないがむせやすい」の割合が29.9%、「はい」の割合が25.6%となっています。



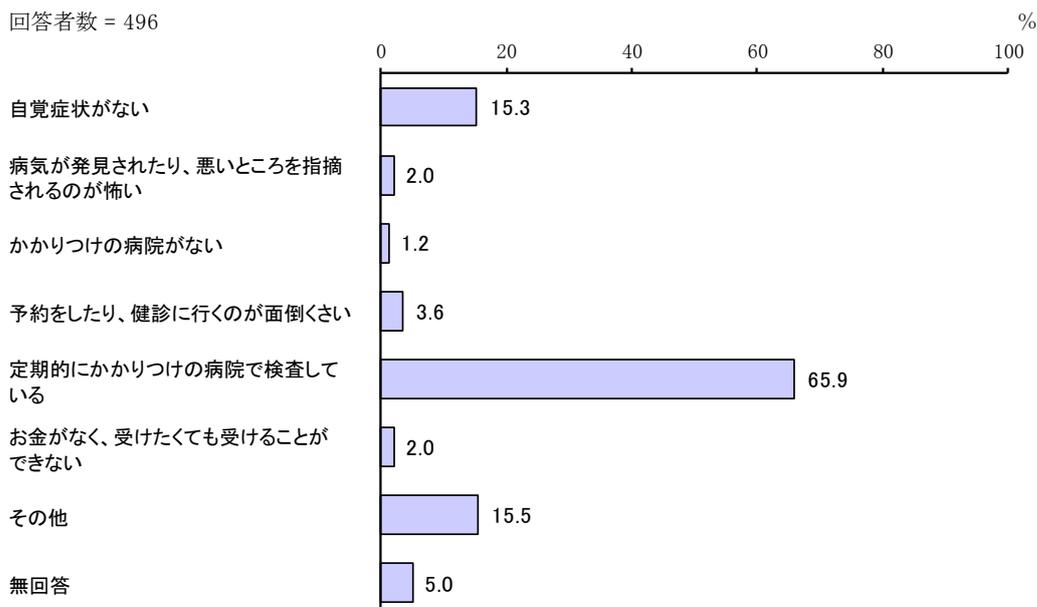
問11 1年に1回は生活習慣病に関する健康診査(特定健診、後期高齢者健診、人間ドック)を受けていますか (〇はひとつ)

「受けている」の割合が27.4%、「受けていない」の割合が70.9%となっています。



問12 問11で「受けていない」と回答した方にお伺いします。1年に1度も健康診査を受けていない理由は何ですか (〇はいくつでも)

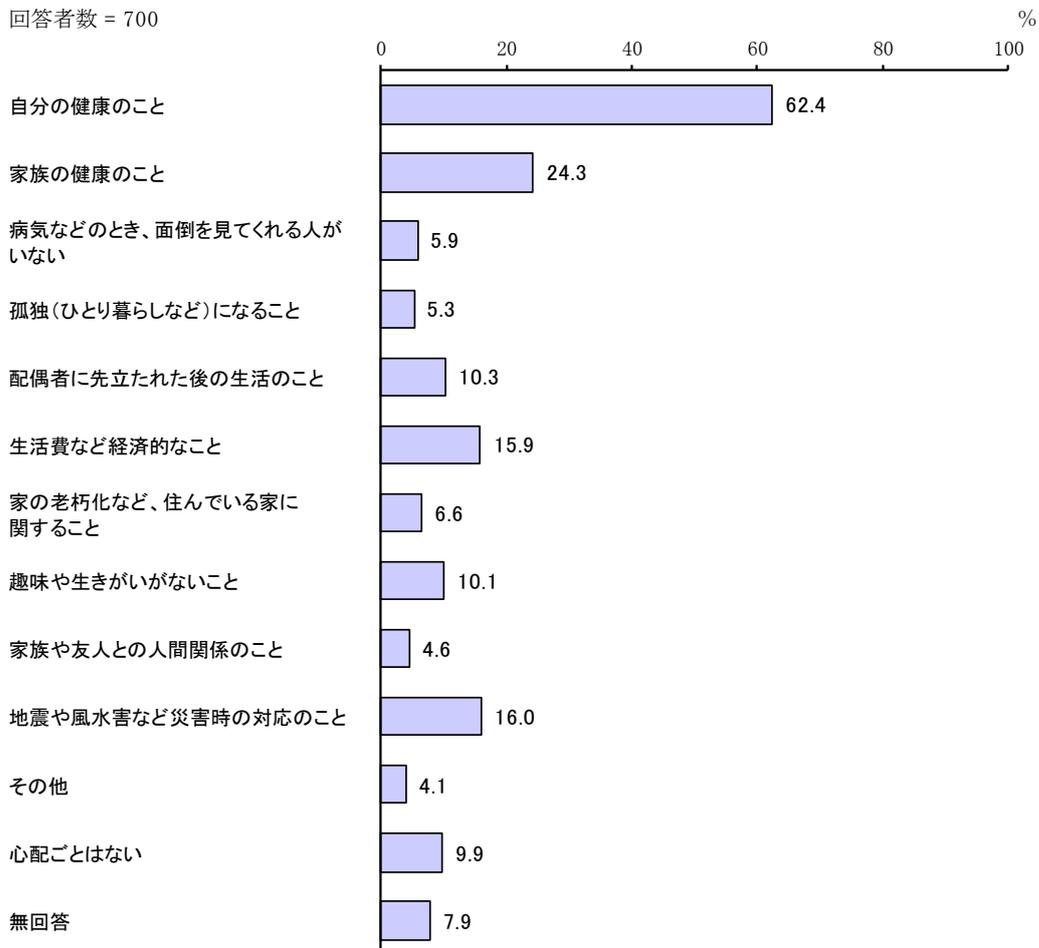
「定期的にかかりつけの病院で検査している」の割合が65.9%と最も高く、次いで「自覚症状がない」の割合が15.3%となっています。



問 13 あなたには心配ごとや悩みごとはありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください（○は3つまで）

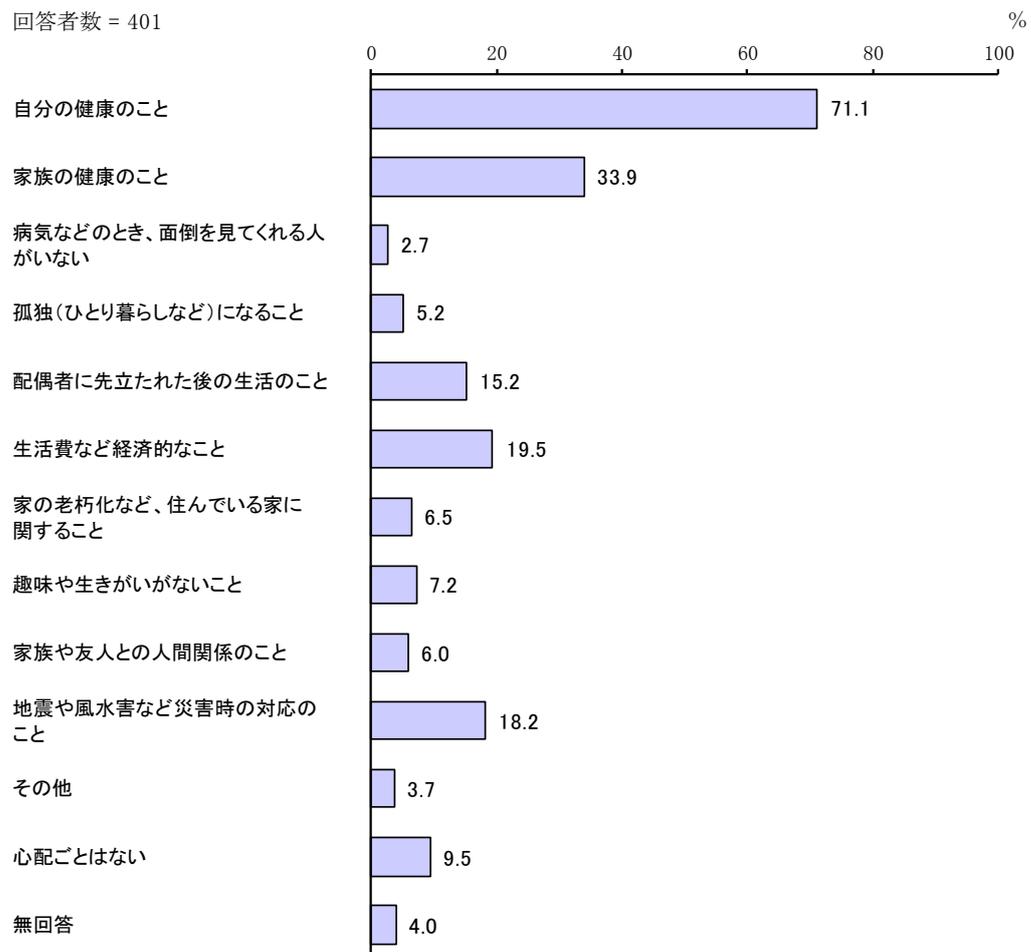
「自分の健康のこと」の割合が62.4%と最も高く、次いで「家族の健康のこと」の割合が24.3%、「地震や風水害など災害時の対応のこと」の割合が16.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「自分の健康のこと」「家族の健康のこと」の割合が減少しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



【性別、年齢別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「配偶者に先立たれた後の生活のこと」「生活費など経済的なこと」の割合がなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「家族の健康のこと」「病気などのとき、面倒を見てくれる人がいない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2で「自分の健康のこと」の割合が、要介護5で「孤独（ひとり暮らしなど）になること」の割合が高くなっています。

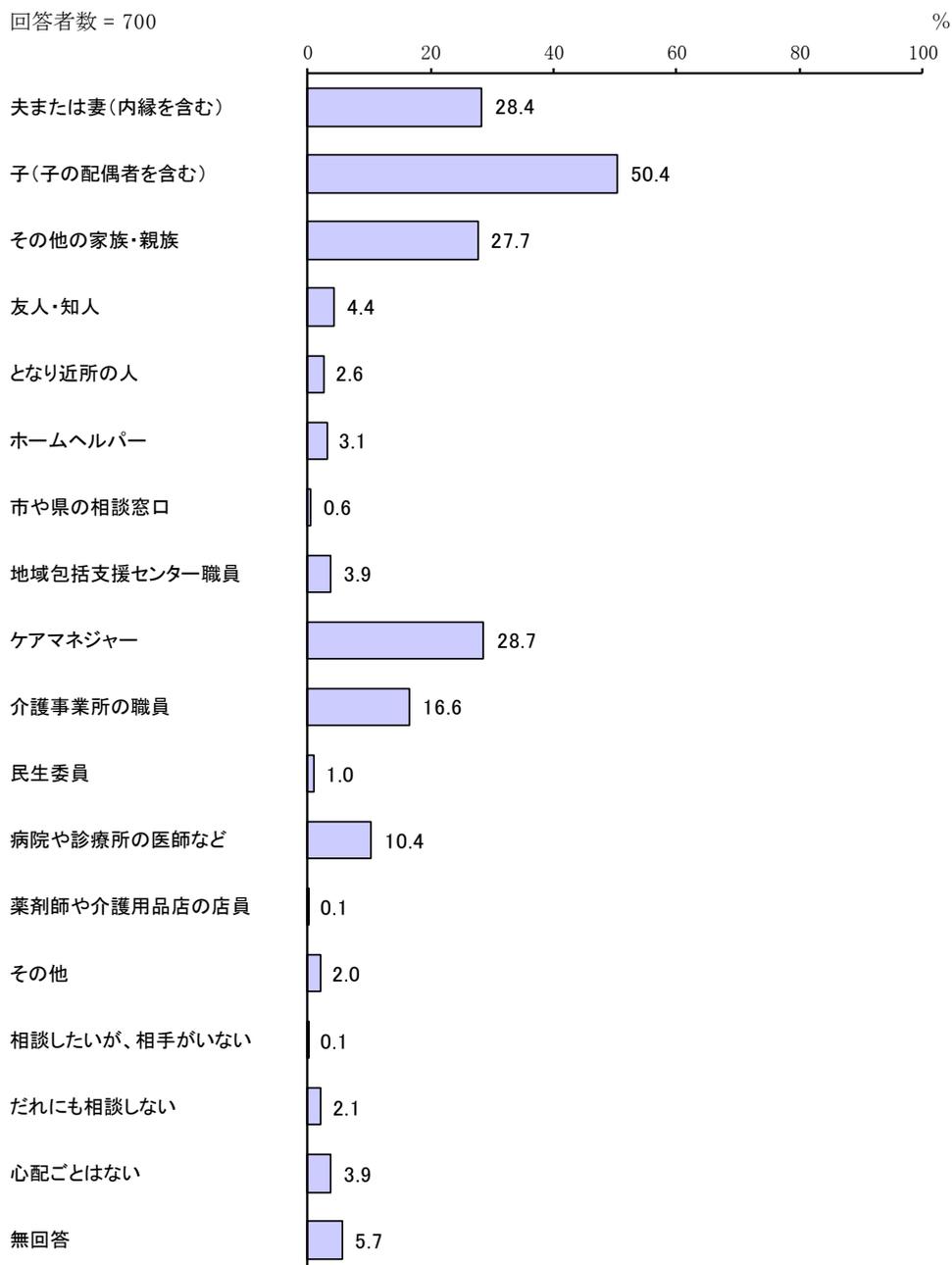
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数（件）	自分の健康のこと	家族の健康のこと	病気などのとき、面倒を見てくれる人がいない	孤独（ひとり暮らしなど）になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	家の老朽化など、住んでいる家に関する事	趣味や生きがいがないこと	家族や友人との人間関係のこと	地震や風水害など災害時の対応のこと	その他	心配ことはない	無回答	
全体	700 100.0	437 62.4	170 24.3	41 5.9	37 5.3	72 10.3	111 15.9	46 6.6	71 10.1	32 4.6	112 16.0	29 4.1	69 9.9	55 7.9	
性別	男性	255 100.0	154 60.4	69 27.1	18 7.1	17 6.7	43 16.9	51 20.0	24 9.4	29 11.4	9 3.5	46 18.0	8 3.1	24 9.4	17 6.7
	女性	442 100.0	281 63.6	100 22.6	23 5.2	20 4.5	28 6.3	60 13.6	22 5.0	42 9.5	22 5.0	66 14.9	21 4.8	45 10.2	37 8.4
年齢別	65歳未満	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	
	65～69歳	29 100.0	16 55.2	12 41.4	7 24.1	1 3.4	5 17.2	6 20.7	2 6.9	2 6.9	3 10.3	2 6.9	1 3.4	1 3.4	
	70～74歳	50 100.0	28 56.0	14 28.0	3 6.0	2 4.0	7 14.0	8 16.0	6 12.0	7 14.0	3 6.0	3 6.0	0 0.0	6 12.0	6 12.0
	75～79歳	91 100.0	56 61.5	26 28.6	6 6.6	6 6.6	14 15.4	16 17.6	5 5.5	6 6.6	2 2.2	13 14.3	5 5.5	1 1.1	12 13.2
	80～84歳	136 100.0	95 69.9	40 29.4	8 5.9	7 5.1	19 14.0	25 18.4	7 5.1	18 13.2	3 2.2	22 16.2	4 2.9	14 10.3	2 1.5
	85～89歳	162 100.0	101 62.3	33 20.4	6 3.7	6 3.7	16 9.9	28 17.3	10 6.2	16 9.9	8 4.9	30 18.5	8 4.9	17 10.5	15 9.3
	90歳以上	226 100.0	139 61.5	44 19.5	9 4.0	15 6.6	11 4.9	28 12.4	15 6.6	22 9.7	14 6.2	39 17.3	9 4.0	29 12.8	18 8.0
要介護度別	要介護1	294 100.0	184 62.6	72 24.5	23 7.8	15 5.1	29 9.9	46 15.6	23 7.8	36 12.2	13 4.4	44 15.0	9 3.1	36 12.2	13 4.4
	要介護2	144 100.0	101 70.1	39 27.1	8 5.6	9 6.3	14 9.7	24 16.7	13 9.0	13 9.0	8 5.6	27 18.8	5 3.5	7 4.9	6 4.2
	要介護3	97 100.0	62 63.9	20 20.6	3 3.1	2 2.1	10 10.3	15 15.5	3 3.1	9 9.3	4 4.1	11 11.3	8 8.2	9 9.3	14 14.4
	要介護4	94 100.0	52 55.3	23 24.5	5 5.3	3 3.2	11 11.7	14 14.9	4 4.3	7 7.4	5 5.3	16 17.0	4 4.3	10 10.6	13 13.8
	要介護5	46 100.0	25 54.3	12 26.1	2 4.3	7 15.2	5 10.9	7 15.2	1 2.2	3 6.5	1 2.2	5 10.9	3 6.5	6 13.0	7 15.2
	わからない	7 100.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 14 あなたはだれに心配ごとや悩みごとを聞いてもらったり、相談したりしますか。  
次の中からあてはまるものに○をつけてください（○は3つまで）

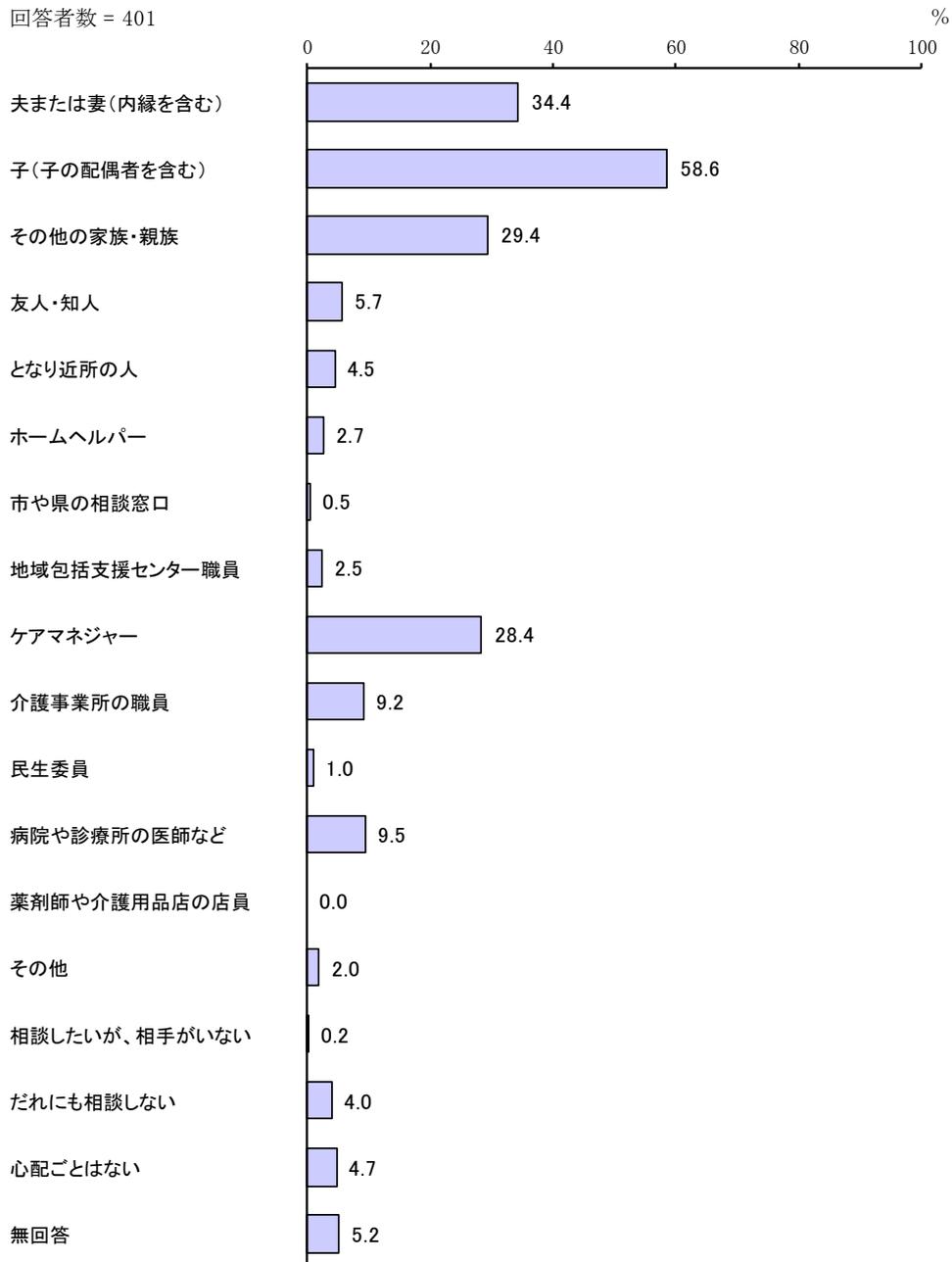
「子（子の配偶者を含む）」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 28.7%、「夫または妻（内縁を含む）」の割合が 28.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「夫または妻（内縁を含む）」「子（子の配偶者を含む）」の割合減少し、「介護事業所の職員」の割合が増加しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



### 【性別、年齢別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「夫または妻（内縁を含む）」「病院や診療所の医師など」の割合が高くなっています。また、女性で「その他の家族・親族」「介護事業所の職員」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「子（子の配偶者を含む）」の割合が、年齢が低くなるにつれ「夫または妻（内縁を含む）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、65～69歳で「友人・知人」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、介護度が軽くなるにつれ「ケアマネジャー」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	夫または妻 (内縁を含む)	子 (子の配偶者を含む)	その他の家族・親族	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や県の相談窓口	地域包括支援センター職員	ケアマネジャー
全体		700 100.0	199 28.4	353 50.4	194 27.7	31 4.4	18 2.6	22 3.1	4 0.6	27 3.9	201 28.7
性別	男性	255 100.0	119 46.7	126 49.4	61 23.9	13 5.1	7 2.7	10 3.9	3 1.2	12 4.7	72 28.2
	女性	442 100.0	79 17.9	227 51.4	132 29.9	17 3.8	11 2.5	12 2.7	1 0.2	15 3.4	128 29.0
年齢別	65歳未満	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	65～69歳	29 100.0	17 58.6	8 27.6	5 17.2	6 20.7	1 3.4	2 6.9	0 0.0	0 0.0	8 27.6
	70～74歳	50 100.0	25 50.0	13 26.0	13 26.0	3 6.0	3 6.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0	12 24.0
	75～79歳	91 100.0	49 53.8	42 46.2	19 20.9	6 6.6	2 2.2	1 1.1	0 0.0	4 4.4	28 30.8
	80～84歳	136 100.0	51 37.5	70 51.5	40 29.4	7 5.1	4 2.9	5 3.7	1 0.7	5 3.7	40 29.4
	85～89歳	162 100.0	38 23.5	89 54.9	42 25.9	5 3.1	3 1.9	6 3.7	1 0.6	5 3.1	42 25.9
	90歳以上	226 100.0	19 8.4	130 57.5	74 32.7	3 1.3	5 2.2	6 2.7	2 0.9	11 4.9	68 30.1
要介護度別	要介護1	294 100.0	81 27.6	151 51.4	70 23.8	15 5.1	8 2.7	8 2.7	2 0.7	14 4.8	98 33.3
	要介護2	144 100.0	41 28.5	74 51.4	46 31.9	3 2.1	3 2.1	9 6.3	1 0.7	4 2.8	45 31.3
	要介護3	97 100.0	27 27.8	52 53.6	29 29.9	6 6.2	1 1.0	1 1.0	1 1.0	4 4.1	22 22.7
	要介護4	94 100.0	26 27.7	42 44.7	25 26.6	5 5.3	2 2.1	2 2.1	0 0.0	1 1.1	21 22.3
	要介護5	46 100.0	16 34.8	25 54.3	13 28.3	1 2.2	3 6.5	2 4.3	0 0.0	1 2.2	9 19.6
	わからない	7 100.0	2 28.6	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		介護事業所の職員	民生委員	病院や診療所の医師 など	薬剤師や介護用品店 の店員	その他	相談したいが、相手が いない	だれにも相談しない	心配ことはない	無回答
全体		116 16.6	7 1.0	73 10.4	1 0.1	14 2.0	1 0.1	15 2.1	27 3.9	40 5.7
性別	男性	32 12.5	1 0.4	36 14.1	0 0.0	4 1.6	1 0.4	7 2.7	9 3.5	9 3.5
	女性	84 19.0	6 1.4	37 8.4	1 0.2	10 2.3	0 0.0	8 1.8	30 6.8	30 6.8
年齢別	65歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	5 17.2	0 0.0	3 10.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.4	1 3.4
	70～74歳	5 10.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	3 6.0	5 10.0	5 10.0
	75～79歳	9 9.9	1 1.1	10 11.0	1 1.1	4 4.4	0 0.0	0 0.0	6 6.6	6 6.6
	80～84歳	21 15.4	4 2.9	15 11.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	4 2.9	2 1.5	2 1.5
	85～89歳	29 17.9	2 1.2	21 13.0	0 0.0	2 1.2	0 0.0	6 3.7	9 5.6	9 5.6
	90歳以上	46 20.4	0 0.0	21 9.3	0 0.0	3 1.3	0 0.0	2 0.9	16 7.1	16 7.1
要介護度別	要介護1	43 14.6	4 1.4	36 12.2	0 0.0	6 2.0	0 0.0	7 2.4	10 3.4	10 3.4
	要介護2	28 19.4	1 0.7	13 9.0	0 0.0	4 2.8	1 0.7	3 2.1	6 4.2	6 4.2
	要介護3	17 17.5	1 1.0	7 7.2	0 0.0	1 1.0	0 0.0	3 3.1	8 8.2	8 8.2
	要介護4	18 19.1	0 0.0	8 8.5	1 1.1	2 2.1	0 0.0	1 1.1	8 8.5	8 8.5
	要介護5	8 17.4	0 0.0	6 13.0	0 0.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0	6 13.0	6 13.0
	わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0

## (2) 介護保険サービスについて

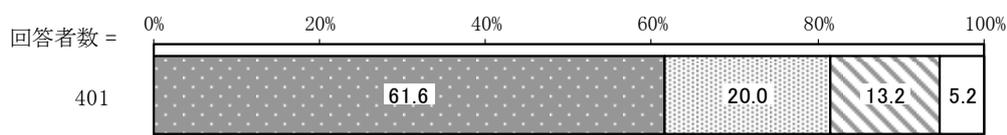
問 15 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください  
(〇はひとつ)

「入所・入居は検討していない」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が 25.6%、「入所・入居を検討している」の割合が 16.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」の割合が減少し、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が増加しています。



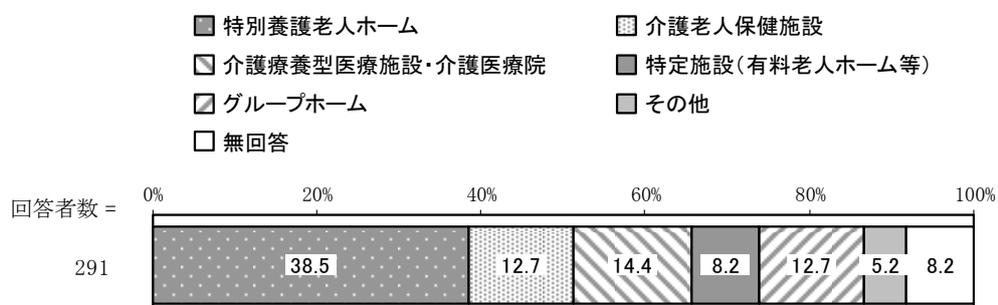
### 【平成 28 年度調査】



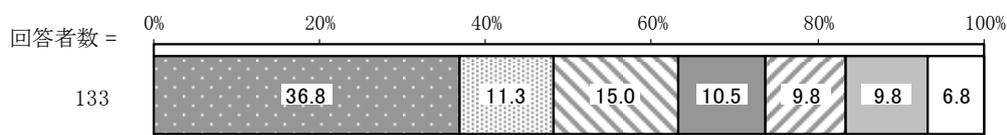
問 16 問 15 で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方にお伺いします。  
現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか  
(〇はひとつ)

「特別養護老人ホーム（常時介護が必要で、家庭での介護が困難な方のための施設）」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「介護療養型医療施設・介護医療院（長期療養が必要な方のための医療機関）」の割合が 14.4%、「介護老人保健施設（家庭への復帰を支援するための施設）」、「グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）」の割合が 12.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



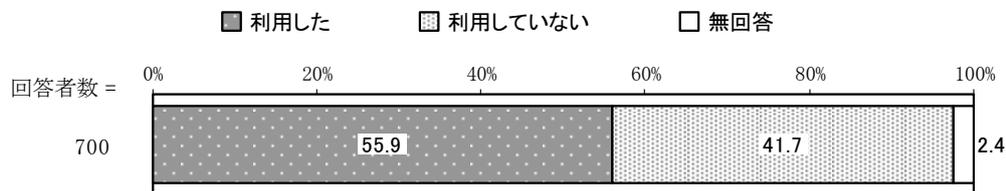
### 【平成 28 年度調査】



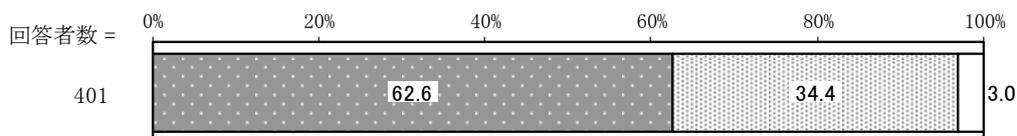
**問 17 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか (○はひとつ)**

「利用した」の割合が55.9%、「利用していない」の割合が41.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「利用した」の割合が減少し、「利用していない」の割合が増加しています。



**【平成28年度調査】**

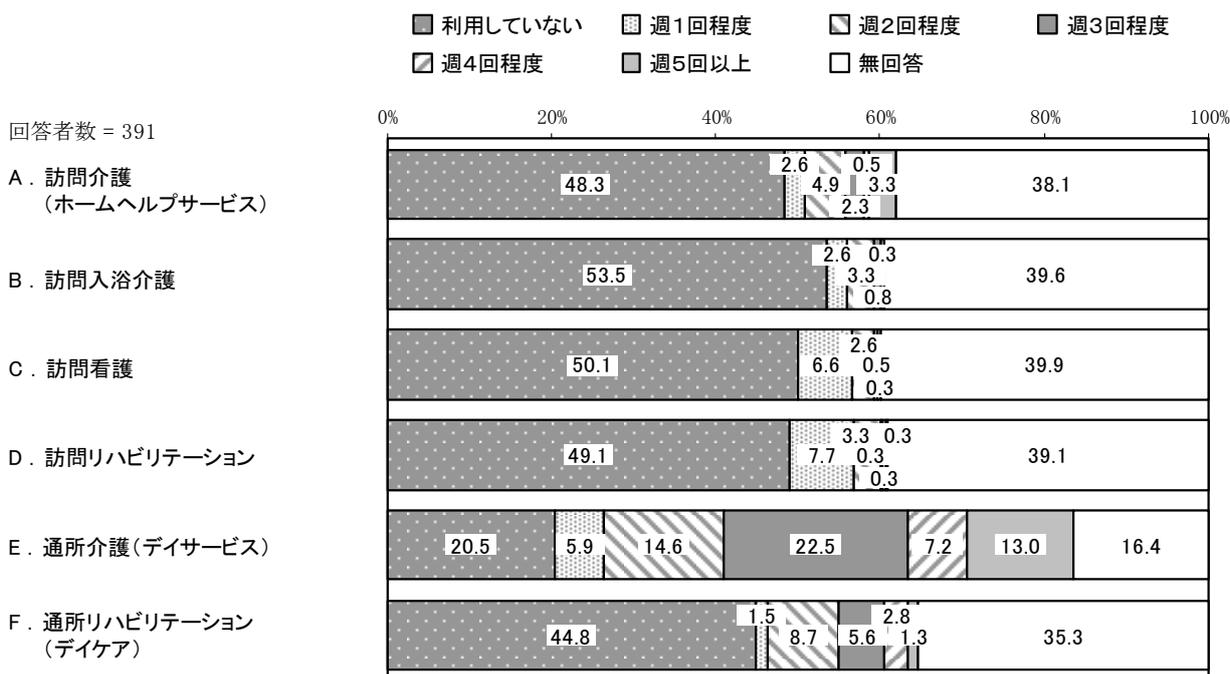


**問 18 問17で「利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください (それぞれ○はひとつ)**

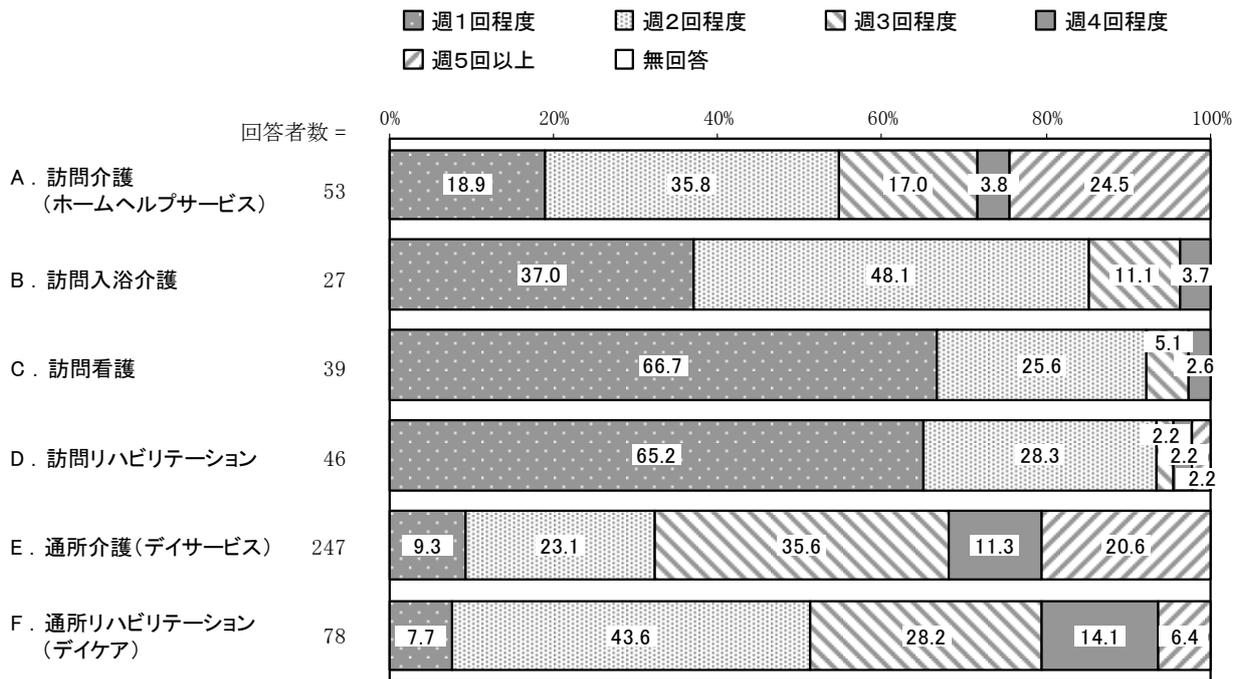
**① 1週あたりの利用回数**

『E. 通所介護 (デイサービス)』で「利用していない」の割合が低くなっています。

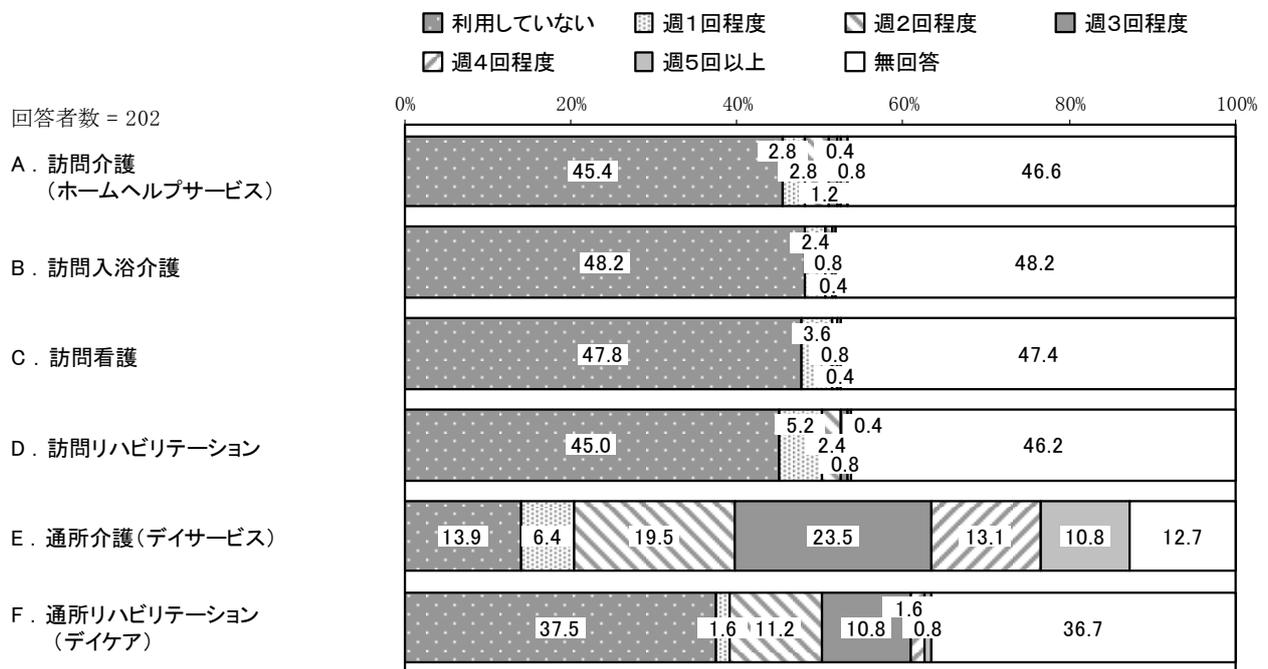
平成28年度調査と比較すると、『B. 訪問入浴介護』『E. 通所介護 (デイサービス)』『F. 通所リハビリテーション (デイケア)』で「利用していない」の割合が増加しています。また、『E. 通所介護 (デイサービス)』で「週4回程度」の割合が、『F. 通所リハビリテーション (デイケア)』で「週3回程度」の割合が減少しています。



【参考】（「利用していない」と無回答を除いたもの）



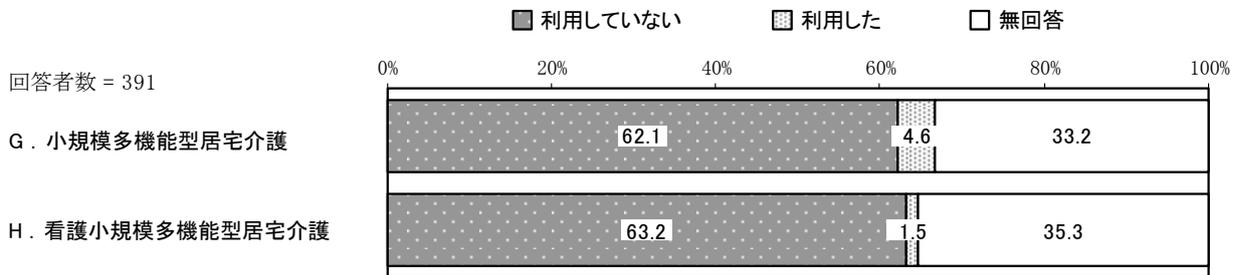
【平成 28 年度調査】



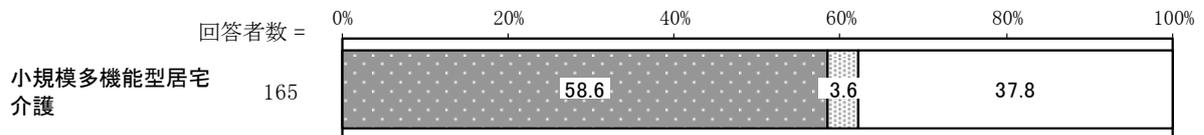
## ②利用の有無

『G. 小規模多機能型居宅介護』で「利用した」の割合が高くなっています。

『G. 小規模多機能型居宅介護』について平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【平成 28 年度調査】

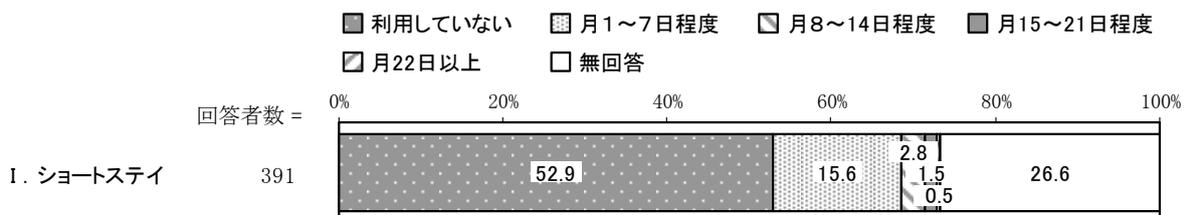


## ③ 1 か月あたりの利用日数

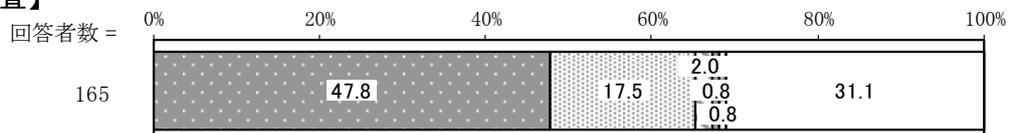
### ア ショートステイ

「利用していない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「月 1～7 日程度」の割合が 15.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



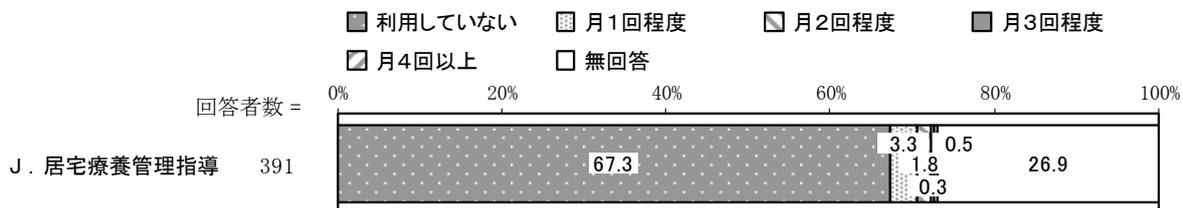
### 【平成 28 年度調査】



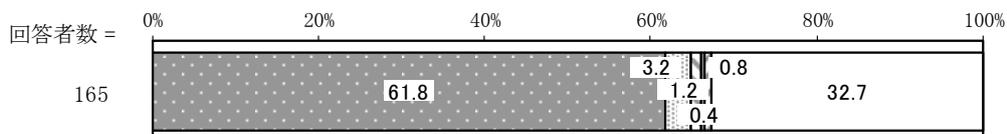
イ 居宅療養管理指導

「利用していない」の割合が67.3%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



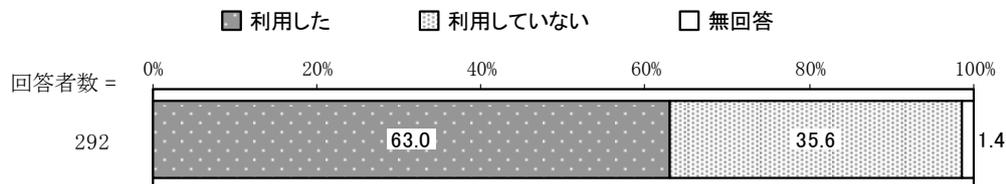
【平成28年度調査】



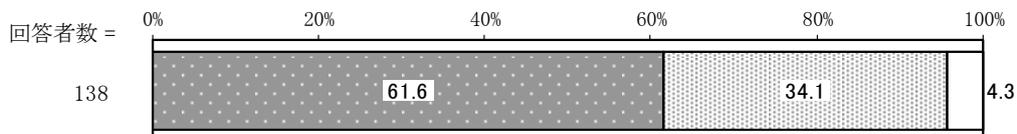
問19 問17で「利用していない」と回答した方にお伺いします。  
 あなたは今までに介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を含む）を利用したことがありますか（○はひとつ）

「利用した」の割合が63.0%、「利用していない」の割合が35.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



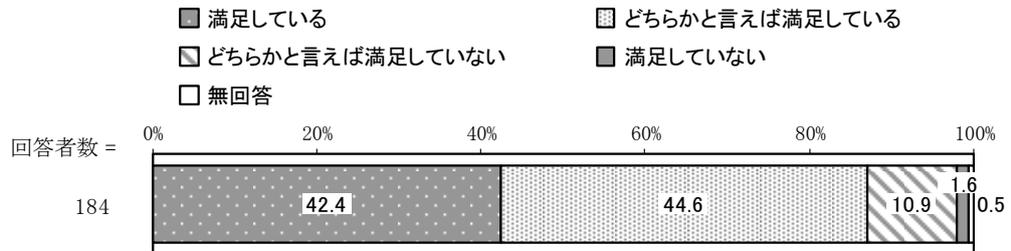
【平成28年度調査】



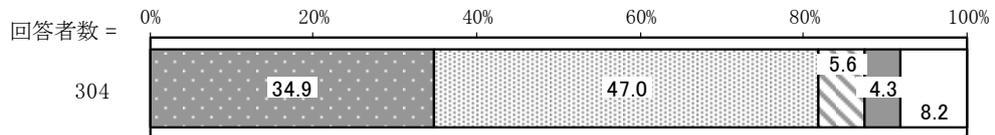
問 20 問 19で「利用した」と回答した方にお伺いします。  
介護保険制度全般についてどのように思いますか（〇はひとつ）

「満足している」と「どちらかと言えば満足している」をあわせた“満足している”の割合が87.0%、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」をあわせた“満足していない”の割合が12.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、“満足している”の割合が増加しています。



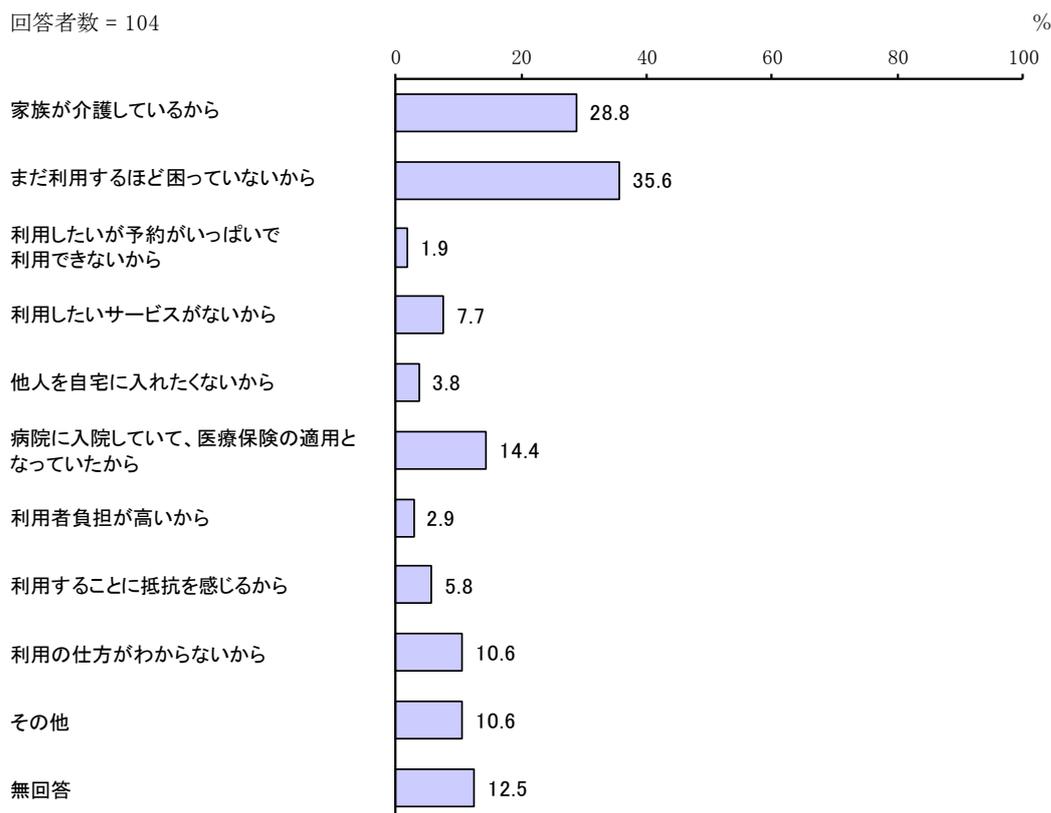
【平成 28 年度調査】



問 21 問 19 で「利用していない」と回答した方にお伺いします。  
 あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇は3つまで）

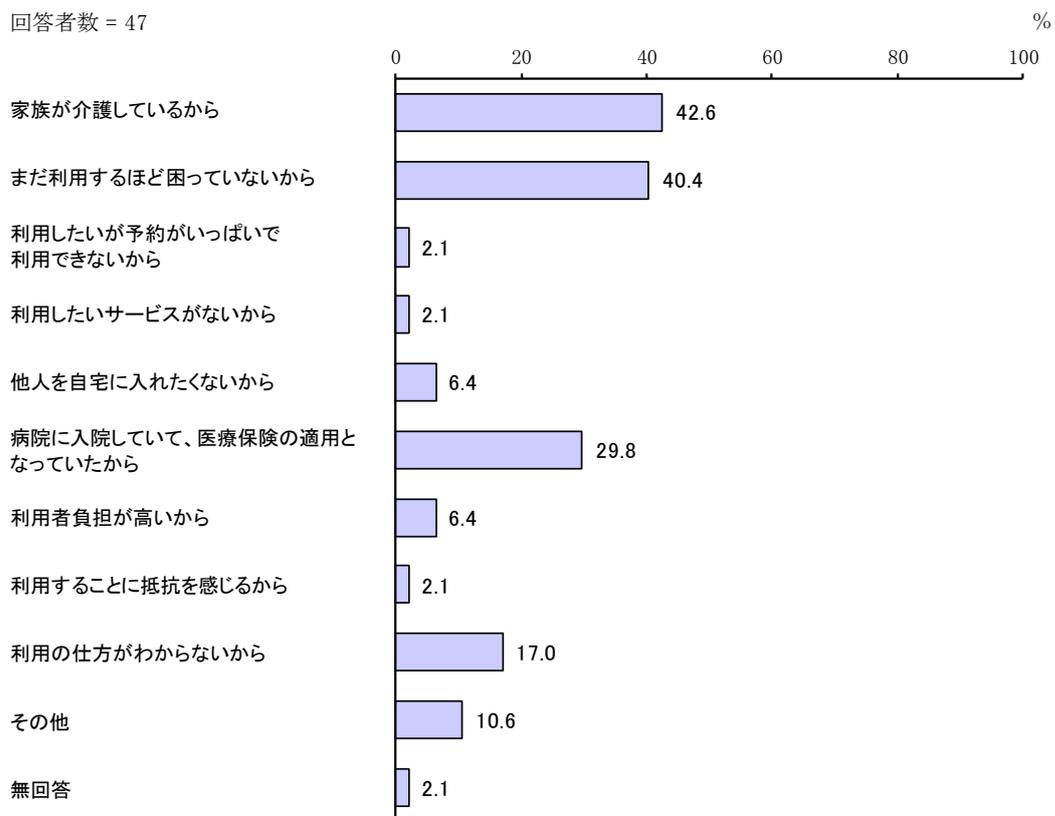
「まだ利用するほど困っていないから」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「家族が介護しているから」の割合が 28.8%、「病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから」の割合が 14.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「家族が介護しているから」「病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから」「利用の仕方がわからないから」の割合が減少し、「利用したいサービスがないから」の割合が増加しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 47



## 【要介護度別】

要介護度別でみると、介護度が軽くなるにつれ「まだ利用するほど困っていないから」の割合が、介護度が重くなるにつれ「病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから」のわりあいが高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、要介護1で「家族が介護しているから」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

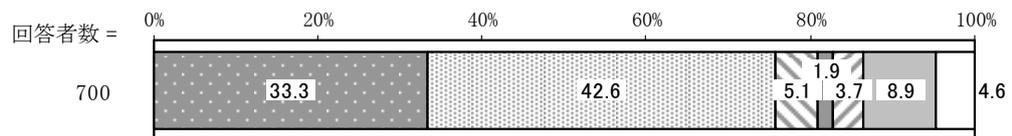
区分	回答者数（件）	家族が介護しているから	まだ利用するほど困っていないから	利用したいが予約がいつぱいで利用できないから	利用したいサービスがないから	他人を自宅に入れたくないから	病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから	利用者負担が高いから	利用することに抵抗を感じるから	利用の仕方がわからないから	その他	無回答	
全体	104 100.0	30 28.8	37 35.6	2 1.9	8 7.7	4 3.8	15 14.4	3 2.9	6 5.8	11 10.6	11 10.6	13 12.5	
要介護度別	要介護1	40 100.0	17 42.5	20 50.0	1 2.5	2 5.0	3 7.5	1 2.5	— —	5 12.5	5 12.5	2 5.0	3 7.5
	要介護2	22 100.0	4 18.2	6 27.3	— —	1 4.5	1 4.5	4 18.2	1 4.5	1 4.5	2 9.1	5 22.7	3 13.6
	要介護3	12 100.0	3 25.0	3 25.0	— —	1 8.3	— —	2 16.7	1 8.3	— —	— —	1 8.3	3 25.0
	要介護4	14 100.0	4 28.6	1 7.1	1 7.1	2 14.3	— —	4 28.6	— —	— —	2 14.3	1 7.1	2 14.3
	要介護5	7 100.0	— —	— —	— —	1 14.3	— —	4 57.1	1 14.3	— —	2 28.6	2 28.6	1 14.3
	わからない	3 100.0	— —	3 100.0	— —	1 33.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

問 22 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、袋井市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか（〇はひとつ）

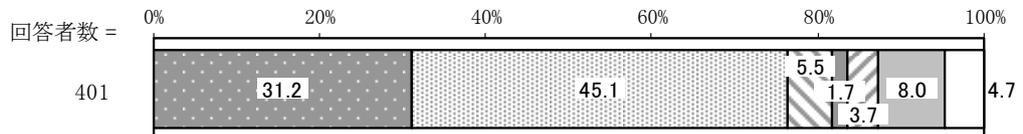
「介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」の割合が42.6%と最も高く、次いで「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」の割合が33.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- 介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
- 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない
- 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- その他
- わからない
- 無回答



【平成28年度調査】

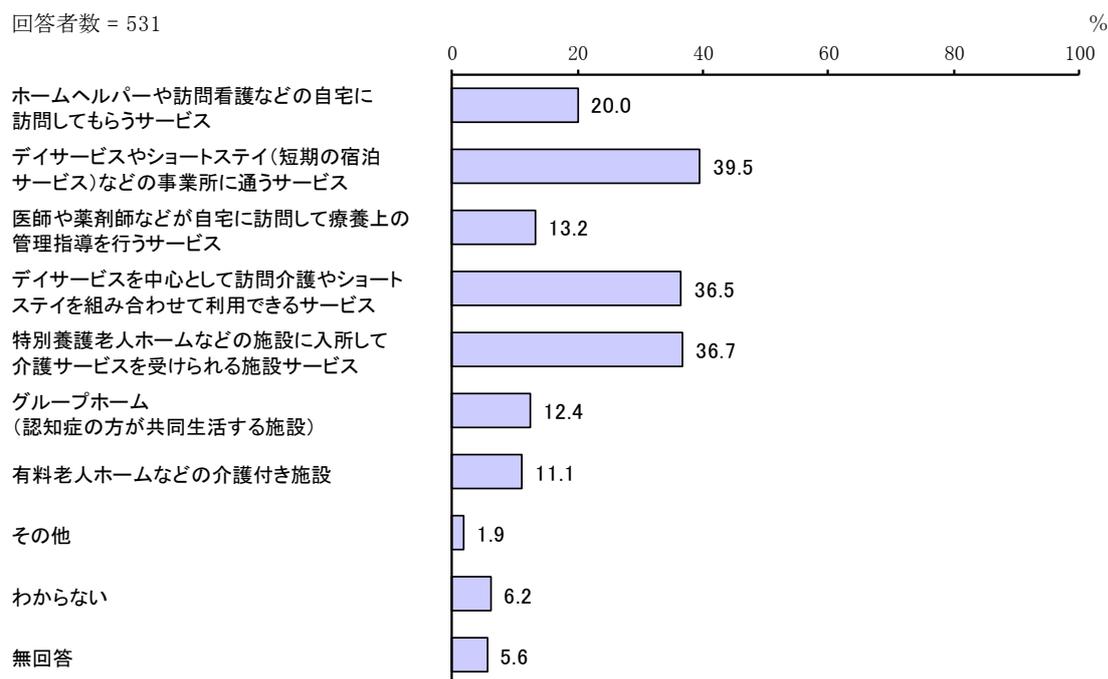


問 23 問 22 で「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」「介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」と回答した方にお伺いします。  
あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか（〇は3つまで）

「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの事業所に通うサービス」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス」の割合が 36.7%、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」の割合が 36.5%となっています。

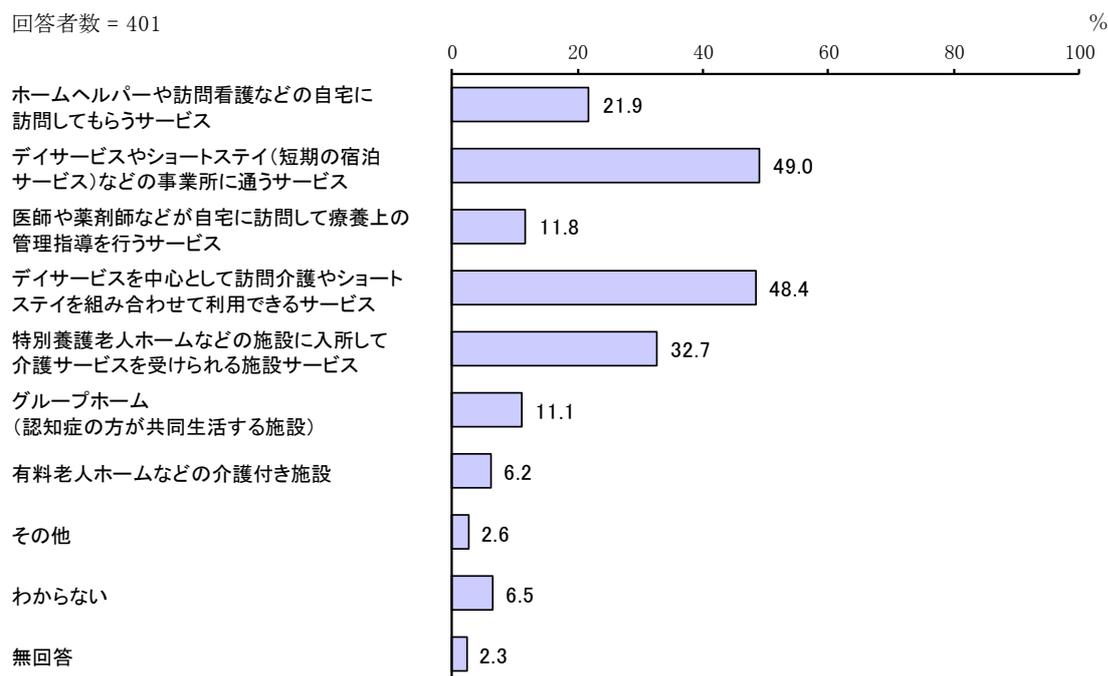
平成 28 年度調査と比較すると、「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの事業所に通うサービス」「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」の割合が減少しています。

回答者数 = 531



### 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、豊沢で「ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」「医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス」の割合が高くなっています。また、高南で「グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数（件）	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	業所に通うサービス （短期の宿泊サービス）などのサービス	デイサービスやショートステイ （医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス）	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを利用できるサービス	特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体	531 100.0	106 20.0	210 39.5	70 13.2	194 36.5	195 36.7	66 12.4	59 11.1	10 1.9	33 6.2	30 5.6		
居住地区別	袋井南	56 100.0	11 19.6	24 42.9	6 10.7	24 42.9	25 44.6	6 10.7	8 14.3	1 1.8	1 1.8	1 1.8	2 3.6
	豊沢	26 100.0	9 34.6	10 38.5	8 30.8	10 38.5	8 30.8	2 7.7	2 7.7	2 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8
	高南	27 100.0	5 18.5	9 33.3	4 14.8	10 37.0	11 40.7	7 25.9	5 18.5	1 3.7	2 7.4	2 3.7	1 3.7
	袋井西	50 100.0	16 32.0	16 32.0	10 20.0	15 30.0	12 24.0	5 10.0	4 8.0	—	5 10.0	6 12.0	
	袋井北	58 100.0	11 19.0	22 37.9	8 13.8	19 32.8	25 43.1	10 17.2	12 20.7	2 3.4	2 3.4	2 3.4	2 3.4
	袋井東	49 100.0	5 10.2	17 34.7	5 10.2	25 51.0	16 32.7	5 10.2	5 10.2	—	3 6.1	2 2.0	
	今井	28 100.0	3 10.7	13 46.4	3 10.7	9 32.1	11 39.3	3 10.7	4 14.3	—	1 3.6	2 7.1	
	三川	22 100.0	3 13.6	6 27.3	4 18.2	3 13.6	12 54.5	4 18.2	1 4.5	—	3 13.6	1 4.5	
	笠原	27 100.0	4 14.8	13 48.1	1 3.7	11 40.7	11 40.7	2 7.4	2 7.4	—	—	1 3.7	
	山梨・宇刈	74 100.0	13 17.6	34 45.9	8 10.8	27 36.5	24 32.4	8 10.8	5 6.8	1 1.4	8 10.8	2 2.7	
	浅羽北	31 100.0	7 22.6	12 38.7	2 6.5	13 41.9	10 32.3	4 12.9	5 16.1	1 3.2	1 3.2	5 16.1	
	浅羽西	14 100.0	3 21.4	5 35.7	3 21.4	8 57.1	5 35.7	—	—	1 7.1	1 7.1	—	
	浅羽東	17 100.0	4 23.5	8 47.1	2 11.8	8 47.1	5 29.4	3 17.6	—	—	2 11.8	1 5.9	
	浅羽南	40 100.0	9 22.5	20 50.0	5 12.5	10 25.0	14 35.0	5 12.5	5 12.5	2 5.0	2 5.0	2 5.0	
	わからない	7 100.0	1 14.3	—	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	—	1 14.3	1 14.3	

【要介護度別、保険料負担別】

要介護度別でみると、介護度が重くなるにつれ「医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス」の割合が、介護度が軽くなるにつれ「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、要介護3で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの事業所に通うサービス」「特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス」の割合が高くなっています。

保険料負担別でみると、介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい人に比べ、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない人で「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの事業所に通うサービス」「特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス」「グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）」「有料老人ホームなどの介護付き施設」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

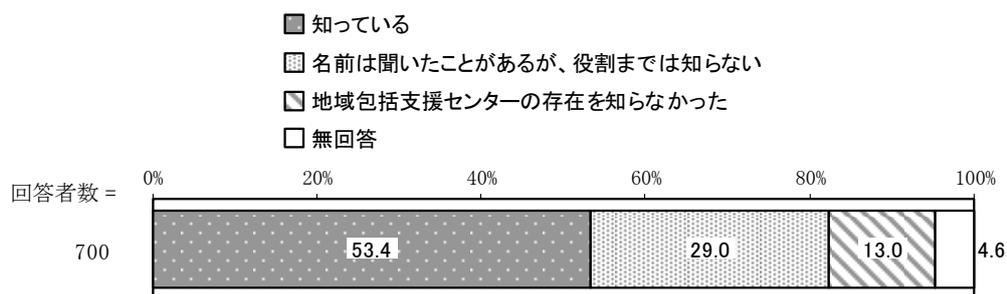
区分	回答者数（件）	ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス	デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの事業所に通うサービス	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス	介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを受けられる施設サービス	特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス	グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体	531 100.0	106 20.0	210 39.5	70 13.2	194 36.5	195 36.7	66 12.4	59 11.1	10 1.9	33 6.2	30 5.6	
要介護度別	要介護1	231 100.0	40 17.3	99 42.9	19 8.2	93 40.3	76 32.9	31 13.4	28 12.1	3 1.3	14 6.1	15 6.5
	要介護2	106 100.0	23 21.7	41 38.7	13 12.3	43 40.6	37 34.9	15 14.2	12 11.3	3 2.8	8 7.5	4 3.8
	要介護3	75 100.0	11 14.7	35 46.7	16 21.3	23 30.7	38 50.7	10 13.3	4 5.3	2 2.7	5 6.7	1 1.3
	要介護4	72 100.0	18 25.0	21 29.2	11 15.3	24 33.3	26 36.1	5 6.9	7 9.7	1 1.4	5 6.9	6 8.3
	要介護5	33 100.0	8 24.2	9 27.3	9 27.3	6 18.2	15 45.5	5 15.2	7 21.2	—	1 3.0	1 3.0
	わからない	4 100.0	2 50.0	1 25.0	—	1 25.0	1 25.0	—	—	—	—	—
保険料の負担別	負担が増えてもやむを得ない	233 100.0	49 21.0	99 42.5	28 12.0	79 33.9	97 41.6	36 15.5	41 17.6	5 2.1	14 6.0	10 4.3
	負担を抑えてほしい	298 100.0	57 19.1	111 37.2	42 14.1	115 38.6	98 32.9	30 10.1	18 6.0	5 1.7	19 6.4	20 6.7

### (3) 地域包括支援センターについて

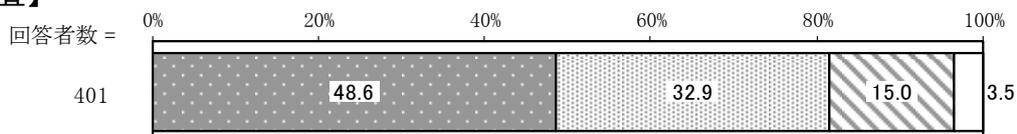
問 24 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内4か所に設置されています。  
あなたは、地域包括支援センターの役割を知っていますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

「知っている」の割合が53.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が29.0%、「地域包括支援センターの存在を知らなかった」の割合が13.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【平成28年度調査】

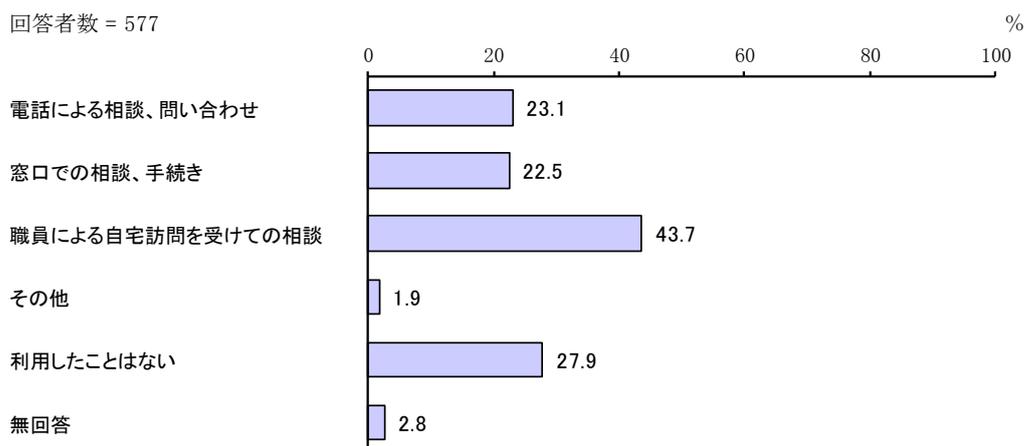


問 25 問 24 で「知っている」「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」と回答した方にお伺いします。

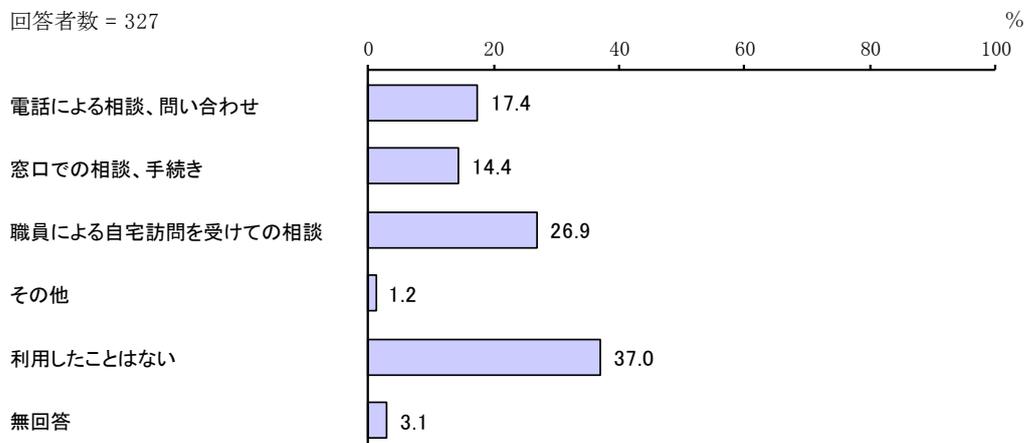
あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。  
次の中からあてはまるものに○をつけてください（○はいくつでも）

「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が 27.9%、「電話による相談、問い合わせ」の割合が 23.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「電話による相談、問い合わせ」「窓口での相談、手続き」「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が増加し、「利用したことはない」の割合が減少しています。



#### 【平成 28 年度調査】



### 【居住地区別、要介護度別】

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽西で「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が高くなっています。また、豊沢で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2、要介護5で「職員による自宅訪問を受けての相談」の割合が高くなっています。また、要介護3で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

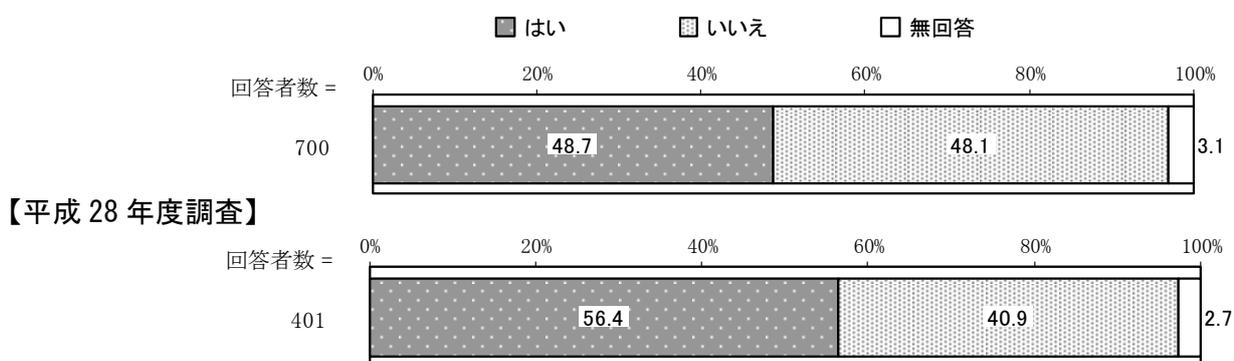
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	職員による自宅訪問を 受けての相談	その他	利用したことはない	無回答	
全体	577 100.0	133 23.1	130 22.5	252 43.7	11 1.9	161 27.9	16 2.8	
居住地区別	袋井南	61 100.0	12 19.7	15 24.6	29 47.5	—	16 26.2	1 1.6
	豊沢	28 100.0	4 14.3	2 7.1	9 32.1	—	15 53.6	—
	高南	25 100.0	8 32.0	6 24.0	9 36.0	3 12.0	5 20.0	—
	袋井西	51 100.0	10 19.6	17 33.3	15 29.4	1 2.0	15 29.4	1 2.0
	袋井北	73 100.0	18 24.7	22 30.1	31 42.5	—	23 31.5	2 2.7
	袋井東	59 100.0	7 11.9	17 28.8	25 42.4	1 1.7	18 30.5	2 3.4
	今井	29 100.0	11 37.9	5 17.2	14 48.3	—	5 17.2	1 3.4
	三川	22 100.0	6 27.3	5 22.7	6 27.3	1 4.5	7 31.8	1 4.5
	笠原	31 100.0	7 22.6	6 19.4	12 38.7	—	9 29.0	1 3.2
	山梨・宇刈	78 100.0	24 30.8	14 17.9	32 41.0	3 3.8	21 26.9	2 2.6
	浅羽北	36 100.0	5 13.9	6 16.7	22 61.1	1 2.8	6 16.7	2 5.6
	浅羽西	16 100.0	5 31.3	4 25.0	11 68.8	—	4 25.0	—
	浅羽東	17 100.0	4 23.5	3 17.6	11 64.7	—	4 23.5	1 5.9
	浅羽南	40 100.0	10 25.0	8 20.0	21 52.5	1 2.5	9 22.5	2 5.0
	わからない	8 100.0	1 12.5	—	3 37.5	—	4 50.0	—
	要介護度別	要介護1	244 100.0	62 25.4	53 21.7	108 44.3	2 0.8	66 27.0
要介護2		118 100.0	18 15.3	26 22.0	57 48.3	4 3.4	28 23.7	2 1.7
要介護3		81 100.0	22 27.2	19 23.5	32 39.5	—	32 39.5	1 1.2
要介護4		78 100.0	17 21.8	20 25.6	27 34.6	2 2.6	21 26.9	3 3.8
要介護5		38 100.0	11 28.9	8 21.1	19 50.0	2 5.3	10 26.3	—
わからない		5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	—	3 60.0	—

#### (4) は一とふるプラザ袋井（総合健康センター）について

問 26 市では、乳幼児から高齢者まで、市民の生涯を通じた健康づくりに取り組む拠点として、平成27年5月に総合健康センターを開設しました。  
あなたは、総合健康センターがあることを知っていましたか（○はひとつ）

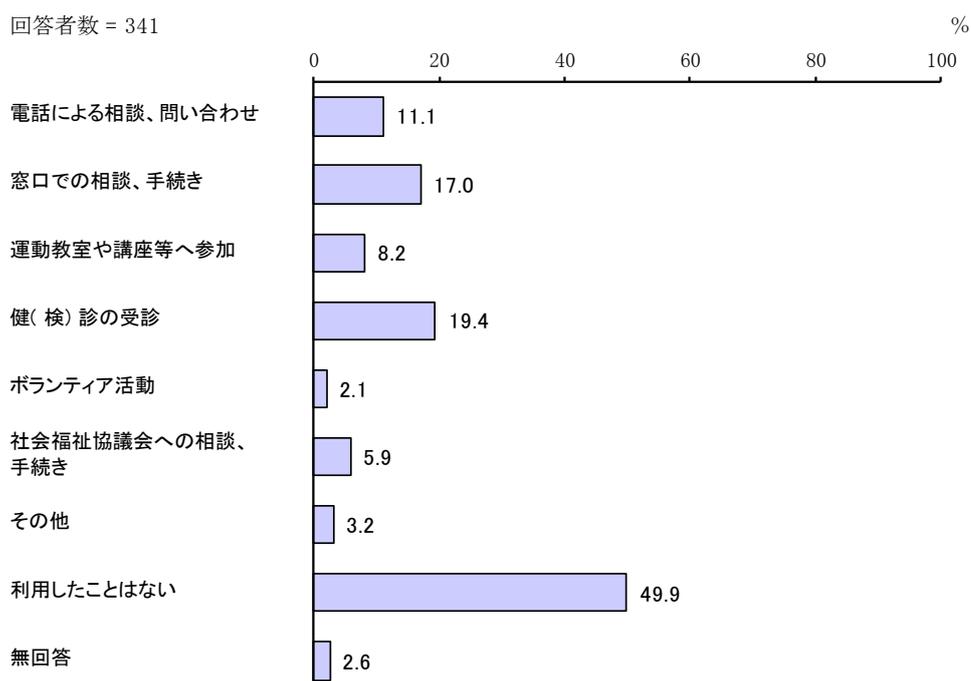
「はい」の割合が48.7%、「いいえ」の割合が48.1%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



問 27 問 26 で「はい」と回答した方にお伺いします。  
あなたは、総合健康センターを利用したことがありますか。次の中から当てはまるものに○をつけてください（聖隷袋井市民病院の受診は除きます）  
（○はいくつでも）

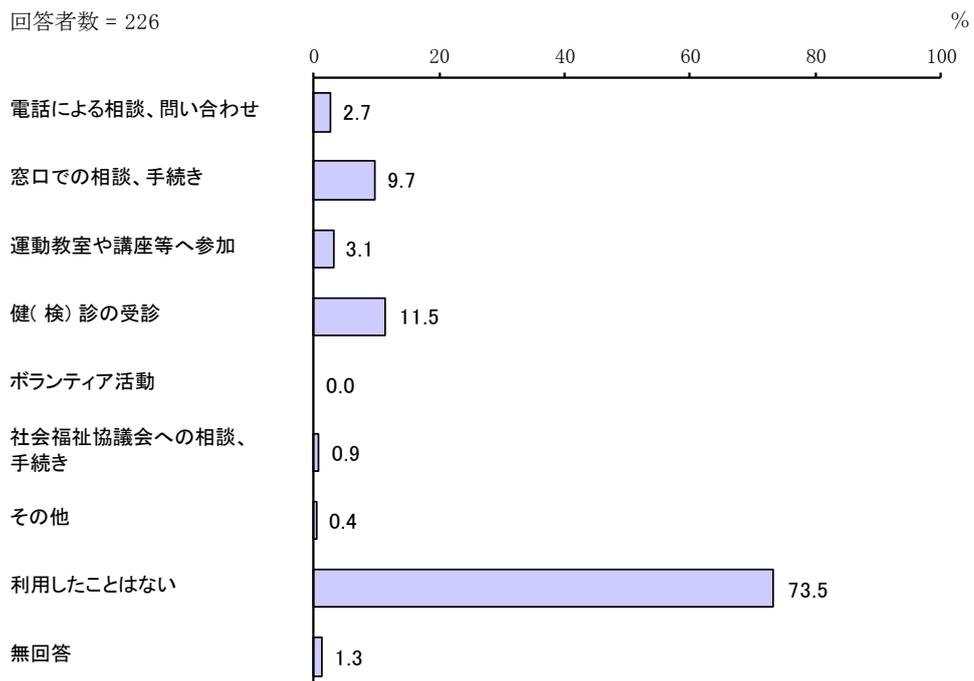
「利用したことはない」の割合が49.9%と最も高く、次いで「健(検)診の受診」の割合が19.4%、「窓口での相談、手続き」の割合が17.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「電話による相談、問い合わせ」「窓口での相談、手続き」「運動教室や講座等へ参加」「健(検)診の受診」「社会福祉協議会への相談、手続き」の割合が増加し、「利用したことはない」の割合が減少しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 226



### 【居住地区別、要介護度別】

居住地区別でみると、豊沢で「社会福祉協議会への相談、手続き」の割合が、山梨・宇刈で「窓口での相談、手続き」の割合が高くなっています。また、浅羽北で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護5で「電話による相談、問い合わせ」「窓口での相談、手続き」の割合が高くなっています。

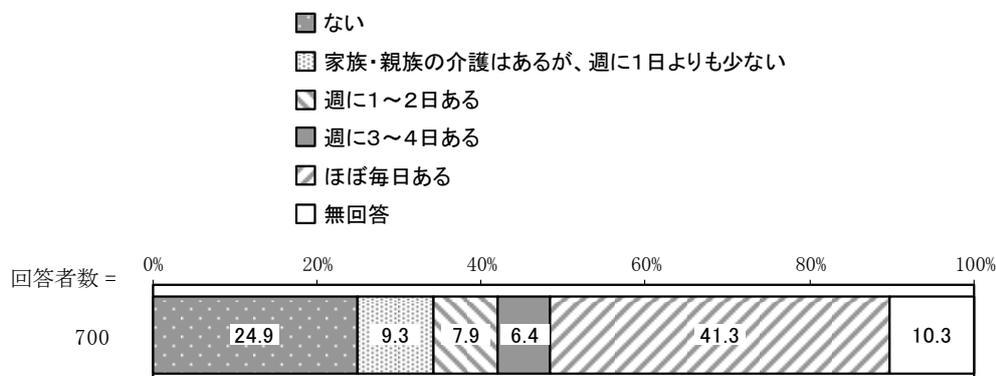
単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	電話による相談、 問い合わせ	窓口での相談、 手続き	参加 運動教室や講座等へ	健(検)診の受診	ボランティア活動	社会福祉協議会への 相談、 手続き	その他	利用したことはない	無回答	
全体	341 100.0	38 11.1	58 17.0	28 8.2	66 19.4	7 2.1	20 5.9	11 3.2	170 49.9	9 2.6	
居住地区別	袋井南	35 100.0	6 17.1	6 17.1	1 2.9	7 20.0	1 2.9	2 5.7	18 51.4	—	
	豊沢	17 100.0	2 11.8	3 17.6	3 17.6	4 23.5	—	5 29.4	6 35.3	1 5.9	
	高南	17 100.0	3 17.6	1 5.9	1 5.9	3 17.6	—	—	3 17.6	8 47.1	1 5.9
	袋井西	36 100.0	2 5.6	8 22.2	2 5.6	7 19.4	—	3 8.3	—	20 55.6	2 5.6
	袋井北	48 100.0	5 10.4	6 12.5	4 8.3	10 20.8	—	5 10.4	—	26 54.2	1 2.1
	袋井東	37 100.0	4 10.8	7 18.9	4 10.8	7 18.9	2 5.4	1 2.7	3 8.1	17 45.9	—
	今井	22 100.0	4 18.2	4 18.2	4 18.2	7 31.8	1 4.5	1 4.5	2 9.1	7 31.8	—
	三川	10 100.0	1 10.0	2 20.0	—	1 10.0	—	—	—	6 60.0	—
	笠原	17 100.0	1 5.9	1 5.9	2 11.8	4 23.5	1 5.9	—	—	9 52.9	—
	山梨・宇刈	48 100.0	6 12.5	15 31.3	3 6.3	12 25.0	1 2.1	3 6.3	1 2.1	15 31.3	1 2.1
	浅羽北	18 100.0	1 5.6	—	1 5.6	—	1 5.6	1 5.6	—	15 83.3	—
	浅羽西	6 100.0	—	3 50.0	2 33.3	1 16.7	—	—	—	1 16.7	—
	浅羽東	6 100.0	—	1 16.7	—	—	—	—	—	5 83.3	—
	浅羽南	20 100.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	—	—	—	15 75.0	2 10.0
	わからない	2 100.0	1 50.0	—	—	1 50.0	—	—	—	1 50.0	—
要介護度別	要介護1	144 100.0	14 9.7	20 13.9	14 9.7	30 20.8	4 2.8	6 4.2	3 2.1	72 50.0	4 2.8
	要介護2	68 100.0	6 8.8	13 19.1	6 8.8	12 17.6	—	5 7.4	2 2.9	34 50.0	2 2.9
	要介護3	51 100.0	5 9.8	10 19.6	2 3.9	12 23.5	1 2.0	4 7.8	3 5.9	26 51.0	2 3.9
	要介護4	43 100.0	4 9.3	5 11.6	3 7.0	7 16.3	—	2 4.7	1 2.3	26 60.5	—
	要介護5	27 100.0	7 25.9	8 29.6	2 7.4	3 11.1	1 3.7	3 11.1	1 3.7	11 40.7	1 3.7
	わからない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	—	—	—	—	—	—	—

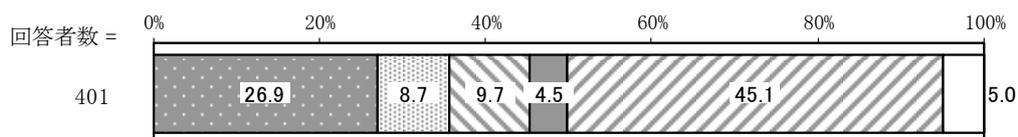
## (5) 主な介護者の方について

問 28 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○はひとつ）

「ほぼ毎日ある」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「ない」の割合が 24.9%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



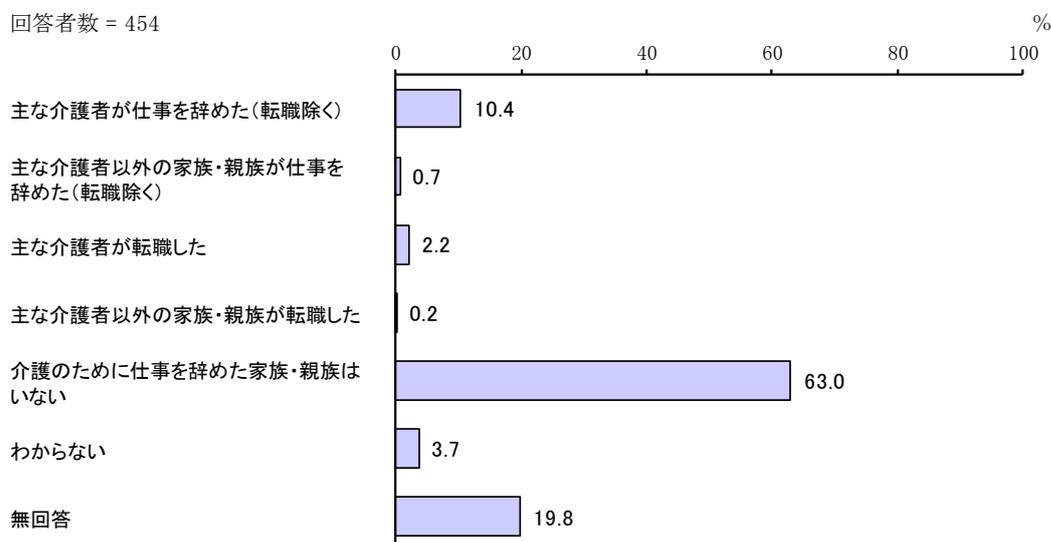
### 【平成 28 年度調査】



問 29 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

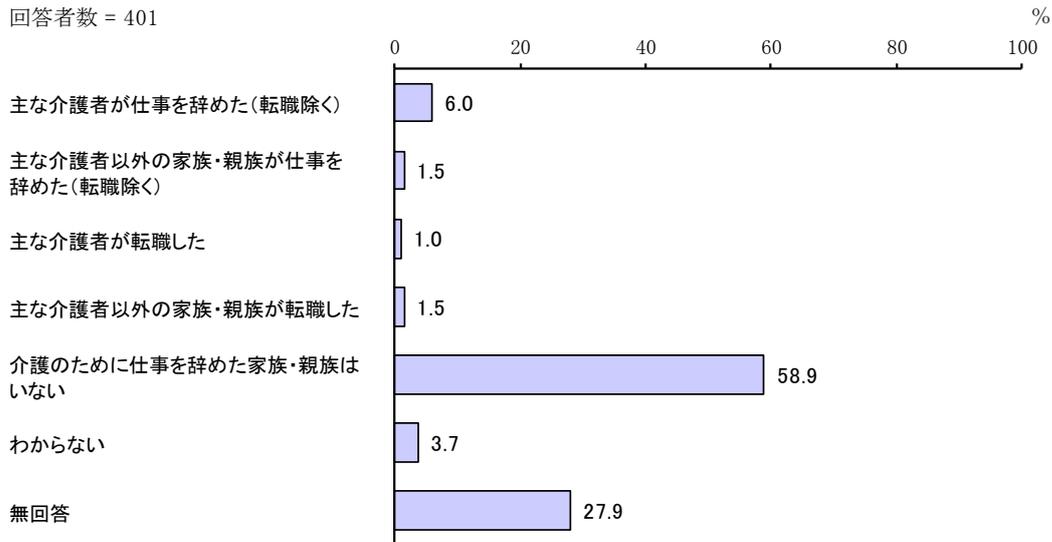
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が 10.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



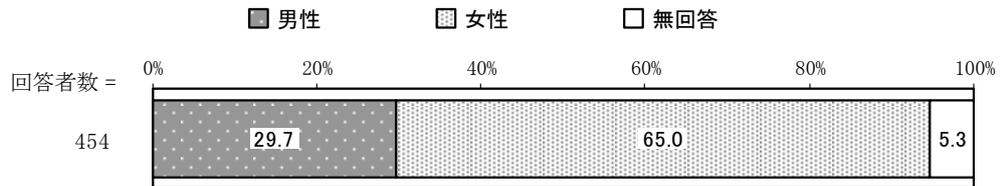
【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



問 30 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (○はひとつ)

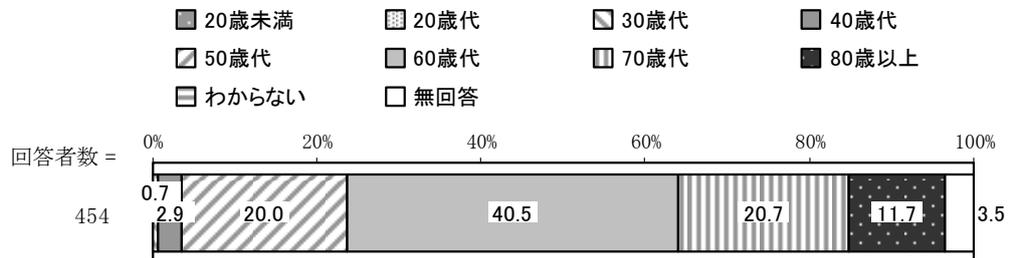
「男性」の割合が 29.7%、「女性」の割合が 65.0%となっています。



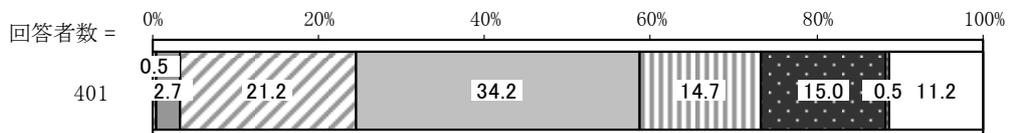
問 31 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください (○はひとつ)

「60 歳代」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「70 歳代」の割合が 20.7%、「50 歳代」の割合が 20.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「60 歳代」「70 歳代」の割合が増加しています。

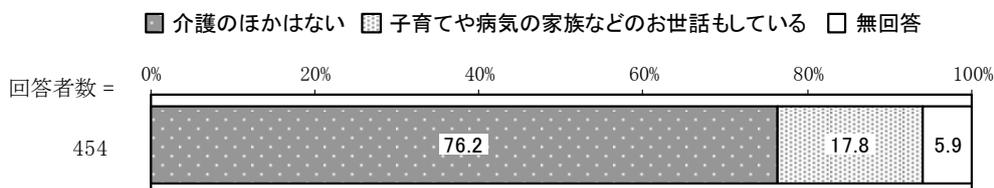


【平成 28 年度調査】



**問 32 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか（○はひとつ）**

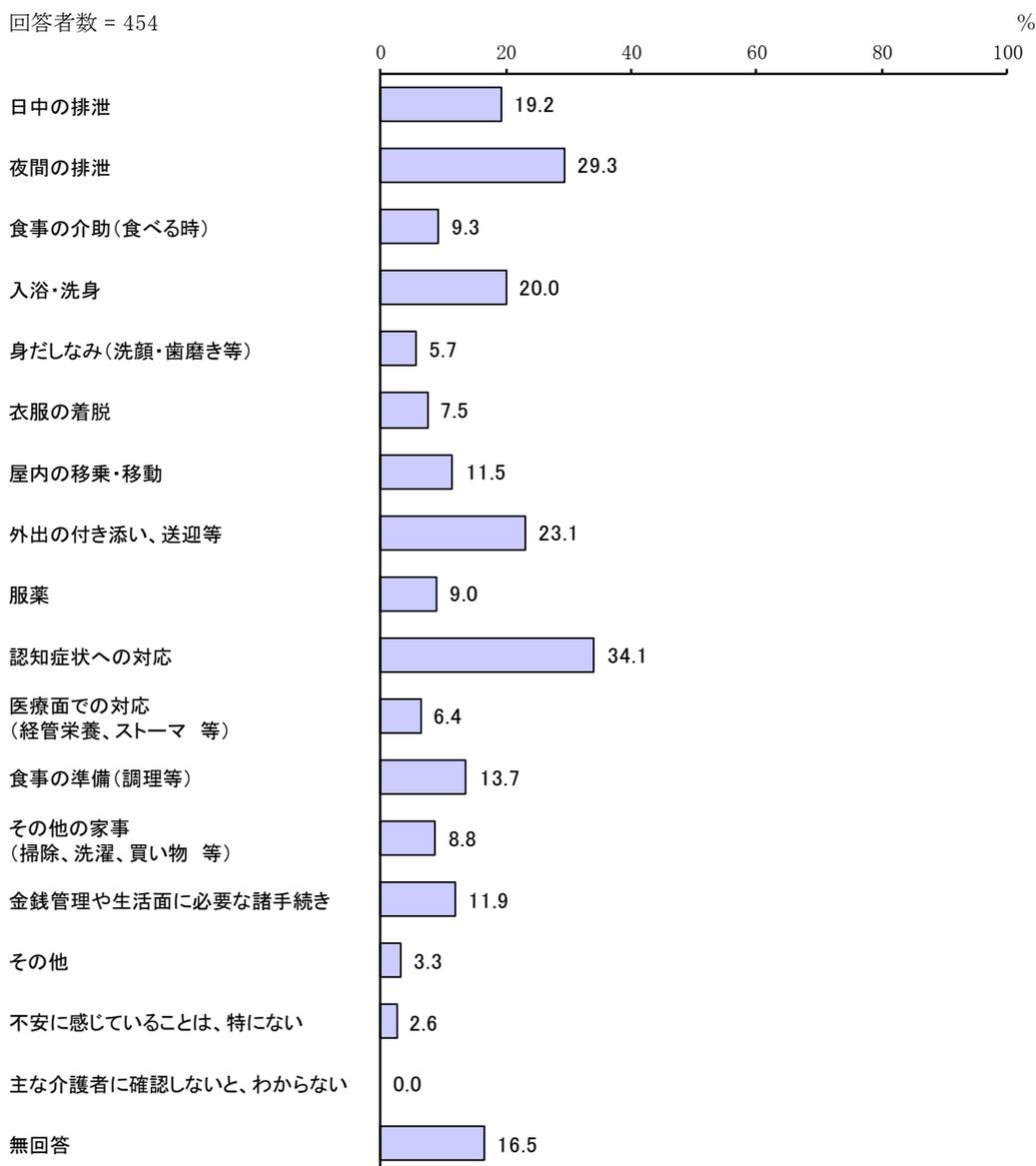
「介護のほかはない」の割合が76.2%、「子育てや病気の家族などのお世話もしている」の割合が17.8%となっています。



**問 33 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（全部の中から○は3つまで）**

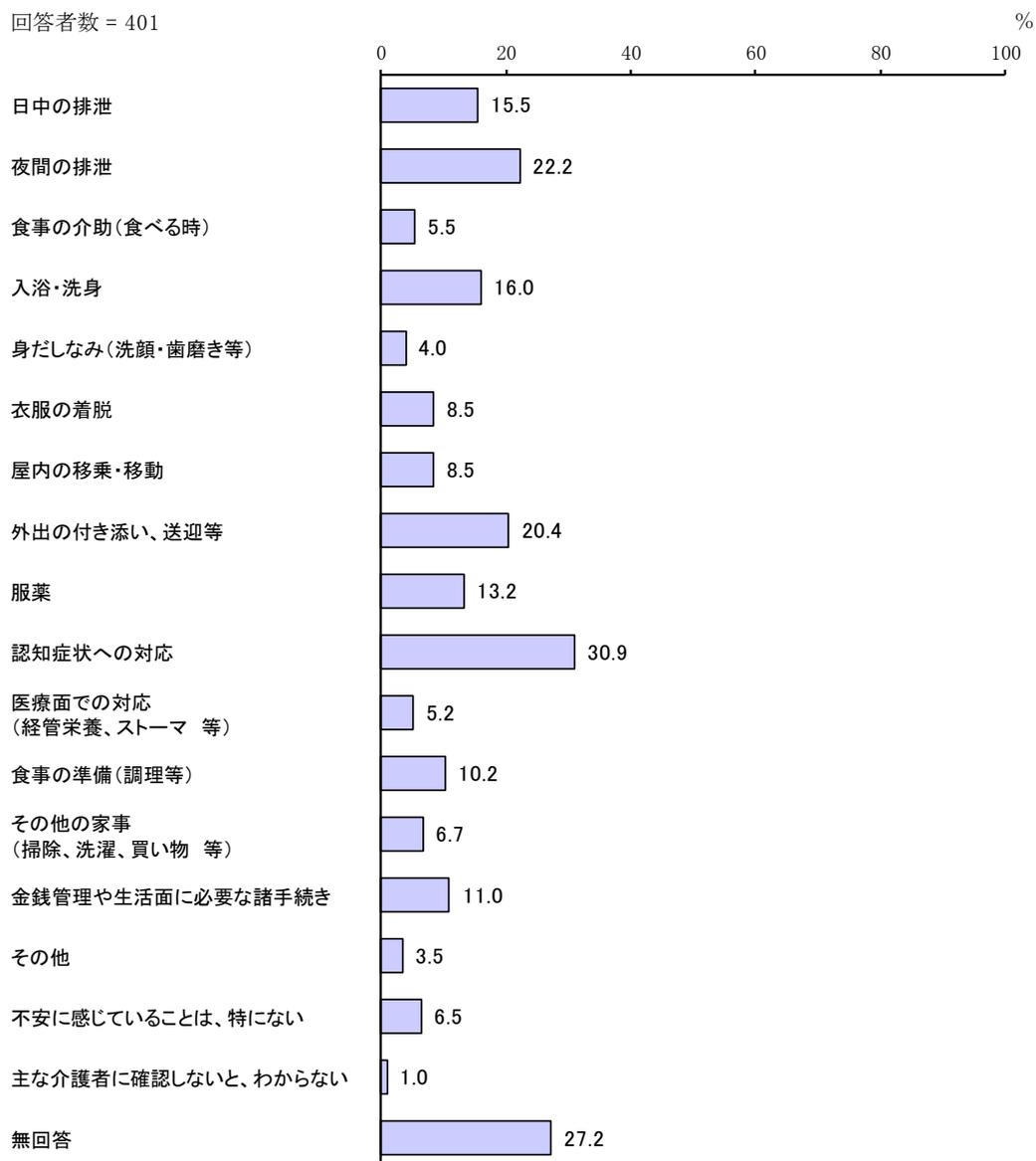
「認知症状への対応」の割合が34.1%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が29.3%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が23.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「夜間の排泄」の割合が増加しています。



## 【平成 28 年度調査】

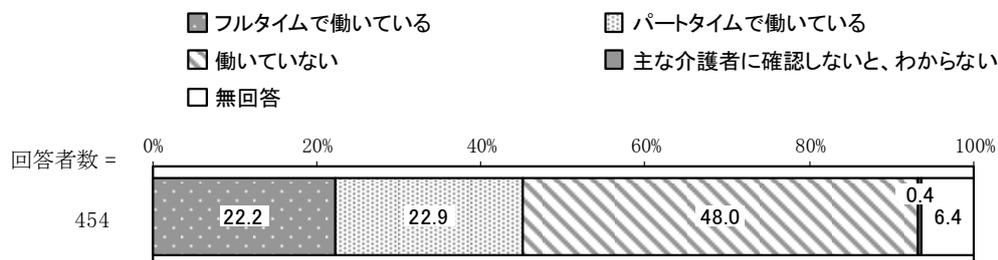
回答者数 = 401



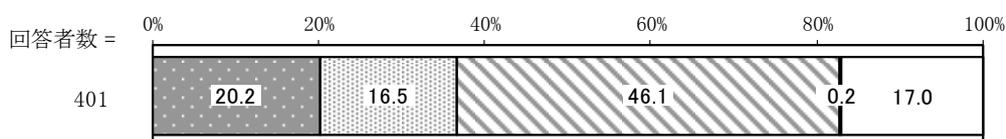
**問 34 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○はひとつ）**

「働いていない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」の割合が22.9%、「フルタイムで働いている」の割合が22.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「パートタイムで働いている」の割合が増加しています。



**【平成28年度調査】**

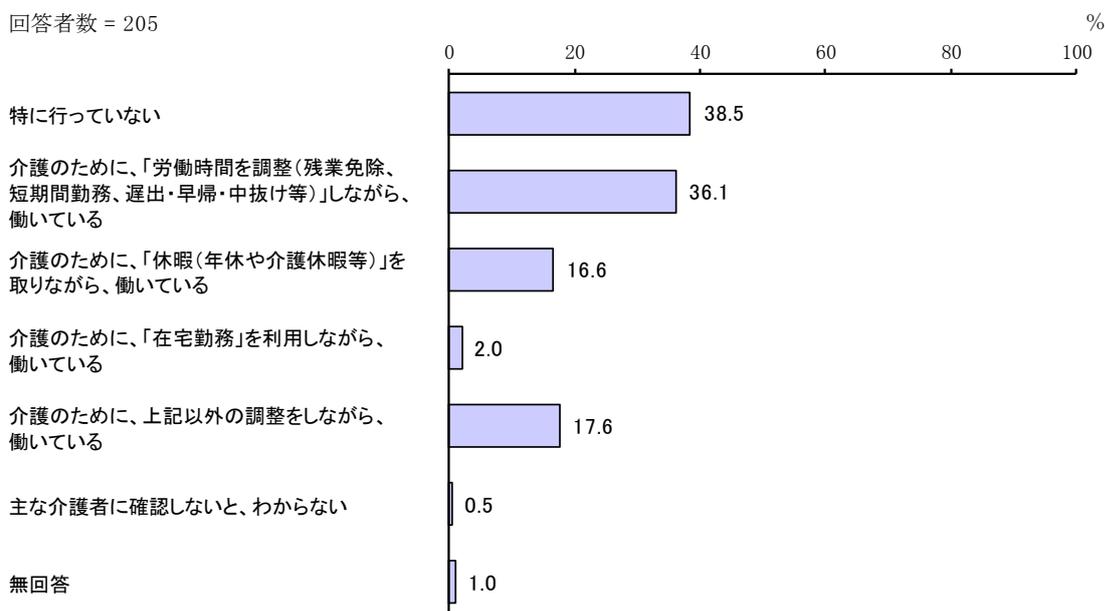


**問 35 問34で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。**

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

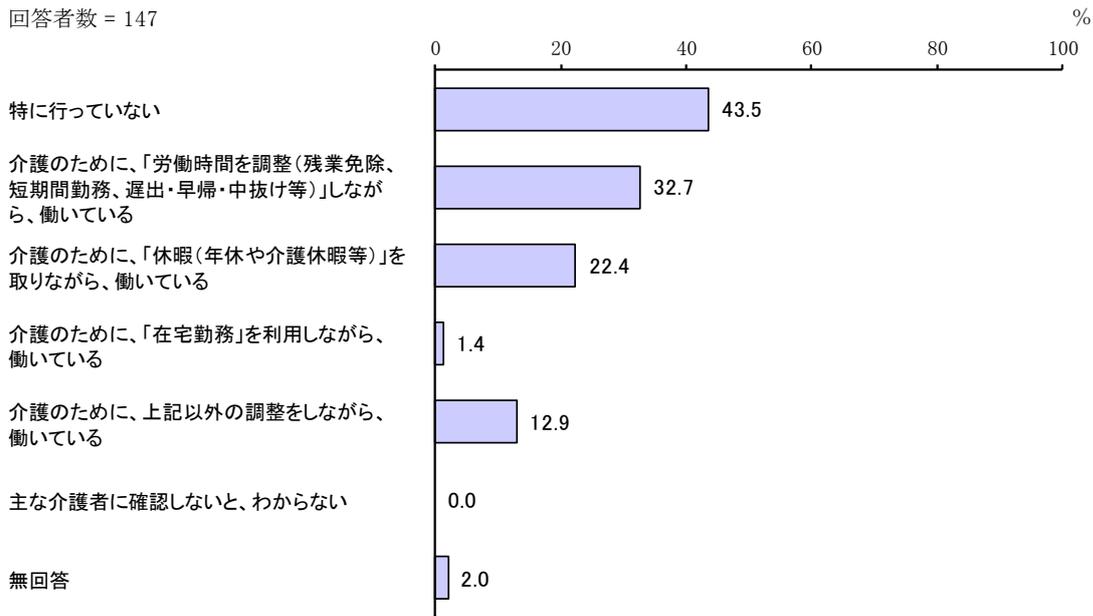
「特に行っていない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が36.1%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が17.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「特に行っていない」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が減少しています。



【平成 28 年度調査】

回答者数 = 147

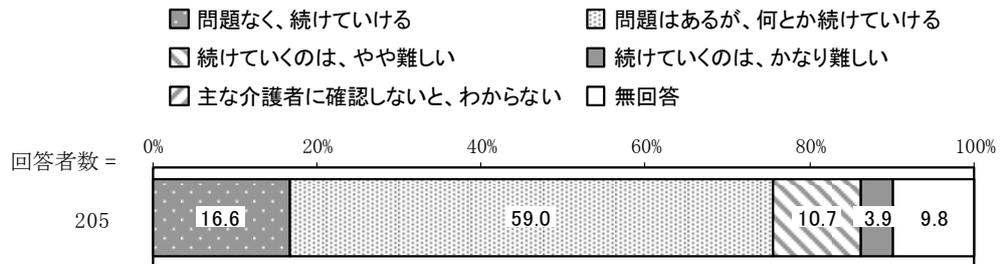


問 36 問 34 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

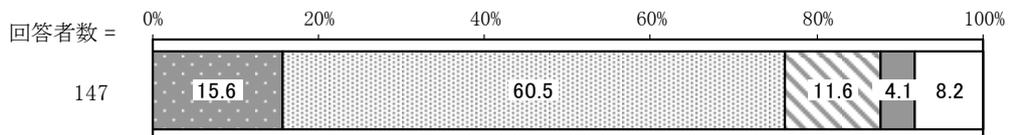
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (○はひとつ)

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 16.6%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が 10.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【平成 28 年度調査】

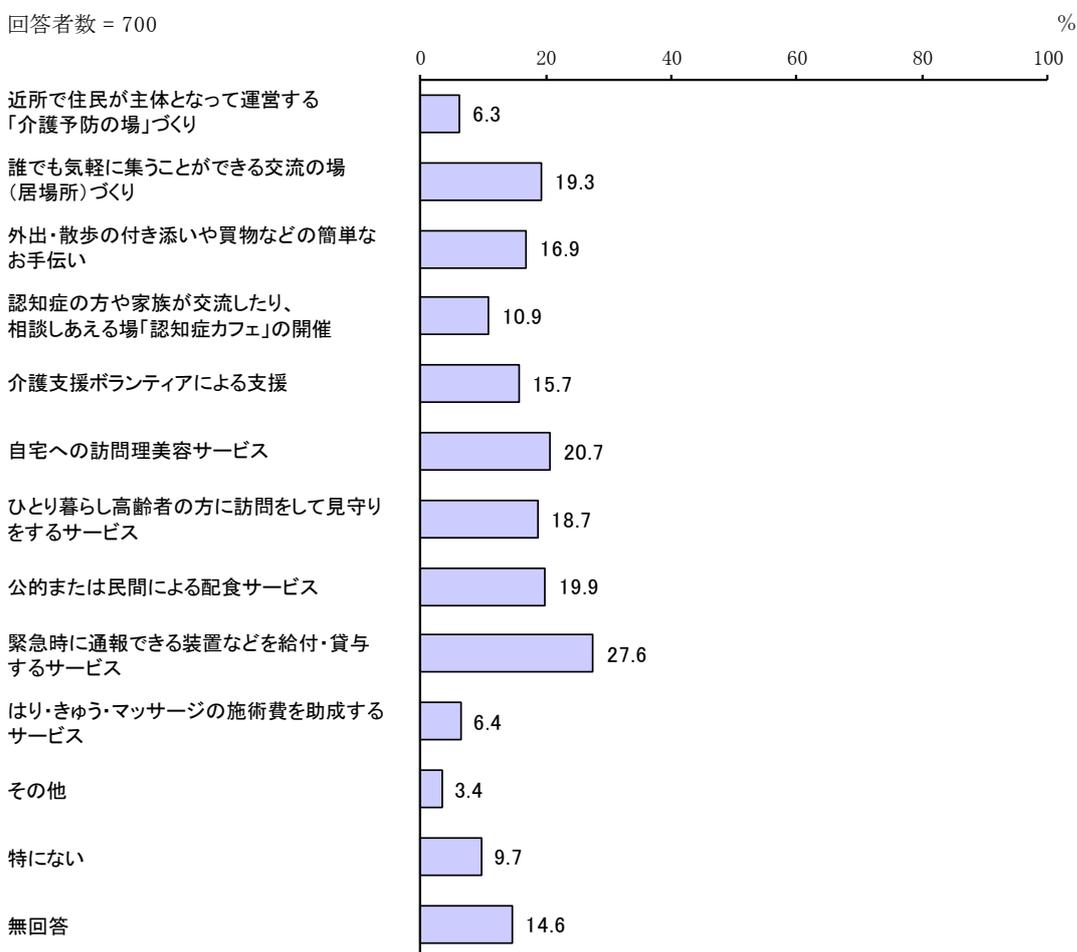


## (6) その他について

問 37 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービス（寝たきりなど介護が必要な状態になることの予防や自立した生活の支援）などについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか（〇は3つまで）

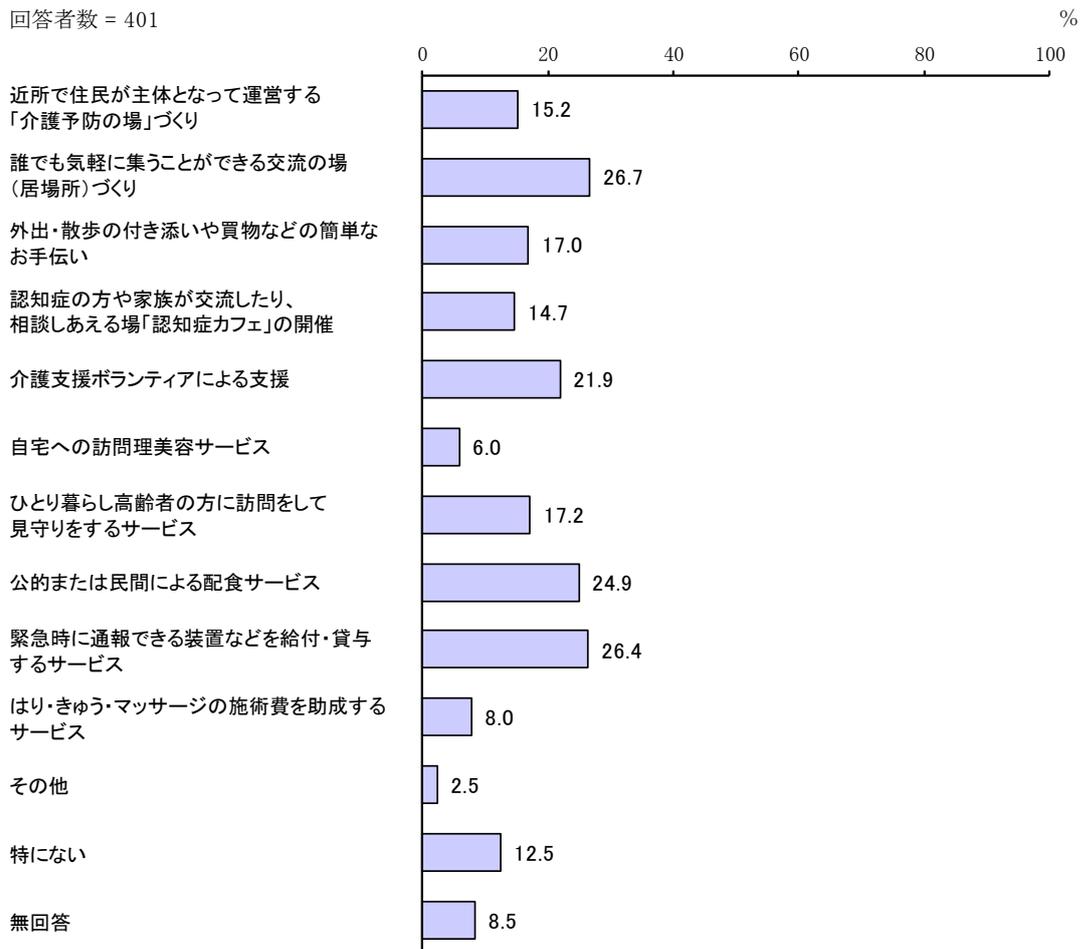
「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「自宅への訪問理美容サービス」の割合が 20.7%、「公的または民間による配食サービス」の割合が 19.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり」「誰でも気軽に集うことができる交流の場（居場所）づくり」「介護支援ボランティアによる支援」「公的または民間による配食サービス」の割合が減少し、「自宅への訪問理美容サービス」の割合が増加しています。



## 【平成 28 年度調査】

回答者数 = 401



【世帯類型別】

世帯類型別でみると、夫婦のみ世帯に比べ、単身世帯で「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」の割合が高くなっています。また、単身世帯に比べ、夫婦のみ世帯で「認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催」「自宅への訪問理美容サービス」「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり	誰でも気軽に集うことができる交流の場(居場所)づくり	外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い	認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催	介護支援ボランティアによる支援	自宅への訪問理美容サービス
単身世帯	113	7.1	18.6	17.7	5.3	17.7	15.0
夫婦のみ世帯	137	5.1	21.9	16.8	13.9	15.3	20.4
その他	393	6.9	18.8	17.3	11.5	15.8	22.6

区分	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特になし	無回答
単身世帯	32.7	14.2	22.1	8.8	1.8	8.0	17.7
夫婦のみ世帯	15.3	18.2	33.6	3.6	1.5	8.8	16.8
その他	16.5	21.4	29.3	7.4	5.1	9.9	10.4

【居住地区別、要介護度別】

居住地区別で見ると、他に比べ、山梨・宇刈で「誰でも気軽に集うことができる交流の場（居場所）づくり」の割合が高くなっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護2、要介護3で「自宅への訪問理美容サービス」「公的または民間による配食サービス」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

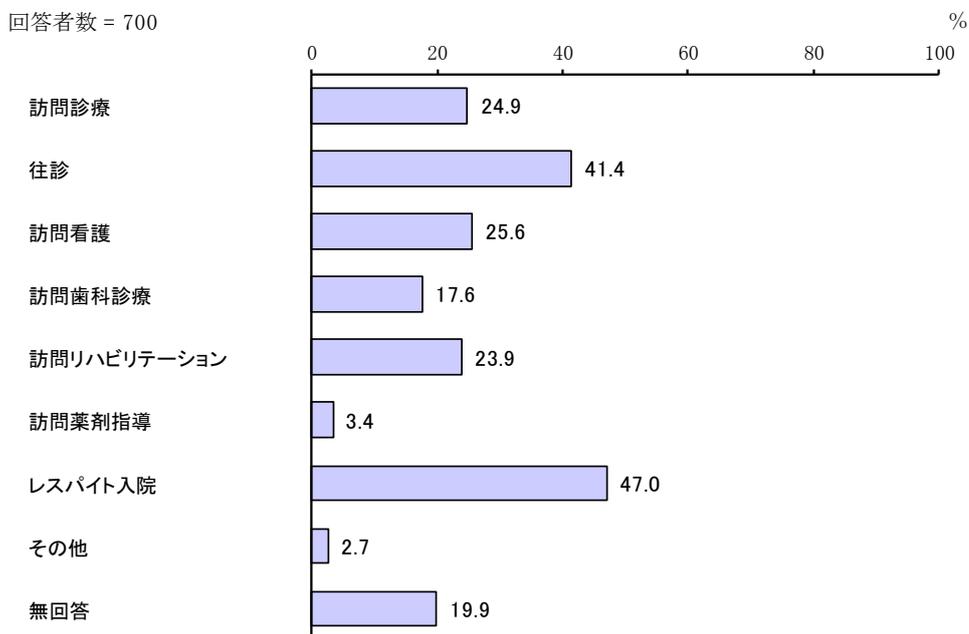
区分	回答者数 (件)	近所で住民が主体とな って運営する「介護 予防の場」づくり	誰でも気軽に集うこ とができる交流の場 (居場所)づくり	外出・散歩の付き添い や買物などの簡単な お手伝い	認知症の方や家族が 交流したり、相談しあ える場「認知症カフ エ」の開催	介護支援ボランティア による支援	自宅への訪問理美容 サービス	
全体	700 100.0	44 6.3	135 19.3	118 16.9	76 10.9	110 15.7	145 20.7	
居住地区別	袋井南	70 100.0	4 5.7	16 22.9	17 24.3	4 5.7	13 18.6	17 24.3
	豊沢	34 100.0	2 5.9	5 14.7	9 26.5	5 14.7	6 17.6	10 29.4
	高南	36 100.0	1 2.8	3 8.3	8 22.2	5 13.9	7 19.4	7 19.4
	袋井西	60 100.0	6 10.0	14 23.3	9 15.0	8 13.3	11 18.3	10 16.7
	袋井北	79 100.0	5 6.3	12 15.2	17 21.5	11 13.9	7 8.9	11 13.9
	袋井東	68 100.0	2 2.9	12 17.6	10 14.7	8 11.8	13 19.1	17 25.0
	今井	39 100.0	1 2.6	9 23.1	5 12.8	4 10.3	9 23.1	7 17.9
	三川	28 100.0	1 3.6	3 10.7	3 10.7	1 3.6	5 17.9	8 28.6
	笠原	38 100.0	1 2.6	5 13.2	6 15.8	1 2.6	2 5.3	7 18.4
	山梨・宇刈	95 100.0	8 8.4	28 29.5	12 12.6	12 12.6	9 9.5	21 22.1
	浅羽北	42 100.0	3 7.1	6 14.3	7 16.7	6 14.3	10 23.8	9 21.4
	浅羽西	20 100.0	3 15.0	5 25.0	3 15.0	1 5.0	4 20.0	4 20.0
	浅羽東	25 100.0	2 8.0	3 12.0	4 16.0	5 20.0	4 16.0	3 12.0
	浅羽南	50 100.0	4 8.0	11 22.0	7 14.0	5 10.0	7 14.0	11 22.0
	わからない	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	— —	1 12.5	2 25.0
要介護度別	要介護1	294 100.0	18 6.1	63 21.4	44 15.0	31 10.5	45 15.3	55 18.7
	要介護2	144 100.0	9 6.3	24 16.7	26 18.1	22 15.3	21 14.6	37 25.7
	要介護3	97 100.0	4 4.1	19 19.6	19 19.6	12 12.4	18 18.6	26 26.8
	要介護4	94 100.0	10 10.6	17 18.1	17 18.1	8 8.5	14 14.9	19 20.2
	要介護5	46 100.0	2 4.3	7 15.2	8 17.4	3 6.5	11 23.9	5 10.9
	わからない	7 100.0	1 14.3	3 42.9	— —	— —	— —	1 14.3

区分	ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス	その他	特にない	無回答	
全体	131 18.7	139 19.9	193 27.6	45 6.4	24 3.4	68 9.7	102 14.6	
居住地区別	袋井南	12 17.1	17 24.3	21 30.0	5 7.1	— —	6 8.6	9 12.9
	豊沢	7 20.6	9 26.5	13 38.2	3 8.8	1 2.9	1 2.9	2 5.9
	高南	7 19.4	10 27.8	8 22.2	3 8.3	1 2.8	1 2.8	9 25.0
	袋井西	15 25.0	10 16.7	16 26.7	6 10.0	3 5.0	7 11.7	7 11.7
	袋井北	16 20.3	17 21.5	27 34.2	4 5.1	5 6.3	9 11.4	9 11.4
	袋井東	10 14.7	16 23.5	16 23.5	2 2.9	2 2.9	7 10.3	13 19.1
	今井	8 20.5	12 30.8	10 25.6	4 10.3	1 2.6	2 5.1	5 12.8
	三川	7 25.0	6 21.4	10 35.7	— —	— —	4 14.3	3 10.7
	笠原	6 15.8	4 10.5	12 31.6	3 7.9	1 2.6	5 13.2	9 23.7
	山梨・宇刈	20 21.1	18 18.9	20 21.1	9 9.5	5 5.3	9 9.5	9 9.5
	浅羽北	5 11.9	4 9.5	10 23.8	2 4.8	2 4.8	3 7.1	6 14.3
	浅羽西	4 20.0	4 20.0	5 25.0	2 10.0	— —	4 20.0	2 10.0
	浅羽東	5 20.0	2 8.0	6 24.0	— —	— —	2 8.0	6 24.0
	浅羽南	7 14.0	7 14.0	17 34.0	1 2.0	2 4.0	6 12.0	8 16.0
	わからない	1 12.5	2 25.0	2 25.0	— —	— —	2 25.0	1 12.5
	要介護度別	要介護1	51 17.3	49 16.7	78 26.5	21 7.1	12 4.1	36 12.2
要介護2		29 20.1	36 25.0	44 30.6	7 4.9	4 2.8	10 6.9	17 11.8
要介護3		19 19.6	26 26.8	27 27.8	5 5.2	4 4.1	7 7.2	12 12.4
要介護4		19 20.2	21 22.3	23 24.5	8 8.5	1 1.1	7 7.4	20 21.3
要介護5		8 17.4	6 13.0	15 32.6	2 4.3	1 2.2	4 8.7	11 23.9
わからない		1 14.3	— —	2 28.6	1 14.3	— —	1 14.3	1 14.3

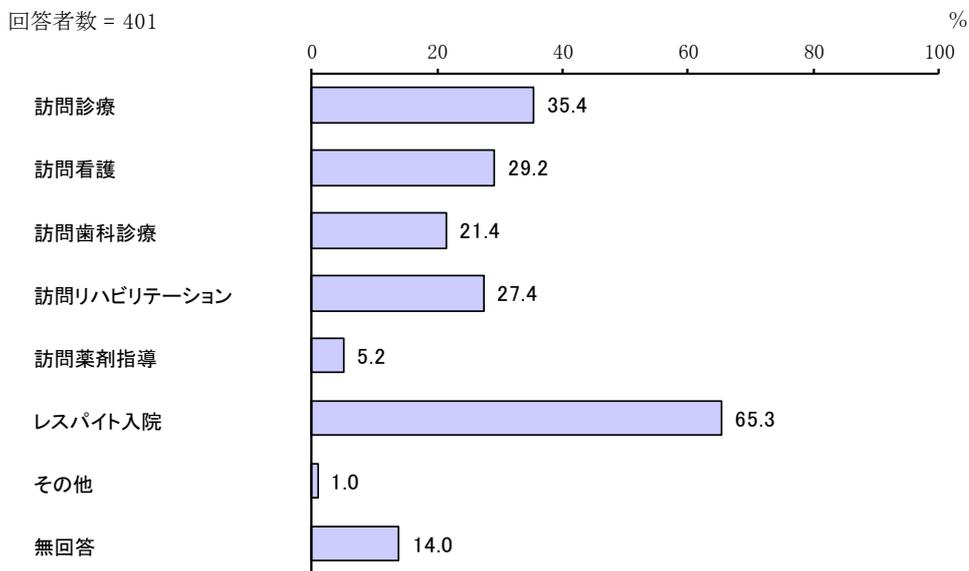
**問 38 あなたはどのような医療サービスの充実を望みますか（〇はいくつでも）**

「レスパイト入院」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「往診」の割合が 41.4%、「訪問看護」の割合が 25.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「訪問診療」「レスパイト入院」の割合が減少しています。



**【平成 28 年度調査】**



### 【年齢別、要介護度別】

年齢別でみると、他に比べ、75～79歳で「訪問リハビリテーション」の割合が、80～84歳で「往診」「訪問歯科診療」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2、要介護3で「レスパイト入院」の割合が、要介護5で「往診」「訪問看護」の割合が高くなっています。

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分		回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
全体		700 100.0	174 24.9	290 41.4	179 25.6	123 17.6	167 23.9	24 3.4	329 47.0	19 2.7	139 19.9
年齢別	65歳未満	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	— —	— —	— —	3 75.0	— —	1 25.0
	65～69歳	29 100.0	5 17.2	8 27.6	9 31.0	4 13.8	7 24.1	3 10.3	13 44.8	2 6.9	6 20.7
	70～74歳	50 100.0	10 20.0	17 34.0	10 20.0	2 4.0	14 28.0	1 2.0	18 36.0	1 2.0	12 24.0
	75～79歳	91 100.0	22 24.2	33 36.3	24 26.4	17 18.7	32 35.2	4 4.4	43 47.3	2 2.2	25 27.5
	80～84歳	136 100.0	36 26.5	63 46.3	34 25.0	36 26.5	33 24.3	5 3.7	67 49.3	5 3.7	17 12.5
	85～89歳	162 100.0	45 27.8	68 42.0	42 25.9	28 17.3	35 21.6	8 4.9	75 46.3	4 2.5	33 20.4
	90歳以上	226 100.0	54 23.9	98 43.4	59 26.1	35 15.5	46 20.4	3 1.3	109 48.2	5 2.2	44 19.5
要介護度別	要介護1	294 100.0	65 22.1	121 41.2	62 21.1	48 16.3	66 22.4	7 2.4	141 48.0	11 3.7	51 17.3
	要介護2	144 100.0	36 25.0	55 38.2	32 22.2	27 18.8	32 22.2	7 4.9	76 52.8	3 2.1	29 20.1
	要介護3	97 100.0	29 29.9	46 47.4	32 33.0	22 22.7	28 28.9	2 2.1	52 53.6	3 3.1	14 14.4
	要介護4	94 100.0	23 24.5	37 39.4	29 30.9	13 13.8	24 25.5	4 4.3	36 38.3	1 1.1	28 29.8
	要介護5	46 100.0	14 30.4	23 50.0	17 37.0	9 19.6	13 28.3	4 8.7	19 41.3	1 2.2	10 21.7
	わからない	7 100.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	— —	1 14.3	— —	2 28.6

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、笠原で「レスパイト入院」の割合が高くなっています。また、今井で「往診」の割合が高くなっています

単位：上段 実数（件）、下段 構成比（％）

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問 歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答	
全体	700 100.0	174 24.9	290 41.4	179 25.6	123 17.6	167 23.9	24 3.4	329 47.0	19 2.7	139 19.9	
居住地区別	袋井南	70 100.0	19 27.1	27 38.6	19 27.1	15 21.4	15 21.4	1 1.4	33 47.1	— —	17 24.3
	豊沢	34 100.0	11 32.4	15 44.1	14 41.2	6 17.6	11 32.4	1 2.9	14 41.2	1 2.9	4 11.8
	高南	36 100.0	8 22.2	16 44.4	9 25.0	9 25.0	11 30.6	1 2.8	18 50.0	1 2.8	8 22.2
	袋井西	60 100.0	19 31.7	27 45.0	17 28.3	11 18.3	17 28.3	3 5.0	28 46.7	3 5.0	8 13.3
	袋井北	79 100.0	22 27.8	36 45.6	21 26.6	17 21.5	18 22.8	3 3.8	42 53.2	1 1.3	9 11.4
	袋井東	68 100.0	16 23.5	23 33.8	22 32.4	8 11.8	15 22.1	2 2.9	27 39.7	1 1.5	18 26.5
	今井	39 100.0	14 35.9	22 56.4	11 28.2	5 12.8	7 17.9	2 5.1	20 51.3	— —	7 17.9
	三川	28 100.0	4 14.3	10 35.7	7 25.0	6 21.4	6 21.4	2 7.1	12 42.9	1 3.6	5 17.9
	笠原	38 100.0	5 13.2	13 34.2	5 13.2	5 13.2	7 18.4	— —	23 60.5	1 2.6	9 23.7
	山梨・宇刈	95 100.0	21 22.1	41 43.2	19 20.0	16 16.8	25 26.3	3 3.2	44 46.3	5 5.3	19 20.0
	浅羽北	42 100.0	9 21.4	16 38.1	8 19.0	2 4.8	8 19.0	— —	18 42.9	3 7.1	9 21.4
	浅羽西	20 100.0	7 35.0	10 50.0	7 35.0	7 35.0	9 45.0	2 10.0	9 45.0	1 5.0	3 15.0
	浅羽東	25 100.0	5 20.0	9 36.0	4 16.0	7 28.0	5 20.0	1 4.0	12 48.0	— —	6 24.0
	浅羽南	50 100.0	11 22.0	20 40.0	10 20.0	5 10.0	9 18.0	1 2.0	22 44.0	1 2.0	10 20.0
わからない	8 100.0	3 37.5	3 37.5	4 50.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	5 62.5	— —	2 25.0	

### Ⅲ 今後に向けての課題

#### 1 家族構成とライフスタイルの課題

##### ○ 老々介護への支援について

家族構成について、「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」を合わせた老々介護となる可能性の高い世帯は一般高齢者で 47.9%、要支援認定者で 43.5%と半数近くとなっている状況のなかで、「病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は一般高齢者で「配偶者」が 64.1%と最も高く、反対に「看病や世話をしてあげる人」では「配偶者」が 66.2%となっており、老々介護が顕在化しているため、介護を原因とする虐待防止などレスパイトとしての適正な介護サービスの利用や相談など家族介護への支援の充実が必要です。

##### ○ 家族介護への支援について

介護・介助が必要となった主な原因としては、「高齢による衰弱」が事業対象者で 36.4%、要支援認定者で 29.4%と最も高くなっています。また、生活習慣病をみると「脳卒中（脳内出血・脳梗塞等）」が事業対象者で 18.2%、要支援認定者で 13.1%、「心臓病」が事業対象者で 18.2%、要支援認定者で 15.5%、「がん（悪性新生物）」が事業対象者で 9.1%、要支援認定者で 5.5%、「糖尿病」が事業対象者で 9.1%、要支援認定者で 11.1%となっており、生活習慣病予防が介護予防にも影響が大きいと考えられ、高齢者の加入率が高い国民健康保険における特定健康診査や特定保健指導などと連携強化を図り、生活習慣病予防から介護予防へとアプローチする仕組みが必要です。

##### ○ 外出支援について

外出について、「ほとんど外出しない」の割合は、一般高齢者で 5.5%、事業対象者で 13.6%、要支援認定者で 20.1%となっています。

また、転倒に対する不安について、「とても不安である」の割合は、一般高齢者で 12.2%、事業対象者で 40.9%、要支援認定者で 59.5%となっています。昨年と比べて外出の頻度が「とても減っている」と「減っている」をあわせて割合は、一般高齢者で 19.4%、事業対象者で 59.1%、要支援認定者で 60.7%となっており、ロコモティブシンドローム対策として運動器の機能回復など介護予防教室の周知啓発、参加促進が必要です。

#### 2 高齢者の生きがいくりの課題

趣味関係のグループへの参加状況をみると、一般高齢者で 30.7%、事業対象者で 13.7%、要支援認定者で 10.9%となっています。

一方、「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加してみたいと思いますか」について「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた「参加意向のある人」は、一般高齢者で 51.1%、事業対象者で 59.1%、要支援認定者で 26.4%と参加状況よりも多くの高齢者が参加希望を持っており、特に「友人や知人と過ごすとき」に生きがいを感じる高齢者が5割以上と多いことから、高齢者が気軽に集える場づくりや地域で行われているグループ活動の情報提供を行っていく必要があります。

### 3 人との関わりあいの課題

要介護認定者では心配ごとや悩みごとを聞いてもらう相手を見ると、「子（子の配偶者を含む）」が50.4%、「夫または妻（内縁を含む）」が28.4%、「その他の家族・親族」が27.7%となっており、家族や友人以外で相談する相手としては、「ケアマネジャー」が28.7%、「介護事業所の職員」が16.6%、「病院や診療所の医師など」が10.4%となっています。

身近な地域での相談窓口として地域包括支援センターが役割を担っていますが3.9%となっており、ケアマネジャーや医療機関等を通じて高齢者の相談窓口として地域包括支援センターへつないでもらうような連携体制が必要です。

### 4 ボランティアなどへの参加の課題

介護支援ボランティアを知っている一般高齢者は25.8%で、「登録し、活動をしている」が4.6%となっています。

一方、介護保険制度における介護サービス以外で約2割の高齢者が「介護支援ボランティアによる、在宅・施設での生活上のちょっとした支援が望まれています。また、「外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い」「ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス」などの充実も求められていることから、ボランティアの養成講座の内容や養成講座修了後の活躍の場へのアプローチまで一体的な支援が必要です。

### 5 生活機能評価からみる課題

#### ○ 後期高齢者における生活機能低下の課題

生活機能評価を一般高齢者でみると、運動器、閉じこもり、転倒、口腔、認知機能については、75歳以上となるとリスク該当者の全体平均を上回る傾向にあり、60歳代では仕事をしている人も多く、現役世代に近い生活をしていることから、介護予防に対する危機意識は低いと考えられます。

介護予防については、70歳代で積極的に介入することが重要であり、健康について知りたいこととして、「認知症の予防について」は一般高齢者で51.0%、事業対象者で50.0%、要支援認定者で48.6%と高くなっています。認知症予防の取り組みについては、運動や口腔ケアとの一体的な提供や、70歳の節目に介護予防教室への案内をするなど、早期介入が出来る仕組みが必要です。

#### ○ 日常生活での機能低下の課題

手段的自立度（IADL）において、一般高齢者の男性では、リスク該当者の割合が全体平均より割合が高くなっています。男性が参加しやすい介護予防教室や地域でのサロン活動など男性に特化した取り組みが必要です。

## IV 自由意見

### 1 一般

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 福祉全般について	1
2. 介護保険制度について	36
3. 生活環境について	3
4. 公共交通機関、外出支援について	30
5. 経済的状況について	9
6. 広報、相談窓口について	24
7. 健康づくり、予防について	23
8. 自立自助（生きがい、楽しみ）について	1
9. 地域活動について	2
10. 医療について	15
11. 施設サービス、介護保険サービス（介護老人福祉（特養）、介護老人保健、介護医療型医療）について	13
12. 介護サービス（介護保険によるものを除く）について	2
13. 居宅サービスについて	1
14. 介護者が抱える問題（老々介護等）	17
15. 今後の不安について	6
16. アンケートについて	6
17. 行政について	19
18. その他	47

## 1 福祉全般

- ・ 介護3になると施設に順番まちで入れるというのが、その間のケアが大変だと思われます。現実をみつめて介護する側、される側の勉強も必要と思う。良い案はどしどしアピールしたりしてほしいです。宜しくお願いします。

## 2 介護保険制度

- ・ 国保税や介護保険料が高すぎるため、生活が苦しい。
- ・ 健常者のように見える人が両サービスを受けているのではないかと考えたこともある。本当に必要な人には両サービスをすることは良いことだが、それらを判定する人が私情をもって行っているのは保険料負担が伸びるのみだと考えています。
- ・ 今の所別がない。あまり期待もしていない。介護保険の分は必ずサービスを受けられるようにしてほしい。
- ・ 介護認定が厳しくなっているようです。老々介護がますます増えています。5080問題ではなく6090、下手をすれば70100になりつつあります。市としてはこの状態から、福祉サービスをどうかもっと考慮してほしいと思います。
- ・ 介護保険が袋井市は高額です。(数年前まで)今は分かりませんが安易に利用しているようにも見えます。本当に必要な方は認定すべきですが、友だち感覚で利用されているのはいかがなものでしょうか。
- ・ 要介護者の年金のみで介護サービスを受けられる制度。
- ・ 介護保険について義母が96歳で亡くなりましたが、健康でいてくれたのでほとんど介護保険サービスを利用しないで自宅ですごすことができました。しかし保険料は高くそれを利用する人、しない人との不公平さを感じました。必要以上に介護サービス(家族が必要でないものを受けとり本人(介護者)の名前で)を受けている人を見かけ、少し不愉快でした。介護サービスを利用しない健康な老人に対して何らかの賞などいただけると96歳の義母も喜んだであろうと考えます。
- ・ サービスを受ける人の所得により金額の増減をしてほしい。
- ・ 介護サービスを受ける対象者が増加していると思いますが、その時になった時、行政のバックアップ力が心配である。
- ・ 金が大変な時がくると思います。子どもも少ないので大変だと思います。年をとると子どもに見てもらえることが出来ないと思います。介護保険サービスなるべく家で見るようにして行くしかないから。
- ・ 今後介護保険料など、上がって行くのだと思いますが、年金だけだと夫婦で23~24万円程度。これからの生活がやっていけるのか心配な所が有ります。また、三川地区は交通の便がとても悪く、運転免許を返納した場合、生活が出来ないと思います。
- ・ 介護保険などのことはよくわかりません。
- ・ 介護福祉のサービスはいずれお願いいたします。しかし、できるだけ自立してまた手を必要とするときもできるだけ家族に頼みたいと思います。安易なサービスの利用はひいては社会の大きな負担になると思います。なんでも社会がしてくれて当たり前という考えにはなれません。しかし、お世話にならないとも決して言えません。
- ・ 自宅介護で過ごせる間は自宅介護で過ごしたい。本来、老人介護はお互いに感謝の意を込めて行うのが人情であり、やがて家風となり伝統となる。今、介護保険の影響で介護事業は一大産業と化し、各家庭の老人は孫の保育作業を奪われ、孫娘は婚期が遅れ、子どもは減少し、未婚者は増加、少子化を奨励している。
- ・ 介護保険サービスや福祉サービスを受ける人々は、常に不安なことや、申し訳ないと思いつつも受けている方も多いと思います。サービスをしてくださるみなさんも、大変なことが数多くあると思います。それぞれがお互いに気を遣いすぎることが無いように安心してサービスをする、受ける、ということをもっと根づかせることが望ましいと思います。

- ・ 親とかと同居の家は何度も介護サービスを受けていると思いますが、我が家のように核家族の家はまだ一度もサービスを受けていないのに、主人の分は仕方ないとしても、私の介護保険料も高いのは納得いきません。近所の方は週5のデイサービスを受けています。ずっとこのサービスは続きますか。
- ・ 介護保険料が高額なので、年金収入しかない高齢者には（健康成人）負担が多すぎるので、軽減処置が必要だと感じます。公的補助をお願いしたいです。
- ・ 介護保険サービスを利用している方は充実を望むと思いますが、私のように年金生活者は保険料負担が増えることは生活にも支障をきたします。高齢者自身、介護のお世話にならないよう、健康に注意する努力も必要と思います。私はサービスの世話にならないようがんばって生活していきたいと思っています。
- ・ 国民年金のみで生活している人からの介護保険料が高額すぎる。生活がとても苦しい。
- ・ 介護保険サービスや保健福祉サービスを受ける場合の手順は、市役所に問い合わせればよいのですか。現在、妻は昨年4月より入院生活を現在もしておりますが、在宅介護をしていないことで、在宅介護支援金支給却下されました。現在、病院に入院しておりますが、入院費用も大変なので、介護支援をお願い致します。
- ・ 介護サービスを受けていなくても、保険料が増えていくのが疑問です。年金は減るし生活が苦しくなる一方です。
- ・ 年金生活者にとって高額な介護保険料の支払いは生活をおびやかす。介護保険の世話にならないようにと、自分で努力し、身体技能を高め、健康に配慮している人と、介護保険を納めているから使わなければつまらないという人の意識、認識、自覚の差をどうしてくれるか。介護保険は焼け石に水、支払う介護保険料に将来が不安。
- ・ 介護保険料が高くて大変です。年金だけではやっていけません。
- ・ 介護保険の制度が複雑で理解できない。
- ・ 収入の少ない高齢者から介護保険料を取るのではなく、市、県、国が税から捻出して高齢者の負担をなくすように努力してほしい。
- ・ 介護保険サービスを受ける人から介護保険料も支払うと聞きましたがやめてほしい。
- ・ 介護保険料が高くなり過ぎました。軽度の方の利用（デイサービス、ショートステイを含め）は自己負担額をあげて払える人は払う仕組みが求められます。かなり余裕がある方も月数千円でデイサービス利用など払っている側としては不満が生じますね。軽度の負担をあげて、サービス過剰にならない仕組みが必要と思います。老人大国の社会で子育て家庭は食事も充分お金をかけられない現実があります。
- ・ 認知症対策。先日磐田市で痴呆症の事故に対して市が保険金を支払う制度を4月から実施するというニュースが流れたが、袋井市でも同様のサービスを実施した方がよい。
- ・ 少ない年金からの介護保険をもう少し安くしてほしい。
- ・ 70歳になり、今後は介護保険、保健福祉サービスについては真剣に考え、取り組む必要があると思っています。
- ・ 今は元気で何でもしていますが、年と共にお世話になることと思います。介護保険のことや保健福祉のことを勉強しなければと思っています。
- ・ 年金から介護保険を引かれ介護のために、また保険料額が増大は困る。
- ・ 介護保険料が高く引かれているがどのように使われているかが不明。
- ・ どのような時に使うことができるのかが不明など有効に使われていない感がありもっと市民に理解できる説明が必要。
- ・ 介護保険料は年金受給者に負担が多い。もう少し減額して頂けるとありがたい。
- ・ 今も市担当の方々が試行錯誤しながら努力していただいていることと思います。さらに、介護保険サービスの利用者を減少させるための施策に力を入れていただきたいです。元気な高齢者作りを。合わせて、高齢者の意識改革（精神面、生活面での自立）も大切と考えます。他県でうまく循環している取り組みなども参考にすることも良いと思います。

### 3 生活環境

- ・ 現在は自分で何でもできているが、今年は 80 歳になるので、手すりをつけたり、入り口をスロープにしたり、自分で動くことができるように準備したいと思いますが、相談する窓口はありますか。
- ・ 愛野公園内を散歩しているが雨天になると通路に水が溜まり歩行できないか所が何日も続くので、管理者が実際に歩いて点検されることを望む。
- ・ 道路を通るとあちこちで工事が行われています。水道工事を見るたびに台風 19 号、その時 3 日間電気が止まりました。冷蔵庫の食材の管理に苦労しました。もしもあの時水道が止まっていたらどうなっていたでしょう。オール電化でなくガスで煮炊きができました。水道の老朽化が問題になっています。インフラ整備があちこちで必要になっています。

### 4 公共交通機関、外出支援

- ・ 現在公共交通がない状況で、今後、車の運転が出来なくなった場合のことを考えると不安がある。
- ・ 浅羽南地区はメローバスも廃止になり（その過程は不明ですが）もっと高齢になり車が運転できなくなった時の不安があります。陸の孤島となった浅羽南地区は、いつかは利便性あるところに転居しなければ、いけないのかなと考えています。
- ・ 老人の会合に行く体操やボケの話が多いのに、介護サービスについての話は少ない。駅南にどんな店ができるか早く知りたい。高南地区は車の運転ができない老人には買い物に不便な所です。どうにかありませんか。
- ・ 公共交通手段が何より困っている。
- ・ 1 日午前、午後 2 回くらいゆっくり廻ってくれる中型のバスを。町中を入古～上町中町。自転車に乗れなく、歩くのも大変な人が利用できるどこでも手を上げて乗り降りできる、そんなバスが今一番の望みです。買い物病院等フーちゃん号の利用は一切できません。あれは考え方を今一度してほしいです。なるべく早く。
- ・ 自動車。
- ・ 免許返納して大変不便です。
- ・ フーちゃん号、行く時間は大変助かります。病院の帰りには乗車時間が少なく、少し考えてもらいたい。帰りはいつもタクシーです。
- ・ メローバスの利用がしにくい。土・日・祭日が休みで本数が少ない。
- ・ 堀越上に住んでいますが、森街道にバスが通っていないため、これから先とても困ります。ぜひ森街道にもバスを通してほしい。とても不安です。
- ・ 交通の面の要望ですが、今、デマンドタクシーは、土日祝利用できず、午後の回数も少なく、帰りは用事時間予定もつかず、ほとんど市タクシー利用、不便だと思う。友だちにデマンドタクシー利用を聞いてみると、孫、嫁さんに小遣いをやって車で行ってもらう。面倒だから利用しない。例えば、掛川駅から小型バス（北、南廻り）が巡回、時々用事がかねて利用する（満席に近い）のがよいと思う。とにかく移動手段がないと外出できず、楽しみもなくなる。何とかなるとよいけれど、気が重い。
- ・ 市内のバスがもう少し本数があると便利です。
- ・ 一人で暮らしていると、夜何事もなければよいですが、病気が起きた時が心配です。交通の便がすごく悪いので、買い物に出にくいです。
- ・ 今現在元気になっているので、自分のやるべきことは自分でやっていますが、老いてくれば運転免許の返納も考えなければなりません。現在地域運行バス等、通してもらえないかと思っています。老人家族が増えていくので切にお願いします。
- ・ 免許返納した場合、メリット（乗り物チケット）2,000 円くらい。予算があると思いますが、他県では支給している市町村がありますが、どうでしょうか。

- ・ 運転免許証を返納した後、バス停まで遠く、近くに店がない人がどのように買い物、病院等へ行けばよいかということ。色々な役目が多すぎる。簡単に年寄りができないことが多いので、若い世帯に負担がかかり、それが若者の田舎離れになることがあるので、その点を考えてほしい。
- ・ 現在は運転をしているが、近くに公共のバスの停留所がないので、地域共同運行バスの運行を検討してほしい。
- ・ 高齢の世帯ですが、今はそれぞれ自分で移動ができるし、通院等もこなしていますが、免許証を返納し、どちらかが移動が困難になった時の支援等を要望するために日頃からの関係機関の見守り支援をお願いしたいです。
- ・ 現在、移動手段として自家用車利用の人が多と思います。
- ・ 免許証返納後は、移動手段が少なく限られる。東浅羽地区は公共交通機関（民間バス等）がなく、今後外出（病院への通院、買い物等）にも支障が出て困ることが予想される。
- ・ 今後、1人でも生活できる移動手段（なるべく多く）の確保をお願いしたい。
- ・ 総合健康センター、体育館、コミュニティセンターのすべてが遠く、自分の足ではどこにも行けません。近くで行って行動できる所があるといいと思います。
- ・ 一部の人の活動する場ではないと思います。
- ・ 車の免許証を返納したならば、タクシー券かバスの回数券等を出してほしい。
- ・ 現在は自家用車で出かけていますが、今後返納したら地域運行バスの運行時間を多くしていただくことを望みます。総合病院方面。
- ・ 乗り物も乗れないので医者にもなかなか通われなく我慢している。
- ・ 腰の痛みがあり諦めています。
- ・ フーちゃん号が出なくなったのでとても困っている。週に1、2日くらいの相乗りで良いのでマイクロバスみたいなものをお願い致します。
- ・ 袋井市内全体を回るフーちゃん号を増やしてほしい。
- ・ 先日、袋井駅前どうしても行く用事ができ、バスを利用して思い切って一人で出かけた時、帰りに寒く、喉の渇きとバスのそばを離れられない時、目の前に年寄りのお手洗いなどを見て、どうぞを思い切って声をかけると、気兼ねなく貸してもらい、まごまごしている私に色々教えてくださいました。温かいお茶をいただき張り詰めていた私は、ほっと救われた。働いている人は、65歳以上85歳が和気あいあい、バスも間違いなく乗ることができ、勇気を出して、外出して本当に良かった。ありがとう。お茶の温かみ忘れません。私も足が良くなったら、こんなお手伝いができたらと思います。こんなところがあつたらとしみじみ思います。

## 5 経済的状況

- ・ 年を重ねると耳が遠くなり、補聴器が必要になります。補聴器が非常に高価ですので補助金を出していただくことが出来ますことを要望致します。
- ・ サービスが充実することが望ましいですが、個人（市民）に負担が掛かるようでは、高齢者社会は望ましくない。豊かな生活とかは、今一度、各先代別に考える必要あり。
- ・ 介護サービスを受けているが、保険料を取るのはつらい。年金で（少ない）生活していると大変で病院へ行くもの考える生活です。
- ・ 介護の件、大変よいことばかりですがお金の件がどのくらいというのが私の一番の心配です。とにかく人に迷惑をかけないように、自分のことは自分でを心がけて、地区のみんなで体操を一生懸命やっています。
- ・ 年金が少ないからわからない。
- ・ 負担金が多い。

- ・ 現在は、病気は色々もっているが、体の動きは十分可能なので、仕事もできるが、現職場は75歳になると、3か月ごとの契約になり、いつ解雇されるかわからない。現在71歳で会社からは短期の話も出てきている。先行きが不安です。年金のみでは最低の生活もかなわず、税などはきっちり取られる（天引き）。動けなくなったら死を考えるしかないと思う。みんなに迷惑を掛けないために。
- ・ 78歳に近いですが、市から8万あれば生活できるとはっきり言われた。市の窓口に行ったことがあり、これ以上市と話し合っても無駄だと思った。私、約40年前にすい臓がんとなり、何を食しても、これ以上50キロから太ることはないと言われ、骨粗しょう症と言われ、骨の注射を1年続けなければダメと言われ、月1回5,200円を受けている。市に対して頼りたくない。寝たきりになるくらいなら、死を選ぶ。
- ・ 私のように年金が少ない人は介護保険料が負担です。

## 6 広報、相談窓口

- ・ 定期的に情報を流してほしい。
- ・ 介護支援担当者は介護される者の立場に立って、接してもらいたいものです。今迄2回介護支援担当が来宅しましたが、事務的（形式的）な感じがして良い感じ（不快）がしませんでした。
- ・ 被災時に、復旧対策ができる相談窓口（業者の紹介、費用援助等）精神的な助言やはげまし担当者。
- ・ なるべくお世話にはならないように思っておりますが。
- ・ 何時どんなことがあるかは分かりません。その時は介護保険サービスなり、福祉サービスなり御厄介になると思いますのでよろしくお願い致します。
- ・ 誰にでもわかりやすいサービスの提供を望みます。
- ・ サービス事態を良く知らないため詳しく教えてほしいです。保険料だけ請求され、サービスの内容がわからず料金を支払っている状態です。もっと詳しく教えてください。市役所の方へ。どのように保険を使用できるか。料金はどれくらい掛かるのか詳しく教えてください。
- ・ 高齢者であります。生まれた時から誰かに生活補助をしてもらわないと生活出来ないため、近隣の親せき等の力を借りて、本人を長年支えています。今まで自由に生きていて、世間の常識が通じない所もあります。身内以外の言葉なら素直に受け入れると思いますので、デイサービスとか、他のサービス等で少しは人間、大人らしく教育をしてもらえれば介護している方も心が休まります。介護している方への相談とかできる場所がありましたら御紹介下さると助かります。
- ・ 申し込みをしたら一日も早くサービスを受けさせてください。集計の結果を広報で知らせてください。
- ・ 家庭内にサービスを受けたいと思っている方がいる場合、早めに見つけてくださり相談をかけたくださるとありがたいです。以前、母が相談を受けたいと思っている時、民生委員の方が見守ってくださると思っていました。1年経っても2年経っても一度も顔を出さず、また、話しかけてくださらず、何のための役だったかとがっかりしました。見守り隊が必要です。
- ・ 私は2020年1月20日から足が動かなくなり、整形外科に通っているが、ぜんぜん進歩がなく、リハビリも行っているが変わりがないため、どのようなサービスを取ったらよいかわからない。
- ・ 介護の情報、地域の居場所の情報。
- ・ アンケートを答えてみてはじめてわかりましたが、市等が行っている色々な行政や福祉サービス等をいかに知らないか反省するとともに、市民に対して広告不足ではないかと思いました。
- ・ 現在はサービスを必要としないけれども、今後、必要と感じるようになった場合、どこに、どのように相談してよいかわからない。また、相談をする場合、マニュアル通りの対応をされるのではなく、傾聴の素養が少しでも持っていたらと思います。
- ・ 今は自分のことはなんとかできます。合唱教室、静岡でんでん体操にも行っていますが、ついていけなくなればデイサービスです。デイサービスに入る場合どうすればよいか教えてください。お願い致します。

- ・ 免許を返納した場合のことを詳しく教えてください。
- ・ 総合事業について、全く知りませんでした。必要がなかったからだと思いますが、もう少しPRして、知らせてほしいです。わかりやすいネーミングをつけてください。
- ・ は一とふるプラザは仕事で管内へ入ることはありますが、どんな場所かは、あまりよく分かっていません。(拠点内容のこと)。
- ・ 聖隷袋井市民病院は袋井の市民病院それとも聖隷病院どちらなのですか。わかりにくいです。(経営はどちらですか。)
- ・ 願する時、どのような手続きが必要なのか知りたいです。
- ・ 把握しきれていない情報が多々あることに気づきました。今後、広報などでアンテナを高くするようしなければと感じました。今後とも情報発信よろしく願います。
- ・ 今、同居人にサービスを受けている人はいません。高齢の父母が施設に入所したりしています。病気などで入院手術など受けて、金額の上でも色々サービスを受けました。助かった面も多くありました。高齢になった時、どんなサービスを受けられるのか、若い時から知っていることがよいと思います。自分たちの税金がどれほどに役に立っているか、また、自分がどれほど将来そのお世話になるかもしれないことを知っている方が税金を納める上で納得がいくと思う。身近に高齢の人がいて、病院入院手術、また介護を直面しないと分からないことも多いように思う。興味を持った人だけでなく、常にそういうことがわかる、身近に感じるという方法がよいと思います。
- ・ 格安な料金で施設の整った人情身のある所を紹介してほしい

## 7 健康づくり、予防

- ・ 私は合唱会に入っており、とても元気でおります。
- ・ 認知症に良い勉強になります。
- ・ 介護予防のサロンなどに男性高齢者の参加が少ないと思われる。
- ・ 私自身元気で健康でありますのでありがたく思っています。
- ・ 健康診断を毎年やってほしい。今年度は希望者だけのようなので一々面倒である。問い合わせなどしないといけないので。
- ・ 会社勤めしている時から、人間ドックを50回以上受けていましたが、75歳になったら、市からの補助がありません。これからが健康について心配な年齢なのに補助が減額になるのはおかしいでしょう。市の検診は意味がない、細かい検査がない、再検討してもらいたい。
- ・ ボケないよう、歩けなくならないよう気をつけているが、1年1年老いを感じる。決して長生きしたいとは思っていない。他人に迷惑かけるようになったら安楽死でもよい。
- ・ 毎日朝9時より全国ネットで無線通信(4,630MHz) モールス信号による非常通信の練習を行っています。毎月2回老人ホームに書道教室を開き、ボランティア活動を行っています。自分の健康を幸と思ひ暮らしています。
- ・ でんでん体操に市も協力し、介護保険料を下げる。これだけでんでん体操が行われているのだから、これ一本に市も協力態勢を整えた方がよい。
- ・ 80歳前後のお年寄りが日中一人で過ごすことが多いです。物忘れ等から始まり、認知症になれる人が多いです。なるべく人とまじりあい、話をするのが予防だと思います。朝・夕顔を合わせる家族には気付くことが遅いです。気付いた人が、知らせる場所をつくってほしいと思います。軽いうちに、デイサービスのようなどころに行けたら、認知症も進むのが遅くなると思います。ご近所での集まり、サークルなど、とてもよいことだと思います。
- ・ 現在68歳、今の所健康ですので、介護、福祉サービスの件は考えていません。身近に居る人たちも元気ですので。
- ・ 老人向けの各サービスが短年になるよう、普段の日常生活に配慮したい。
- ・ 介護が必要にならないように自主的に予防する習慣をつけることを啓発する施策を充実していただきたい。

- ・今のところ、健康状態を維持して、お世話になっていないため、わかりません。
- ・まず健康。自分でできることは人に頼らず、自分の体で頭と体力を使うように心がけています。足や腰のストレッチも忘れずに、毎日の訓練だと椅子や布団の上で続けます。食事はおいしく医者いらず、薬いらずに過ごせたらありがたいです。
- ・今のところ、健康でするので考えていない。
- ・現在は健康ですが、少しでも介護サービスを受けることが少なく、また、受けないように、元気で自分のことは自分でできるよう努力したいと思います。
- ・山名コミセンで、ふくろい健康保健室が栄養指導をしてくださるようで、今まで、なかなか日程が思うようにならず、行けませんでしたが、行ける時はぜひご指導いただきたいと思っています。今は発表会を控え、お電話もできない状態ですが、栄養指導をお願いしたいと思っています。またよろしくお願いします。
- ・健康に注意していても高齢になっていくので、困って相談する必要の前に、自分で確かめておいて、先のことを準備できるうちに、今のうちからやりたいと思います。
- ・市役所の方から、全戸にパンフレットなどで、高齢者に早くから呼びかけていただけると嬉しいです。自立は1日も長くしたい。
- ・近所の友だちと伝々体操、グランドゴルフ等、元気に楽しくやっています。迷惑をかけないように元気に過ごしていきたいです。
- ・今現在は健康ですが、年々体も弱くなっていくと思います。その時には、色々なサービスを利用して頑張りたいと思っています。
- ・人の世話にはどうしてもなりたくないで、毎日自分で健康でいられるように努力しています。自分事ですが、もう人の世話をするのも、されるのももういやです。(20代、後半から30代40代、24年間、世話(親)苦労しましたので)。

## 8 自立自助 生きがい、楽しみ

- ・身体が動く限りは、その人の体力に見合った働く場(生きがいを体感する場)が提供され、社会環境として成立されていることが大切。例えば、遊休地を使用した野菜農園を整備し、誰もが、好きな時間働いて、それなりの給料を受け取れるような仕組みづくりを考えたらどうだろうか。グランドゴルフに興じている元気な多くの老人を見ていると、もうひとつ生産の喜びを味わえる場所の提供が必要と感じます。

## 9 地域活動。

- ・今現在普通に日々過ごしていますが、何かがおこれば、それに対して対応できるよう、身近の人たちと仲よく声を掛け合い、お互いに話し合えるよう努力しています。野菜、お花など、お裾分けをして歩き、話しかけをするようにしています。
- ・色々なサービスをお年寄りのために、増やして頂きたい。民生委員の活動のし方を見直してほしい。困った家族をより多く回って見て頂きたい。

## 10 医療

- ・とにかく、あまりにも病院にかかり、薬を飲む人が多い。医者もあまり薬を出さないでほしい。しかし、私も80歳を迎え、あちこち悪くなり、私のような考えでは早くおむかえが来るのではと心配ではある。
- ・私は73歳です。12月の初めにインフルエンザ予防接種を受けたくて、色んな病院に電話をしました。「かかりつけの人でないと当院では接種できません」と断られました。
- ・どんな人でも希望すれば接種できる病院を市で教えてほしいのです。
- ・今年度はあきらめました。来年度は、ぜひどこの病院で、かかりつけでなくても接種できるか教えてください。
- ・安楽死が認められるよう希望します。

- ・ がん検診について。最近新聞等で、線虫エレガンス（体長/mm）で15種類のがんを発見。また、エレガンスは尿1ccでよいという。エレガンスで検診すれば、ステージ1で85パーセント発見、検診代金も9,800円とテレビで放送していました。袋井市も早く導入してほしい。
- ・ 緊急時の患者の輸送について。心疾患で浜松の病院で治療していたが、体調不良になった場合、救急車で浜松まで輸送できるよう配慮を願いたい。
- ・ 現在、特段不便に感じることはない。
- ・ 医療費負担が大きい。
- ・ 袋井市の検診について、受けられる場所をかかりつけ医（磐田市）でも可能にしてほしい。
- ・ 大腸、胃内視鏡検査を毎年受けているので、便利。
- ・ 安楽死を望む。現在夢も希望もない。
- ・ 最後まで在宅で過ごしたいと考えています。医療サービスや訪問看護、診療等勉強会を企画していただませんか。
- ・ 同居でない母親が、病院から介護施設と転院していく中で、胃瘻の処置がされていました。見舞いに行った時、胃瘻のセットがされて、その時看護師さんが「あ、この方半分でよかったわ」とセットし直しました。ある夜、母の心臓が大変な状態だということで病院に駆けつけました。心臓が圧迫され息をするのが大変とのことでした。お医者さんとの話の中で「申し訳ありません。これから気をつけます。」何が申し訳なく何に気をつけるのか、何も分からず一命は取り留めたのだと帰ってきました。何年か後、食事の量が半分でよかったのが、何回も倍の量が入り、それで胃が膨張し、色々な臓器を圧迫していたんじゃないかと思いました。何かがおかしくても、変でも、静かに聞いて穏やかに少し柔らかな表情で、頷いている在りし日の母の姿が思い出されます。お医者さんに、看護師さんに身内を必死に守り優しく接してもらいたい母の愛だったのだと思い起こされます。
- ・ 介護保険料について。リハビリに必要な人に3か月で打ち切り。もう少し援助してほしい。そんな声をテレビで聞きました。必要な人に届く介護保険であってほしい。その介護1人で間に合うのか2人必要か、時に判断し、行動している現場も拝見しました。力のある人に優しく、弱者に厳しい社会制度であってほしくないと思います。今この文を読んでくださっているあなた、書いている私、アンケートを集計してくださる方、一人ひとりが、今生活している中で何が必要か、何ができるのか、何をしたいのか、将来どうあるべきなのか、持続可能なのか、声なき声を拾い上げることもできる行政であってほしいと思います。そんな中で、介護保険値上げを検討していただけたら嬉しく思います稚文を読んでいただき、ありがとうございます。

## 1 1 施設サービス、介護保険サービス

### （介護老人福祉（特養）、介護老人保健、介護療養型医療）

- ・ まだ自分は大丈夫なので考えていなかったが、親せきの高齢者が最近になって間の当たりを見て、身の回り、片づけ、余り物を増やさないと考えさせられました。夫婦二人暮らしで、身の廻り不自由になった場合、早めに施設に入れるように手続きを進めてもらいたいと思います。手助けが必要な人たちは、いっぱいいると思います。地域でも早めに把握しなくてはいけないと思います。
- ・ これから、デイサービスを週1回くらい利用しようと考えている。
- ・ 今後益々高齢化社会が進んでいく中、自分は今健康であるが、いざ介護サービス等を受けることになった時、世の中（介護社会）がどんな状態になっているのか心配であります。すべてが予算の伴うものですので、効果的な介護サービスを充実していただきたいものです。
- ・ 低料金でいつでも利用できる施設がほしい。
- ・ 要介護でなくても希望者が居れば在宅で週1位の入浴サービスしてほしい。
- ・ 自宅介護がベターだが、最終的には施設介護に頼らざるを得ないので、もう少し入所が容易になるようにしていただきたい。
- ・ デイサービスが無駄に多過ぎませんか。
- ・ 自治会単位で行っている（老人が集まる場所ボランティアが世話してくれる）。どんな老人

が参加できるのか福祉関係の方から金銭面の補助があるのか(聞くとところによると全部ボランティアは計画して食事、社会見学等もたくさんあり楽しいと聞きます)。しかし、デイサービス等で行く場合は金がかかります。お金がかからなく一日過ごせる場所を市で説明してください。場所がありますよね。

- ・ 自分がその立場になった時にサービスを受けられるかが心配。
- ・ 祖父の心不全で、病院での薬で自由に入所できない理由等が色々調べてわかりましたが、早く説明してもらえたら余分な心配をしないで済みました。私自身も心臓を悪くしているのですが、今回余計に悪くなってしまいました。
- ・ サービス額が安価で利用できるよう充実を願います。
- ・ 娘たちと同居しているが、私の介護が必要になった時、勤めている娘が退職するわけにいかず、早めに施設へのお世話をお願いできるシステムがあるとありがたい。介護2くらいで入所したい。
- ・ 質問と少し違いますが、現在独身者も増えてきています。また、子孫のない人もいます。例えば、最近完成した袋井総合体育館の東側付近に、永代供養の施設も公営でできるとありがたいです。遠方ですと、とても不便です。また、他市では、すでに利用されているようです。

## 1 2 介護サービス（介護保険によるものを除く）

- ・ 介護や福祉サービスに関係しますが、ボランティア活動を点数方式にして、その貯まった点数が介護サービスに、支える仕組みがあればと思います。読み聞かせ図書館等のボランティアとして活動した分、自己申告と認定で獲得した点数を介護等のポイントで利用できると嬉しいです。
- ・ 将来、金銭的、人材的ケアに力を注いでほしい。

## 1 3 居宅サービス

- ・ 介護サービス風呂だけでもよいです。

## 1 4 介護者が抱える問題（老々介護等）

- ・ 家族に看護が必要な者がいます。
- ・ デイサービスに行っていますが、性格上の問題でしょうけど、口がとてもうるさく、トイレの回数も多い（トイレですることはあまりない）。私もストレスがたまり、いやな毎日を送っています。
- ・ 薬もないし、効かないし、今とても悩み多しです。
- ・ 歩くことはなかなか出来ないが、イスにすわって仕事をしています。食事の支度は週4日位しますが、そうじ、洗濯はほとんど出来ません。なるべく自分のことは自分で思っているけど、普通の方の倍の時間がかかります。自動車の運転は出来ますが、しないようにと身内のものから言われ、2年間位前よりしていません。不自由です。
- ・ 現在、近所の方との交流がほとんどありません。主人は仕事、妻の私も毎日、嫁の家に孫の世話で出掛けている状態なので仕方がないですが。(助け合い) 特に、1人暮らし、夫婦ふたり暮らしのお宅が多く、病気の方もいるかと思うのですが、ほとんど情報は入りません。今後、地域の活動に参加できるものがあれば、参加していきたいと思っています。どこに誰が住んでいるのか知らない状態では困ります。お互いに助け合う、交流の場に出ていきたいと思っています。

- ・ 介護認定が厳しくなっているようです。老々介護がますます増えています。5080問題ではなく6090へたをすれば70100になりつつあります。市としてはこの状態から福祉サービスをどうか、もっと考慮してほしいと思います。
- ・ 避難所として登録されている場所が遠くて、そこに行くまでの手段に無理がある。もっと多くの指定避難所がほしい。北公民館までは北小周辺からは遠すぎる。
- ・ 主人がパーキンソン病と認知症を患っており、介護関係では色々とお世話になっております。
- ・ 自分自身もっともっと色々やりたいのですが、主人のお世話で精一杯です。
- ・ 病気にならぬよう日々頑張っております。
- ・ 主人が健康な頃にはカラオケや水泳をいろいろやっておりました。介護について市ではよくやってくれていると思います。
- ・ 災害時の避難場所等に機器が充実していない（酸素吸入装置等）。よって、避難したくてもできないのが現状。
- ・ かなり重くならないと介護認定してくれない。申請したら要支援1で、これでは何もできない。老々介護するしかないのか。
- ・ 介護サービスは年々条件が厳しくなり利用が難しくなっています。
- ・ 我が家も息子夫婦とは別居の老人2人で90歳以上の義母を介護しています。2人とも、まだアルバイトで仕事をしているので、デイサービス等を利用しながらの生活です。仕事をしている平日は、デイサービス利用ですが、土曜日は在宅です。義母と喧嘩を避けるために仕事をし、休日には介護の日々、私のストレスは限界に近づいています。世の状況を考えると仕方ないことなのでしょうが考えさせられています。
- ・ 今は比較的、活動的な生活をしていますが（主人共々）、後10年後はどうだろうかと不安も多くなってきました。これからは情報を集め、備えをし、困った時には様々なサービスを利用したいと思います。主人とは、介護保険料は少し高いと思うけど、そのお世話にならないよう、努力しようと話しています。
- ・ 現在、家族（夫）の介護、介助、世話の日々ですので、自分のことを考える余裕がないように思います。

## 15 今後の不安

- ・ 今はまだ1人で何でもできるので大丈夫だが、体が思うように動かなくなった時のことを思うと不安です。
- ・ 今はよいが、この先（1年2年）たったら自分一人でどの位出来て（生活）いけるか、それを考えたりすると、とても不安を感じます。（子どもたちは市外、県外と遠方のため）どう思っても、どうすることも出来なければ、気にはしているかもしれないが、いつのまにか高齢者になってしまい、今は病気をしないように、それにはどうしたらよいのか。早めに医者に行くことかな。
- ・ 不安です。
- ・ 「動けなくなったら施設へ」と考えているが、受け入れてもらえるかどうか不安。
- ・ 今はまだ自分で車を運転できるのであまり困ることはないが、たとえ同居の家族がいても、介護を受けなくてはいけない時が来たら、生活に迷惑をかける。たとえ自分の家でも肩身が狭くなる。経済的にも生活にも不安が増す。
- ・ 本人が高次脳機能障害のため、すぐに忘れてしまう。妻である私は、毎日同じことを言っても、わかってくれないことにいら立ちを感じる毎日。先が見えずに本人はケロッとしているが、私はうつ病になりかけている。

## 16 アンケートについて

- ・袋井広報等で載っているが、読まないし、細かなことは知らない。ピンポイントをしっかりと伝えられること、わかり易く（老人にもわかるように）してほしい。
- ・アンケートはもっと簡潔にしてください。
- ・昭和51年2月1日に主人の父が亡くなりまして、その時、親と同居していました。その後、主人の母が平成7年7月6日に9年近く認知症を患った末に92歳で亡くなりました。義父は74歳でした。その時は今のような色々な介護や保険サービスもありませんでした。その時、主人（55歳）私（51歳）の時でしたので若く頑張っている時でしたので、家で昼に私1人でお風呂に入れたり、散歩したり、車で遊びに行ったりして充実しておりました。亡くなる2年前位に無料でおむつがいただけると聞いて利用しました。その時に車椅子も貸してもらえると聞いて利用しておりました。今は色々サービスもあり、デイサービスケアで日中1人家に居るものの負担も少なくなったと聞いております。病んでいる本人ももちろんですが、好きで病気になる人は、世の中おられません。好きで病む人はいません。最後は袋井病院で1日入院ただけで亡くなりました。私自身、お母さんのことは大好きでしたので良い思い出です。皆に迷惑を掛けないように生きたいです。
- ・このアンケートは辛いです。目的はなにか。
- ・浅羽南地区を手厚くしてください。要望、アンケート回答の選択肢をもう少し段階的にしてほしいです。7ページ（2）の所にその他の項目をつけてもらえると、参加できない理由もかかると思います。
- ・これからますますの高齢化に心配ごとは多いです。使えるお金が少ないので不安はあります。

## 17 行政について

- ・市長さんに袋井市のためになることを何か一つでもやってほしい。
- ・サービスの利用も考えますが、人生100年時代をなるべくサービスを受けずに生活できる策を望みます（生活していける）。
- ・アンケートを毎年取っているが改善が目に見えて来ていないので不満である。市役所の仕事を住人におしつけているのに役人の人数が多すぎる。役所の人数を削減すべきである。
- ・多くの人が気軽に利用できるよう努めていただきたい。
- ・高齢者（自分）にとっては、調査項目が多過ぎます。
- ・個人情報保護の制約・遵守は理解できるが、自治会住民の中での要介護者の内容の把握が全くできていないのが現状である。
- ・万一、大規模災害が発生した場合、対応が不可能である。何らかの対応策が必要である。
- ・父はパーキンソン病による脳幹梗塞で動けない、しゃべれない、食べられない、飲めない、目が見えない状態で、病院で介護を受けています。
- ・もっと早く色々な情報を知りたかったです。あなたがたの行動は遅すぎです。
- ・同報無線は聞きにくいので言葉を少なくする。
- ・サービスの充実が過剰内容となっている。多様性がほしい。行政の満足度で判断しては、受けた側の充実は得られない。
- ・質問が多過ぎます。1回の質問の数を減らして質問回数を増やすか（月に数回）、質問もケースにわけてみたらどうでしょうか。（車を持っている人）家族がいない人などさまざまな点について色々改善してください。
- ・高齢社会が進む中、行政のムダ使いを減らし、箱物はつくらない。
- ・自分からサービスをお願いできない人に対する対応に配慮してほしい。
- ・アンテナを高くして、情報を収集する方法を考えていただきたい。
- ・現場により多く足を運んでいただきたい。高齢者が楽しく安心して暮らせる袋井市を期待しています。

- ・アンケートが長い。思いつくまま書くな。簡略に。
- ・本調査等で使っているサービスとは何か。意味がわからない。現在も3割負担が続いている(高齢まで働き続けた結果がこの始末である)。長期間働いてきた者から見れば、サービスという言葉に違和感を覚える次第です。サービスという言葉には必ず負担を求められる。または負担がついてくる。介護保険負担サービス、保健福祉サービスとしたらどうか。

## 18 その他

- ・現在、介護が必要な人が自分の周りにいないので、現実的に何をすればよいかかわからないが、その時が来たら、何をすればよいか、また、どこに相談すればよいか、今から準備をするべきだとは考えています。くわしい方がそばにいたらとても助かるし、心強いと思います。
- ・必要になる時はお願いします。
- ・今の所は、自力で生活していますので、一日も長く今の生活が続けられるようにしたいと思います。福祉サービスが進んできて、とてもありがたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。
- ・今回の調査内容を読んでいて、知らないサービスや、活動が多いことに、のんびり構えている自分に驚きました。自分が動ける今に、不自由もなくしていましたが、これからの生活に役立てるよう、地域のことに、介護などに関心を持ちたいと思いました。
- ・〇〇サービス色々あるようですが、今まで興味がなく、と言うか今自分がこの年になってようやく何か情報を身近に考えなくてはいけないと思いました。
- ・まだ体も動くので考えたことない。
- ・しっかりと介護や生活支援のことについて良く考えないと感じました。何も知らなかったことが多かった。
- ・自分で考え生活するしかないと思う。(自己責任)。
- ・安くて安心できる場を提供してほしい。
- ・まだ母の介護をしているので自分のことを考えていない。
- ・有り難うございました。毎日難しいことは考えないように、まだこの年で高浜に行っています。仕事もうやめるつもりでいます。足や身体がいやと言います。お世話になる時があると思います。よろしくお願いします。人それぞれ、それぞれです。夫婦だっと思うもの。
- ・現在は、体に問題ありませんので、近場でお買い物出来ない方のお世話等したく、いつまでも元気でいたいものです。
- ・この頃、考えていることは、地元、3か所を10年~15年間草刈り、除草作業、野菜作り、花壇作りをやってきましたが、もう体が続かないと思い、今季3月末で終わりとしました。また介護等お世話になることもありうると思います。頑張ります。お世話になる時は宜しくお願い申し上げます。袋井市を考慮して守って頂ける市長様、本当に有り難うございます。
- ・老人のために、色々努力している方々に感謝しています。これからも宜しくお願いします。
- ・昨年主人が介護の方々にお世話になりました。ありがとうございました。早朝でも、夜中でもすぐに来てくださり、笑顔で接してくださり、こんなに親切で連絡もしっかりしていて、私は感心しました。こんなに良い介護をして下さることを初めて知りました。話には聞いていたけど、改めてお世話になり、身に余る思いでした。本当にありがとうございました。
- ・60代~70代~、まだまだ元気でいられて働けます。人それぞれですが、ある程度まで元気で自分のことができたらいいと思います。72歳です。まだまだ元気でいたいと思います。毎日元気です。
- ・今はあまり考えたことがない。なった時、妻、家族に相談する。
- ・今後どのような自体が来るのかわからないので、日頃の生活態度に気をつけて、自分なりに努力して暮らしていきたいと、常々思い生活しています。一人では、生きて行くことはできないのだから、市の方からの調査に感謝いたします。

- ・ サービスも人それぞれあり、参加云々というけれど、シャイな人は気を遣うことはできないので、いちがいに言えない。強要するとよけいに嫌な思いををすると思う。
- ・ 親の介護では大変お世話になりありがたかったです。自分はまだ先とってしまいます。よろしく願います。
- ・ よくわかりませんが、いつかはサービスにお世話になるかと思えます。その時はサービスに従いたいと思えます。
- ・ 私は高齢者だと思くと、元気でいられることが感謝です。ありがとうございました。
- ・ 各サービスを受けないよう日常生活を送っていますが、いずれ利用する時が来ると考えております。最近、98歳（男）、97歳（男）の大先輩と話す機会があり、97歳の方は妻の介護をしながら自動車に乗り、元気で生活しております。そうした先輩を参考にしながら人生を送りたいと思えます。
- ・ 66歳、まだ切実感がない。
- ・ 69歳の今はまだ実感のないことですが、母を介護した2年間ベッドに寝込む前ですと約4年、訪問介護、デイサービスケアマネジャーのアドバイスなどあり、とてもゆったりとした気持ちで介護できたと思えます。それも過ぎて13年、これからもそんな高齢者に優しい市であってほしいと思えます。協力もさせていただきます。
- ・ 安価な手当で、協力者を集めたらどうでしょうか。60歳以上の後期高齢者に満たない人材を多く集めて互助の活動にしたらどうかと思えます。
- ・ 現在では考えられないので、どのようにしたらよいのか。考えつかないです。
- ・ 今後高齢者は増え続けるので、その方たちの支援をしたい。
- ・ 夫婦二人で暮らしていますが、今の所なんとか暮らしています。これから介護サービスなどお世話になるかと思えますが、心配になりましたらぜひ相談にのってください。よろしく願います。
- ・ 今のところ考えていませんが、家の廻りの草だけでも取っていますので、これから考えます。
- ・ 配偶者（夫）の自宅（介護度1）介護で忙しいです。
- ・ 今のところ楽しい毎日を送っております。
- ・ グランドゴルフ、カラオケおしゃべりして毎日過ごしています。買い物一泊旅行しました。
- ・ 多くの方の様々な事情を考慮されてのサービス向上に努力していただければ良いのではないかと考えます。
- ・ 調査結果の公表、及び事業計画（案）もよろしく願います。
- ・ 今の所、家族がいるので日常生活ができています。
- ・ 高齢者の地域社会での居場所作り、一人暮らし老人への見守り体制の組織強化。
- ・ 今のところ良いけど89歳まで元気でいられたのを感謝して毎日を送っています。
- ・ 近所の若い人も遊びに来てくれるのでありがたいです。
- ・ 平成24年から25年にかけて義母の介護にあたり親切な相談の答えを頂いて感謝しております。
- ・ 恐れ入りますが、それぞれのサービスの細かい内容をまだよく理解していないため意見要望を持っていません。
- ・ 家族は息子一人ですこれからは心配です。88歳十か月。
- ・ 今はすべて自分でできています。
- ・ 私たち夫婦とも80歳に近い年となりましたが、主人も私も今のところ仕事を持ち働いています。家には長男夫婦、孫とも同居しています。家の中、色々なことがありますますが助け合って生活しています。今のところ、私たちは元気にしていますがいつお世話になるか分かりません。この度は、お便りをいただきありがとうございました。分からないことは、は一とふるプラザ袋井にお願いできると分かり安心いたしました。

- ・ 私たちのところは田舎で人口も減少し都市部に比べ後回しになります。税金は一律にかかってくる。私の世帯は国民年金が主体で主人は 83,000 円弱の年金が振り込まれます。NHK の放送で国民年金は夫婦二人で生活できるようになっています。納得です。国保と介護保険料が引かれるからこの金額です。1 か月 4 万円で電気料、ガス、携帯代、市県民税、固定資産税、水道、食事代はありません。宅配で、主に食材を買います。私の年金から引き落としされます。少し主人が不定期で仕事があれば働いています。働けなくなったらどうなるのかな。同報無線が聞きづらい。たくさんのお金日数をかけてやった事業じゃないのかな。若い人は必要ないですね。必要なのは AI についていけない私たち高齢者。その地域の人達だと思います。誰にもわかるように整備してください。

## 2 要支援・総合事業認定者

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 福祉全般について	6
2. 介護保険について	9
3. 生活環境について	2
4. 公共交通機関、外出支援について	17
5. 経済的状況について	8
6. 広報、相談窓口について	2
7. 健康づくり、予防について	2
8. 医療について	4
9. 施設サービス、介護保険サービス（介護老人福祉（特養）、介護老人 健、介護療養型医療）について	5
10. 居宅サービスについて	4
11. 介護者が抱える問題（老々介護）について	1
12. 今後の不安について	8
13. アンケートについて	11
14. 行政について	9
15. その他	35

## 1 福祉全般について

- ・ 袋井市は保健サービス（各種）よいと思いますが、より一層のサービスを考えてください。
- ・ もっと介護サービスをしてください。町内に店一軒ありません。ポストもない町で、山奥のようなところです。係は町をもっと知るべきです。
- ・ 介護保険サービスや保健福祉サービスなどは、どのような違いがあるのでしょうか。現在支援2で、介護保険の介護用具をレンタルしていただいています。少しサービスが受けられるとよいです。介護しなくてはいけない身内がおります。いずれ、お世話になることと思いますが、その節はよろしくお願いします。
- ・ 福祉事業をもっと充実してほしい。
- ・ 介護や保健福祉ではありませんが、所得税の確定申告でパソコンやスマートフォンがありません。昨年のコスモス館へ行きましたが、半日以上待たされ、身体にこたえました。高齢者の申告に配慮してください。
- ・ 高齢者だけの家庭へのサービスの充実をしてください（ごみを収めるのも自宅前等）。車のない老夫婦でも、申請書等の書類は提出先が市役所になっていますが、そのような家庭は郵便での提出や回収等でサービスをしてほしいです。老夫婦だけの家庭や一人ぐらしの家庭への支援サービスの充実をしてください。サービスの明確化をすることや、介護サービスや支援事業をわかりやすく知らせることもしてほしいです。

## 2 介護保険

- ・ 支援2の人が、施設を週1回利用しても、2回分の費用が取られるのはどうかと思う。1回の時の1回分の費用でよいのではないか。
- ・ 今年要支援となるまで、長い間自力で頑張ってきました。家族の支えもあったからですが、介護保険料を引かれた年金通帳を見るとため息が出ました。介護保険のお世話にならなかった自分を誉めたいのですが、使わなかった人にタクシー券を配布するとか、何らかの補助があっても良かったのではないかとずっと思っていました。
- ・ 介護認定に時間が掛かりすぎ（約1か月＋2週間）。このため入居する場所が決まらなかった。
- ・ 現在必要な事が頼めない。要支援1の場合。
- ・ 介護保険サービス要支援2です。ぜひ、もう少し続けてくださいませ。お願いします。介護保険料が高く家計が大変ですが、介護保険を利用して、明細を見ると、こんな所にまで補助があると驚き、ありがたさが身にしみます。老人が多くなり、こんなに補助をするのは無理となるのではないかと思います。無駄を無くして、有意義に介護が行われること願っています。
- ・ 介護保険サービスは複雑でわかりにくい。
- ・ 介護保険被保険者（要介護1）の見直し。要介護1はおかしいと思う。
- ・ 介護保険サービス、保健福祉サービスがあり、安心して生活出来て良いです。
- ・ 調査から介護度決定までの期間を迅速に行ってほしい。

## 3 生活環境

- ・ デイサービスの日数を増やしたい（現在2回→3回）。

## 4 公共交通機関、外出支援

- ・ でかける時のタクシー代の援助をしてほしい。
- ・ 一人で病院に行けなくなった時送迎をしてくださるサービスがほしい。
- ・ 袋井市内循環乗り合いタクシーがあればよいと思う。
- ・ 駅から近い栄町睦町などをぐるっとまわる100円の近場のバス運行をしてほしい。
- ・ コミュニティバスの行動範囲を広げてもらいたい（市境を超える）。

- ・私の地域はバスも通っていない。街の医者に行くことが自由にならず困っている。できるのなら小型の車で回って下されば幸せです。
- ・福祉タクシーで、中東遠病院まで往復できるくらいの料金がタクシー券で使えれば大変うれしいです。
- ・事実のことを書きましたが、実際に車検のないことは、1日の食材を求める上で大変である。自転車求めたが、夫1人の買いものに不満はあるが、やむを得ぬこととは思っている。
- ・よい設問ありがとうございました。80歳では何か少しは施設訪問などのサービスをしておりましたが、90歳を超えてよりは、あまり動けなく移動手段がなくて困ります。脚がおとろえ選挙、病院、買い物、アンケートの答えポストに出すのが困難ですが、いずれにしろ、気をかけて下さりありがとうございます。
- ・田舎暮らしの者にとりますと通院等交通手段で難儀をしております。何か良い方法があればありがたいです。老人が多くなり、色々な面で大変なことが多いとは思われますが。
- ・主人がいる時は良いが、子どもと連絡ができない。時々電話をかけられる時は良いが、動けない場合はどのようにしたらよいか教えてください。
- ・去年、免許証を返納してから、図書館、温水プール通い、外食、ショッピング等、全然行かなくなった。今は医者通いと、ケアサービス送迎付きのリハビリに外出する位で、ほとんど自宅にこもりきりの生活となってしまった。何かをしようという意欲もわからず、他人と接することもなく、身だしなみも以前のようにはなっていないと思う。
- ・免許返納したが1人暮らしではとても不便、ひきこもりになってしまいそう。独居老人の足(交通)の確保を考えていただけるとありがたいです。
- ・病院へ行くために運転免許証だけはほしい。
- ・運転免許証を、12月5日に返納します。車のない日常生活が不安です。悩みます。
- ・病院に行く時、家族は仕事で休めないので困ります。なかなか休みは取れないようで。
- ・運転免許証返納者に、もっと厚い生活支援、民間のバスの小型化を願います。

## 5 経済的状況

- ・介護保険を上げないでください。年金が少ないので生活が大変です。
- ・私は補聴器をつけていますが高いです。
- ・メガネ等も保険がきくとよいと思います。
- ・介護保険サービスを今まで通り受けたいと思いますが、まわりが変わっていくのでしょうか。
- ・介護保険サービスについて、たとえば85歳以上の人は、要支援の場合は、週に何回かサービスを手続きなしで、通所できるような方向にいただければ、家族としては、とても助かります。
- ・介護保険サービスと精神障害の保健福祉サービスが合流していく方向を望んでいます。
- ・現在入院中なので、今後退院したら配偶者だけで世話をすることができず困ってしまう。介護度が多くなってしまうと金額もかかるから大変です。
- ・自分でできることを少しでも実行するよう、努力する。医療費、生活費の高騰によること、更に保険料等が上がって負担が大きい・困難である。

## 6 広報、相談窓口

- ・調査することはありがたいですが、サービスの内容をもっと詳しく知りたいです。
- ・訪問、介護支援サービスの情報提供。

## 7 健康づくり、予防

- ・ 杖なしで少しでも長く歩きたい。
- ・ でんでん体操をやっています。まだ、この体操を知らない人がいっぱいいます。もっと多くの人に知ってほしいです。

## 8 医療

- ・ すぐ入院できるようにしてほしい。
- ・ 病院診察に行き待ち時間の長いのが辛い。
- ・ 入院等の時に世話をしてもらいたい。
- ・ お金のかからない医療介護サービスをお願いしたいです。

## 9 施設サービス、介護保険サービス

### (介護老人福祉(特養)、介護老人保健、介護療養型医療)

- ・ 福祉サービスのスタッフが職場に出なくなるが、社会人としての理念を持つように接してほしい。健康文化都市袋井の理念をしっかりと理解した市民になるように。
- ・ 要支援1の方でも、デイサービスを週2回は利用したい。
- ・ 90歳以上の超高齢者で動きの悪い人が通所介護を受けています。体を動かすこともできず、一日じっとしているだけです。リハビリを行うためには、一切ないそんな人を通所させるよりもリハビリで回復しそうな人を通所させてください。
- ・ 要支援1で週1デイサービスに通っているが、もう一日行けるとよい。
- ・ 高齢なので質問が多いと理解できないので娘の私がほとんど答えています。一人暮らしの老人が家の周りにもいて、家族も一緒の人もいるが、サービスなど知らない人がほとんどです。本当に困ってからでは遅いので、事業対象のうちに早めに利用して、少しでも自分でできるよう長生きしてほしいと思っています。

## 10 居宅サービス

- ・ ヘルパーさん買い物、通院の支援もしてほしい。
- ・ 義母はおしゃべりが好きな方で寂しがり屋な人です。デイサービス職員の方、お忙しいかと思いますが、3か月に一度くらいは母の顔を見に来てやってくれませんか。お願いします。
- ・ 予防だけでなく、すでに悪くなっている人の初期の段階でのケアのサービス(例えばひざ痛の人対象の体操とか)をしてほしいと思います。
- ・ 訪問時間がもう少し余裕があると落ち着いて色々お教えていただけるのではないかと思います。よろしくお願いします。大変遅く成りまして申し訳ありません。

## 11 介護者が抱える問題(老々介護等)

- ・ 平成28年3月に右大腿骨骨子接合手術を受けて以降、介護保険制度のお世話になり有り難うございます。現在大動脈弁狭窄症カテーテル人工弁置換術とペースメーカー埋め込み術の2つを受けたばかりで、入院中。心身ともに大変でございます。母にとりまして手術を受けることは大決断でした。その時アドバイスくださった訪問リハビリの先生には、4年間もお世話になり、母が信頼していて支えになってくださいました。ケアマネジャーの方もアドバイスしてくださり、お付き合いの日は浅くても心配してくださいました。普段だけでなく、こうした危機の時に、励まし、支えて、的確な助言をくださるのが、介護保険制度の最もよい点ですし、今後も心から信頼し頼れる存在であってほしいと感じております。どうかよろしく願い申し上げます。

## 1 2 今後の不安

- ・ 送り迎えに来て下さるのでとてもよいです。今までは、長男と二人だったので良かったのですが、昨年4月21日亡くなったので、私一人になってしまいました。とても淋しいです。私は84歳です。長男は56歳でした。目が悪くてよく書けなくてごめんなさい。緑内障下半分見える。
- ・ 今のところ、まだ何とか自立して生活できますので、あまり介護保険や介護サービスのことは知りませんが、色々あることを知り良かったと思います。少し忘れ物が多いことが心配です。
- ・ 1人暮らしなので全部が不安です。
- ・ 67歳の私、手の震え、よく転ぶ、怖い。手すり、つかまる所ないと履物を履けない。転んだ時があるから常に1人。昼間、夜3食一緒食べたことない。主人が24時間勤務だからなにかあったら怖い。
- ・ 一人暮らしの認知症の自立生活をどの程度までさせた方がよいのか、いつも悩みの種です。
- ・ 耳が遠いのが辛い。人と話が出来ない。
- ・ 老々介護で自分が倒れた時のことを思うと気が重く、明るく暮らそうと思うが、避難のことも含めてつらい状況にある。
- ・ 現在介護は主人に頼っていますが、先日2度程主人が倒れてしまいました。万が一の時は心配でなりました。

## 1 3 アンケートについて

- ・ 内容に簡素化をお願いします。
- ・ 質問が多すぎる。高齢者には無理でした。
- ・ このような検査は年齢を過ぎると聞けない。もっと早くする。
- ・ このアンケートで疲れしました。
- ・ 一度にこのように多い質問はいやです。
- ・ このようなアンケートは書くだけでとても大変。各家庭へ様子を見ながら訪問し、聞き取り調査をしたらどうですか。机に向かって集計するだけでなく、市民の実情を把握することが必要。
- ・ もう少しアンケートを簡単にしてほしい。
- ・ 高齢者のアンケートとしてはボリュームがありすぎました。
- ・ 現在歩行困難のため、買物支援その他ヘルパーさんに健康状態を聞いてもらったり、励ましてもらったりと助けられてありがたいです。とにかく通院はカートにすがってやっとしている状態。両膝、手首腰常時、痛い車椅子は運転できません。よくわからない質問がありました(答えようのない)。
- ・ サービスのアンケートは必要だと思いますが、自分一人ではできないことも多いので不要。家に届く封書の数が多く、本人では判断できず困ることも多いです。
- ・ 年とともにペンを持って書くというのがとても苦手です。役所の方は皆若い方達なので、たくさんの質問。とてもつかれました以上です。

## 1 4 行政について

- ・ 問題は地方行政ではなく、東京の政府と特に関係省庁の愚策だ。福祉予算が地方に回っていない。
- ・ 目の悪い年寄りにこのような質問が無礼。何かの役になりますか。うかがいたいものです。
- ・ 専門用語等、質問の意味が難しい。
- ・ 国が定めた週間スケジュールに利用者が合わせなければならないとは本末転倒ではないでしょうか。

- ・ 保険料の負担を上げるために、自治体に都合のよい設問をするのはやめてほしい。介護保険でのサービスに入るのを何処（料金）で後退させないでください。よろしくお願いします。
- ・ 保険料に対して、ムダのない、効率の良いサービスの実現を望みます。サービスを受ける人の立場に立って施策を立案、実行してほしい。
- ・ 不具合が出た場合、福祉センターに TEL したとき早急に来ていただきたい。
- ・ いつも私の父を含め、地域の高齢の方々の健康・生活の充実のためにご尽力下さりありがとうございます。今回丁度里帰りをしており、こちらのアンケートを代筆させて頂きましたが、父の性格・性質（気長に物事を待てない、進められない、長時間の集中が苦手）や年齢等を考えますと、本人が独りの時に受け取っていたら、スタート出来ていたとしても、途中であきらめてしまったと思います。全 19 ページのアンケートを回答するということに対する感じ方には個人差があるとは思いますが、ページ数が半分位にまで減らされましたら、回答、返信率も上がるのでは、と思います。
- ・ 家族とよく話し合いをして心に決めておきたいと思います。

## 15 その他

- ・ デイサービスで終の人生を過ごしたい。
- ・ 今は取りあえず元気に過ごさせてもらっています。皆様の御協力を頂きまして、元気に過ごしていると思います。その節は宜しくお願い致します。高齢者の皆様がより良い生活ができますよう頼みます。
- ・ 色々な介護事業があって、あまり内容までよくわからない。
- ・ 後いくら生きられるか分かりません。よろしくお願いいたします。
- ・ 自分に必要なサービスとは何か。使った方が生活の質が上がるサービスは何か。今理解していることは何か。よく理解していない。何かとできていると思って生活している。ケアマネジャーはすごい。観察しながらアドバイスをしてくれるので助かります。
- ・ 老人用身の回り品日常使用している（パンツ等）の補助をしてください。
- ・ 色々と考えてくださいますありがとうございます。これからも充分体に気をつけて行きたいと思います。
- ・ 今後もより良い運営サービスをよろしくお願いいたします。
- ・ 介護保険サービスについて最近は色々を知ることができました。デイサービス及び介護用具を借用して大助かりで感謝しております。袋井市地域包括支援センターのケアマネジャーさんには熱心に一所懸命に見てもらっております。
- ・ 包括支援の方がとても良くしてくれてうれしい。忙しいのによく話を聞いてくれる。
- ・ 近くにデイサービスがあるが歩いていきたい。
- ・ 急に用事の時にとっさの時にほしい。
- ・ 私は今年で 89 歳になりました。デイサービスの一日が大変うれしいです。楽しいです。友人も多くできまして、とても元気を頂いております。有り難うございます。今月で 3 年目を迎えました。
- ・ すべてに感謝しています。有り難うございます。これからもよろしくお願いいたします。私右手が不自由しているのでごめんなさい。
- ・ お世話になります。ご苦勞様です。より良い老後、地域となりますよう、今後ともよろしくご尽力の程お願い申し上げます。（家族代筆）。
- ・ デイサービスにいきます。
- ・ サービスを上手に利用させていただき、少しでも長く自分のことはできるだけ一人でやるよう日々頑張ったりと思っています。
- ・ 現在で十分だと思います。

- ・ 1人暮らしの場合、急に悪くなったことがないように急の場合は緊急相談のボタンを押して知らせます。
- ・ 自由に身動きが出来ないと気まずくなる。言葉も強く感じる。平常心を心掛けたいと思う。ありがとう、嬉しい、たのしい、生活が明るくしてくれます。皆さんを頼りにしていきます。
- ・ もう年齢を考え介護保険を受けておいた方がよいと主治医の先生には云われていますが、傘寿もすぎ、介護保険までして生きていなくてもよいと思っているので。
- ・ 何日もケアマネジャーさんには良くしてもらっています。
- ・ 今の私の生きがいは、デイサービスに行けることです。皆さん親切に手を取ってくださり、やさしく言葉をかけてくれる。91歳の老人には、本当に嬉しく思います。現在の老人は幸せです。もっと続けたいなと思います。感謝しています。元気でいたいけど足が痛くて困っています。でも頑張ります。
- ・ 去年の11/27より（デイサービス）に週1度行っております。楽しく過ごさせてもらっています。ありがとう。
- ・ ファミリーサポートの方々（車での送迎に従事している方）に本当に感謝しております、ありがとうございます。
- ・ 保証人の問題でも苦労します。
- ・ 女性94歳何とか元気で有料老人ホームにいます（食堂あり）。3人の子どもが近くに住んでいて困ることは今のところありません。
- ・ 身体が不自由のため、これからは何かとお世話になるかと思えます。困りごと等相談させていただきますので、よろしく願い申し上げます。
- ・ 福祉サービスは利用したいと思います。自分の身体は自分で管理できるように、出来ない所は、せっかくのサービスのあるものは利用出来ればと思います。サービスを受けるのも時間が掛かったり、めんどろな手続きをしたりは老人には困りますが、よいサービスがあれば嬉しく思います。
- ・ 在宅でなるべく長く生活していきたいので、サービスを利用して行きたいです。
- ・ ととても良くして頂き嬉しく思っています。今後共よろしく願い致します。
- ・ 1人暮らしの母が現状維持できている現在は、色々なサービスがあつてのことです。感謝しています。こちらでもアンテナを貼って、よりよい情報を受け止めさせて頂きます。娘より。

### 3 要介護

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

分類回答	件数
1. 福祉全般について	3
2. 介護保険制度について	17
3. 生活環境について	2
4. 公共交通機関、外出支援について	7
5. 経済的状況について	15
6. 広報、相談窓口について	6
7. 健康づくり、予防について	3
8. 地域活動について	2
9. 就労について	2
10. 医療について	12
11. 施設サービス、介護保険サービス（介護老人福祉（特養）、介護老人保健、介護療養型医療）について	17
12. 居宅サービスについて	6
13. 介護者が抱える問題（老々介護等）について	8
14. 今後の不安について	9
15. アンケートについて	11
16. 行政について	10
17. その他	20

## 1 福祉全般

- ・ 本人、介護者等の急変時にすぐ相談できる。また、対応してもらえる仕組み。緊急連絡場所 119 番以外で。
- ・ 介護保険と医療保険の使い分けが非常に分かりにくい。
- ・ 介護が必要になる前に遊ぶ公園、文化的な物、子ども、老人が楽しめる場があってほしいと思います。袋井は文化的なものが遅れています。

## 2 介護保険制度

- ・ 介護認定が年々厳しくなり、家族が大変なのが評価につながっていません。料金も高いし、家族が苦しい生活をしていることも考えてほしい。評価が上がるのはわかるが下がるのは考えられない。でも、現実はあること。
- ・ 介護認定を生活者の実情に沿って行ってほしい。事務的でなく。
- ・ 介護度5になり、自宅より車移動時車イス利用しています。スロープを介護サービスで利用していますが、重いのもう少し「軽くなったらよいですが」と思いながら毎日通っています。たとえば、自家用車購入時に、車イス対応できる車にしたら介護保険から何かのサービスが受けられたら良いと思う。2年前、車に手すりを付けてもらったのですが、そういう物でもサービスの対象にしていただけなければありがたいです。
- ・ 介護認定の決定にバラつきがあるように思います。人間が認定することなので違いはあるにしても、介護1と2の差があり、手足不自由でも要支援になり、そのために区分変更をかける手間が家族にはかなり負担になっています。
- ・ 介護保険での要支援や要介護の判断規準が明確でない。そのときどきの様子で決まっていて、かなりあいまいな判定と思われる。要支援2が、いきなり要介護2になったりして、再評価でまたランクが下がったりする。
- ・ 後期高齢者になつてなお、介護保険料を支払う制度をやめてください。日本の高齢者の未来は非常に不幸せな気がします。老人の行く先に明るい政治を、願いたいと思います。
- ・ ケアプラン作成料、ケアマネジャー料が自己負担になるかもというニュースがありましたが、負担が大きいです。払えないと介護保険サービスが受けられなくなってしまうのでしょうか。不安です。
- ・ 昼食の用意と介助、オムツ替えが必要なため、お昼に帰宅できない用事は、ショートステイ中にやるようにしていますが、もし、ショートステイで受け入れてもらえなくなった場合に用事のある日だけ、お願いできるサービスがあると助かるのですが。訪問看護は曜日と時間が決まっているので、利用しづらい。
- ・ (介護する側からの意見) 結局、利用しようとする、実際は介護制限が出たり、おむつの利用にも条件があったりと結構不便なことは多々あります。義父はそれが出来ず、亡くなった部分もあります(利用出来ず、あきらめ、自宅にこもり、足腰が弱り転倒。帰らぬ人になりました)。正直、まだまだ不満はあります。買い物のつき添いや医療のつき添いも結局交通費は大部お金がかかるので、家族が行い、家族が仕事をやめざるをえない形です(まだ子育てもあるのに)。介護度によって回数が決められてしまうのは正直どうかとも思う。
- ・ 介護保険制度について非課税の人まで保険料をかすのは問題があると思う。消費税も10%になっているので保険料をあげることはばかり、考えないで税金の内で行うように願いたい消費税も上げたことだし、サービスも向上してほしい。
- ・ 介護認定の等級格付けの開示。(介護1から3ランク下げて格付け外になりそうだった。99歳)。
- ・ 住宅型老人(有料)施設に入居していますが、介護がすべてオプションで毎月の支払いが大変です。
- ・ 年金が少ないため、紙オムツパットの補助(要介護2)をしてほしい。
- ・ 介護保険がないと家族がバラバラになります。すでに家族にヒビが入りつつあります。早く妻が回復しないと我が家は大変なことになります。リハビリを頑張って元の体になってほしいです。デイケアは作業療法士の皆さんに感謝しています。

- ・ 母が（一人住まい）病院から介護医療院へ移り、医療保険から介護保険に切り替わりました。収入がありませんので、医療保険では減額の認定区分がⅠでした。ところが介護保険になり、貯金を見るようになり、減額がなくなりました。高額の出費がかかりますので、介護保険でも医療と同じように減額の認定をしていただきたいと思います。
- ・ 保健料を低くしてほしい。年金生活になると大変です。
- ・ 保険サービスを使うにあたり、書類が多い。もっと、減らせないものかと、思います。

### 3 生活環境

- ・ 私は耳が聞こえない。2階に行けない。足が重いので表に出られない。朝新聞をとりに行くだけ。ステッキを持ってこわくて歩けない。物につたって歩いている。
- ・ トイレを水洗にしてもらいたい。

### 4 公共交通機関、外出支援

- ・ 足（ひざ）が悪いので、移動するのに介助が必要なため、介護タクシーの無料サービスの利用などさせて頂けるとありがたいです。よろしく御願います。
- ・ 今現在は動くことが出来て家事一切は出来ますが、主人が運転免許証を返納した場合は、タクシーを利用すると思います。1人暮らしになった時は上記の問38の質問はすべて必要になると思います。
- ・ 小山はバスも、フーちゃん号もないので買い物には行けず、不自由な思いをして居る。ここに来た時からバスは通ると言っていたけど通らない。（どうしようもないね）。
- ・ バスの運行がなく生活に不便を感じます。今のところ自家用車でどこへでも行くことができますが、自分が高齢になったとき、どうなるのかたいへん不安に思います。大きな病院に通院するのはとても困難です。
- ・ 病院の送迎など、足が悪いのでタクシー代に困っています。タクシーのサービスを考えてほしい。
- ・ 家族に車の運転が出来ない家庭にはタクシー券を補助してほしい。
- ・ 交通事故の後遺症の前頭葉認知症で3年余り入院生活をしているけど、家族（夫）が病院の用事（洗濯物、医師との面談）などを行っているけれど、私も80歳を過ぎたので病院へ行くことが出来なくなればと心配しています。

### 5 経済的状況

- ・ ショートステイを安くしてほしい。
- ・ 益々、高齢が増えていく中で、少子化が進み、経済的に余裕になれば、病院だったり、施設を利用だったりができなくなると思います。子どもが、親を介護するのは、当たり前なのかもしれませんが、現実的に無理があり、その心の葛藤があります。
- ・ 介護者が病気になり入所できる施設をさがしたが費用が高くて大変だなと感じました。
- ・ 介護サービスをもっと受けたいが、少ない年金で生活をしているため、出来ません。介護している私自身が病気がちのため、出来ません。家の生活を見て、聞いて無料にしてほしいです。
- ・ 国民年金では大変です。
- ・ 入院費が大変です。あと何年入院しているのか。
- ・ 介護保険は、受ける者が負担するのが当然ですが、高齢者が多く、受益者負担には限界があり、税金からの補助が必要だと思います。
- ・ 病名アルツハイマー型認知症が今の所まだなんとかなっていますが、ひどくなって身動きができなくなった時、介護施設に入れるとお金がかかりすぎて心配ですが、今の所なんとかなっているので、その時が来ないと分かりません。

- ・ 認知症が進んで、自宅での介護が難しくなった時、介護度が2であったため、受け入れてくれる施設がなく困った。通いなれたデイサービスを2日以上お願いしたかったが、人員がとられるので無理。ショートステイでも手がかかるため無理といわれた。専業主婦なので24時間ずっと一緒だったので、自分がノイローゼになりそうでした。仕事をしている方は、軽度でも週3回利用している方もいるのに、ずっと一緒に負担が大きい自分は、なぜ利用できないのかとても不満でした。
- ・ 介護必要期間が延びている中で、在宅介護の拡大という考え方は、市民の生産性、生きがい感を悪化させる。要介護になったら、希望者全員が入所できるように、経済的負担の少ない入所施設を拡充していくという施策が必要に思う。介護は疲れます。
- ・ 昔（昭和の時代）に比べて色々な介護サービスが利用できることを大変ありがたく思う。利用料は安い方が助かるが、高齢化、費用の増大化等考えると負担が増えるのはやむを得ないと思う。福祉弱者への考慮は十分なされるべきだと思うが。
- ・ 収入に応じてかもしれないが、自己負担が多いサービスの低下もしてほしくないためしかたないと諦めるしかないのでしょうか。
- ・ 現在、グループホームに入所しているが、本人の国民年金ではとても入所できない利用料である。
- ・ 「老後2千万円」が話題になったが、その現実を感じている。これでは財産や後継者がいない老人には利用できる施設はないに等しい。財産や後継者がなくても老化は進む。難しい問題だと思う。
- ・ 今、世話になっている所の昼食代がとても高いです（¥700）事業所がいっぱいありますが、ある程度、統一が出来たらうれしいです（袋井市として）。

## 6 広報、相談窓口

- ・ 「こんなサービスや方法がありますよ」という情報を常にわかりやすく、選択時に迷うことのないようにして頂けたら、ありがたく思います。本人の状態は、年単位ではなく、月単位で変化していて、家族（介護者）はいつも思い悩みが続いています。その立場に立って初めて動くのではなく、常にわかる（わかっていることが大切）ことでより前向きに暮らせて行けると思いついながら、またそれを望んでおります。
- ・ 将来のことは分からない。娘（私自身）の体調や他の家族のこともあるので不安がないと言ったらウソだけど、とにかくやれるだけやる。サービスは手続きを簡単にしてほしい。ケアマネさんも何人もかかえているのであてにしたくない。自分の家族のことは家族でがんばる。じゃなくてサービス等をすぐに使えるように身近な地域や全体で共通理解できたらよい。
- ・ 介護申請をする時市役所での説明がわかりにくいことがありました。ケアマネジャーを表から選ぶなどまったくわからない人にとってはだれにたのんで良いのか。急に親が介護になりわからないことや手続きが平日など仕事を休まなくてはいけないことも多いのももう少しわかりやすいとよいと思いました。専門用語が難しかったです。
- ・ もうすでに出ているかもしれませんが、介護保険サービス・保険福祉サービスなどについて内容を冊子にして提供して頂きたいと思う。（まとめてあるとわかりやすい）。
- ・ 地域包括支援センターが市内4か所とあるが、どこにあるか、また、どのようなことをしてくれるかを知りたい。
- ・ 高齢化社会を迎え、今後更に拡大されていく現状において、保険サービスのニーズもそれぞれに広く多様化していくと思います。各家庭において、細かく選択できることが望まれます。積極的に色々調べなければと思いますが、分からないことが多く、シンプルな制度を望みます。現時点ではとても助かっております。

## 7 健康づくり、予防

- ・私の現在までの見えてきたものには体を動かしている人は、どちらかといえば、すべてではありませんが、健康的に感じています。私はラジオを好きで、常にNHK 第一を聞いていますが、この中でも、健康の話になるとほぼこのような傾向の話になるようです。各サービスの中でも、足を使った体力づくりに毎日少しの連続ができればと、素人考えで申しわけありませんが思っています。
- ・このアンケートとは直接関係ありませんが、歯は80歳で20本はよく言われていますが、老人問題として、難聴の方が苦勞しています。耳の方が治療も難しいとは思いますが、若い時から難聴にならない対策があればと思います。
- ・自分は1年前にケガをして足の骨を折った。リハビリにより回復（現在）していますが、介護施設があってありがたかった。そうした施設にやっかいになって初めてありがたさがわかりました。介護にならないよう、まず、自分の健康管理が必要と思っています。

## 8 地域活動

- ・お医者さん、ケアマネジャーさん、ヘルパーさん、看護師さん、みなさんのおかげで助けられ、がんばっています。市のボランティアさんが、市にあるデイサービスに出向いてくれたらうれしいです。（楽しませてくれたらうれしいです。）
- ・前の民生委員の人はたびたび自宅に訪問に来てくれましたが、今回の民生委員は一度も来ません。誰かもわかりません。

## 9 就労

- ・介護福祉サービスの職員が、働き続けられるように袋井市にアパート等を安く提供する。（外国人ではなく日本人で他の地域から来てもらえるようにする。）
- ・なかなか介護しながら働くのはむずかしいので、今、フリーの主人に手伝ってもらいながらやっているが、デイサービス以外の日は、少し日中が不安です。

## 10 医療

- ・動けなくなった時の薬を出していただくための方法として、多忙な先生に訪問診療はお願いし兼ねます。
- ・市民特定健診が車いすのため、利用出来ないこと。
- ・入院4か月してからリハビリに行っていますが、医者にも行きたい。
- ・医療病院を利用すると月に約20万もかかり、とても本人の年金だけでは支払いが難しいです。そのため入院が短期になり、家に帰ってきても家族の負担が大きくなります。排泄の問題が一番大変です。
- ・その場になってみないと、わからないことが多く、少々答えるのに難しい問いもありました。突然体が動けなくなることもあるので、かかりつけ医の往診は是非と思います。その後、薬とか助言で、よくなることもあると思うので、本人・家族を安心させるためにも、往診は必要だと思います。名医と言われた先生も往診はしないことを知りました。動けない本人を家族が連れていくのは、とても大変でした。孫がいたので、車の運転をしてもらい、私が抱えて乗車しました。救急車を呼ぶほどでもない判断した時です。それとも、すぐ救急車を呼んだ方がよいのでしょうか。
- ・私は、60歳から74歳までに7回の入院退院をしています。心臓の弁取り換えの日、途中で脳に血栓がたまり、2か月半ぐらいの事の記憶が思い出そうとしてもでてきません。毎日の食事でも出来なくなり、担当の先生や、色々な人が、食事をしてくださいと言って、私はせめられているような、心細い毎日が10日～2週間ぐらい続きました。病院に入院していても、訪問看護の人が来て、お話を聞いてくれたらと思います。今は普通に生活ができています。
- ・レスパイト入院介助が一時的に困難になった場合に短期入院できる仕組みを作ってほしい。

- ・ 訪問診療をしてくれる病院が増えてくれるとよいと思う。看護小規模多機能型が他にもあったらと思う。
- ・ 施設・病院の充実。家庭内では難しい。
- ・ 介護者が病気で急に介護先を探すのは大変なので、あらかじめ入院できる所を決めておくシステム。
- ・ 医療機関に入院する場合、認知症があると、24 時間体制で家族の付き添いが必要で、期間が長ければ長い程、一家族だけでは到底対応できません。日中通院の付き添い介護サービスはあるようですが、入院付き添い、特に夜間付き添いのサービスがほしいです。ぜひ検討よろしくをお願いします。認知症あるないに関わらず、高齢者の入院には、医療を的確に受けるため、本人の不安を少しでも軽減させるために付き添いは絶対必要です。結果が明らかに違います。
- ・ アルバイト的な方（ケアマネジャーの）が多い。もっと専門的知識を身につけてほしい。袋井聖隷病院は浜松の聖隷病院を袋井にもってきた方がよい。病院統合について市民の意見をきいてもらいたかった。以前病院の整形医の診断を受けたが、その医師は「悪くなることはあってもよくなることない」と言われた。人間性をうたがう。何をもって日本一健康文化都市とうたうのか疑問だ。医療はいつのまにか算術になった。医の仁術はいずこに。（本人手が震えてうまく書けませんので御判読よろしくお願い致します）。

## 1 1 施設サービス、介護保険サービス

### （介護老人福祉（特養）、介護老人保健、介護療養型医療）

- ・ 夫婦それぞれ持病があり、いつか介護が必要となった時、お互いに相手を介護することが困難かと思っています。介護度が低いと、入居できる施設が少なく、多人数の順番待ちという話を聞いているので、不安に感じています。
- ・ 特養施設の運営内容の充実（医師・看護師の増）。
- ・ 認知症、身体的な介護だけでなく精神的なケアも重視してほしい。
- ・ ショートステイが、混んでいて、取れにくいので、充実していただきたい。
- ・ 経管栄養対応する特養ホームが袋井市北部にはないようですのでほしい。また少ないため待機期間が長くなるのではと思われる。
- ・ 介護保険大変に助かっています。（出費等を含め）妻が認知症で週 1 回だが通所リハビリへお世話になっています。ただ色々な人の集まりです。できるものなら認知症の人達だけのリハビリがあればと感じています。
- ・ 現在はデイサービスの充実、短期入所の充実です。デイサービスでみなさんと楽しく仲良く過ごすことができたら幸せですね。負担額も現状維持でお願いします。
- ・ 突然、介護者に用事ができた時、預かっていただけの施設があるとありがたいです。
- ・ グループホームや有料老人ホームは料金が高いし、特養は要介護 3 以上でないと入所できないので、目が離せない。要介護認定者が入所し易い施設を作してほしい。
- ・ 介護施設で入所しているが、本人のプライバシーは必ず守ってほしい。外部には話してもらいたくない。特に民生委員。
- ・ 地域包括支援センターを知らなかったのですが、退院するに当たってケアマネジャーさんを必要となり、始めてたずねた時、皆さんがとても親切に対応して下さりうれしかったです。ケアマネジャーさんのおかげで、訪問看護師やデイケアサービスを受けることがスムーズにできました。経管栄養だけで、ほとんど横になっているだけなので、なかなか眠れない様子だし、一日中ほとんど介護（薬の注入のため）しているのでレスパイト入院が必要です。特に地元で不幸があったりすると、出席しなければいけない時など、一人に出来ない時など近くでお願いしたいです。

- ・ 週4回リハビリテーションに通わせていただいて、心より感謝致し、充実した日々を送りもつと健康になれる日を夢見て、幸せにすごしていましたが「これからはあなたが日々お薬をしつかり飲むか、チェックに行きたいのでリハビリ日を1日へらします」と言われ、私は「薬はちゃんと飲みます。信じてください。」といっても「いやだめだ」と言われ、リハビリ日を週に3回に減らされたことを非常にさみしく思いました。
- ・ 問37-9 緊急時の通報装置、給付・貸与サービス問38-7レスパイト入院。介護者が大変になった時、一時的短期入院できる仕組み。今後検討してほしい問題と考えます。
- ・ 通所や入所に予約したら、長い時間をかけず、通所、入所が早くできると良い（なるべく待ち時間が少なく）。
- ・ (60歳から糖尿～胃癌、人工関節、脊柱管狭窄症) 私の母は6度の入院、大きな手術をくり返し、糖尿病→腎不全となり、車椅子生活となってしまいました。ずっと同居して面倒を見てきましたが、築32年以上になる家を建て替えることも出来ず、家の段差、(バリアフリーではないため)があることや、日中介護が必要では、働けなくなるため、現在、市外の病院に入所してもらっています。長女なので、面倒は看るのが当然でしょうが、夜のトイレ介助、入浴など日常ではとうてい見られないのが現状です。今は週1(土曜)に面会に行き、連休には、盆、正月やGW、その他年数回、外泊許可もらい、家に連れて来てあげるのが精一杯の親孝行だと考えています。施設に入っていてくれるおかげで、優しく接することが出来ます。介護サービスを上手く利用して、介護ノイローゼやラフがなくなることを祈ります。私は今、とても気持ちもちが楽になりました。お金(妹と半分ずつ)負担は大変ですが。(月4~5万)施設ではヘアカット、顔そりのサービスを依頼してもらっています。有料で、引き落としの明細が届きます。洗濯は、本人が家族に渡しており、それ以外のタオルとか一部のものをお願いすると、毎月かなりの額をとられています。毎日のおしぼり代と合わせれば、月3万以上かかっています。とても、この金額はですが、サービスが充実しているためガマンしています。入れ歯のため、歯のケアまでは、歯みがき、入れ歯の洗浄位で仕方ないと思っていましたが、口腔ケアしていただくサービスがあればありがたいです。施設に入所している母を見舞うと、認知の方、重度の方の介助など大変なのを見ますと、スタッフの方の労働の大変さに頭が下がります。良い介護がこれといった言葉はみつかりませんが、その方達の方のケアも(収入の面)しっかり充実して頂き、介護者も家族も安心できるよう頑張ってください。
- ・ ショートステイなど予約が2か月前など、即対応できるようなサービスをお願いしたい。
- ・ 自宅で介護をひとり、ぎりぎりまでやっている人が増えている高齢化社会において、いざという時に頼れる場所がもっと増えてもらいたいです。あと、今後の心配としては、特養老人ホームを増やしてもらいたいです。
- ・ 自宅での介護ができなくなった時に、すぐに入れる施設があるか心配です。なければ仕事を辞めなければならない。
- ・ ショートステイ、デイサービス先で体調不良になった時、体調が少し悪くなった時の対応を色々な選択ができるように対応出来れば助かります。
- ・ 要介護の父の介護をしています。家族全員が働いていますので、週5(月~金)デイサービスを利用して頂いていますとても助かっています。ありがとうございます。認定調査内容が昔と比べて厳しくなっているということは、よく聞かされておりますが、認知症がひどくても、歩けたり手が動かせたり、リハビリを兼ねて時間がかかっても洋服を自分でやるようにしたり、こぼしても自分で食事をさせていたりすると、自分でできると判断され(実は手や目をかけて介護が大変であっても)、認定が軽くなってしまうということもよく聞きます。また、調査する方によっても差があり、特に厳しい方になると認定がとても軽くなってしまう、今まで通りのサービスが受けられないこともあるようなので、とても不安に思います。我が家は、夫婦2人で分担して介護をしています。今、父の症状が以前より悪くなり、子どもたち(本人の孫)にも協力してもらいながら家庭で父をみておりますが、目が離せず大変な毎日です。ショートステイについてケアマネさんから教えて頂き、月に2~3泊まりで利用させていただくようになりました。時々、土曜日の出勤もあるので、今後は仕事に合わせて土曜日利用もさせていただくようにしました。介護をお手伝い下さるケアマネさん施設の方々、市の職員の皆様に感謝しております。今後も宜しくお願いします。

- ・仕事を続けながら介護をすることは難しいため、施設の充実を望みます（経済的にも安価で入所できるとうれしい）。
- ・介護をする人の持ち家等で老朽化した家の取り壊しや、改装の補助があると空き家が放置されないのではないかと思います。
- ・制度の充実は必須かと思うが、介護施設で働く人の資質が問題である。適性を欠く者もいる。管理者に申し出ても一向に改善されず嫌な思いをしながら通いつけている例もあることを知って頂きたい。
- ・税金について医療費控除対象となるサービスを提供してくれる施設の充実を要望します。
- ・特別養護老人ホームの充実。
- ・ふだん介護している人が入院しなければいけなくなった時、同居していない子どもがあっても、ショートステイ以外にお泊りを、ショートステイと同じ位の料金であずかってくれる施設をほしいです。ショートステイは限度いっぱい計画しているので。いない間に色々できるし、よい制度ができてありがたいです。要支援の時、デイサービスを利用させていただきました。9時30分頃むかえに来てくれて、3時すぎには帰って来ました。夏の暑い時だけでしたので、農家にとっては大変でした。
- ・今、世話になっている所の昼食代がとても高いです（¥700）。事業所がいっぱいありますが、ある程度、統一が出来たらうれしいです（袋井市として）

## 1 2 居宅サービス

- ・要介護認定者が高齢の場合、介護者も高齢、毎日が不安です。現在ケアマネさんがとてもよくアドバイスをしてくれていますが、今後の不安はいつもあります。介護者が病気になった場合等、子どもに世話がたのめない場合等、気の休まる時はありません。
- ・ケアマネジャーも、ご多忙かと思いますが、物事を先送りにして、本当に向き合ってくれていません。私たちは、お金を支払い、動いてもらっている身ですので、寄り沿うように動いていただくことを願います。緊急時のショートステイなど、定期的に週末施設の方へ泊まり、利用していても本当に家族が困った時は利用できないとかがっています。何とかならないでしょうか。何のためのショートステイでしょうか。改善よろしく願いいたします。
- ・去年、外来に連れていくのに大変になるようになり、ケアマネさんに相談、訪問診療と訪問看護制度をお世話して下さい、発熱などの時は助かっております。
- ・自宅で介護できたらどんなにか幸せかと思えます。安心して、寝たきりの人を看られるサービスがあればうれしいです。
- ・訪問リハビリでお世話になっています。透析を受けているので、体調などいつも不安ですが、ケアマネジャーさんがいつでも相談にのってくださり、助言していただいて大変ありがたいです。介護者が体調を崩して、入院することになった時の対応について心配しています。急な時にどんな方法があるのか知りたいです。
- ・今は要介護1だけど、これから先どうか思うと心配ですので、ケアマネさんに話してみようと思っています。

## 1 3 介護者が抱える問題（老々介護等）

- ・老々介護になり、本人以外にも介護者の体の不調を心配する。共倒れにならないように介護保険サービスや保健福祉サービスの充実をお願いしたい。
- ・老々介護や病気を持っている介助者が、介護もしなくてはならない現実に不安を感じる。
- ・家で介護の時具合が悪くなったら来てくれる訪問診療をお願いしたいです。
- ・老々介護の身では不安がいっぱいです。

- ・ 問 34 ですが、主人が自営で手伝いをしています。パート程度は働いていますので、いつまでも元気で母の世話ができるか不安になります（老々介護になって来ますので）。母には長生きしてもらいたいのですが、自分の健康に不安があるので、まず自分が元気で居ないといけないなどと思っています。毎日のデイサービスとてもありがたいです。母も喜んで通っています。
- ・ 老々介護というものを、身を持って体験しています。本当に大変です。腰を痛めて、現在は腕が上がりなく痛みがあります。整形へ通っていますが、なかなか治りません。腕を使わないように休ませてくださいと言われてはいますが、そうは行きません。心が病んできそうです。
- ・ 本人は当然ですが、今、介護者も高齢で草刈りと下水道そうじなど大変。
- ・ 今の所は月一回に医院に通い、一か月分のおくすりを服用しています。2か月に一回通院していますが、年令も高いのでおくすりをしっかり飲んでもしっかりしません。咳がなかなかきつくでます。苦しいので、先生にお話をするのですが、これ以上強いくすりはないので時々頓服をいただいて様子をみている所です。通所のデイサービスには、週に二回程通っています。リハビリの先生も看護師さん達も皆様親切で優しいので、とてもありがたいです。

## 1 4 今後の不安

- ・ 現在、老々介護であるが介護者が病気等になったらどうしようかと不安はある。その時は、特別養護老人ホームに即、入居できる体制でありたい。
- ・ 兄弟が遠い。自分の子どもたちも遠方で県外です。一人で親の介護をしながら、親のすべての面で、抱えてしまい、自分の老後も考えながら生活しています。介護サービス利用では、要介護度で、利用サービスの限度もあり、利用可能なサービスも限りがあります。ますます独り暮らしの高齢者が増える中、自分の努力も必要です。今から自助努力と、地域連携の交流を進んで行いたいと感じております。
- ・ 足首の骨折が治ればかなり自由な生活ができるが、今はそれに向かって努力している。心配である。
- ・ 今後、介護度が上がったときの介護者（家族）の向きあい方が大変心配です。
- ・ 介護者が高齢で病気を持っていて介護するのは大変です。
- ・ 家での介護は大変だと思います。
- ・ 両親が高齢になり家族（長男夫婦）が世話をするのが理想ですが、自分達の健康のこと、自由な時間、老後の心配などを考えると、夫婦で不安、けんかにもなりかねません。若い世代の人達は、まだ人事だと思っているようですが、自分達のことは、各人で責任を持ちやっていかないとだめな時代でしょうか。この先が見えてこないのが不安です。
- ・ 現在、訪問診療は2月からお願いしました。これから先、デイケアに行く回数が週1回ぐらいになってしまうと、訪問リハビリがありがたいことと、その先、訪問看護なども考えます。
- ・ 高齢で歩行は、困難になり、トイレで立ってられないことの心配、リハビリで筋力を少しずつつけて、ゆっくり歩行ができるようになれば、それは理想で、無理かもしれませんが、その位に思います。
- ・ 認知症があり、だんだんひどくなっていくので、介護者が精神的にもたいへんだ。

## 1 5 アンケートについて

- ・ 複雑な質問内容にならないよう考えてもらいたい。高齢者にとっては、不向きな質問と思う。今回のような設定の質問では回答者は減少するのではないか。質問が前後しないように。質問の設定者だけが理解しているのではないか。
- ・ 現在は施設に入所しているため、以前の様子にて答えました。入所しているか、どうか、そちらでわかるようでしたら、それもふまえて、調査票を送るとよいと思います。入所していると、あまり答えられませんので。

- ・ 現在施設に入所中です。たいへん助かっています。家での介護となると、すべての生活が困難となります。本人家族が安心して生活できる介護として、介護保険の充実はとても興味深いです。このアンケートは、入所していると回答にあてはめることができないので、入所する前はどうか、どうしてほしいかというアンケートもあればよいと思いました。
- ・ すでに特養へ入居しているため、どう回答してよいかわからない問題が多かった。在宅の方のみに、調査票を送付するべきでは。
- ・ 訪問診療の医師は市内にいるのか分かりません。問 38 の質問は、現在行われているのか、これから行おうとしているのか、どちらでしょうか。
- ・ 無回答な点が多かったと思いますが、設問が、施設入居者の場合と家での介護の場合とか、わからない問いが多い。設問の文章が高齢者には理解がむずかしい。
- ・ 1年以上前に、介護4の時にはお世話になり、助かりました。ありがとうございました。この調査はいつ時点のものでしょうか。入院して1年以上過ぎています。介護の方の調査だということはわかりますが、現在介護中ですか。の質問はないのですか。変化は大きいです。少し前まで介護でも、今は違うことがありますね。入院中でも介護認定を受けたので、この調査表がきたのはわかります。要介護認定者でも入院していますので、回答が困りました。㉔～㉖の問いは入院と同時になくなりましたが、調査としては必要ないのか。現実を知りたくて調査しているのなら。
- ・ 言葉が難しい。もっとわかりやすく、かんたんな言葉の調査票を望む。高齢者にはちょっとややこしい。難しい。
- ・ 2の調査について、一番先に要介護者が施設に入居等しているかの選択をして、くわしい内容にしてください。
- ・ 本人は、認知症のため記入は無理です。家族の者が記入するにしても内容がわかりづらいです。

## 16 行政について

- ・ 職員さんが一生懸命にやっていただき、本当に助かります。給料が安い、仕事の負担が大きいなど、恵まれない現状とも耳にします。できれば介護職員さんの待遇改善を強く望みます。
- ・ 申請した人だけサービスをうけられる仕組みだと働きながら、介護について学ばないとサービスを受けづらいので、手続きや申請は、できるだけ少なくなる仕組みを考えていただきたい。
- ・ 平日は施設ですごし、週末のみ自宅に戻る生活です。施設ではきめ細かくケアして下さるので安心しています。スタッフのみなさんの待遇がさらによくなるよう、また人材が十分確保できるような政策をよろしくお願いします。
- ・ 前にも書きましたが、政府の税金の使い方、配分が悪い。ただ社会福祉関係の費用が増大していることだけを強調しているが、負担している、人々の金額が増えていることは云わない。(健保料、介護保険料の増額)税金の使いみち、つまり予算の配分を考えると、政治家自身ももっと出費を減らすべきと思う。例えば、政党交付金を止めること、派バツのために税金を使うのはもってのほか、自分達の仲よしクラブの費用は自分達で払うべき、介護施設、介護者ヘルパーの人達が安心して働けるよう施設への補助、職員の賃金のアップを図ることが、サービスの向上につながる。
- ・ 包括センターが事務的で冷た過ぎる。
- ・ これまでの人より、これからの人に対し、金やサービスを充実させる方がよろしいと思います。
- ・ あまり期待していない。制度が複雑すぎる。
- ・ 要介護認定の人にはこのアンケートはとてもむづかしい。読んで答えてもらったが、最後は全く気力をなくしわからないで良いと答えていた。むづかしい。むづかしい。記入するのも読むのも当事者のことを考えていない。聞きとり調査で現場を回ってみた方が良い。
- ・ 介護施設の増加で、職員の賃金の比較で、移動が激しい。安定した職場環境を保って、介護を必要とする者がゆとりを持って過ごせるようになってほしい。
- ・ 介護の現場はやはり人材難だと思われま。大変な現場でも給与待遇を良くするなどして人材が集まるよう行政が動いて頂きたいです。

## 17 その他

- ・ 問 33 (11p) に付いては全部に○を付けた。2人暮らしです。この調査票も本人が書けないの代筆しました。33問の(身体介護)(生活援助)は全部代筆が行っています。(其の他)の項はありません。失礼でしたらお許してください。
- ・ 色々お世話になりありがとうございます。近所の方々に気にかけてもらいながらの生活に感謝しながら介護をさせてもらっています。これからまだ長いので、今日一日をがんばろうと思います。大変だなあ~と思うので、自分の時はこうでありたいと色々考えながらの介護の日々です。
- ・ 介護保険サービス利用のきっかけは、地域包括ケアセンターからの声かけを頂いたことで、有り難く思います。その後、自宅(主人独居)へのヘルパー訪問を2~3年利用し、独居が無理と判断し、GHへ入居させ現在に至っています。幸い、本人は元気に快適にすごしており、家族としても現状サービスに満足しています。
- ・ 本人はすでに特養へ入所していますが、もうすこし早く、この内容をしっかり把握していれば入所せず、ショートステイなど選べたと残念です。(私の体調が悪くして、入院のため急いで入所させ、認知症が重くなり、家に帰ることが不可能になった。私の入院中1,5か月位預かる所があったのなら、その後の家での介護が考えられたと。今は、自分の健康をしっかり守って、趣味と向き合っています。自分のできることを楽しみながら勉強しています。
- ・ 今は入院していますが、デイサービス、福祉用具を利用させていただきました。とても助かりました。ありがとうございます。
- ・ 今は満足しています。
- ・ 意見収集のつもりですが、遅すぎます。
- ・ 介護保険のお世話になって後僅かで一年になります。その上高齢でもありますので今後どんなお世話をお掛けするかと心苦しく思っております。家族がなるべく頑張りますが、よろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 民生委員の人達はどんなお仕事をしているのですか。
- ・ 大変な時に助けてほしいです。ありがとうございました。
- ・ このようなアンケートを求める市の姿勢を喜ばしく思う。期待は大。
- ・ 気持ちも生活も、みんながゆとりのある世の中にしていきたいです。
- ・ デイケア週3回通うことによって、家族以外の人と話を、活動をしてきています。地域の集まりには、認知症もあり、参加できないので、生活維持のためにとっても助かっています。(元気で認知症でない方はとてもよいですね参加することは。)
- ・ 現在、デイサービス、ショートステイの介護保険サービスを受けていますが、とても助かっています。感謝しています。
- ・ 12月におじいさんが亡くなりましたが、ケアマネジャーの的確な判断でデイサービスから訪問介護までしていただき、家で看取ることができて感謝しています。
- ・ 被害妄想についての扱い方。
- ・ オムツの配布は続けていただきたいです。
- ・ とても助かっています。
- ・ 現時点で充分です。
- ・ 袋井市の試みで2月からGPSを使用しています。靴の中に入れてあります。はじめは嫌がるかな、と心配でしたが、なんとか履いてきています。GPSは、大変に安心できて助かります。ありがとうございます。デイがお休みの日は、朝・昼・夜と外出したがります(実家に帰る。迎えの人が来ていると思いついでいるので、それは私にとっては大変なストレスです)。

# V 調査票

## 1 一般高齢者

### 令和元年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 高齢者一般調査

袋井市にお住まいの皆様

令和2年2月

袋井市長 原田 英之

袋井市では、今後の保健福祉行政に役立てるために、皆様の普段の生活や健康などに関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和3年度～令和5年度を計画期間とした第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するためだけに利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

#### ◆回答に当たってのお願い◆

- この調査票は、ご本人が記入してください。もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が代筆してください。
- 調査票を記入する際は、各項目で該当する番号に○をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**2月21日(金)**までに投函してください。(切手は不要です)
- この調査に関するご質問やお問合せは、下記にお願いします。

担当 はーとふるプラザ袋井（袋井市総合健康センター）  
地域包括ケア推進課 介護ケア相談係  
電話 0538-84-7534

### 高齢者一般 調査票

各項目で該当する番号に○をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください

#### 問1 調査対象者様ご本人のことについてお伺いします

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(○はひとつ)

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入  
(あて名のご本人からみたら続柄 \_\_\_\_\_)
- その他

(2) ご本人の性別・年齢についてお教えてください。(それぞれ○はひとつ)

- 男性
- 女性

(令和元年12月1日現在の年齢をお答えください。)

- 65歳～69歳
- 70歳～74歳
- 75歳～79歳
- 80歳～84歳
- 85歳～89歳
- 90歳～94歳
- 95歳～99歳
- 100歳以上

(3) ご本人のお住まいの地区はどちらですか。(○はひとつ)

- 袋井南
- 豊沢
- 高南
- 袋井西
- 袋井北
- 袋井東
- 今井
- 三川
- 山梨・宇刈
- 浅羽北
- 浅羽西
- 浅羽東
- 浅羽南
- わからない方は現在お住まいの大字名 ( \_\_\_\_\_ )

(4) 家族構成をお教えてください。(○はひとつ)

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 息子・娘との2世帯
- その他 ( \_\_\_\_\_ )

(5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

### 問2 からだを動かすことについてお伺いします

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

(8) どのような用件で外出していますか。(○はいくつでも)

1. 買い物
2. 仕事 (農作業などを含む)
3. 医療機関への通院
4. 市が実施する介護予防教室等
5. 外食
6. 旅行
7. 散歩
8. 通いの場 (サロン・居場所・しぞへかでん伝体操など)への参加
9. 学習活動  
(コミュニティセンターやカルチャースクールなどでの教養・学習活動)
10. 健康づくり・スポーツ活動
11. 地域活動 (自治会、ボランティア等)
12. 友人や子どもの家などへの訪問
13. その他 ( )
14. 外出はほとんどしない

### 問3 食べることについてお伺いします

(1) 身長・体重 (数値を記入) ※小数点以下は四捨五入して記入してください。

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg

(2) 1年前に比べ、食べ物や汁物、飲み物でもせることが多くなりましたか。

(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ
3. 1年前とは変わらないが、むせやすい

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	できるし、している	1	2	3
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	できるし、している	1	2	3
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	できるし、している	1	2	3
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	できるし、している	1	2	3

(6) 歯医者のかかりつけ医はいますか。(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(6) 症状がなくても定期的に歯の健診を受けていますか。(○はひとつ)

1. 健診は年に1回以上受けている	できるし、している	1	2	3
2. 症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く	できるし、している	1	2	3
3. 全く歯医者には行かない	できるし、している	1	2	3

(7) どなたかと食事をもにする機会はありますか。(○はひとつ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	

**問4 毎日の生活についてお伺いします**

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 日常生活について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、1～3の中からあてはまるものに○をつけてください。(各項目に、○はひとつずつ)

	できるし、している	できるけど、していない	できない
①バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1	2	3
②自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
③自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
④自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3
⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

	できるし、している	できるけど、していない	できない
⑥自分で家の掃除をしていますか	1	2	3
⑦自分で洗濯をしていますか	1	2	3
⑧自分でお風呂の支度をしていますか	1	2	3
⑨自分で市役所等での手続きをしていますか	1	2	3
⑩通院や薬の受け取りを1人でしていますか	1	2	3
⑪新聞・雑誌を読むことをしていますか	1	2	3

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありませんか。(○はいくつでも)

1. 分別することが難しい	2. ごみ集積所までの運搬が困難
3. 収集日や収集時間帯に出せない	4. ごみ出しを頼める人がいない
5. その他( )	
6. 困難を感じていることはない	

(4) 必要な物の購入はどのようなにしていますか。(○はいくつでも)

1. 自分で買い物に行く	2. 家族・友人等に連れて行ってもらう
3. 宅配・通販を利用している	4. 移動販売を利用している
5. 買い物ができず困っている	

(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありませんか。(○はいくつでも)

1. 近くにお店がない(なくなった)
2. 自分で車の運転ができない
3. 歩いて買い物に行くのが大変(または不安)
4. バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)
5. 買い物を手伝ってくれる人がいない
6. 介護等によって買い物に行けなくなった
7. 特に不便や不安はない
8. その他( )

(6) 食料品や日用品の買い物の支援について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、1～3の中からあらはまるものに○をつけてください。  
(各項目に、○はひとつずつ)

	知っていて利用している	知っているが利用したことはない	知らない
① 民間企業の宅配サービス	1	2	3
② 移動販売車	1	2	3
③ ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援	1	2	3
④ 配食サービス	1	2	3
⑤ ネットスーパー等のインターネットショッピング	1	2	3

**問5 地域での活動についてお伺いします**

(1) 次のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

※①～⑤それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑤ 介護予防のための通いの場(サロン・居場所・しそへかてん広体棟など)	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない

⑥ シニアクラブ・老人クラブ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑦ 町内会・自治会	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(担世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(4) (2)、(3)のどちらかで「1」「2」「4」と回答された方にお伺いします。どんな活動に参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. ボランティア	2. 運動(ウォーキング、ヨガなど)
3. 学習(英会話、パソコンなど)	4. 生活援助(通院介助、買い物など)
5. 趣味活動	6. 地域(自治会)内の支え合い活動
7. その他( )	

**問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします**

(1) あなたの心配事や懸念(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人	6. 友人
7. その他( )	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。  
(○はいくつでも)

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない  |

(3) あなたが病気で数日間意識込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない  |

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(○はいくつでも)

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない  |

### 問7 健康についてお伺いします

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. とてもよい   | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○はひとつ)  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください)

とても不幸	とても幸せ
0 点	10 点
1 点	9 点
2 点	8 点
3 点	7 点
4 点	6 点
5 点	5 点
6 点	4 点
7 点	3 点
8 点	2 点
9 点	1 点



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている    |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 『タバコの健康被害』について、あなたが知っているものは何ですか。  
(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 肺がんだけでなく、多数のがんリスクを高める                           |
| 2. 脳卒中（脳梗塞・脳出血など）や虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞など）の原因になる         |
| 3. 糖尿病の原因になる                                       |
| 4. 歯周病や口内炎の原因になる                                   |
| 5. 傷の治りを遅くする                                       |
| 6. 骨粗しょう症や骨折の増加にもつながる                              |
| 7. 免疫力を低下させる                                       |
| 8. 早産、低体重児、死産、乳児死亡の原因になる                           |
| 9. 喫煙者本人だけでなく、タバコの煙を吸った周囲の人も肺がんや虚血性心疾患、脳卒中の危険が高くなる |
| 10. タバコが消された後も部屋や喫煙者の息等に化学物質は残留し、有害物質を発する          |

(7) 他の人が吸うタバコの煙を自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうことを『受動喫煙』と言いますが、あなたは『受動喫煙』の意味を知っていましたか。  
(○はひとつ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

(8) あなた自身、過去1年の間で、『受動喫煙』を受けた経験がありますか。

(○はひとつ)

1. 受動喫煙の経験がある      2. 受動喫煙の経験はない

(9) (8) で「1」と回答された方にお伺いします。  
『受動喫煙』を受けたのは、どのような場所でしたか。(○はいくつでも)

1. 自宅      2. 職場  
3. 飲食店      4. 路上  
5. 駅・公園等の公共の場      6. その他 (      )

(10) ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(○は3つまで)

1. 休養や睡眠を十分にとる  
2. 食事に気をつける  
(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)  
3. 歯や口の中を清潔に保つ      4. 健康診断などを定期的に行う  
5. 酒、タバコを控える      6. 散歩やスポーツをする  
7. 地域の活動に参加する      8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ  
9. 気持ちはなるべく明るく持つ  
10. 身の回りのことはなるべく自分で行う  
11. 仕事を  
12. その他 (      )  
13. 特に心がけていない

(11) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

1. がんや生活習慣病(高血圧など)にならないための工夫について  
2. 望ましい食生活について  
3. 運動の方法について  
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて  
5. 寝たきりや介護の予防について  
6. 歯の健康について  
7. 認知症の予防について  
8. うつ病の予防について  
9. その他 (      )

(12) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない      2. 高血圧  
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)      4. 心臓病  
5. 糖尿病      6. 高脂血症(脂質異常)  
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)      8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
9. 腎臓・前立腺の病気  
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)      11. 外傷(転倒・骨折等)      12. がん(悪性新生物)  
13. 血液・免疫の病気      14. うつ病  
15. 認知症(アルツハイマー病等)      16. パーキンソン病  
17. 目の病気      18. 耳の病気  
19. その他 (      )

(13) かかりつけのお医者さんはいませんか。(○はひとつ)

1. はい      2. いいえ

(14) かかりつけの薬局はありますか。(○はひとつ)

1. はい      2. いいえ

(15) 1年に1回は生活習慣病に関する健康診査(特定健診、後期高齢者健診、人間ドック)を受けていますか。(○はひとつ)

1. 受けている      2. 受けていない

(16) (15) で「2」と回答された方にお伺いします。  
1年に1度も、健康診査を受けていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自覚症状がない      2. かかりつけの病院がない  
3. 病気が発見されたり、悪いところを指摘されるのが怖い  
4. 予約したり健診に行くのが面倒くさい  
5. 定期的にかかりつけの病院で検査している  
6. お金がなく、受けたくても受けることが出来ない  
7. その他 (      )

**問 8 介護保険サービスなどについてお伺いします**

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
2. 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい
3. 老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他（ )
5. わからない

(2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのようにに介護したいと思いますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2. 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
3. 老人ホームなどの施設に入所させたい
4. その他（ )
5. わからない

(3) 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなり、袋井市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることできる限り抑えてほしい
3. 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスの負担が低下してもやむを得ない
4. 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
5. その他（ )
6. わからない

(4) 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービス（寝たきりなど介護が必要な状態になることの予防や自立した生活の支援）などについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(○は3つまで)

1. 近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり
2. 誰でも気軽に集うことができる地域の交流の場（居場所）づくり
3. 外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い
4. 認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催
5. 介護支援ボランティアによる支援
6. 自宅への訪問理美容サービス
7. ひとり暮らし高齢者の方々に訪問をして見守りをするサービス
8. 公的または民間による配食サービス
9. 緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス
10. はり・きゆう・マッサージの施術費を助成するサービス
11. その他（ )
12. 特にない

**問 9 介護予防・日常生活支援総合事業についてお伺いします**

袋井市では、平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）がスタートし、新たなサービスが利用できるようになりました。

(1) あなたは、総合事業のサービスがあることについて知っていましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(2) (1)で「1」と回答された方にお伺いします。次の総合事業サービスについてご回答ください。(それぞれ○はひとつ)

訪問型サービス	
A. 現行相当サービス（ホームヘルプ） ホームヘルパーが訪問し、身体介護（食事・入浴の介助等）や生活援助（買い物、調理、掃除、洗濯等）を行うもの。	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない
B. 基準緩和サービス 生活支援員が訪問し、利用者ともに生活援助（買い物、調理、掃除、洗濯等）を行うことにより、自立に向けた生活習慣等の改善を図るもの。※身体介護は行わない。	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

C. 短期集中サービス 保健・医療の専門職等が訪問し、3か月程度の短期間で、栄養状態の改善や口腔機能、運動機能の向上について、相談や指導を行うもの。	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない
---	---

通所型サービス	
A. 現行相当サービス (デイサービス)	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない
通所介護施設 (デイサービスセンター) で、食事や入浴など日常生活上の介護や生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどを行うもの。	
B. 基準緩和サービス 通所介護施設 (デイサービスセンター) など で、心身の状況が安定している方などを対象に、心身機能の維持向上のための、体操、レクリエーション、趣味の活動などを行うもの。	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない
C. 短期集中サービス 保健・医療の専門職等が、3か月程度の短期間で、栄養状態の改善や口腔機能、運動機能の向上について、相談や指導を行うもの。	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

**問10 地域包括支援センターについてお伺いします**

(1) 高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関として、市内4か所に設置されている地域包括支援センターの役割を知っていますか。  
次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 知っている	2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 地域包括支援センターの存在を知らなかった	

(2) (1) で「1」「2」と回答された方にお伺いします。  
あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 電話による相談、問い合わせ	2. 窓口での相談、手続き	3. 職員による自宅訪問を受けての相談	4. その他 ( )
5. 利用したことはない			

**問11 はとふるプラザ袋井 (総合健康センター) についてお伺いします**

袋井市では、保健・医療・介護・福祉の機関を集約し、乳幼児から高齢者まで、市民の生涯を通じた健康づくりに取り組む拠点として、はとふるプラザ (総合健康センター) を平成27年5月に開設しました。

(1) あなたは、はとふるプラザ (総合健康センター) があることを知っていますか。(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) (1) で「1」と回答された方にお伺いします。  
あなたは、はとふるプラザ (総合健康センター) を利用したことがありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください。(聖隷袋井市民病院の受診は除きます)。(○はいくつでも)

1. 電話による相談、問い合わせ	2. 窓口での相談、手続き	3. 運動教室や講座等へ参加	4. 健(検)診の受診	5. ボランティア活動	6. 社会福祉協議会への相談、手続き	7. その他 ( )	8. 利用したことはない
------------------	---------------	----------------	-------------	-------------	--------------------	------------	--------------

**問12 認知症にかかる相談窓口についてお伺いします**

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

**問 13 介護支援ボランティアについてお伺いします**

袋井市では、65歳以上の方を対象とし、社会参加活動と社会貢献を支援するため、在宅や施設での話し相手や軽微なお世話をする介護支援ボランティア制度を実施しています。

(1) あなたは、介護支援ボランティアを知っていましたか。(○はひとつ)

1. はい                      2. いいえ

(2) (1)で「1」と回答された方にお伺いします。

介護支援ボランティアに登録していますか。(○はひとつ)

1. 登録し、活動している  
2. 登録しているが、活動はしていない  
3. 以前、登録していたが、今は登録していない  
4. 登録していない

**問 14 生きがいについてお伺いします**

(1) 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのどのような時ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)  
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき  
3. 健康づくりやスポーツをしているとき  
4. 家族との団らんするとき  
5. 友人や知人と過ごすとき  
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき  
7. 地域活動(自協会、ボランティア等)に参加しているとき  
8. 旅行に行っているとき  
9. 散歩や買い物をしているとき  
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき  
11. パソコン、インターネットをしているとき  
12. 他人から感謝されたとき  
13. 収入があったとき  
14. おいしいものを食べているとき  
15. 若い世代と交流しているとき  
16. その他( )  
17. 特にない

(2) 今後やってみたいと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 働くこと  
2. 学習や教養を高めるための活動  
3. 健康づくりやスポーツ  
4. 趣味の活動  
5. シニアクラブ・老人クラブ活動  
6. 社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)  
7. 自協会の活動  
8. その他( )  
9. 特にない

**問 15 交通手段についてお伺いします**

(1) 外出の際、主に利用する交通手段は何ですか。(○は3つまで)

1. 徒歩                      2. 自転車  
3. 自働二輪車(原付含む)      4. 家用車  
5. タクシー                      6. バス  
7. 地域協働運行バス          8. 鉄道  
9. デマンドタクシー(予約型乗合タクシー)  
10. その他( )

(2) バスの利用頻度はどのくらいですか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日                      2. 週に3~4日  
3. 週に1~2日                      4. 1ヶ月に数回  
5. 年に数回                      6. 利用しない

(3) 自動車の運転頻度はどのくらいですか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日                      2. 週に3~4日  
3. 週に1~2日                      4. 1ヶ月に数回  
5. 年に数回                      6. 運転しない

(4) 日頃、どのような目的で自動車を運転していますか。(○はいくつでも)

1. 買い物のため                      2. 病院や診療所に通うため  
3. 家族等の送迎のため                      4. 仕事や通勤のため  
5. 趣味で使用するため  
6. 運転免許証は持っているが、運転していない  
7. 運転免許証を持っていない(または既に返納した)  
8. その他( )

(6) (4) で「1」「2」～「6」と回答された方にお伺いします。  
 あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか。

1. 返納したい (返納の時期が決まっている)  
 2. 返納したい (時期は未定)  
 3. 返納は考えていない  
 4. その他 ( )

(6) (5) で「1」「2」と回答された方にお伺いします。  
 免許を返納後、または自分で自動車の運転ができなくなった場合はどのように外出しますか。 (〇はいくつでも)

1. 同居の家族に自動車で送迎をしてもらう  
 2. 別居の親族等に自動車で送迎をってもらう  
 3. 友人・隣人等に自動車で送迎をってもらう  
 4. 公共の鉄道・バスを利用する  
 5. 地蔵協働運行バスを利用する  
 6. デマンドタクシー (予約型乗合タクシー) を利用する  
 7. ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援を利用する  
 8. 民間タクシー等を利用する  
 9. その他 ( )  
 10. 移動手段がなく困る

問 16 その他についてお伺いします

(1) 災害時の情報はどこから入手していますか。 (〇はいくつでも)

1. メローねっと (袋井市Eメール)    2. 同報無線  
 3. 袋井市ホームページ    4. インターネット  
 5. テレビ・ラジオ    6. 家族・近所・友人など  
 7. その他 ( )    8. 何もしていません

(2) あなたは、携帯電話を持っていますか。 (〇はひとつ)

1. 持っていない  
 2. スマートフォンを持っている  
 3. ガラケー (フィーチャーフォン) を持っている  
 4. 持っているが何らか分らない

(3) 災害時にどのように避難しますか。 (〇はひとつ)

1. 一人で逃げる  
 2. 逃げる予定だが、特に考えていない  
 3. 一緒に逃げる人を決めている (要支援者計画など)  
 4. 近所の人や友人と一緒に逃げる (予定を含む)  
 5. 逃げるつもりはない

(4) 介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■

## 2 事業対象者・要支援認定者

### 令和元年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 要支援認定者・事業対象者 調査票

袋井市にお住まいの

要支援認定者・事業対象者の皆様

令和2年2月

袋井市長 原田 英之

袋井市では、今後の介護保険制度のより円滑な運営に役立てるために、皆様の介護保険制度への意識に関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和3年度～令和5年度を計画期間とした第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するためだけに利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

#### ◆回答に当たってのお願い◆

- この調査票は、ご本人が記入してください。  
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が代筆してください。
- 調査票を記入する際は、各項目で該当する番号に○をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**2月21日(金)**までに投函してください。(切手は不要です)
- この調査に関するご質問やお問合せは、下記にお願いいたします。

担当) はーとふるプラザ袋井 (袋井市総合健康センター)  
地域包括ケア推進課 介護ケア相談係  
電話) 0538-84-7534

#### 問1 調査対象者ご本人のことについてお伺いします

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(○はひとつ)

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入  
(あて名のご本人からみられた紙柄 \_\_\_\_\_ )
- その他

(2) ご本人の性別・年齢についてお教えてください。(それぞれ○はひとつ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|
- (令和元年12月1日現在の年齢をお答えください。)
- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳～94歳 |
| 7. 95歳～99歳 | 8. 100歳以上  |            |

(3) ご本人のお住まいの地区はどちらですか。(○はひとつ)

- |                                |         |         |
|--------------------------------|---------|---------|
| 1. 袋井南                         | 2. 豊沢   | 3. 高南   |
| 4. 袋井西                         | 5. 袋井北  | 6. 袋井東  |
| 7. 今井                          | 8. 三川   | 9. 笠原   |
| 10. 山梨・宇刈                      | 11. 浅羽北 | 12. 浅羽西 |
| 13. 浅羽東                        | 14. 浅羽南 |         |
| 15. わからぬ方は現在お住まいの大字名 ( _____ ) |         |         |

(4) 現在の要支援認定の状況 (要支援度) についてお教えてください。(○はひとつ)  
要支援度は、介護保険被保険者証に記載してあります。

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1. 要支援1               | 2. 要支援2 |
| 3. 事業対象者 (チェックリスト該当者) |         |

(5) 家族構成をお教えてください。(○はひとつ)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし              | 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯          |
| 5. その他 ( _____ )      |                       |

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

- |  |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない  |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない                          |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている<br>(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(7) (6)で「2」「3」と回答された方にお伺いします。  
介護、介助が必要になった主な原因について、ご回答ください。  
(○はいくつでも)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病            |
| 3. がん(悪性新生物)     | 4. 呼吸器の病気(肺炎等)    |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)  | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病       | 8. 糖尿病            |
| 9. 視覚・聴覚障害       | 10. 骨折・転倒         |
| 11. 脊椎損傷         | 12. 高齢による衰弱       |
| 13. その他( )       | 14. 不明            |

(8) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    |
| 3. ぶつう      | 4. ややゆとりがある |
| 5. 大変ゆとりがある |             |

問2 からだを動かすことについてお伺いします

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない |
| 3. できない      |               |

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない |
| 3. できない      |               |

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない |
| 3. できない      |               |

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない   |

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回   |
| 3. 週2～4回     | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている  | 2. 減っている  |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) どのような用件で外出していますか。(○はいくつでも)

- |  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 買い物                                   | 2. 仕事(農作業などを含む)        |
| 3. 医療機関への通院                              | 4. テイクアウト・デリバリーサービスの利用 |
| 5. 市が実施する介護予防教室等                         | 6. 外食                  |
| 7. 旅行                                    | 8. 散歩                  |
| 9. 通いの場(サロン・居場所・しぞ〜か〜でん伝体操等)への参加         |                        |
| 10. 学習活動(コミュニティセンターやカルチャースクールなどの教養・学習活動) |                        |
| 11. 健康づくり・スポーツ活動                         |                        |
| 12. 地域活動(自治会、ボランティア等)                    |                        |
| 13. 友人や子どもの家などへの訪問                       |                        |
| 14. その他( )                               |                        |
| 15. 外出はほとんどしない                           |                        |

問3 食べることにについてお伺いします

(1) 身長・体重(数値を記入)※小数点以下は四捨五入して記入してください。

- |            |            |
|------------|------------|
| 身長 _____cm | 体重 _____kg |
|------------|------------|

(2) 1年前に比べ、食べ物や汁物、飲み物でむせることが多くなりましたか。

(○はひとつ)

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1. はい                | 2. いいえ |
| 3. 1年前とは変わらないが、むせやすい |        |

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	できるし、している	1	2	3
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	できるし、している	1	2	3
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	できるし、している	1	2	3
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	できるし、している	1	2	3

(5) 歯医者のかかりつけ医はいますか。(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(6) 症状がなくても定期的に歯の健診を受けていますか。(○はひとつ)

1. 健診は年に1回以上受けている	できるし、している	1	2	3
2. 症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く	できるし、している	1	2	3
3. 全く歯医者には行かない	できるし、している	1	2	3

(7) どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(○はひとつ)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	

**問4 毎日の生活についてお伺いします**

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 日常生活について、次の①~④のそれぞれの項目について、1~3の中からあてはまるものに○をつけてください。(各項目に、○はひとつずつ)

	できるし、している	できるけど、していない	できない
①バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1	2	3
②自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
③自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
④自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3

	できるし、している	できるけど、していない	できない
⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3
⑥自分で家の掃除をしていますか	1	2	3
⑦自分で洗濯をしていますか	1	2	3
⑧自分でお風呂の支度をしていますか	1	2	3
⑨自分で市役所等での手続きをしていますか	1	2	3
⑩通院や薬の受け取りを1人でしていますか	1	2	3
⑪新聞・雑誌を読むことをしていますか	1	2	3

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 分別することが難しい	)
2. ごみ集積所までの運搬が困難	
3. 収集日や収集時間帯に出せない	
4. ごみ出しを頼める人がいない	
5. その他( )	
6. 困難を感じていることはない	

(4) 必要な物の購入はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 自分で買い物に行く	)
2. 家族・友人等に連れて行ってもらう	
3. 宅配・通販を利用している	
4. 移動販売を利用している	
5. 買い物ができず困っている	

(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。

(○はいくつでも)

1. 近くにお店がない(なくなつた)	)
2. 自分で車の運転ができない	
3. 歩いて買い物に行くのが大変(または不安)	
4. バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)	
5. 買い物を手伝ってくれる人がいない	
6. 介護等によって買い物にできなくなつた	
7. 特に不便や不安はない	
8. その他( )	

(6) 食料品や日用品の買い物の支障について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、1～3の中からあらはまるものに○をつけてください。  
(各項目に、○はひとつずつ)

	知っている 利用している	知っているが利用 したことはない	知らない
① 民間企業の宅配サービス	1	2	3
② 移動販売車	1	2	3
③ ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援	1	2	3
④ 配達サービス	1	2	3
⑤ ネットスーパー等のインターネットショッピング	1	2	3

**問5 地域での活動についてお伺いします**

(1) 次のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。  
※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑤ 介護予防のための通いの場 (サロン・居場所・しぞ 〜かでおか休体操など)	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない

⑦ 自治会	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回	2. 週2～3回 4. 月1～3回 6. 参加していない

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(4) (2) (3) のどちらかで「1」「2」「4」と回答された方にお伺いします。  
どんな活動に参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. ボランティア	2. 運動 (ウォーキング、ヨガなど)
3. 学習 (英会話、パソコンなど)	4. 生活援助 (通院介助、買い物など)
5. 趣味活動	6. 地域 (自治会) 内の支え合い活動
7. その他 ( )	

**問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします**

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人はどなたですか。  
(○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども
3. 別居の子ども	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人	6. 友人
7. その他 ( )	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（〇はいくつでも）

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（   | 8. そのような人はいない  |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれたい人はどなたですか。（〇はいくつでも）

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（   | 8. そのような人はいない  |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（〇はいくつでも）

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者    | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣の人   | 6. 友人          |
| 7. その他（   | 8. そのような人はいない  |

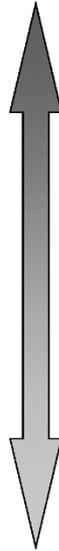
### 問7 健康についてお伺いします

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（〇はひとつ）

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. とてもよい   | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在の程度幸せですか。（〇はひとつ）  
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください）

とても不幸	とても幸せ
0 点	10 点
1 点	9 点
2 点	8 点
3 点	7 点
4 点	6 点
5 点	5 点
6 点	4 点
7 点	3 点
8 点	2 点
9 点	1 点



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（〇はひとつ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（〇はひとつ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか。（〇はひとつ）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている    |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 他の人が吸うタバコの煙を自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうことを『受動喫煙』と言いますが、あなたは『受動喫煙』の意味を知っていましたか。（〇はひとつ）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

(7) あなた自身、過去1年の間で、『受動喫煙』を受けた経験がありますか。（〇はひとつ）

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 受動喫煙の経験がある | 2. 受動喫煙の経験はない |
|---------------|---------------|

(8) (7)で「1」と回答された方にお伺いします。  
『受動喫煙』を受けたのは、どのような場所でしたか。（〇はいくつでも）

- |       |               |         |
|-------|---------------|---------|
| 1. 自宅 | 2. 職場         | 3. 飲食店  |
| 4. 路上 | 5. 駅・公園等の公共の場 | 6. その他（ |

(9) ご自分の健康のためにもこんなことを心がけていますか。（〇は3つまで）

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分にとる                            | 4. 健康診断などを定期的に受ける     |
| 2. 食事に気をつける<br>(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど) | 5. 酒、タバコを控える          |
| 3. 歯や口の中を清潔に保つ                            | 6. 散歩やスポーツをする         |
| 7. 地域の活動に参加する                             | 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ   |
| 9. 気持ちをなやませるべく明るく持つ                       | 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う |
| 11. 仕事をす                                  | 12. その他（              |
| 13. 特に心がけていない                             |                       |

(10) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

1. がんや生活習慣病 (高血圧など) にならないための工夫について
2. 望ましい食生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 寝たきりや介護の予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. うつ病の予防について
9. その他 ( )

(11) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ( )

(12) 1年に1回は生活習慣病に関する健康診査 (特定健診、後期高齢者健診、人間ドック) を受けていますか。(○はひとつ)

1. 受けている
2. 受けていない

(13) (12) で「2」と回答された方にお伺いします。  
1年に1度も、健康診査を受けていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自覚症状がない
2. かかりつけの病院がない
3. 病気が発見されたり、悪いところを指摘されるのが怖い
4. 予約したり健診に行くのが面倒くさい
5. 定期的にかかりつけの病院で検査している
6. お金がなく、受けたくても受けることが出来ない
7. その他 ( )

**問8 介護保険サービス・総合事業についてお伺いします**

(1) 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービス・総合事業サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

1. 利用した ⇒ (2)、(4) ~ (5) ✓
2. 利用していない ⇒ (3) ✓

(2) (1) で「1」と回答された方にお伺いします。  
以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ○はひとつ)

1 週間あたりの利用回数 (それぞれ○はひとつ)	
A. 訪問介護 訪問型サービス (ホームヘルプ)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上
B. 訪問入浴介護	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上
C. 訪問看護	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上
D. 訪問リハビリテーション	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上
E. 通所介護 通所型サービス (デイサービス)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回以上

利用の有無 (○はひとつ)	
G. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない      2. 利用した

1か月あたりの利用日数 (○はひとつ)	
H. ショートステイ	1. 利用していない      2. 月1～7日程度 3. 月8日以上

1か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
I. 居宅療養管理指導 ※医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが家庭を訪問して、療養上の管理や指導をおこなうこと	1. 利用していない      2. 月1回程度 3. 月2回程度      4. 月3回程度 5. 月4回以上

(3) (1) で「2」と回答された方にお伺いします。  
 あなたは今までに介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、購入を含む）・総合事業サービスを利用したことがありますか。(○はひとつ)

1. 利用した ⇒ (4) ~ (5) ⇐  
 2. 利用していない ⇒ (6) ⇐

(4) (1) で「1」または(3)で「1」と回答された方にお伺いします。  
 介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○はひとつ)

1. 満足している      2. どちらかと言えは満足している  
 3. どちらかと言えは満足していない      4. 満足していない

(5) (1) で「1」または(3)で「1」と回答された方にお伺いします。  
 担当のケアマネジャーに満足していますか。(○はひとつ)

1. 満足している      2. どちらかと言えは満足している  
 3. どちらかと言えは満足していない (理由: )  
 4. 満足していない (理由: )

(6) (3) で「2」と回答された方にお伺いします。  
 あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何か。  
 (○は3つまで)

1. 家族が介護しているから      2. まだ利用するほど困っていないから  
 3. 利用したいサービスがないから      4. 他人を自宅に入れたくないから  
 5. 利用者負担が高いから      6. 利用することに抵抗を感じるから  
 7. 利用したいが予約がいっぱいで利用できないから  
 8. 病院に入院していて、医療保険の適用となっていないから  
 9. 利用の仕方がわからないから  
 10. その他 ( )

**ここから再び、全員の方にお伺いします。**

(7) 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、袋井市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。  
 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない  
 2. 介護保険サービスの充実は最小限とし、保険料の負担が増えることをできるだけ抑えてほしい  
 3. 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスの低下してもやむを得ない  
 4. 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない  
 5. その他 ( )  
 6. わからない

(8) (7) で「1」「2」と回答された方にお伺いします。  
 あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(○は3つまで)

1. ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス  
 2. デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス  
 3. 医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス  
 4. デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス  
 5. 特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設  
 6. グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）  
 7. 有料老人ホームなどの介護付き施設  
 8. その他 ( )  
 9. わからない





(2) あなたはどのような医療サービスの充実を望みますか。(〇はいくつでも)

1. 訪問診療  
医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療するもの
2. 往診  
急変時などに患者や家族の要望で、不定期に自宅訪問して診療するもの
3. 訪問看護  
医師の指示に基づき、看護師が自宅に訪問し、療養上の世話や必要な診療補助などをおこなうもの
4. 訪問歯科診療  
歯科医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療するもの
5. 訪問リハビリテーション  
医師の指示に基づき、理学療法士などの専門職が自宅に訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなうもの
6. 訪問薬剤指導  
薬剤師が自宅に訪問し、薬の正しい服薬方法等について指導するもの
7. レスパイト入院  
介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み
8. その他 ( )

(3) 災害時の情報はどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

1. メローねっと (袋井市Eメール)
2. 同報無線
3. 袋井市ホームページ
4. インターネット
5. テレビ・ラジオ
6. 家族・近所・友人など
7. その他 ( )
8. 何もしていない

(4) あなたは、携帯電話を持っていますか。(〇はひとつ)

1. 持っていない
2. スマートフォンを持っている
3. ガラケー (フューチャフォン) を持っている
4. 持っているが何か分からない

(5) 災害時にどのように避難しますか。(〇はひとつ)

1. 一人で逃げる
2. 逃げる予定だが、特に考えていない
3. 一緒に逃げる人を決めていない (要支援者計画など)
4. 近所の人や友人と一緒に逃げる (予定を含む)
5. 逃げるつもりはない

(6) 日頃、どのような目的で自動車を運転していますか。(〇はいくつでも)

1. 買い物のため
2. 病院や診療所に通うため
3. 家族等の送迎のため
4. 仕事や通勤のため
5. 趣味で使用するため
6. 運転免許証を持っているが、運転していない
7. 運転免許証を持っていない (または既に返納した)
8. その他 ( )

(7) (6) で「1」～「6」と回答した方にお伺いします。  
あなたは、運転免許の返納について、どのように考えていますか。(〇はひとつ)

1. 返納したい (返納の時期が決まっている)
2. 返納したい (時期は未定)
3. 返納は考えていない
4. その他 ( )

(8) (7) で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
免許を返納後、または自分で自動車の運転ができなくなった場合はどのように外出しますか。(〇はいくつでも)

1. 同居の家族に自動車で送迎をしてもらう
2. 別居の親族等に自動車で送迎をってもらう
3. 友人・隣人等に自動車で送迎をってもらう
4. 公共の鉄道・バスを使用する
5. 地域協働運行バスを利用する
6. デマンドタクシー (予約型乗合タクシー) を利用する
7. ふくろいファミリー・サポート・センター等の移動支援を利用する
8. 民間タクシー等を利用する
9. その他 ( )
10. 移動手段がなく困る

### 問 15 自由意見

最後に、介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください


■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■

### 3 要介護認定者

#### 令和元年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 要介護認定者 調査票

袋井市にお住まいの要介護認定者の皆様

令和2年2月

袋井市長 原 田 英 之

袋井市では、今後の介護保険制度のより円滑な運営に役立てるために、皆様の介護保険制度への意識に関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和3年度～令和5年度を計画期間とした第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するためだけに利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

#### ◆回答に当たってのお願い◆

- この調査票は、問1から問28及び問37から問39まではご本人が、問29から問36までは介護している方にお答えください。  
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が本人の立場に立って記入してください。
- 調査票を記入する際は、各項目で該当する番号に○をつけてください。また、複数回答の設問や文字記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**2月21日(金)**までに投函してください。(切手は不要です)
- この調査に関するご質問やお問合せは、下記にお願いします。

担 当) はとふるプラザ袋井 (袋井市総合健康センター)  
地域包括ケア推進課 介護ケア相談係  
電 話) 0538-84-7534

#### 1. 調査対象者様ご本人についてお伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか  
(○はいくつでも)

- 調査対象者本人
- 主な介護者となっている家族・親族
- 主な介護者以外の家族・親族
- その他 ( )

問2 世帯類型について、ご回答ください (○はひとつ)

- 単身世帯
- 夫婦のみ世帯
- その他 ( )

問3 ご本人の性別について、ご回答ください (○はひとつ)

- 男性
- 女性

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください (○はひとつ)  
(令和元年12月1日現在の年齢をお答えください)

- 65歳未満
- 65～69歳
- 70～74歳
- 75～79歳
- 80～84歳
- 85～89歳
- 90歳以上

問5 ご本人のお住まいの地区について、ご回答ください (○はひとつ)

- 袋井南
- 豊沢
- 高南
- 袋井西
- 袋井北
- 袋井東
- 今井
- 三川
- 笠原
- 山梨・宇刈
- 浅羽北
- 浅羽西
- 浅羽東
- 浅羽南
- わからない方は現在お住まいの大字名 ( )

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください(○はひとつ)  
要介護度は、介護保険被保険者証に記載してあります。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 要介護1 | 2. 要介護2  |
| 3. 要介護3 | 4. 要介護4  |
| 5. 要介護5 | 6. わからない |

問7 介護、介助が必要になった主な原因について、ご回答ください(○はいくつでも)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脑梗塞等) | 2. 心臓病            |
| 3. がん(悪性新生物)     | 4. 呼吸器の病気(肺炎等)    |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)  | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病       | 8. 糖尿病            |
| 9. 視覚・聴覚障害       | 10. 骨折・転倒         |
| 11. 脊椎損傷         | 12. 高齢による衰弱       |
| 13. その他( )       | 14. 不明            |

問8 かかりつけの歯医者さんはいいますか(○はひとつ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9 症状がなくても定期的に歯の健診を受けていますか(○はひとつ)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 健診は年に1回以上受けている        |
| 2. 症状がある時だけ、治療のために歯医者に行く |
| 3. 全く歯医者には行かない           |

問10 1年前に比べ、食べ物や汁物、飲み物でもせることが多くなりましたか(○はひとつ)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1. はい               | 2. いいえ |
| 3. 1年前とは変わらないがむせやすい |        |

問11 1年に1回は生活習慣病に関する健康診査(特定健診、後期高齢者健診、人間ドック)を受けていますか(○はひとつ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問12 問11で「2」と回答した方にお伺いします。  
1年に1度も健康診査を受けていない理由は何ですか(○はいくつでも)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 自覚症状がない                   |
| 2. 病気が発見されたり、悪いところを指摘されるのが怖い |
| 3. かかりつけの病院がない               |
| 4. 予約をしたり、健診に行くのが面倒くさい       |
| 5. 定期的にかかりつけの病院で検査している       |
| 6. お金がなく、受けたくても受けることができない    |
| 7. その他( )                    |

問13 あなたには心配ごとや悩みごとはありませんか。次の中からあてはまるものに○をつけてください(○は3つまで)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自分の健康のこと              |
| 2. 家族の健康のこと              |
| 3. 病気などのとき、面倒を見てくれる人がいない |
| 4. 孤独(ひとり暮らしなど)になること     |
| 5. 配偶者に先立たれた後の生活のこと      |
| 6. 生活費など経済的なこと           |
| 7. 家の老朽化など、住んでいる家に関すること  |
| 8. 趣味や生きがいがないこと          |
| 9. 家族や友人との人間関係のこと        |
| 10. 地震や風水害など災害時の対応のこと    |
| 11. その他( )               |
| 12. 心配ごとはない              |

問14 あなたはだれに心配ごとや悩みごとを聞いてもらったり、相談したりしますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください(○は3つまで)

- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 夫または妻(内縁を含む)             | 2. 子(子の配偶者を含む)  |
| 3. その他の家族・親族                | 4. 友人・知人        |
| 5. とおり近所の人                  | 6. ホームヘルパー      |
| 7. 市や県の相談窓口                 | 8. 地域包括支援センター職員 |
| 9. ケアマネジャー                  | 10. 介護事業所の職員    |
| 11. 民生委員                    | 12. 病院や診療所の医師など |
| 13. 薬剤師や介護用品店の店員            | 14. その他( )      |
| 15. 相談したいが、相手がいない           | 16. だれにも相談しない   |
| 17. 心配ごとはない(問13で選択肢12を選んだ方) |                 |

2. 介護保険サービスについてお伺いします

問15 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(○はひとつ)

1. 入所・入居は検討していない } 問17へ  
 2. 入所・入居を検討している }  
 3. すでに入所・入居申し込みをしている } 問16、問17へ

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホームを指します。

問16 問15で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか(○はひとつ)

1. 特別養護老人ホーム(常時介護が必要で、家庭での介護が困難な方のための施設)  
 2. 介護老人保健施設(家庭への復帰を支援するための施設)  
 3. 介護療養型医療施設・介護医療院(長期療養が必要な方のための医療機関)  
 4. 特定施設(有料老人ホーム等)  
 5. グループホーム(認知症の方が共同生活する施設)  
 6. その他( )

問17 令和元年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(○はひとつ)

1. 利用した ⇒ 問18、問20～問22へ  
 2. 利用していない ⇒ 問19へ

問18 問17で「1」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月の利用状況を ご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください(それぞれ○はひとつ)

1 週間あたりの利用回数(それぞれ○はひとつ)	
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
B. 訪問入浴介護	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
C. 訪問看護	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
D. 訪問リハビリテーション	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
E. 通所介護 (デイサービス)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上

F. 通所リハビリテーション (デイケア)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
--------------------------	--

利用の有無 (それぞれ○はひとつ)	
G. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない 2. 利用した
H. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない 2. 利用した

1か月あたりの利用日数 (○はひとつ)	
I. ショートステイ	1. 利用していない 2. 月1～7日程度 3. 月8～14日程度 4. 月15～21日程度 5. 月22日以上

1か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
J. 居宅療養管理指導 ※医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが家庭を訪問して、療養上の管理や指導をおこなうこと	1. 利用していない 2. 月1回程度 3. 月2回程度 4. 月3回程度 5. 月4回以上

問19 問17で「2」と回答した方にお伺いします。  
 あなたは今までに介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を含む)を利用したことがありますか (○はひとつ)

1. 利用した → <input type="checkbox"/> 問20へ	2. 利用していない → <input type="checkbox"/> 問21へ
---	--

問20 問19で「1」と回答した方にお伺いします。  
 介護保険制度全般についてどのように思いますか (○はひとつ)

1. 満足している 2. どちらかと言えば満足している 3. どちらかと言えば満足していない 4. 満足していない
--

問21 問19で「2」と回答した方にお伺いします。  
 あなたが介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (○は3つまで)

1. 家族が介護しているから 2. まだ利用するほど困っていないから 3. 利用したいが予約がいっぱいで利用できないから 4. 利用したいサービスがないから 5. 他人を自宅に入れたくないから 6. 病院に入院していて、医療保険の適用となっていたから 7. 利用者負担が高いから 8. 利用することに抵抗を感じるから 9. 利用の仕方がわからないから 10. その他 ( )
--

問22 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなり、堺井市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。  
 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担が増えることについてどう思いますか (○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない 2. 介護保険サービスの充実が最小限とし、保険料の負担が増えることのできる限り抑えてほしい 3. 保険料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの利用者の増加により、介護保険サービスが低下してもやむを得ない 4. 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない 5. その他 ( ) 6. わからない
--

問 23 問 22 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
 あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか  
 (○は3つまで)

1. ホームヘルパーや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス
2. デイサービスやショートステイ (短期の宿泊サービス) などの事業所に通うサービス
3. 医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス
4. デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス
5. 特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護サービスを受けられる施設サービス
6. グループホーム (認知症の方が共同生活する施設)
7. 有料老人ホームなどの介護付き施設
8. その他 ( )
9. わからない

3. 地域包括支援センターについてお伺いします

問 24 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内4か所に設置されています。

あなたは、地域包括支援センターの役割を知っていますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください (○はひとつ)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
3. 地域包括支援センターの存在を知らなかった

問 25 問 24 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください (○はいくつでも)

1. 電話による相談、問い合わせ
2. 窓口での相談、手続き
3. 職員による自宅訪問を受けての相談
4. その他 ( )
5. 利用したことはない

4. は一とふるブラザ袋井 (総合健康センター) についてお伺いします

問 26 市では、乳幼児から高齢者まで、市民の生涯を通じた健康づくりに取り組む拠点として、平成27年5月に総合健康センターを開設しました。

あなたは、総合健康センターがあることを知っていましたか  
 (○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問 27 問 26 で「1」と回答した方にお伺いします。

あなたは、総合健康センターを利用したことがありますか。次の中からあてはまるものに○をつけてください (聖隷袋井市民病院の受診は除きます) (○はいくつでも)

1. 電話による相談、問い合わせ
2. 窓口での相談、手続き
3. 運動教室や講座等へ参加
4. 健(検)診の受診
5. ボランティア活動
6. 社会福祉協議会への相談、手続き
7. その他 ( )
8. 利用したことはない

5. 主な介護者の方についてお伺いします

問 28 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (○はひとつ)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問 37 へ

問 29～問 37 へ

ここからは、「主な介護者」の方にご回答・ご記入をお願いします。

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

問 29 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）  
（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない
--

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 30 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○はひとつ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 31 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○はひとつ）

1. 20歳未満	2. 20歳代
3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳代	8. 80歳以上
9. わからない	

問 32 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか（○はひとつ）

1. 介護のほかにない
2. 子育てや病気の家族などのお世話もしている

問 33 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）  
（全部の中から○は3つまで）

[身体介護]
1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
[生活援助]
12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
[その他]
15. その他（ 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 34 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

(〇はひとつ)

- |  |               |
|--|---------------|
| <p>1. フルタイムで働いている</p> <p>2. パートタイムで働いている</p>       | } 問 35～問 36 へ |
| <p>3. 働いていない</p> <p>4. 主な介護者に確認しないと、<br/>わからない</p> | } 問 37 へ      |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれれかを選択してください。

問 35 問 34 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか (〇はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 36 問 34 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (〇はひとつ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

ここから再び、「ご本人」の方にお伺いします。

6. その他についてお伺いします

問 37 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービス (寝たきりなど介護が必要な状態になることの予防や自立した生活の支援) などについて、あなたは、どのようなサービスの充実に望みますか (〇は3つまで)

1. 近所で住民が主体となって運営する「介護予防の場」づくり
2. 誰でも気軽に集うことができる交流の場 (居場所) づくり
3. 外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い
4. 認知症の方や家族が交流したり、相談しあえる場「認知症カフェ」の開催
5. 介護支援ボランティアによる支援
6. 自宅への訪問理美容サービス
7. ひとり暮らし高齢者の方に訪問をして見守りをするサービス
8. 公的または民間による配食サービス
9. 緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス
10. はり・きゅう・マッササージの施術費を助成するサービス
11. その他 ( )
12. 特にない

問 38 あなたはどのような医療サービスの充実を望みますか  
(〇はいくつでも)

1. 訪問診療  
医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療するもの
2. 往診  
急変時などに、患者や家族の要望で、不定期に自宅に訪問して診療するもの
3. 訪問看護  
医師の指示に基づき、看護師が自宅に訪問し、療養上の世話や必要な診療補助などをおこなうもの
4. 訪問歯科診療  
歯科医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療するもの
5. 訪問リハビリテーション  
医師の指示に基づき、理学療法士などの専門職が自宅に訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなうもの
6. 訪問薬剤指導  
薬剤師が自宅に訪問し、薬の正しい服薬方法等について指導するもの
7. レスパイト入院  
介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み
8. その他 ( )

7. 自由意見

問 39 介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください


■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■